「入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）」に係る意見一覧

「入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）」のパブリックコメント（平成31年1月18日～2月28日実施）に対し提出されたご意見と市の対応方向は以下の通りです。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
1	34	小中学校統廃合	最初に、財政状況や少子化を踏まえた合理化は必要不可欠と考えます。 その点を踏まえ、計画の進めるにあたり配慮いただきたい点を述べさせていただきます。 私は、野田中学校の一期生であります。 西武中学校にて2年間学び最終学年を野田中学校で過ごしました。高校受験や就職を控える多感な時期に大きな環境変化があったと思っております。今回の西武中学校と野田中学校の統合の計画では、私の子供が中学3年生時に野田中学校から西武中学校に移る年にあたります。自分の子供の事を考え自身の経験で考えますと統合時の西武中学校の教職員の体制に関しましては、通常の学校の人事と考えず増員やベテランの教職員の配置等を含めた繊細な人事体制を強く望みます。教職員人事に共通する部分では、部活動の体制も懸念しております。現在、西武中学校には、部活動種目数が少なく、現在野田中学校にある部活動種目がないものもあります。そこにおける教職員の配置には、特段配慮いただければと思います。私自身、中学校当時サッカー部に所属しておりましたが、野田中学校に移るとサッカー部の顧問が未経験者の先生にかわりました。中学生最後の部活が生徒の自主性にゆだねられ本来の実力が出せず悔しい思いをしました。その後の競技人生にも大きく影響したと思っていますし、子供たちに同じ思いは、させたくありません。部活動におきましても特段の職員人事考慮等をお願いしたく思います。併せて、当時校庭もすぐには使えず苦慮しました。このような大きな変化の時こそ環境をしっかり整えていただき子供たちが不安なく通える環境を計画頂けることを強く願います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行う中で、統廃合の際の様々な課題に対処してまいります。
2	79～89	計画全般	東金子・金子・二本木地区の人口減に伴い、施設の廃止や統廃合が進みますが、人口減を食い止めるマネジメントは行われないのでしょうか。 このままだと少子高齢化が進むばかりで、JRの数も減り、交通・買物難民もふえ、住みにくい地域になるばかり。 茶畑や里山を利用した「道の駅」や「温泉」など人が集まるマネジメントを検討すべきと考えます。	「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「元気な子どもが育つまち」というテーマに基づき、人口減少対策に取り組んでいます。 この入間市公共施設マネジメント事業計画の位置づけについては、計画のP14に追記しました。
3	95～97	西武地区	・子どもの安全を第一に考えたら、野田中へ統合すべき ・交通の便や歴史は、子どもに関係ない ・西武中は防災拠点としては活用できないのでは？（危険区域になっている） ・通学路は距離より安全面を重視すべき	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
4	38	学童保育室	高倉に居住しているので高倉小学校の状況に照らし合わせて意見を述べます。 統廃合として学童と合わせるのは大賛成です。高倉は学童まで道路を渡らなければならないが、統合で校内になれば利便性は増すでしょう。 教室は余っているので整理すれば対応可能です。 第一期の5年以内に対応できるはずです。 この第一期の5年以内に子育てについて魅力ある街づくりをある程度形にしないと、若い世代は住みません。 特に学童は夫婦共働きが条件となっているので、学童が便利なことはその家庭にとっても利益があると思います。	高倉学童保育室は、第1期（2022年度の予定）に高倉小学校に複合化する計画としております。
	77	2. 施設の再整備・再配置に対する考え方・方向性	豊岡第三地区の黒須小学校、高倉小学校の統廃合について。 児童数の減少を理由に統廃合するこの計画は早計過ぎる。 まずは、小学校（高倉、黒須も）に保育園、学童保育、公民館の機能の集約による経費節減を提案します。 こうすることで幼児からお年寄りとのコミュニケーションが広がるのではないでしょうか。そうしている他自治体はNHKのニュースでも見聞きしています。 それから小学校の統廃合を検討しても遅くはないと思います。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 小学校の複合化については、これまでの意見交換の中で、不特定多数の方が出入りすることに対するセキュリティ上の課題が多いという意見が多かったため、学童保育室のみを対象とすることとしました。
5	17ページ	1. 事業計画の位置づけ ⑵計画期間	1期10年間の計画は、事業計画として長すぎます。 入間市の総合計画でも「10年間の基本構想、前期・後期5年間ずつの基本計画、3か年計画をローリングにより毎年度策定する実施計画の3つから成り立っています。」とあります。 これに基づくと、第2期、第3期は白紙撤回でよいです。	この計画は30年間の計画であり、それを3期に分けて構成し、10年ごとの見直しをすることとなっています。公共施設の統廃合は、市民生活にも大きな影響を与えるものであり、長期的な計画をお示しすることが市民の生活設計にも必要であるため、30年間としました。 また、施設の建替えなどは時間と膨大な事業費がかかるものであり、計画的に行わないと実現ができないことも理由の一つです。 この上で、社会情勢や市民ニーズの変化を予測することは難しいため、5年ごとの時点修正や10年ごとの計画の見直しを行うことも規定しています。
6	26ページ	⑶評価（Check）	計画原案に対する評価として、このパブリックコメントの募集をしています。それら提出された意見に対しては「既に検討済みです」などの回答ではなく、「こういう理由でその意見は却下された」と市民へ理由及び説明を添えて回答をお願い致します。	出来る限り理由を添えて、今後の方向性を説明いたします。
7	18ページ	⑵計画期間	なぜ今回の公共施設マネジメントが30年と長いスパンになっているのでしょうか。理由の回答をお願い致します。 この計画を決定する市町の任期を超えた期間の決定は越権行為ではないでしょうか。任期内で責任の持てる計画にしてください。	公共施設マネジメントは、市民生活にとって影響の大きい重要な政策です。そのため、計画も立てず、市長の意向で統廃合などが行われるということになると、混乱が生じるのではないかと考えています。他の行政計画もそうですが、市政が市民と行政の約束のもとに安定的に運営されるためには、市長の任期に関わらず、長期的な計画が必要と考えます。 この計画は30年間の計画であり、それを3期に分けて構成し、10年ごとの見直しをすることとなっています。公共施設の統廃合は、市民生活にも大きな影響を与えるものであり、長期的な計画をお示しすることが市民の生活設計にも必要であるため、30年間としました。 また、施設の建替えなどは時間と膨大な事業費がかかるものであり、計画的に行わないと実現ができないことも理由の一つです。 この上で、社会情勢や市民ニーズの変化を予測することは難しいため、5年ごとの時点修正や10年ごとの計画の見直しを行うことも規定しています。
8	95～97	第4章　西武地区	野田中学校廃止反対について(西武中学校への統合反対） ・築年数が西武中学校より新しい野田中学校を使う方が無駄がないのでは？ ・西武地区の中学校の位置を見ると野田中学校が比較的中心にあり利便性が高い。 ・野田中学校の方が生徒が多く、統合にあたり生徒の負担が大きい(通学路の危険等)。 ・野田中学校の方が広いため生徒が多くなっても負担が少ないのでは？ 各資料においての質問・反対案 96ページ「西武中学校と野田中学校の統合を行います。統合にあたっては、歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性を考慮し、西武中学校を活用します。」 ・上記の歴史的背景とは何ですか？重要な歴史があるのであれば学校以外で施設ないし、跡地を利用する事は難しいのでしょうか？ ・公共交通機関も含めた利便性とはどういった事でしょうか？学校利用者の大多数を占める生徒(徒歩ないしは自転車での通学)にはあまり関係ないかと思います。教員他の通勤という事であれば野田中学校まで駅からバスも出ており、交通機関の利便性が統合を考慮する理由にあたらないと思います。 ・以上の理由から当初は野田中学校への統合予定を西武中学校へ統合変更になった事に強い疑問を感じます。その他の根拠があれば詳しく教えて下さい。 97ページ　市民意見への対応　No3への追加質問 ・西武中学校へ通学する事になった場合、野田中学校生徒(西武中学校生徒の2倍以上)が通る事になる中橋周辺や駅周辺の道が細く交通量が多い道は危険度が更に上がる事になるので「実際に学校の配置が決まった段階」ではとても遅いと思います。また、野田中学校の学区によっては大人の足で西武中学校まで1時間以上かかる遠方の住民もいますのでより具体的な対応を提示ください。 97ページ　公共施設跡地の取り扱い ・野田中学校(29,053 ㎡・市街化調整区域）が売却とありますが、売却方法、売却業者、売却後の土地利用方法について市の考えや方針等をお聞かせ下さい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 公共施設および跡地の売却については、計画策定により方向性を定めた後に具体的な取り組みを進めていくこととしているため、現段階では未定です。
9	43、44	野田中廃止、西武中に統合について	先日は西武小学校での説明会、ありがとうございました。これから地域の施設整備が進んでいくことについて、とても喜んでおります。 子供が現在中1、小3です。 上の子が野田中に通っているので、下の子は同じ中学に進学すると思っておりましたので、驚いております。 ですが、統廃合については反対ではありません。 通学の不安さえ消えれば、はっきりと賛成できると思います。 何故西武中になるのか、などの疑問もあるといったらありますが、仏子のお子さんばかりが登校が遠くなるのは可哀想ですので。 しかし、新光の子どもたちには遠すぎるし危険が多いです。通学バスなどの具体的な対策が確定、決定していないなど、市外への転居も考えたく思います。小学校でも現状、大変遠いので、徒歩通学など考えられません。 不安でいっぱいです。 中学生の荷物はすごく重くて、子どもたちは疲れています。 注意力が落ちて事故なども増えるでしょう。通勤の方々と同じ時間帯に、何百人もの中学生が同じ狭い道路を通るなんて、ボランティアだけではフォローも無理があります。自転車通学も、坂ばかりでさせたくありません。もし西武中学校になるとしても、送迎のロータリーの設置はマストだと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
10			統合するにしても、生徒や地区への説明が十分でないままの計画実行は、一部の入間市の住民にとって大きな反発を生むことになるのではないでしょうか。素案からの変更、決定が急過ぎると思います。 　西武中の建替予定は2019年の第2期～となっています。まずは統合を一時保留し、説明会を重ね、建替までの10年間の間に、通学路、特に踏切の幅員確保(時間帯で一部車両規制)、歩道の整備、スクールバス等についても準備する事が必要不可欠だと思います。野田中が出来るまではみんな西武中に通っていたとはいえ、今は交通量もかなり違うと思いますので、対策をしない訳にはいかないと思います。反対の方々の一番の心配事は子ども達の安全です。十分な対応と対策が取られる事が分かれば、理解も得られるのではないでしょうか。 　また、統合してから建替た場合、今の西武中の設備、特に体育館の狭さも問題だと思います。部活動での利用にかなりの支障が出るのではないでしょうか。野田中の2面バスケコートの取れる広さでも手狭な感じです。1面しかない西武中で十分な活動が出来るとは思えません。3年後に統合、10年後にプレハブ等の仮設で子ども達が生活し、不便な時期が長いより、西武中の建替、通学路等の整備が完成した第2期以降に一斉に統合した方が得策ではないでしょうか。 　別案として、統合する西武中の立地に地区センター、現在の西武公民館・支所の建替を検討するのはどうでしょうか。駅に近いので利便性も良く、線路南側の避難場所の確保も可能となります。 ※その際、中学校は野田中への統合となりますが、西武中の歴史にこだわるならその名の残るように、野田中は“ 西武野田中学校”へと改名すればいいと思います。西武中より20年新しい野田中をそのままずは使う事は、市民の理解も得やすいと思います。勿体ないという意見が多いです。 現在の西武公民館・支所跡は、マンションや住宅地として開発、販売することで、販売した土地収入、入間市の人口増加、そして税収入の増加も見込めると思います。 市民の感情に遺恨の残らないよう、柔軟な対応をお願い致します。是非、ベストの選択を模索していただきたいです。ご検討お願い致します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
11		西武中と野田中の統合	①武中の人数は今後を考えても危機的状況なので、まず通学路の安全体制、校内設備の受け入れ体制が整っている野田中へ統合する。まだ使える中学校を使わないのは税の無駄使いではないか。統合した際には、仏子方面で通学路距離が著しく遠い生徒には、駅からの路線バス利用への補助金もしくはスクールバス等を導入する。西武中の歴史も考慮し、名称は西武野田中へ改名する。通学距離を考え、建物の建替時期がきたら(20年後)、西武中と野田中の中間に野田中学校を建替る。別の場所に建替る事でプレハブ等の仮設費用も不要で、部活動等でも校庭や体育館が使えないといった不便で辛い時期がなくなる。跡地は地盤の安定した宅地として売却する。 ②西武中の跡地は駅に近く利便性も良いので、地区センターの建替立地として利用する。西武公民館・支所跡地はマンション等の宅地として売却。土地収入、人口、税収入増加も期待できる。西武中の土地の中で、丘陵のそばには建物の建設を避け、駐車場を整備する。地区センターには保育所も併設する。今現在保育所への受け入れ状況は0～2歳児は0人である。所沢レベルの20時までの受け入れ体制をとる事で、働く女性が住みやすい都市としてのアピールとなる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
12		西武中と野田中の統合	①西武中の人数は今後を考えても危機的状況なので、まず通学路の安全体制、校内設備の受け入れ体制が整っている野田中へ統合する。まだ使える中学校を使わないのは税の無駄使いではないか。統合した際には、仏子方面で通学路距離が著しく遠い生徒には、駅からの路線バス利用への補助金もしくはスクールバス等を導入する。西武中の歴史も考慮し、名称は西武中学校(西武中の歴史としては入間市野田に移転)とする。通学距離を考え、建物の建替時期がきたら(20年後)、西武中と野田中の中間に西武中学校を建替る。別の場所に建替る事でプレハブ等の仮設費用も不要で、部活動等でも校庭や体育館が使えないといった不便で辛い時期がなくなる。野田の跡地は地盤の安定した宅地として売却する。 ②西武中の跡地は駅に近く利便性も良いので、地区センターの建替立地として利用する。西武公民館・支所跡地はマンション等の宅地として売却。土地収入、人口、税収入増加も期待できる。西武中の土地で丘陵そばへは建物の建設を避け、駐車場を整備する。地区センターには保育所も併設する。今現在保育所への受け入れ状況は0～2歳児は0人である。所沢レベルの20時までの受け入れ体制をとる事で、働く女性が住みやすい都市としてのアピールとなる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
13			今まで、何度かパブリックコメントを送らせて頂きましたが、説明会に3度足を運び、私自身、考えが変わってきました。これが最善ではないかと思われる案がありますので、昨日の意見を更めて書面で提出させて頂きたいと思います。 財政の問題から公共施設マネジメントを進めていく事には私自身賛成です。ただ、野田中から西武中へ変更してからの期間が短く、大きな反発となっています。もし、それでも3月には方向性を決めるというのでしたら、ある程度の歩み寄りが必要だと思います。 西武中の人数は今後を考えても様々な面で危機的状況なので、早く統合したいという市の考えは分かりました。ただ、3年後に統合し、その後に建て替えとなると、その期間、グラウンドが使えない等、子ども達が不便で危険な期間が出てくると思います。また、西武中の体育館の広さでは、西武中＋野田中生の生徒数で十分活動出来のかという不安が残ります。それでしたら、まずはまだまだ使用可能な野田中へ統合してはどうでしょうか？これから30年使える施設を使わないのは税の無駄使いだと思います。統合した際には、仏子方面で通学路距離が著しく遠い生徒には、駅からの路線バス利用への補助金もしくはスクールバス等を導入すればいいと思います。 その間、西武中の体育館は耐震工事も終わっているので避難所として残します。仏子の方々の駅の南側に避難所をという思いが叶います。また、公共施設として、グラウンドや体育館は、市民への貸出、または駅から近いので対外試合の際に野田中のサブ施設としての活用なども有効だと思います。 野田中の建物寿命がくる20～30年後、西武中の場所に新校舎を建築。建物の建替時期に通学路(踏切、歩道橋、歩道、街灯)の整備、スクールバスの準備を行い、建て替えが終了したら一斉に西武中への統合というのが、子ども達にとっても負担が少なく、安全面もクリアになる方法ではないでしょうか。 野田中から西武中への移動時期を早い時点で明確にさせておけば、これから生まれてくるお子さん、子どもをお持ちで引越してく御家族の通学に関する心の準備も出来るかと思います。 是非、西武地区に遺恨の残らないようご配慮頂き、ベストな選択をして頂きたいと思います。よろしくお願い致します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	34 37	小学校・中学校 学童保育室	文部科学省も厚生労働省も小学校と学童保育室の一体化を推進しています。入間市も「小学校の統合・再整備に合せ複合化」と表現して、この文部科学省も厚生労働省が推進していることへの対応をしています。その際、放課後の学童保育室児童が小学校トイレを使用できるようにして欲しいと思います。小学校に在籍する児童が、放課後になってその学童保育室に行くのであって、その小学校児童と働いているその小学校児童保護者を、その学童保育室が支えているのです。そして、その学童保育室の児童の生活態度は、その小学校の教育成果の現れが示されていると言っても良いのです。小学校と学童保育室の一体化（入間市で言う複合化）は、そうした側面を強く持って関係することがいっそう注目されるようになります。学童保育室ではトイレが不足しています。小学校トイレを自校の児童である、その小学校学号保育室児童も利用できるようにして欲しいと思います。	学童保育室の諸課題については、「公共施設マネジメント」の取組は別に、出来ることから担当部において検討いたします。 ※「学号保育室」を「学童保育室」と解釈しました。
	44 46	市民会館・中央公民館 産業文化センター	入間市内中学校は、吹奏楽部合同演奏会や合唱祭などで市民会館ホールを使用していると思います。また市内高校でも吹奏楽部定期演奏会では市民会館ホールを使用していますし、他市高校の吹奏学部定期演奏会を入間市市民会館ホールで行うということも聞いています。この催し物は、生徒の友人をはじめ保護者などの多くの関係者の来場があります。やがて市民会館を廃止して産業文化会館ホールを改修工事を行って、市民会館ホール機能を将来の産業文化センタホールに移すということですが、こうした生徒の発表の場として、入間市内生徒の友人や保護者などの来場を含め、市内中学校・高校生徒の楽器搬入などに充分に対応できるのでしょうか。市内生徒たちが発表する場を奪ってしまうようなことがあれば、それは入間市が掲げている子どもの育成姿勢とは真逆なことになってしまいます。小学校生徒や中学校・高等学校生徒の発表の場が十分にあり、その保護者や祖父母・友人などがその発表を共にすることができることへの十分な配慮をしている計画になっているのでしょうか。このことへの十分な機能を持たせてほしいと思います。 また、近隣大学、例えば駿河台大学吹奏楽部は入間市民会館を利用して定期演奏会を行っているのではないでしょうか。大学吹奏楽部定期演奏会ですが、そこには大学と市との交流意義があり、入間市としても歓迎する性格を持っていると考えられますが、市民会館を廃止して産業文化センターホールに機能を移す時には、大学吹奏楽部が利用でいる機能を備え、来場者への席を十分確保する整備がされるのでしょうか。産業文化ホールの改修は、こうしたことへ十分な対応をして改修して欲しいと思います。	市民会館については、基本設計を実施し、耐震改修が積算額通りに実施できるかを判断いたします。この結果、既存施設を耐震改修する場合であっても、一定期間閉鎖して工事を行う必要があります。 この間の活動については、産業文化センターのホールや近隣自治体のホールを使用するなど、代替策により対応せざるを得ません。利用上の最善の努力はいたしますが、改修中にあっては全ての利用が満足にいかない場合もあることを予めご了承ください。
14	49	青少年活動センター	今後、AIの時代が到来します。また、日本は外国人の雇用を増やす計画を政策として推進しています。外国人の雇用は、例えば介護分野があげられますが、入間市には、新たに地上5階・地下1階の介護施設の新設も計画され、介護分野での外国人も、入間市に従来より定住することも予測されます。外国人の方の定住は、子どもたちの教育とも関わることが、早晩、課題となって訪れるように思われます。こうしたことからは、「30文科生第396　子発0914第1号　平成30年9月14日　新・放課後子ども総合プラン（通知）」が示している、「日本語能力が十分でない児童・障害のある児童・虐待やいじめを受けた児童なども含め全ての児童の育成と成長に関われるように、多様な体験・活動・参加ができるように」ということが、入間市としての子どもの育成課題ともなって、従来以上に取り組まねばならないことが明らかになる時代だと思います。 この「通知」は、放課後児童クラブ・放課後子供教室についてのものですが、様々な子どもたちを想定し、その成長を図る取り組みの重要さを指摘しているのです。森の中で様々な活動をしている経験を持つ児童や生徒は、考えを述べたり他者を思いやったり支えたりするなどのことが身についているという、子どもたちと森の活動をしている人の意見も目に留まりました。言葉が十分でなくても、こうした活動から人間関係を結べると思います。 この意見は、今後のAI時代や国際環境がもっと身近になる時代などにあって、とても意味のあるものであり、青少年活動センターの魅力を言い表していると思えるのです。また、子育ての魅力として住みたい所として、子どもたちが森での活動ができることをあげる人たちもいます。これは若い人たちへ子育ての街として、入間市を選択肢に入れることへ青少年活動センターが機能することを意味しています。青少年活動センターには、他市の中学生が合宿や研修のために活用したりしてもいます。児童生徒たちの成長に関わって、言葉が十分でなくても人間関係を結ぶことへ、センターと森での活動が寄与することができることも意味しています。 センターの活用と森の活用は今後の入間市の子育て・子供たちの成長・子どもたちの育成という面では、貴重な大きな意義ある影響を子どもたちに及ぼす価値を持っている施設であり自然だと考えられます。施設は、やがて廃止という方向が出ていますが、俗に「金が無ければ知恵を出せ」と言いますが、この貴重な意義ある影響を子どもたちに及ぼすことができる施設を、「廃止」という言葉で置き変えてしまっているのは、子どもたちへの意義ある成長と子育てへの貴重な影響を及ぼし、拠点施設であるセンターの役割も重要であるという視点を欠いた言葉だとしか理解できないのです。こうした子どもの育成・成長は入間市の財産であり、そのために現在でも大きな益のあるセンターを、さらに拠点機能を強化したセンターとするために、そして森の活用がいっそう図られるように「知恵を出して、関わって欲しい」と思います。 入間市には、例えば、フランスやイタリアとの貿易に関わりフランス語やイタリア語の通訳として活躍している方もいます。そうした市内在住で世界と関わる人たち、新たに入間市に住居を定めた外国人の方も含めて、様々な力を持った人たちとの交流の場としても青少年活動センターは、森の中での活動も入れながら交流を図るなど、森とその拠点のセンターとしての機能を持たせることができるのではないかと思います。 森の活動とその拠点となる青少年活動センターの意義を、さらに強化する取り組みを図っていただきたいと思います。このような子ども達・児童生徒たちへの関わりは、「第6次入間市総合計画前期基本計画」で示していることとも合致していると思います。	青少年活動センターについては、建物が建設から60年経過する時点で、建物自体の取り壊しを検討していますが、土地（場所）については、立地特性を活かした活動ができるよう活用策を検討します。 一方、建物はなくなりますが、野外活動のための設備については、自然が豊かな場所に立地している利点を活かし、民間活力の導入を検討します。なお、これまで施設が担ってきた青少年育成のための事業は、他の公共施設を提供することを検討します。 市としましては、建物は耐用年数に合わせて廃止せざるを得ないものと考えていますが、今後の青少年育成については、重要な施策であると考えますので、跡地活用も含めて、ご意見を参考にさせていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
15	44ページ、46ページ	「市民会館・中央公民館」、「産業文化センター」	やがて市民会館が廃止され市民会館ホールも機能も、産業文化センターホールを改修して移す内容に関して、改修後の産業文化センターホールが市内中学校吹奏楽部生徒・高校吹奏楽部生徒の定期演奏会発表の場として十分機能するように、市内中学校生徒・市内高校生徒の発表の場を奪わないように改修すべきだという提案をしました。そのことに関して、追加意見を提出いたします。 ①平成31年2月3日（日）に市民会館ホールを利用して、入間市内中学校・高等学校・入間市民吹奏楽団の演奏会が開かれていました。市内中学校生徒・市内高校生・市民吹奏楽団が協力して発表をする場です。その発表に向かって練習する市内生徒にとっては、とても良い心身の成長を促す機会ともなり、市民吹奏楽団も市内中学校生徒・高校生徒との演奏は、将来、入間市民として入間市を担う若い人たちとの交流の場として、入間市の未来に向けた機会としも楽しみなことだと思います。このように市内中学校吹奏楽部生徒・市内高校吹奏楽部生徒・市民吹奏楽団合同の発表機会が十分に果たされるステージを含む機能を備えた、産業文化会館ホールの改修をしてください。 ②自転車で駆け付けている観客も多く、市民会館前の第1駐車場は満車になって、第2駐車場への誘導もなされ、それだけの人数が観客として来てくれていました。生徒の保護者・祖父母・友達・教師など学校関係者ももちろん、市民吹奏楽団の友人も駆け付けていることと思います。現在の市民会館ホールは、それだけの人数を収容でき、その人数の一人ひとりは、発表する市内中学校生徒・市内高校生徒の励みともなり、もちろん市民吹奏楽団の励みともなるはずです。そこに在住しているのは、市外の人もいるかも知れませんが、市民が市民を励ます、それも将来に入間市を託す人たちを励ましているという環境が生まれているのです。産業文化センターホール改修は、自転車で駆け付けたり、市民会館前の第1駐車場は満車になって、第2駐車場への誘導もなされるなどの状態が生れた来場者を、充分収容できる関を確保した改修をしてください。 ③上記2で触れましたが、自転車で駆け付けている人も多く、市民会館前の第1駐車場は満車になって、第2駐車場への誘導もなされていたことへの意見です。産業文化センターホールの改修に際しては、自転車置き場・駐車場の十分な確保をしてください。来てくれていたのは、恐らく、市内中学校生徒・市内高校生徒の保護者や祖父母・友達・教師など学校関係者ももちろん、市民吹奏楽団の友人が多く来ていることと思います。生徒の保護者などの市民が駆けつけても、自転車や車の置き場所に困るようでは、市民への責任を果たしているとは思えません。安心して駆けつけられるように、自転車置き場・駐車場の確保をしてください。	市民会館については、現時点では既存施設を耐震改修して当面使い続ける考えです。ただし、今後行う調査、設計を行った結果、この耐震改修費が建替え（新設）に近い額になってしまった場合は、移転新設、広域連携を検討することとしています。 一方、既存施設を耐震改修する場合であっても、一定期間閉鎖して工事を行う必要があります。 この間の活動については、産業文化センターのホールや近隣自治体のホールを使用するなど、代替策により対応せざるを得ません。利用上の最善の努力はいたしますが、改修中にあっては全ての利用が満足にいかない場合もあることを予めご了承ください。
16			過日1/24木曜日、高倉公民館で開催された「公共施設マネージメント事業計画」の説明会に関して 過日1/24木曜日、高倉公民館で開催された「公共施設マネージメント事業計画」の説明会に関して、幾つか質問と要望がありますので、此処に列挙させて戴きます。 今回、高倉公民館で開催された説明会に出席させて戴いたのですが、沢山の方々が出席され多くの質問が出ていた中で、その質問に対する市長また市役所の皆様の回答を伺っている内に、質問が出て来たので、挙手させて戴いたのですが、指名戴けず、説明会の中では、質問ができませんでした。	—
			其処で、先ず、 1. 市民の声を聴くことに時間を惜しまないで …　結論だけでなく、その結論に至った経緯を説明して欲しい。 このような公聴会での質問は、時間の問題もあるでしょうが、市民の声(質問)を全て洩れなくきちんと受ける、という姿勢が必要だと思います。そうでないと、質問を受けくれないということだけで、不満を持ったまま、市長及び市役所の反対派を生み出すだけです。ここで時間が無いということで切り捨てては、話になりません。あのような説明会の進行では、市民の賛同を得ることができないと思います。間違っていたら申し訳ありませんが、市長の言動には、どんな時にも反対者はいるのだから、そのような人達の質問に迄、時間をかけて回答しても無駄だと思っているように感じる部分がありました。答えを持っているのかどうか解りませんでしたが、皆様が長い時間をかけて立案した事業計画であるなら、何故、そのような結論に至ったかその経緯が説明できる筈です。それを説明してほしいと思います。	この計画は、本年度中に策定をいたしますが、今後とも具体的な整備計画を進める際には、丁寧な説明と地域の方々からのご意見を伺っていきたいと考えております。 説明会においては、一定のルールの中で進行せざるを得ないものと考えております。ご理解をお願いいたします。
			2. 市役所関係者から積極的に市民に提案できませんか？ 今回も、市長が欠席された前回もそうでしたが、「住みよい高倉を守る会」では無く、市長また市役所が率先して、先導して、呼びかけて、あのような説明会を開催できないものでしょうか？どれだけ日々の仕事が忙しいのか解りませんが、もっと頻繁に説明会を何度も何度も開催して戴けないでしょうか？批判、また批判的質問を受けるのではなく、一年かけて、こんな素晴らしい将来計画を立てましたので、是非、聞いて下さい…という前向きな説明会ができないものでしょうか？また、一年かけて纏めたという説明だったと思うのですが、その時間軸は、私私に衝撃でした。この時間の経過に、違和感を覚えます。然もその実行に10年から30年と云われると、どうでもいいや勝手にしたら…という気になってしまう方々もいるのではないでしょうか？もっと迅速な実行ができないのでしょうか？	本計画は、着手から決定まで3年をかけて積み上げてまいりました。広報紙にも平成26年12月号から、関連の記事を16回掲載し、情報提供を行ってまいりました。この上で説明会を実施させていただきました。また、この間市議会を通じての審議も得ながら進めているため、現状では最大限努力しております。ご理解をお願いします。
			3. 議事録の公開 今回開催された説明会の議事録を公開して下さい。議事録を用意することによって、出席できなかった方々と情報共有ができます。議事録レビューすることによって、何処迄理解し合えたのか？、今後の課題は何か？、宿題は何か？等々が明確になり、前進するには何が必要か？どうすれば良いか？が明確になると思います。また、前回、過去に話したことを再び繰り返すような不毛なループに陥ることが無くなります。	議事録については、出来る限り速やかにまとめ、市公式ホームページで公開しております。説明会はさまざまな方が参加されるため、どなたにも理解いただけるような内容で実施させていただきました。今後設置される検討委員会の進め方において、ご意見を参考にさせていただきます。
			4. 周辺また近隣の市との比較 周辺また近隣の市との違い説明したもの、また違いを比較したものがあると思います。所沢市、飯能市、日高市、狭山市等々と何処がどう違うのか？夫々、人口の増減がどう違うのか？それは何故？どうして？周辺の市ができて、入間市ができていないようなことがあるとしたら、それは何か？どうしてできないのか？隣の市も同じ問題を抱えていると思うのですが…一昨日、テレビで東京都中野区の中野サンプラザの立替の問題が報道されていました。類似の問題はあっちこっちにあるようです。	公共施設マネジメントの取組は、現代の全国的な課題として、国の問題提起を機に全国的に取り組まれております。しかし、各々の自治体で実情は異なるため、参考にはするものの、当市の取り組み方により検討を進めております。
			5. 不平等を助長するような統廃合は止めて… 今回、高倉地区と黒須地区を統合するという話がありましたが、また、質問された方がいたように記憶していますが、何故、黒須に統合することを選択したのか？高倉地区からは、市会議員が出ていないから、（黒須地区から市会議員が出ているかは知りませんが）忖度が働かないという声もありましたが、本音は何なのでしょうか？本当に市会議員がいないから、高倉を犠牲にすれば良いとの考えなのでしょうか？市議が居ない地区からは、市議会で声を上げる市議が居ないからという判断なのでしょうか？何故、小学校は黒須統合、公民館は、高倉統合というような住民への思いに配慮するということができなかったのでしょうか？また、ニ案、三案を検討し、住民に選択して貰うというアプローチはできないのでしょうか？	この計画は、「公共施設等総合管理計画」で示した公共施設マネジメントの基本的な方向性を各地区の施設整備に当てはめたものとなっております。地域の特性や、これまでの地区懇談会等でのご意見を考慮した部分はありますが、その他の理由で計画が作られたということはございません。 黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 なお、高倉小学校跡地は公共施設としての利用を考えており、「高倉地区から公共施設がなくなる」という計画ではありません。
			6. 本当の当事者は誰か？ 小学校の新たな設置、建設に関して、上から目線では無く、児童の目線で考えているでしょうか？市長が欠席された説明会において、小さな子供さんが出席されて意見を述べたと思うのですが、この子供達にはどのように回答されるつもりなのでしょうか？実現に10年を要すると云うことであれば、当事者は、今日時点で未だ生まれてないし、対象となる児童の両親も、現時点では、高倉に住むかどうかも解らない訳で、今から10年後、高倉に住まいを求めようとしたら、保育園も小学校も公民館もな無い地区だとなった場合、果たして、其処に住まいを求めるでしょうか？これは、今から30-40年前に、住まいを捜していた自分達のことを振り返ってみても明らかです。小学校が無ければ、高倉に住まいを求めはしなかったと思います。	黒須小学校と高倉小学校については、地域の中間地点に用地を確保し、移転新設をした上で、第2期に統合することとしております。統合に向けては、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 なお、高倉小学校跡地は公共施設としての利用を考えており、「高倉地区から公共施設がなくなる」という計画ではありません。
			7. 高倉と黒須の両方を存続できる方法はないのか？選択と集中は古い考え方… 何故、高倉地区の小学生を黒須地区の小学生を一つの建物に押し込む必要があるのでしょうか？現存する小学校の場所、またそこにある建物を有効活用することができないのでしょうか？児童が減って、教室が空いた処には、別の施設を、それこそ、市役所の機能を分散させるというのは、如何でしょうか？説明会では、新たな地域コミュニティというものを設立して云々…という話がありましたが、これとこれ迄あった公民館と何処が違うのでしょうか？ 処で、インターネットの当初の目的を御存知ですか？当時のシステムの発想は、大規模な大型コンピュータを用意してネットワークもこの大型コンピュータに接続した集中型で、この設置拠点が災害に合えば、システムダウンとなる。これを防ぐためにバックアップシステムを用意するが、距離的にそれ程遠くに設置できず、切り替えにも多少の時間を要するため、本来のバックアップとして機能しない。これを解決するために考えられたのが、インターネットの仕組みです。ネットワーク上には、一昔前のような大型コンピュータ所謂メインフレームは無く、サーバーと呼ばれる中規模のコンピュータがあっちこっちに分散して接続されクラウドというサーバーネットワークを形成し、何処かのサーバーが幾つかダウンしても他のサーバーが処理を継続し、また引継ぎます。事業計画では、選択と集中と云っていましたが、これはコンピュータネットワークの世界では、一昔前の古い考えかたです。今は、分散と(インターネット)ネットワークの時代です。この考え方を事業計画に取り込んでは如何でしょうか？高倉も黒須も残して、規模を縮小適正化する。一つの小学校が高倉と黒須に分散しては不便と云うのは、古い考え方だと思います。事業計画に書かれているように、IT技術を、またインターネットを駆使して実現できないでしょうか？分散によって、児童の新たな通学距離の問題は無くなるし、災害対策も高倉地区と黒須地区、同様に他地区も存続することで、何処が災害にあっても、全滅しない限り、他の安全な地域がカバーすることになり、想定外の災害にも対応できることにならないか？	黒須小学校と高倉小学校については、地域の中間地点に用地を確保し、移転新設をした上で、第2期に統合することとしております。統合に向けては、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 現在の教育制度が分散とネットワークに対応していない以上、施設のみ、それに対応することは難しいものと考えます。
			8. 地域活動をリード 他の市の機能も、市役所を同様で、大きな市役所を一箇所に新たに建設するのではなく、既存の小学校中学校等の空きスペースを活用する。膨大なお金を掛けて建設しても、想定外の災害が来て崩壊したらと…考えた場合、既存の地域に点在する建物を活用して、また、小規模な建物を足しても構いませんが、分散することで、地域に密着したサービスを地域内の距離間で提供できる。災害があった場合は、災害を受けなかった地域が一時的なバックアップを担うという考えは如何でしょうか？	市役所については、法令（地方自治法・都市計画法など）により建設できる場所が限られています。特に市街化調整区域には建設することができません。この上で、市役所庁舎が、災害後も引き続き使用できることが最も望ましいことは明らかであり、建替えに際しては、免震構造（地震の揺れを吸収する装置を取り付ける）を採用し、大地震後も引き続き使い続けられることを目指しています。 市役所でお預かりしている様々なデータ等は、クラウドで管理するなどして、バックアップ体制を、すでに確立しております。
			9. 選択と統合は何のため 事業計画にある選択と統合という政策ですが、これは誰のための政策なのでしょうか？選択と統合を実施することに拠って、使用されなくなった土地及び建物を最終的には売却し、市の税収減をカバーすることを考えているという話を耳にしましたが、本当でしょうか？本当だとして、その収支計算はどのような状況なのでしょうか？	この計画は公共施設の老朽化と、今後の人口減少、少子化・高齢化、厳しい財政状況を背景としています。老朽化していく公共施設を安全に快適に使っていただくためには、費用をかけて改修をしたり、建替えたりしないとなりませんが、現状の施設数を維持し続けることは困難であり、現段階で「選択と集中」という考えのもとに見直しを行わないと、将来の市民に大きな負担を残すことになります。 なお、現在の事業計画に沿って統廃合や複合化を行った場合の財政見通しは、計画書のP100～104にお示ししております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
16			以上、纏まりが無いかもしれませんが，御理解戴けたでしょうか？地域毎の要望を聞き入れて欲しい。児童の登下校の距離と時間。お年寄り、身体の不自由な方も同様です。これを実現するには、地域分散が必要だと思います。それを纏めるのは、新たな建物で統合するのではなく、ネットワークとITの技術で実現することができる。新たな巨大な建物を建て、統合を図るのは、将来予測が違った場合、想定外の災害に対して、柔軟性を欠くことになり、新たな人的災害を産むことになると思います。30年後を想定して、器、建物を検討するのではなく、もっと短いSPANで検討するべきだと思いませんか？何か想定外のことがあっても、何時でも再検討ができる、再出発ができることが重要だと思います。 個別での回答はせず、ホームページに回答を掲示するとありますが、ホームページの回答が掲載されるページのURLをメール等で連絡戴きたくお願い申し上げます。市役所の方々にとっては、何等問題ないホームページでしょうが、何度見ても捜し難いホームページです。今回初めてパブリックコメントについてホームページを覗きましたが、過去のパブリックコメントの対象となった案件の市民からの質問と要望は、また、それに対する市長からのまた市役所関係部署からの回答は何処にあるのでしょうか？	公共施設マネジメントは、市民生活にとって影響の大きい重要な政策です。そのため、計画も立てず、市長の意向で統廃合などが行われるということになると、混乱が生じるのではないかと考えています。他の行政計画もそうですが、市政が市民と行政の約束のもとに安定的に運営されるためには、市長の任期に関わらず、長期的な計画が必要と考えます。 この計画は30年間の計画であり、それを3期に分けて構成しております。公共施設の統廃合は、市民生活にも大きな影響を与えるものであるため、長期的な計画をお示しすることが市民の生活設計にも必要であるため、30年間としました。 また、施設の建替えなどは時間と膨大な事業費がかかるものであり、計画的に行わないと実現ができないことも理由の一つです。 ただし、社会情勢や市民ニーズの変化を予測することは難しいため、5年ごとの時点修正や10年ごとの計画の見直しを行うことも規定しています。
17		野田中、西武中、統廃合の件について	1月26日（土）西武小での説明会に参加しましたが、西武中に通うことになる理由が、まったく理解できません。時代と共にいろいろな対応をしていくのは、当然の事と考えておりますが、去年の野田中への統合という案をひっくり返してまで西武中へ統合する。意味が分からず西武中へ行く事の魅力も一切感じる事が出来ず、矛盾だらけの説明会で、時間のムダと感じ、入間市が残念な市であることのみ感じました。説明会から、短期間で結果を出そうとしている事。十分な話し合いが持たれない事、老朽化を第一に掲げているのに、老朽化していて、すでに改修工事や建て替えが必要になるまでの期間が短い校舎を利用している事、小・中学生にはあまり意味のない、公共交通機関の利便性等理由にしている事、不満しかありません。あの説明会で納得した人が何人いるでしょうか？？？野田中建設工事の際、現在の場所ではない所から移動させて、飯能市との境に学校を建設したこともおかしな話で通学するのは、子供達であって、大人が勝手に自分たちのいいように動かしているようにしか見られません。大都会でこんな事をすれば、事件になるくらい、何か大きな力がはたらいているとしか思えません。ちょっとした反対意見に市政がひっくり返るとは、おどろきです。こんな大切な事、長い時間をかけて、じっくり考え、会議した末の案（野田中に統合）だったのではないのでしょうか？？？新光地区に新しい家がどんどん建とうとしていますが、これをきっかけに人口の減少が進む事でしょう。入間市が住みやすいとは、誰も言わなくなります。むしろ、悪いうわさが大きくどんどん広がり、出ていく人も増えると感じました。この状況にまったく！！一切！！納得しません！！通学路危険・部活朝練遠くて時間なし。学校に通うのは子供達です。言いたい事、書ききれません！！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
18		野田中廃止の件について	今、入間市は強い者に弱く、長いものに巻かれる、都合の悪い事はどんなことをしても隠そうとしている。市民からはそんな風にしか感じられない。そんな事では、今後子供達が入間市を背負っていけるのでしょうか？大人の都合の良いように学校を変えられ、通学するのは子供達です。心も体もこれから成長していく子供達の環境を整えてあげるのが、私達大人の役目ではないでしょうか？少子化問題で多くの学校を維持していくのが厳しいというのであれば一歩踏み出した小・中一貫義務教育学校という案はありえないのですか？現時点で児童数が増える事は考えにくいと思いますが、西武中があふれ野田中を造り、児童が減ったから、又、西武中に行けと、どれだけ子供達を振り周しているのですか？西武中しかなかった時代はそこへ通うしかないですが、H1年より野田中を造り、充分な児童数をかかえ、校舎が新しいにもかかわらず、古い校舎へ通わなければならない意味が全く分かりません。こんな大切な事をたった何ヶ月で決定させているのは、何が動くのですか？話し合いもたったの3回程で児童・保護者共に納得していると思いますか？大多数が野田中廃止に反対しています。古～い考えは捨てすべき！！	この計画は、3年前から協議を重ね、市民のご意見も把握した上で、その結果として策定しております。 また、説明会や本パブリックコメントでのご意見を踏まえ、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
19			野田中学校が廃校になる事に反対です。ですが、もう変える事が不可能であれば、少し改善して頂きたい点があります。大量の生徒が、朝の忙しく混む時間帯の移動は危険だと思います。 新光方面の生徒達は非常に通学が遠くなるため、安全面を考え、バス通学にするべきだと思います。朝は通勤・通学の方でバスも満員状態になるため、そういう方々の考慮した上で、バスを通勤等される方々と別でスクールバスを運行させると良いと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご意見については、その中で検討してまいります。
20	96	中学校統廃合	①計画当初、仏子中学校を廃校し野田中学校へ統合だったのが、なぜ仏子中学校へ統合する計画に変更となったのか歴史的背景だけでなく、経済的、教育的、地域的の3観点より具体的な説明を請願します。 ②特に教育的視点において生徒の学習パフォーマンスが最大となるのはどちらの学校かについて詳述を期待します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。 ※「仏子中学校」を「西武中学校」と解釈しました。
21		防災に関しての意見	防災に関しての意見です。 西武地区の野田中廃止の件ですが、西武中エリアは市内の震度分布図を見ても、最大予想のエリアになっています。また、土砂災害警戒マップでは、土砂災害警戒区域のすぐそばにあります。そこに新しく中学校を建てるべきなのでしょうか。他のさまざまな事を考慮しても、○○確保すべきは財源よりも安全面ではないでしょうか。何よりも西武中になった時、子どもたちの水害、土砂災害時の安全確保○○心配です。想定外だったでは済まされません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 ※判読できなかった部分を○○と記載しました。
22		西武中学校と野田中学校の統合について 5.地域別事業計画　西武地区施設の利用状況、需要の中学校（41）（43）（44）	＜西部中学校と野田中学校の統合について＞西部中学校と野田中学校の統合は反対ではないが、西武中学校の活用は絶対反対です。財政難を優先するのか、子供の命・安全を優先するのか全て理解できない。＜理由＞☆子供の安全を一番に考えられていないため。1西部中が、生徒数の適性規模を下回っている理由での統合であるのに対し、なぜ人数が多い野田中が、西武中に通わなければならないのか。野田中側の300人以上もの児童が、同時刻に踏切り、入間川、狭い道路、仏子駅に向かう車、人々の大渋滞の中、登下校することの交通事故のリスクが非常に高くなる。災害時の川の氾濫、土砂災害など、どれをとっても安全性は、確立されていない。野田中側の300人以上の児童が川の氾濫時、帰宅困難になるリスクが高い。子供の安全性を無視し、上の方々や西武中学校側の方々の強い圧力が働いているとしか考えられない。2野田中と比べ、築年数20年もの古い校舎への統合活用することの矛盾。新しい野田中を有効活用するのであれば理解できるが。＜改善案＞1野田中への統合活用。21が、不可能であれば、300人以上もの児童が安全に登下校をできるために、道路の大幅拡大（道路が狭すぎるため）、自転車専用道路、踏切りを渡る陸橋（自転車も渡れる陸橋）を設置し、通学路を整備し、児童の安全を確保する。安全確保ができない限り、子供を安心して通学させることはできない。32が不可能であるのならば、地区の中心地に、新たに中学校を建設。野田中側、西武中側の生徒、保護者が互いに納得できるような場所。安全に通学できる場所に新校舎を建てる。新校舎ができるまでは、野田中、西武中2つの学校を現状維持のまま活用し、建設後統合であれば理解できる。以上、西武中学校への統合、活用は断固反対です。☆安全を確保され、受け入れ体制が整わなければ、断固として子供を通わせることができない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
23	95～97	西武地区 2. 施設の再整備再配置に対する考え方、方向性	西武中学校と野田中学校を統合し、野田中学校を廃止することについて →野田中学校に移転することはできないか。 ・築年数が野田中学校は30年（西武中学校は53年）であり、早急な建て替えが必要ない。 ・生徒数も圧倒的に野田中学校の方が多い 他の地域は、生徒数の多い方に移転の予定になっている。 大勢の生徒（小中学生）が一斉に仏子駅を過ぎ踏切をこえることに事故のリスクが高くなるのではないか。実際に学校の配置を決定する前に、道路、交通、見守り体制の対策をどうするのか、具体的に示すのが先ではないか。 ・1/26の説明会で西武中学校を残す理由を聞いたが、予盾を感じる返答ばかりで、到底納得のできるものではなかった。 ・野田、新光には、新しい家が建ち続けている。小中学校が近いという理由で越してくる人も多いと思われる。 →中学校名は、歴史の古い西武中学校の名前を残し、場所は、地理的に安全な野田中学校にできないか。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
24	96	野田中を廃止し、西武中へ統合について	野田中廃止、西武中へ統合について ・西武中周辺の通学路の歩道が切れている所があった。 ・ファミリーマート、セイムスの大きな交差点に歩行者用信号がついていない。 ・仏子駅踏切どこも狭く、又車も多い。一度に多くの生徒（徒歩と自転車）が渡るのに危険ではないか。 ↳統合を決める前に、道路や交通の整備を　行うのが先ではないか！ ・西武中の敷地内に建て変えるとなっているがなぜ、山側・川のそばに建てるのか 野田中廃止し、西武中へ統合について →当初の予定であった野田中へ統合に戻してほしい。 又は、一時的にでも野田中へ移転し、その間に交通の安全面についての対策を行ってほしい。 ・西武小、2/8西武公民館での説明会に出席しました。 2/16の西武公民館の説明会は、どうしても子供の預け先がなく出席できませんでした（このように説明会に出席したくても、行けなかった人達がいることも知ってもらいたいです。） 2/8の説明会で、仏子小・西武中にお子様がいらっしゃるお母さんの“一時的にでも野田中に移転してほしい。中学名はどれでも構わない。それほど危機的な状況である。”の発言に、より一層西武中には通わせたくないと感じました。 西武中の名を残したいというのも理由の1つでしたら、西武中の名は残し、場所は安全な野田中にして頂きたい！ 西武中を残すことの理由に“決め手はない”と役所の方はおっしゃっていました。これだけ反対の声も上がっているのに、それを反映してもらえないのが不思議でたまりません。不信感が募るばかりです。最後にはパブリックコメントで意見を出して下さいとなるので、こうして書かせて頂くので、ぜひ読んで、公表して、対応して、反映させて下さい！ 市民の声を聞き、反映させるのが役所の仕事だと思います。 私共は、税金を払っています。ぜひ声を聞き、反映して頂きたいです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
25	33	第3章（地域別対応施設）	少子化による市内小中学校、統廃合は母校がなくなるという寂しさもあるが、9地区に1つずつとした場合、廃校になった施設の活用について意見があります。先日、所沢市生涯学習推進センターを利用しました。学校の中はリフォーム等余り手をかけずに使っている印象を受けました。利用者の方々が明るく元気に活動されているのを見て、地域のコミュニティの中心として集える場所になるような利用の仕方もいいと思いました。（駐車場も広くて良かった）地域住民と対話を重ねて、市民から活用しやすい公共施設として使ってもらいたいです。	母校がなくなってしまうことへのご意見は、これまでに複数いただいています。 学校の統廃合の際には、再度ご意見を伺う機会を検討しています。 所沢市の事例については、今後の参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
26	96 97		子どもの減少で中学校を統合することは仕方のないことだと理解はできる。だが、なぜ人数の多く、通学路も狭い西武中に行かなくてはいけないのか全く理解できない。市の説明を聞いても歴史的背景は野田中にもあり、利便性は電車やバスを使う訳ないのだから理由になっていない。 そして通学路の安全確保や具体的な考えも説明もないまま、ただ統合すると言われても納得できる訳がない。 そして3年後という早さも意味が分からない。野田中の方が新しく設備も整えたのなら、もう20年はもつのだから野田中の方が逆にお金もかからないはず。工事をするにしても西武中付近は住宅街で迷惑もかかるのに野田中は畑なのだから、広くもできるし、そこまで迷惑もかからないのではないのだろうか。新光付近に新しい家も建ち始め、住民が増える可能性がある。小中学校に合わせて家を買った人も多くいるはず。現在、小学校、中学校に在籍している保護者だけではなく、幼稚園や保育園に預けている保護者にも説明すべき。もっと周知させるやり方があるのではないか。やり方がとても民意に沿っているようには見えない。市が管轄している地区体育館などを改良して小中学校等に変えるとかいくらお金がかかるといっても小中学校は子どもや親は選べないのだから安全な場所に作るべきだと思う。学区も作らず選べたり、もっと予算など具体的なものを出して説明すべき。市役所の勝手な提案で子どもたちの負担や不安を作らないで欲しい。一部の人の意見だけで決めて欲しくない。野田中を売却するより西武中の方が駅近なのだから高く売れるはず。 市の職員は通学路を歩いたことありますか？実際子どもの立場で全て経験してみて下さい。危険の認知が低すぎる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
27	96 97		もともと西武中学が廃止、野田中が存続ということだったのに、突然計画をすり替える事はおかしいです!! ☆せっかく公共マネジメント事業というステキな事業を行うなら西武地区、仏子地区どちらの市民にとっても平等かつよりより物にするためにも、 　今は小中一貫教育というスローガンのもと取り組んでいる時代なので、野田中西武中どちらの…とかではなく、仏子地区そして西武地区、それぞれの、小学校もしくは、中学校を利用し、両地区それぞれに小中一貫の学校を新設し、よりより教育になるように目指してほしいと思います。 （スクールバスは朝練や放課後も遅くの人にも対応できない限り） 　とにかく、子どもの自転車通学は絶対に反対です！ ☆もしくは、以前野田中の建設予定地だった場所を地盤をしっかりさせた上で、両地区の中学を統合し新設する事を望みます。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
28	96 97		野田中廃止に納得していません。 ただ、逆を考えた場合、仏子方面から野田中に来るのが大変なことも分かります。30年後の未来は明るくあってほしい今の子供たちが子育て世代になった時も入間市に住みたいと思っていられるような市であってほしいと思います。そして、未来だけでなく30年前と変わったところも考えて頂きたいです。昔に比べ、子供たちの負担は増えています。交通状況もちがいます。 西武中の方が歴史的背景と公共交通機関に利便性があるのは分かりますが、生徒数は野田中に通う子の方が倍以上多いのが現状です。お隣の狭山市立入間小学校も創立137年で廃校していますよね。公共交通機関の利便性については今まで野田中でも問題ないと思うのですが、、大会や先生方の通勤等ですか？今後の通学を見越してでしょうか？ 利便性を考えるのであれば、公民館と西武中の場所を入れ替えれば、中学校は真ん中になります。野田中を地区センターや地区体育館として利用し、今の体育館の場所に中学校を建てるのはどうでしょうか？ゆくゆくはどの施設も建て替えとのことですので、西武地区全体として再度施設の配置場所を考えるべきだと思います。 あくまで理想論になってしまいましたが、現実的に移転、建替の財源を考えた時、やはり野田中を存続するのが有利かと思います。そもそも3年後に急ぐ理由は何でしょうか？クラス数の減少による教師の人数築年数等どちらかといえば西武中が困っている感じの印象を受けます。他の地域では児童数が大きく影響ともききました。西武地区は逆ですか？ 跡地の利用も売却とのこと。野田中はドクターヘリの離着場所にもなっています。避難場所にもなっています。河川の氾濫で洪水等の危険の際は川は渡れず、西武地区体育館のみで受け皿は足りるのでしょうか？売却とはどのようなことですか？建物はそのまま民間にですか？ そして、もし西武中に通うことになった場合の通学路について、 安全面が親として一番気になるところですが、西武小で行われた説明会では、安全性の確保等まだ具体的には、、というお答えで正直残念でした。同時にびっくりしました。どちらか決まったら考えるというのはおかしくないでしょうか？ 朝、上橋を通る子はほとんどいないと思いますし、中橋を300人もの生徒が通らなくてはなりません。他にも通勤通学の人もいます。 10年後の計画ですと仏子方面から西武小に来ることになる予定ですが、そうなるともっと沢山の子どもたちが通ることになります。 歩道の整備や信号機の取り付け予定はありますか?自転車通学の場合30年前とは交通量も違います。自転車と歩行者の事故も増えています。 冬の帰りは暗くなる時間になりますし、心配です。 1番遠いエリアから登下校時間に歩いてみたりされましたか？自転車エリアから通う子が何人くらいになるのか考えられていますか？イメージの湧く説明をして頂かないと納得できません。ビジョンをみせて下さい。 川があり、端と端なので住民の対立、意見のとりまとめは大変な事は分かりますが、野田中が出来たころより北へ住宅地も増えていますし、住宅の数を半径1キロ圏内の距離で決めないで頂きたいです。 何卒よろしくお願いします。 子育て世代が転入してくれる魅力ある市をまず作って下さい。期待していたいです。 さいごに、6月の説明会で生徒児童のアンケートを検討するとの話もでてましたが、アンケートはされたのでしょうか？8月の説明会に出ていないので気になっています。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 アンケートについては、平成30年度の小学6年生と中学3年生を対象に、平成30年7月に実施いたしました。なお、アンケート結果については、市公式ホームページで公開しておりますのでご参照ください。
29			厚真町の地震があり、娘がしくしく泣いているので、自宅周辺の震度分布は見た事がありましたが、改めて西武中周辺の震度分布を確認させて頂きました。想定されている立川断層が活動した場合、西武中は震度6強、野田中は震度5強とのこと。だけれど西武中を残し、野田中は売却、頭の中が疑問だらけです。本当に地震がおきたら、西武中は避難所として機能するのでしょうか？第2期には仏子小も無くし、仏子地区の防災拠点は本当に大丈夫なのでしょうか？先日、西武中近辺も歩かせて頂きましたが、周りも狭い道で車がすれ違うのもどちらかが待ってという道ですよね。歩いていても車がスレスレでした。今まで何の問題もなく西武中が運営できているということは大丈夫なのでしょうが、これから先、ここ数年良く耳にするこれまでに経験したことのないような災害、地震が起こった際、緊急車両はきちんと通れるのでしょうか？スクールバスも通れるのでしょうか？そして、西武中は第2グランドがドクターヘリの離着陸場所にもなっていますが、第2グランドに行くのは、川を越える、階段で。救急車入れませんよね。考えれば考えるだけ疑問です。命を守る・・・って何なのか。最後にもう一点、野田中、仏子小の売却は、更地にするのですか？上物はそのまま売るのでしょうか？疑問（質問）ばかりになりましたが、お答え頂けますようよろしくお願いします。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。
30	34～38 95～97	第3章地域対応施設 2. 小学校・中学校 第4章（西武地区） 2. 施設の再整備・再配置に対する考え方・方向性 ●第一期（2019～2028年）	口西武中学校と野田中学校の統合について 「歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性を考慮し、西武中学校を活用」と書かれているが、これだけでは決して納得いく説明にはなっておらず今の段階では統合に賛成できません。 市のホームページを見ると、公共施設の「老朽化」を問題視しておりコンクリートで造られた施設は寿命50～60年とありこの事からすると寿命時期にある西武中学校の建て替えが必要ではないかと思う。 また、通学路と想定される道について、入間消防署西武分署付近交差点から中橋付近歩道が狭くガードレールが片側にしかない、橋を渡った後の歩道が狭い等安全性にかけ、新光地区（西武仏子ニュータウン）方面から通う生徒の安全確保ができるのか不安がある、これは逆に野田中学校にぶし駅方面から通う事になるかもしれない生徒達にも同じ事が言えると感じている。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。
31	96・97		・野田中を西武中に統合する歴史的背景、利便性が抽象的過ぎます。具体的に説明して頂きたい。 ・仮にスクールバスを検討する場合、野田中の生徒に対し手配するより、西武中の生徒に対し手配した方が経費的にも優利ではないでしょうか？ （手配するバスの台数、ドライバー等の人件費） 公的資金を投入する限り、無駄は認められません。 ・統合後に校舎、体育館を建替るとの事ですが通っている生徒の健康面は考慮されているのでしょうか？60年前の建物ではアスベストなど健康被害の原因となり得るのではないでしょうか？まず徹底した調査を要請します。 ・中学校を中心に半径1km範囲の子供の数を比較したと伺ったが、妥当性が全く無いと思います。（片や住宅街の中の施設で片や田畑の中の施設の為）西武中を存続させる前提の資料作りは即刻やめて頂きたい！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
32	96 97		西武中、野田中の統合について、西武中を活用するということですが、歴史的背景と公共交通機関も含めた利便性を考慮とはどういう事でしょうか？ 生徒は、公共交通機関は使用しません。通学路は駅に向かうため交通量が多く、大変危険です。スクールバスの導入を決めているのであれば、理解できますが、そのような道を毎日通学させるのは親としてはとても心配です。 1月26日の説明会では、場所が決まってから、対策をすると言われましたが、何も決まっていない状態では、不安ばかりで、とても賛成することはできません。 もう1つの疑問点は、統合してからの校舎の建替をするということです。生徒が移動してからの工事では、部活動などの学校生活が制限されることが考えられます。建替をして、受け入れ体制を整えてからの統合が、生徒の学校生活のためにしなくてはいけないと思います。 今の計画のままでは、通学環境、学校生活、生徒への負担が多すぎます。 お願いです！子供たちのことを一番に考えて下さい！	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。
33	96	2項目目	西武中学と野田中学の統合について 確かに、この地域での中学校は地域の端にあり統合を考えるうえで非常に苦慮するとは思う。 ただ、西武中学へ統合するのは理解に苦しむ。 なぜなら、野田中は生徒数が倍近く多い。 築年数は野田中が30年余りで、改修や建て替えなど当面は考えずに済み費用面からみても明らかに野田中が有利。 歴史的背景を理由にしているのはこれからの入間市民となる子供らに対し、なんの説得にもならないと思われる。 交通の利便性については公共のバスを利用し、新光地区から仏子駅へ向かう・仏子駅から野田中付近のバス停まで向かう、どちらもそれほど変わらないと思う。 野田中が多角的に見ても明らかに統合には適していると思う。 最後に、防災時の拠点とのことだが、西武中は取り壊し、体育館とグランドの一部をその拠点とするべく残せないか。地域の交流場所ともなるだろう。通学の問題はこれからも協議してほしい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
34	76	小学校	・「小人数教育へ」という世界の教育界の流れがあるにも関わらず、財政難と少子化という理由だけで小学校を統廃合するというのは、全く合理性に欠けていると思います。 ・仮に、公共施設の延床面積をどうしても減らしたいのであれば、10年以内に迫っている黒須小学校と高倉小学校の建替え工事の際、児童数の減少に合わせて延床面積を3割減らせば良いでしょう。 ・地域の絆、コミュニティの維持のためにも、是非、高倉小学校は残してください。	財政的に現在の施設数を維持管理していくことは難しいため、施設数を減らすことにより、結果として延床面積が3割減るというものです。 なお、黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。
35	17	計画期間	「素案」をもとに「原案」をつくるまでに約一年間をかけて市民に周知（？）し、意見を聞いてきた訳ですから、「原案」をもとに「成案」をつくるには少なくとも三年間をかけて市民に周知し、ていねいに意見と要望を聞きとって計画に盛り込んでいただきたいです。わずか2～3ヶ月で計画を確定するのは、余りに性急で乱暴ではないでしょうか？	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。全てのご意見が反映できるわけではありませんが、30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定させていただきます。
36	95 96 97		○この計画を3月に決定するのは性急すぎ、住民は納得していません。住民主体で計画を見直すべき、住民投票を希望します。 ○現、野田中学校の存続を求めます。 ○仏子ニュータウンの大勢の子供達が朝一斉に登校するとなると危険です。仏子駅までの道は他の通勤・通学・西武小通学の人達と一緒になり道幅も狭く大変危険、悪天候の日にはもっと事故のリスク大です。 「スクールバスを検討」するならば人数の少ない南側の学生が、野田中への登下校に利用した方が現実的である。 ○西武中存続の場合の校舎・体育館の建替時期が、統合から時間が空きすぎである。古い校舎で、この間に災害が起きたらどうするのか、それよりも新しい野田中を残して耐震性を補強した方がコスト面から考えても効率が良い。 ○仏子ニュータウン住民は「西武小は遠くて不便だが、野田中が近いから」という理由で引越してきた者が多い。最近では子育てを終え、高齢になり出ていく住民も多い。この地区は住居中心の地区であり、野田中が廃止されたら新たに越してくる者もおらず衰退していく一方であろう。現西武中地区は仏子駅周辺であることから、将来的に商業施設として発展出来る可能性も持っている。野田中を廃止すべきでない。 ○西武小の保護者からは、「数年後に、危険な通学路を、時間をかけて、古い校舎の西武中へ通うことになるのならば、仏子駅から電車で私立中学に通わせた方が安心、安全だ」という声も聞こえてくる。地域の子供達が市外へ流れて活気も無くなり益々入間市全体が衰退すると思われる。この計画を、まず、住民主体で見直すべきである。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、西武中学校と野田中学校の統合方法について住民投票を実施する考えはありません。
37	95.96. 97	西武地区	田中市長は「安心、安全を最優先する」とおしゃって下さいました。私は市長を信じたい。今回の計画案のまま決定に至らない事を望みます。説明会に参加した際に、仏子駅の線路で通学中に死亡事故が起きたことがある、と教えてくれた方がいました。このままでは再び同じことが起きかねないです。西武中学校を活用、野田中学校を活用、どちらに決定しても子どもたちは危険にさらされます。今回の無理矢理な統廃合計画の見直しをお願いします。 6年生、中学3年生にアンケート調査を行なったとの事、統廃合に関係のある学年の子どもたちに再調査をして下さい。それとアンケートの質問数が多すぎ、分かりにくいです。もっと簡潔に！	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
38	96,97	西武地区	原案P34に児童・生徒の安全を最優先という見直し方向が記載されています。 西武中に統合になった場合、その安全が確保されません。西武地区に住んでいる人は、中橋を渡ってから、仏子駅あたりの道は細くて車通りも多く危ないというのは共通の認識だと思います。その道を多くの通勤者に混ざって登校するのはあまりにも危険すぎます。配置が決まってから問題の対策を講じ、地域と協議していくと案にはありますが、それでは遅すぎます。解決できないことはどうするのですか？西武中への統合理由が歴史的背景、公共交通機関の利便性。だれが公共交通機関を利用するのですか？生徒は登下校に誰一人として利用しません。歴史的背景？生徒たちの安全より大切ですか？もっと子どもたちのことを考えて下さい。この案が通るようなら、本当に入間市にがっかりします。住民は明らかに野田中に統合に賛成の方が多いです！！住民投票して下さい。逃げないで下さい。住民は怒っていますよ。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、西武中学校と野田中学校の統合方法について住民投票を実施する考えはありません。
39	96,97	西武地区	小学1年、2年の子どもを持つ母親です。西武中へ野田中統合は反対です。通学が危険すぎます。野田の交差点から中橋を通り、西武中への道、西武中へ統合されるとなれば野田の交差点は西武小の約7～8割の子が通り、中橋は9割の子は（もっと多いかもしれません）通ることになります。それに加え、小学生、通勤者、高校へ通う子など、多くの人が通ります。通れると思いますか？私は思いません。2/16の説明会で市長以外市役所の方は誰一人行ったことがないとおっしゃってましたよね、分かるはずありませんよね。議事録でも大分前から指摘されてましたが…誰も見に行かない、信じられません。視察に行っている場合ではありませんよ。まず入間市を見て下さい。子どもの命がかかってるんですから！！市長も市民の命を第1に考えると言いました。その言葉を守るなら野田中の子を西武中に通わせるという考えはありません。野田、新光地区の多くの人が反対しているのは、中学校が遠くなるからということではないんです。道が危なすぎる。中学校はがけ崩れの心配がある。子どもたちの命が守れないからです。市の仕事はいったい何なんですか？西武中に統合というなら、道を整備し、安全な場所で教育して下さい。子どもの命を犠牲にしてまで進めることですか？このままでは絶対に交通事故で子どもが犠牲になります。やめて下さい。1度、地域の人たちが危ないと訴えている道を見てみて下さい。それでも強引にこの案を通すようなら入間市に未来はないと思います。あと、決定してから安全策を考えますとかいう答えはふざけてますから、市民を何だと思ってるんですか！！決める前に考えて、それから決定でしょ。あとから出来ないでは困りますよ。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、安全性を第一に考えた上で、地域との協議の中で検証させていただきます。
40	96,97	西武地区	中学統合先が野田中がいきなり、西武中に変更になりましたが、理由が明確ではありません。歴史的背景と公共交通機関の利便性が理由だと案に記されていますが、一体誰のための中学校なのでしょうか？生徒のために考えた案がこれですか。全く理解できません。野田中の方が地理的に安全（洪水、土砂くずれなどの心配がない）ですし、通学もどう考えても西武中に通うより安全です。生徒数も多いです。校舎も新しいです。何かデメリットがありますか？お金がないというなら新しい校舎をまだまだ野田中校舎を使って下さい。以前、どうせいつかは立て建えるのだから、西武中でも一緒だと言われてましたが・・・市民をバカにしすぎです。西武中にする理由を無理矢理探すのは止めて下さい。誰も納得しません。市長がでてきて説明しないのならリコールしますよ。誰かがマスコミにリークして悪評が立ってしまったら、入間市の評判ガタ落ちです。それくらいヒドイです。こんな強引なやり方、ひきょうです！！	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。
41			■公共施設マネジメント事業計画（原案）について 1、公表からパブコメ、市民説明会までの周知期間や資料の提供方法が不十分。公表から1か月余りで、パブコメ、市民説明会を行い3月には計画確定となっています。100ページを超える資料が、ホームページまたは閲覧で意見を表明すること。2月の市報で概要版が出されましたが、市民説明会は当日配布です。3月に計画確定とされているが、パブコメ・市民説明会終了後の短期間で市民からの意見をまとめ・計画に反映させることは、市民への再度の周知期間が保障されません。3月確定を急ぐ必要はありません。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。全てのご意見が反映できるわけではありませんが、30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定させていただきます。
	18		2、地域区分について 9地区の地域区分について、市民は十分理解、納得していません。自治会をはじめ地域の各種団体、学区などがどうなるのか不安を抱えています。見直しが必要です。	9つの地域区分は公共施設の統廃合の目安として設定したもので福祉圏域などを参考にしています。自治会の区分や学区をこれに合わせて再編しようというものではなく、学区については、統合の時期に合わせて見直しを検討することになるものと考えております。
	22		3、地区ごとの「まちづくり協議会」について 協議会といった組織の設置が必要とあるが、どんな組織を考えていますか。（委員の選出など）	原案では「まちづくり協議会の設置」を想定していましたが、計画では「（仮称）検討委員会」に変更し、学校の移転新設等を予定している3地区に、必要な時期に設置することとしました。
	30		4、1期で進める対象施設の選定理由について 機能別事業計画にある、次の施設を1期事業とした理由の説明を。「宮寺小と狭山小」「藤沢公民館と藤の台公民館」「西武中と野田中」「金子第一保と第二保」「宮寺保と二本木保」 5、二つの地域が対立するような原案の決め方は止める。 両地区住民の合意が図られる原案を提示すべき。（例：黒須公民館と高倉公民館の統合移転、高倉廃止や西武中と野田中の統合、野田中廃止など） 6、素案から原案が変更となった主な施設の変更理由は ①西武中・野田中統合で西武中廃止が野田中廃止に。 ②藤沢第一地区センターの「藤の台公民館」を地域運営とした理由（残すことは評価） ③藤沢保育所・第2保育所を当面維持 ④狭山小廃止が1案、宮寺小の統合・移転、2案、統合建て替えとなった	計画の時期については、園児・児童・生徒数、施設利用者数など施設の需要やサービス提供のあり方、施設の老朽化の状況を踏まえて検討したものです。 計画策定後の具体的な検討段階でも市民の皆さまへの説明や協議は随時行っていきたいと考えております。 素案を基にした地区懇談会や意見交換会などでいただいた地域の方からのご意見を踏まえ、庁内の関連部署を交えた検討結果を原案として取りまとめました。
	31		7、地区センターについて ①地区センターの概要や運営体制などの課題や運営が明らかにならないうちに、名称変更を先行するのは疑問、反対です。 ②6つの機能「公民館・支所・自治振興・防災・福祉の総合窓口・地域包括支援」を備えたワンストップサービスのできる施設、整備の概要や運営体制が平成31年度となっている。 ③名称変更を先行させることで、社会教育法により設置された公民館の性格や役割がどうなるのか示されていません。社会教育施設としての公民館がなくなるのではと危惧します。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。 地区センターにおける公民館機能の位置づけとしては、社会教育法および教育振興基本計画を踏まえて、平成29年度に策定された「公民館基本計画」を実現することを前提としておりますので、サービスや機能、組織を検討する際には、その前提に沿って具体化を図っていきたいと考えております。
	40		8、保育所 老朽化の再整備は必要と考えるが、1期で金子第一保と金子第2保を統合して、金子小学校に移転とあるが、敷地の広さ、学童保育所が2ある中で学校環境の悪化が懸念されます。	金子小学校への保育所の複合化については、2019年度に詳細な整備計画を検討する中であらためて検証することとしました。また、そのことを計画書に追記いたします。 ※「学童保育所」を「学童保育室」と解釈しました。
	37		9、学童保育所 小学校の再整備に合わせ複合化するとしているが、現状の学童保育室の狭隘、老朽化、指導員不足などの問題を急ぎ解決することが急務です。	学童保育室の諸課題については、「公共施設マネジメント」の取組と並行して、課題解決に向けた取組を検討してまいります。 ※「学童保育所」を「学童保育室」と解釈しました。
	64		10、学校給食センター 1期で建替えの検討、再整備・再配置に向けた課題として、給食事業の方向性を明確にしたうえで検討とあるが、現状の直営、小学校の自校方式は堅持するのですか。	小学校については、自校方式（直営方式）を維持する考えです。 中学校に給食を提供している学校給食センターについては、老朽化による建替えを予定していますが、建替えの際は、これまでの直営方式に加え、施設の建設や運営について民間活力を活用する方法についても検討します。両者を比較してメリットがある場合は、民間活力の導入も考えられます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
41	44		11、市民会館・中央公民館 ①耐震改修で実施してほしい。 ②1期で、産業文化センターホールの改修が完了した時点で閉鎖とあるが、その理由は。 産業文化センター業務を行いながら代替施設として、市民会館機能をどのように対応するのですか。 ③建替えは建築基準法上の制約から困難としているが、用途地域（第1種低層住居専用地域）（扇第土地区画整理計画と都市公園の）（制定時の市民会館の対応はどのような見解をもっていたのですか。	市民会館は、既存施設を耐震改修する方法を最優先で検討します。ただし、今後の調査や設計を行った結果、建替え（新設）と変わらない事業費が見込まれる場合は、移転新設、広域連携を検討することとしております。 市民会館は、耐震性能が不足しており、現時点では耐震改修工事を実施するために閉鎖しなければなりません。また、産業文化センターも老朽化しているため、改修が必要な状況です。市内の公共施設にある2つのホールが同時に使えなくなる事態を避けるため、市民会館閉鎖前に産業文化センターホールの改修を終える予定です。 市民会館の閉鎖中は、産業文化センターを含む他の公共施設や近隣自治体のホール、民間施設を活動場所の代替としていただくことになります。 法令上の扱いについては、建設当時（昭和46年）は、「公民館」として建設されたものです。ただし、現行法令においては、建物の仕様、使用状態を踏まえて「劇場」と扱われる施設です。「公民館」であれば、現行法にも適合しますが、市内全域をサービス対象とした「市民会館・中央公民館」は、現行法令上は、「公民館」には該当しないという見解です。
	99		12、財政計画について ①各期の事業計画の内容については、第4章「地域別事業計画」を参照とあるが、各事業費の説明が無くわかりません。 ②再整備・再配置を60年で建て替える試算をしているが、60年でなく延長も可能と考えます。 ③総務省単価を採用とあるが、建て替え時の各施設の規模、面積などをどのように決め試算したのでしょうか。 ④地区センターの整備計画がこれからにもかかわらず、改修、整備費を検討していますが算定根拠のどうなっていますか。 ⑤今後における財政上の実現の可能性を検証した結果、概ね担保できることを確認したとあります。今後の税や公共料金の市民負担増の見通しはどのように検討されましたか。	各地区の施設ごとの事業計画は第4章でお示ししています。 耐用年数60年については、計画をまとめる上での目安として設定しております。施設の規模などは、学校については今後の児童･生徒数の見込み、地区センターについては6つの機能を備えることを前提としたおおよその面積を設定して試算いたしました。 現在の財政見通しでは、公共施設マネジメントを実行するために税や公共料金の負担増をすることは想定しておりません。
42	97		まず、野田中学校廃止、西武中学校との統合について、地理的に見て距離が離れすぎている。大人の足ですら時間がかかり、路地も多く通学路の管理は無理。さらに細い路地で交通事故や犯罪の心配も絶えない。冬の日の短い日など夕方にはもう真っ暗。あなたの子供を通わせますか？ また、駅前、踏切、橋や生活道路であるため、慢性的に渋滞気味であり、そこにさらにスクールバスなど、さらに混雑の原因。事故の確率は上がり、住民にも余計な負担がかかる。住みたいですか？ 仏子小学校もそう、小学生の足で片田舎と違い交通量の多い、路肩もまともにない道を歩かせるのでしょうか？学区を通学可能な範囲を整理して校舎の規模を再設定して立て直すとか、まだ意見は出ると思います。 しっかり現場を見てください、誰も住みたくなくなります。子供のいない地域になります。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、安全性を第一に考えた上で、地域との協議の中で検証させていただきます。
43	96 97		野田地区から多くの子供達が登下校するとなると、今以上に交通量の多くなる場所 （ヤオコー前（アミーゴ）交差点） （飯信先の踏切など・・・） 安全面や周辺道路を毎日通る方達での渋滞問題についてしっかりと対策をしてから統合を考えてほしい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。
44	96 97		西武中まで通学となると、狭い道路や交通量など子供達にとって事故リスクが高くなると感じ、親として、不安なまま子供を登下校させたくはないです。 見守りの方々や、通学距離の長い子にはバス（無料）など、対応した上で統合を考えて頂きたいです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。
45	96 97		・昨年までは、西武中学校を廃止し、野田中学校への統合と聞いていたが、今年になって、逆になったのか理解出来ないし、説明がないのでは？築年数から見て、野田中学校への統廃合が妥当ではないでしょうか？ 西武中学校が60年を迎えるとの事を聞いているので統廃合はタイミング的に丁度良いのでは!!	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
46	96 97		築年数により建て変えが必要な学校がなぜ残るのか？土砂災害の危険もあるのに。人数の少ない方が残るのであれば、自転車であっても多数が遠くから通う事になります。当然危険も増えます。 中橋から直線の踏切は車のすれ違いも大変な時間。大きい踏切は更に距離が伸びます。 部活も野田中は多数が県大出場しており、吹奏楽に至っては市で表彰される程、有名にもなったのに名前がなくなる事にするとはどういうつもりなのか？今まで通り部活を頑張れば帰宅は真っ暗です。遠ければ保護者が見守り運動等するのも難しいですが、先生方や市の職員でやって頂けるのでしょうか？ 築年数、災害、部活動、子供達の安全、全てにおいて危険が増えるのは確実です。今までの計画と変わり西武中になるメリットが今の所ありません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
47	96 97		野田中学校を廃止し、西武中学校を残す理由が納得できません。築年数も多く改修や建替をすぐ予定しお金もかかります。 また公共交通機関の私便性は中学校では必要なく防災等の面を考えても野田中を残した方が建替も当分先の話であり、住民の人数や、道路等の交通状況を考えても価値のある判断と思われます。売却するには西武中の方が公共交通機関に近い点では良いと思う。 川を挟んで片方ずつのこす考え方よりも築年数浅く改修にお金がかからず防災の関点からも高台側にあること、道も広いことなど考え野田中を残すのが良いかと思う。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
48	96 97		・新光に在住しているため、西武中は大変遠いです。そのため、通学にバスor自転車でないと通うには時間がかかります。バスにかんしては、西武バスがあるが、義務教育であるのに通学にお金がかかるのは納得ができません。自転車にかんしては、野田中の生徒の方が多いので、川や踏切りをわたるのは、車道もせまく、歩道もしっかりしていないのに危険としか言えません。スクールバスを出しますと事業計画に入れて下さい。 ・西武中の建替の方が合併より後ですが、山側に建替をすることになるのでしょうか！？合併してからだと生徒数も増えて建替そのものも危険です。建替をしてから合併にして下さい。危険な場所に子どもを通わせられません。 ・西武中の制服より野田中の制服の方がかわいいので野田中の制服にして下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
49	5	公共施設マネジメントになぜ取り組むのか	いつ傾から、この計画に着手したのか不明だが、職員の方々は実に真摯にこの問題に取組んでいる。 仕事と言えばそれまでだが、頭の下がる思いがする。社会情勢や時代の変化、特に人口減少の推移からして公共施設の見直しはやむを得ないと思う。今後はしかるべき時に市長が決断し、諸施策の具体的実施時期、方法等々を広く市民に公表して欲しい。子供政策優先を第一に考えて欲しい 本来は学校区の問題も並行して検討すべきと思う（大変困難な問題）	この計画は将来の市民に対して負担を残さないために必要であると考えます。 学区については、学校の統廃合の方向性が決まった段階で、統合の時期に合わせて見直しを検討することとしております。
	9	藤沢第一地区藤沢公民館の施設の再整備について	藤沢公民館は地区センター化し藤の台公民館を統合するが、現状でも藤沢公民館は手一杯の状態にあると思う。地区センター化により6つの施設が一諸になるが、人的、物理的受入体制がどの様になるのかが必要。さらには駐車場の問題をどの様に考えるのか藤沢体育館はあれだけ広大な土地を有しており（借地）第1期の改修工事というだけで済ませていいものでしょうかもっと活用方法があるのではないか 藤沢公民館との駐車場並行利用等々。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。 駐車場については、藤沢地区体育館の活用も含めて検討することとします。
50	95 96 97	西武地区	ぼくの家からせいぶ中までは、遠すぎます。 じてんしゃにのっていくのも道があぶないです。のだ中にいきたいです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
51	95 96 97	西武地区	・入間市公共施設マネジメント事業計画に反対します。 ・野田中学校の存続を求めます。 ・この計画は市民の認知度が低く。行政側の市民への周知活動が大きく不足している。 ・周知が不足している状況での強引な計画の決定は間違いである。市は責任者と担当者を明確にして市民に周知し、再度市民に説明する事からやり直す必要がある。	本計画は、着手から決定まで3年をかけて積み上げてまいりました。広報紙にも平成26年12月号から、関連の記事を16回掲載し、情報提供を行ってまいりました。 西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
52	95 96 97	西武地区	2/8の説明会で、仏子小西武小の保護者の方の声を聞きました。現在の計画案のまま西武中へ統合されても安全面で大いに不安が残る、との事で、その後に自分自身も西武中学校へ見学に行ってきました。西武中出身で、現仏子小のお子さんの保護者の方に案内をして頂きましたが、同じくこのままの統廃合では危険だとおしゃっていました。まずは校内と通学路の安全を確保するべきだと、それには時間が必要だろう、3年後に現野田中学区域の子ども達がこちらへ通学する事は考えられないとの事。私自身もこの目で見て実感してきました。猪が出るとの事、川にブヨがいて刺されるとの事。西武中へは線路を越えないと行けません。3か所どこも狭くて古いです。現西武中生が通っている仏子駅の陸橋は狭くて古いです。自転車通学者は通れません。周辺の住宅は密集しており、変質者につれ込まれてもおかしくないな、と思いました。高齢者の世帯が多い様です。市説明会資料の「安全面で目が行き届く」現場をもう一度確認して考え直して下さい。西武中学校保護者の方々も異議を唱えるこの計画案を見直して下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
53	95～97	西武地区	統合の合理的根拠・理由により進めてほしい。 1　生徒数の調査 　野田中学校・西武中学校における3～10年後の推定生徒数 2　地理的要因 　西武地区における地理的に中心点は仏子駅北側であるが人口も加えて調べてほしい 3　各学校施設 　土地面積・建物（校舎等）床面積及び建築年次の比較 4　統合による経費 　野田中学校に増改築した場合の予算（建築費等） 　西武　　〃 　を比較してほしい どちらに統合した方がメリットが多いか？（建築費・維持費・生徒の通学etc）住民に理解できるかをお示しして将来に遺恨を残さないようにして頂きたい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 ご指摘をいただいた件につきましては、その中で検証させていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
54		西武地区	①2月8日（金）19時からの「説明会」に参加した者です。今回の質疑の議事録を作成し、2月16日（土）の説明会の時に事前に配布してください。また、2/8の出た意見・質問を公式な意見として取り扱って下さい。 ②今まで開催している説明会について「いつ」、「どこで」、「内容（ギジロク）」を明確にまとめて2月16日（土）の説明会の時に公表してください。（だれが主催していたのかもです。）（全部で何回開催したのかもです。） ③2/8説明会時に「最初は入間市のタタキ台の案として野田中を活用する方向性だった」とコメントがありました。（口頭のみ）この方向性が、いつ、どのように「西武中を活用」する案になったのか、2/16の説明会の時にパワポ資料にまとめて再度説明してください。（どのような会議・審議を経て、短期的・長期的な観点から方針が変更になったのか、具体的に示して下さい。） ④2月16日（土）の説明会の進行については、改善をお願い致します。質疑応答の時間を8割にするなど、柔軟な対応を考えて下さい。説明会に参加している市民が聞きたがっている事、感心を持っている事を重点的にまとめて2/16の段取りをしていただけるとお互いにメリットのある時間帯になると思います。（2/8と同じ資料で進行するのはNGと思います。追加資料を改版しボリュームアップをすると良いと思います。 ⑤2/8当日にA3ヨコの地図にて説明がありましたが、この内容も公式な資料とするならば、パワポにページ追加するなど、正式に説明して下さい。（2/16に対応希望です。） ⑥「入間市公共施設マネジメント事業計画」（原案）　平成31年1月　入間市　上記の内容で野田中ではなく西武中を活用する案を認識しました。今年の4月に子供が野田中に入学する予定ですが、2022年に野田中が廃止になる場合、2020年、2021年の新入生が入ってこなく、ミリョクある中学生活になると思えません。その為、2022年に野田中が廃止になるのは反対です。もっと時間をかけて、良い案を出すべきだと思います。 ⑦2月8日（金）説明会にて資料が配布されましたが、その中の内容で質問です。パワP．41の所に生徒推移の詳細がありますが、「2028年度推計値」の所が良くわかりません。今から10年後の生徒数をどのように推計しているのか2/16の時に説明して下さい。小学校の生徒数も減少している状況の中、なぜ「2028年度の西武中の生徒数」が2023：151⇒2028：157にアップしているのでしょうか？	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 意見交換会や説明会の開催状況、議事録は市公式ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。
55		西武地区	2/16（土）夕方の説明会に参加しました。あまりに時間が長く、途中で帰宅しました。2/16（土）の議事録の配布をお願いします。可能であれば郵送希望です。（2/22着を希望します。） 2/16（土）夕方の説明会の結論を教えて下さい。 〇再度、意見交換会を企画？ 〇2/16（土）のみで説明会終了？ 〇別途、どのようにするか、一度持ち帰り？ 非常に気になりますので、連絡の程、よろしくお願い致します。 2/16（土）夕方の説明会の時に過去の議事録を配布していただき、ありがとうございました。これらの資料は他の方にも情報共有の為に開示する予定でしょうか。 〇HPで見れるようにする。 〇今後の説明会で都度配布する。 〇各拠点に設置する。 いろいろな方法があると思いますので、2/22までに対応願います。 2月下旬までに結論を出す（中学統合）とのことですが、どのような流れで、協議が進むのか、その時期はいつなのか、どのような会議帯か教えて下さい。（早めに教えて下さい） 例）2/25（月）審議 2/27（水）結論 2/28（木）市民に公表 3/1（金）正式決定　など・・・。 過去の議事録を見ましたが、だいたい同じような意見が多いです。別途、中学校統合に特化した意見交換会を開催して下さい。検討お願い致します。 ＜追伸＞ もちろん、その時は専用の資料（市民がききたがっていること）を準備していただけるとたすかります。 2/16（土）夕方の説明会の時に「今までの意見、その回答をまとめた資料があるのなら、結論を出す前に市民に開示して、その内容をチェックしながら、結論を出すようにしてほしい」とコメントがありましたが、その通りだと思います。上記の資料を早急に開示して下さい。「2/22までが妥当でしょうか？） 今後、中学統合の意見交換会を行うのであれば、2部構成について、前半は小学生、中学生、若い父兄とし、後半は年配者集中がよいと思います。検討お願いします。（年配者と若い世代で、感じていることは異なると思います。） 2/16（土）夕方の説明会で過去の議事録を配布して頂きましたが、なぜ配布することになったのか、なぜ、内容を説明しなかったのか、この辺が気になります。高倉エリアで説明会が近々であるような話がでていましたが、しっかり過去の議事録を配布し、経緯や内容を説明して下さい。 どこのエリアで今後、説明会開催予定があるのか、開示して下さい。	意見交換会や説明会の開催状況、議事録は市公式ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。 2月16日の説明会の対応はご意見を踏まえて改善させていただきました。 今後の取り組みとしては、説明会でのご意見、パブリックコメントでのご意見を検証し、計画の見直しを検討した上で、3月に確定した計画を再度各地区でもご説明させていただく予定です。
56		西武地区の中学校	1月26日（土）西武小学校において説明会に参加しました 私の意見を申し上げます 立地などの問題でできればこのまま2校の体制を維持していただきたいと思います どうしても統廃合するのであれば築年数の新しく生徒数も多い野田中に統合し場所はとりあえず野田中を使い将来的には以前計画に上がった国道299（旧道）谷田の泉付近に建設すれば現西武中通学区域からも徒歩通学が可能ではないでしょうか 現在の西武中の場所に統合することは反対です 理由 災害ハザードマップ上もがけ崩れや水害など危険な要素が野田中より多い 校舎が老朽化している 計画では統合後に建て替えとあるが授業はプレハブで行うのであれば授業の環境が悪くなる （私自身昭和50年代に義務教育を受けプレハブ教室の経験があるが良い環境ではなかった） 校舎の建て替え工事と在学が重なると危険である（工事安全面及び人的破廉恥事件など） 新光地区などこれから家が建ち人が増える地区に学校があるべきである （資産価値の面から家購入者の要望が強い） 学校が遠いと現在高齢者が住んでいて将来空き家になる家が若い人に売れない （ゴーストタウンになる危険性がある） 国道299より北から通う場合野田交差点から学校まで歩道が狭く（ない場所もある）古く高いブロック塀が多数あり大変危険であり渋滞もあり自転車など走る場所がない 駅前の再開発がされないまま線路を超えて通学させるのは困難である 説明会の中で入間川を境に両岸に防災拠点が必要とありましたが現西武中跡地に西武公民館と図書館、グランドなど体育施設を統合し活用すれば良いのではないでしょうか それと同時に仏子駅前の再開発をし自家用車で駅に送迎できる街を作っていただきたい （現在仏子駅前には西武バス所有のロータリーしかなくバスが来るとクラクションを激しく鳴らされ時には怒鳴られ排除される）この様な街では人が増えない（居着かない） どうしても西武中へ統合であれば以下のことをしてほしい 建て替え後の統合 無料通学バスの運行 駅までの通学路の整備 学校入口から駅前の整備（車で送迎できる環境） 人口が減る事の想定ではなく増やすことを努力してほしい 私自身4年前に住宅を購入し所沢市より転居しましたがこの場所の購入理由としては野田中学校が近くにあるからです 小学校は多少遠くても帰って来て宿題をして寝るだけですが中学校は部活をし受験勉強もしなければなりませんので、できるだけ近い方が良いと思いここを購入しました 西武中に統合されることは寝耳に水です ご再考願います	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
57		藤沢公民館、藤の台公民館統合について	入間市公共施設マネジメント事業計画の藤沢公民館と藤の台公民館の統合につきまして意見と要望を申し上げます。 当自治会では自治会活動の拠点として「上の原ふるさと祭り」「敬老祝賀会」独自で主催する「自主防災訓練」と毎月の「班長委員会」で利用しております。 公共施設マネジメント事業につきましては自分なりに納得できるとは思うのですが今後、「藤の台公民館」が統合とのこと確かに「藤の台公民館」もかなりの老朽化が見受けられます 公民館としての機能は藤沢公民館に統合するのはいいのですが地域コミュニティーの施設と防災時緊急避難場所として規模縮小で「藤沢公民館・分館」としての存続でいかがでしょうか 現状としては該当住民の皆さんは「うわさ」では公民館がなくなると不安な声がうかがえます 公民館撤収での跡地の活用など行政側からの計画等がありましたら伺いたく 早々にご連絡、ご返答お待ちしております。	統合後の藤の台公民館の活用策については、地域コミュニティで活用したいといったご要望をいただいておりますので、そうしたご意向を踏まえて協議してまいります。
58		1. 公共・・・ 3. 事業計画の・・ 6. 財政の・・・	数年来の取り組みに敬意を表します。 行政の長たる「田中市長」の提起に関わる考え方・および総体方針。 説明者・主答弁者共、歯切れよく解り易くとても良い説明会と感じました。 感じた事 ①耐震（老朽化）対策は、防災の観点からも、前倒しが必要 ②1～3期のそれぞれの期間10年は長いと感じる ③諸分析に伴う見解・事業費の試算・財源内訳・リスク要因等理解が深まった資料と思います。 ④市内に1つしかない公共施設（23ヶ所）に付いて、広域の取り組みや民営化（委託）等の具体案が知りたかった。 質疑応答での質問者の内容については、瑣末な内容が多かった様に感じます。（一部は理解するが） それぞれに対し、丁寧な回答をされていた。 2月9日　藤沢公民館　説明会にて	市役所および市民会館・中央公民館の耐震化については、計画に基づき速やかに対応してまいります。 この計画は30年間の計画であり、それを3期に分けて構成し、10年ごとの見直しをすることとなっています。公共施設の統廃合は、市民生活にも大きな影響を与えるものであり、長期的な計画をお示しすることが市民の生活設計にも必要なため、30年間としました。計画もなく、身近な施設が突然統廃合や複合化するということは、市民生活に悪影響を与えるものだと考えております。 また、施設の建替えなどは時間と膨大な事業費がかかるものであり、計画的に行わないと実現ができないことも理由の一つです。 ただし、社会情勢や市民ニーズの変化を予測することが難しいことは事実であるため、5年ごとの時点修正や10年ごとの計画の見直しを行うことも規定しています。 広域対応施設の広域連携や民営化については、今後とも周辺自治体や民間との協議を重ね、その可能性を探ってまいります。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
59			(1)施設の水平統合、垂直統合の課題（メリット、デメリット）の整理をして欲しい。 （整理案）を別紙に作成したので御参考ください。 小学校と公民館の垂直統合に関しては、安全性に関して問題が多いとの指摘がある。 一方で、動線を分離することで実現した例も複数あり、垂直統合の課題を、再研究して欲しい。 （　実施例　1品川区立日野小学校市、2志木市立志木小学校、など。） 小学校（16）＋公民館（13）→ 小学校（9）＋公民館機能（9）　＝(18) → 小学校を中核とする垂直統合施設（16）＊総施設数の削減の可能性あり (2)”住み続けたくなる魅力ある教育環境”の維持（外部からの転入者増、人口減の回避） 生徒1人当りの先生の人数を現状より減らさないで欲しい。（教育の質の確保） 少人数クラスで、ICT技術での学校連携授業や、交流授業の併用も研究して欲しい。 （＊）教育委員会の指針では、少人数制も検討の範囲内にあると暗示されている。 市の原案では、施設数（延べ床面積、敷地面積）は約27%減だが、歳出は約40%に圧縮されている。 この削減に占める人件費（教員数）の削減はどれほどか示して欲しい。 （魅力ある地域であり続ける為には、教育の質確保は優先度が高い。） (3)市の歳出に占める割合は少ないが、施設維持費を削減手段として、 以下の1～3の効果を評価して欲しい。（特に、窓面積の広い小中学校施設） 省エネ技術の導入　　1 蛍光灯　　→ LED照明　　（1/6に削減可能？） 2 単層ガラス窓　→ 多層ガラス窓　（1/3に削減可能？） 自前エネルギー生産　3太陽光パネルの設置　→ 屋上、グラウンド配置 ※（整理案）　学校複合化についてサンプル図をご提供いただきました。	素案の段階において、小学校への図書館などの複合化を検討しており、実例も交えて説明させていただきましたが、市民の皆さまからのセキュリティに対する不安が大きかったため、計画案を見直しております。そうしたことからも、垂直統合は現段階では採用することは難しいものと考えております。 維持管理費の削減については、様々な方法を検討してまいります。
60			（＊）根源的な命題は、地域の分割単位をどの程度の大きさを想定するか 地域のコミュニティーを維持し、さらに、魅力あるものにしていくには、どの単位で考えるかが重要。 (提案概要)　1小学校単位（16地区）2中学校単位の共存方式（組合せ方式）の検討を希望する。 現在の地域の分割単位を、一律に、1中学校単位とする案は、地域コミュニティの実態に合わない。 子供の未来を描ける提案を、お願いしたい。 (詳細私案) 小学校の配置は、現状の1小学校単位（16地区）。小学校に安全性を確保し、公民館を統合し、総施設数削減。 中学校、その他施設の配置は、2中学校単位の分割で配置。 公民館と小学校の垂直統合は、”さいたま市”の公共施設設置計画（案）、さらに、既に複数の実例もあり。 (補足) 当初は、4つの区分案の中に1小学校単位の区分も検討されていた。 この垂直統合の案は、以下の2つの理由で採択されす。 ・クラスの人数が25人程度と少数である。良好な教育環境に40人に満たないという理由 対応案：ICT技術で他の小学校との並行授業で補完可能。きめ細かく、より多様な生徒関係が築ける。 ・小学校と公民館の垂直統合は、不特定多数との接触で子供の安全面であるとの理由 対応案：　実例あり。工夫次第で対応可能。（　動線の分離、建物に壁面加えて分離、など） 対応案：　寧ろ、閉鎖的になりやすい小学校に外部の見守る目が届くとの利点もある。 ※（整理案）　学校複合化についてサンプル図をご提供いただきました。	補足で対応策も示していただきましたが、やはり現段階では垂直統合では小・中学校の規模は大きくならないこと、不特定多数の方が学校に出入りすることに対するセキュリティの確保が難しいことなどから、小中学校をそのまま残し、小学校への公共施設の複合化により全体施設数を削減するという案は難しいものと考えます。 ※「公共施設設置計画（案）」を「公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」と解釈しました。
61	96,97	西武地区	草案とは真逆になっており、大変驚きました。入間市の統廃合される学校は少ない生徒数の学校が多い生徒数の学校へ統合されているようですが、どうして西武地区だけ違うのでしょうか。説明会にも行きましたが、通学に関する安全面の心配する声も多くありました。市役所の方は、「考えてはいかなければと思っております」と言っておられましたが、対策案が決まってから統廃合じゃ遅いのでしょうか。（3年後というのは、あまりに早すぎます！！）仏子方面は道幅が狭く、車も多いです。西武小に登校する生徒、西武中に登校する生徒、自転車通学も許可されるようになれば、大変危ないと思います。また川が近すぎます。野田中の方が安全面では良いと思います。 我が家では、災害があったとき、入間川が近いから絶対近づかず、野田中方面まで上がってくるように言ってあります。近年は災害の規模も大きく、予測もつかないことが多くあります。西武中は安全となぜ言い切れるのでしょうか。山も川も近く、何かある可能性が少なからず野田中よりはあると思います。市役所の方々はご自身のお子さんが通う立場になって考えてもらえたらと思います。どちらの学校になっても通学が大変になる生徒が多くいるかと思います。皆が良い方向に持って行くには難しいと思いますが、3月に決定するのではなく、もっと市民の意見を取り込れて考えてもらいたいと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
62	96,97	西武中学校と野田中学校の統合について	西武中学校と野田中学校の統合について ①防災面での危険リスクを考えると仏子地区側にある西武中学校の場所は、土砂災害警戒区域周辺であり、地盤の耐震についても不安があり実際に首都直下型地震の様な大きな地震が起きた場合『安全な所へ避難するための十分な時間がないと考えられます。』防災施設（避難所）を設けるのであれば危険区域が予想される場所に作るべきではないと思います。また西武中学校は校舎が古く統合するのであれば新校舎が出来てからの統合が望ましいと思います。 ②野田新光地区の子供たちが西武中学校へ通う事への交通リスク。 野田新光地区の子供の人口は仏子地区と比べてとても多いです。 中橋通りは、歩道が狭く自転車通学は危険に感じます。また、小学生との通学時間も重なるため混雑が予想され、事故リスクが高くなると思います。 西武中学校を残すのであれば、市からの補助でバス通学を検討して頂き少しでも人数を分散し、混雑を回避出来れば良いと思います。近年、西武仏子ニュータウンバス利用者も少なくなっている様です。公共交通利用者を増やし地域の活性化にもつながるメリットになると思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
63	96	2022年野田中を廃止して西武中に統合	これまでの案では、西武中を廃止して野田中に統合だったが、今回の案では逆になった。やはり野田中に統合すべきである。 理由1野田中の方が大幅に新しく、長く使えるので財政上有利。 理由2西武中は第1種住居地域にあるため、跡地売却で財政上有利。 理由3野田中の方が生徒数が多い。（平成29年地区懇談会の資料では野田中357名に対して西武中176名） 最後に、もしも西武中に統合するならば、2022年以降の利用者（具体的には現時点で0歳以上小学5年生以下の子供の保護者）の賛同が必要だと考える。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
64			2月2日と2月13日の説明会に参加しました。説明を聞いて感じたのは保育所及び小学校の統廃合には、かなり無理があるということでした。今後、宮寺二本木地区が発展してゆく為には多くの若い人達を受け入れてゆかなければなりませんが、通学や送り迎えに保護者に大きな負担がかかってしまう。今の案では学校が近くにあるから引越して来よう、保育所も近くにあるから便利と思う人達が離れて行ってしまうし、わざわざ不便と思って転入して来る人も居ないでしょう。 もう一度考え直して宮小、狭山小は存続させて小規模な建物にしてやってゆくことはできないでしょうか。説明会でも色々な意見が出ましたが、学校や保育所を統合する事で通学距離が長くなり、子供達の負担も重くなり、危険も増し、それに併せて歩道の整備や歩道橋の設置に費用もかかってしまいます。地区の特性も考えて廃校ありきでなく再考して下さい。	現段階では小規模校として各学校を残す考えはありません。しかし、宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
65	87.88	第4章 地域別事業計画 6　宮寺・二本木地区	地区の小学校、保育所の統合に関して、以下の代替案を提案します。 （原案） 1. 宮寺小学校と狭山小学校を統合、新たな場所に移転新設又は狭山小学校を活用 2. 宮寺保育所と二本木保育所を統合、新たな場所に移転新設又は宮寺小跡地へ移転 （代替案） 1. 狭山小学校と二本木保育所を統合、狭山小学校を活用 2. 宮寺小学校と宮寺保育所を統合、宮寺小学校敷地を活用 （代替案によるメリット等） ・原案と同じ、運営施設は2箇所となる。 ・原案と比べ、児童の通学の状況、地域での利便性への考慮が格段に少なくてすむ。また原案通り小学校を統合した場合の国道16号線を越える危険への配慮はいらなくなる。 ・原案にある移転地探索の必要がなくなり、時間を含めてその分コストが削減される。また原案においても「狭山小学校の活用」「宮寺小跡地への新設」が検討されている。 ・代替案を実施した場合、現状と同じく小学校2箇所、保育園2箇所が運営されることになり、人員配置等運営の効率化では原案に劣るが、ハードに比べソフト対策には長く時間を割くことができる。施設（ハード）では「用地取得の検討」「用地購入」を今後5年間の間に行う必要があるが、ソフト（運営）に関してはその必要はない。	小学校と保育所の複合施設としても、児童数の減少や教育機会の均等な提供などの課題の解決にはならないと考えるため、小学校統合の方向性は変更しておりません。 なお、宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
66	96	施設の再整備再配置に対する考え方、方向性	統合にあたっては、「歴史的背景」「公共交通機関」も含めた利便性を考慮し、西武中学校を活用します・・・となっていますが、「歴史的背景」よりも子供達の命の方を優先に考えていただきたいです。西武中学は築49年、野田中学は築29年であり大地震が発生した時の崩壊確率は西武中学の方が高い事は歴然です。また、西武中学は山が近い事から土砂災害警戒区域が近くにあり、地震や大雨による土砂災害にまき込まれる確率も野田中にくらべると高い事は歴然となります。築年数、環境だけを考えると、子供を持つ親としては、すべての人が野田中学を希望すると思います。また、交通機関の利便性については、野田中学、西武中学どちらに統合したとしても距離が長くなる為、交通事故の危険が高くなりますが、西武中は「仏子駅」がある事から、交通量も多く、危険が高いです。交通機関の対策としては、登下校時の「見守り隊」配置や通学バスを運行するなど対策をとる事ができますが、大地震などの自然災害への対策は減災が第一となるので、野田中の方が「耐震」「環境」すべての事に対し理にかなうと思います。立川断層帯も近くにあり、いつ大地震が発生してもおかしくない状況で西武中を選定し災害後、「想定外」とならぬよう正しい判断をお願い致します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
67	96,97		野田中だった案がどうして西武中になったのか、歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性ではわからない。子供の安全よりも大切な背景とはどのような背景なのでしょうか？多くの生徒が遠くから通わなくてはいけなくなるのに利便性とはどのような事でしょうか？西武中の方が野田中よりもここが良いという所はどこですか？崖崩れの恐れ、川の氾濫の恐れ、今の時代、今までなかったからという保証はないと思います。どのようにお考えでしょうか？通学路、通学方法、歩道も道幅もとても狭くとても危険な場所なので、どちらの中学校になるのか決まる前に説明がないと、とても心配です。決まってから決めますでは無責任ではないでしょうか？ 中学校の統合を決める際になぜ住民や直接関わってくる子供達の意見を聞いてくれなかったのか？不信感でいっぱいです。何の準備もなく、3年後では早すぎると思います。人数、築年数、場所、普通に考えたら、野田中を残すと思いますが、西武中を残す理由がわからないし、説明がない。なので今は今の原案に賛成できません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
68	96,97		多数の賛成が得られたから西武中に統合するとお聞きしましたが、どなたの賛成なのでしょうか？実際、この原案を知らなかった人が多かったと思います。中学3年生と小学6年生にアンケートを行ったようですが、なぜ小5年、4年、3年、これからの子達にアンケートを取らなかったのですか？提出率が少ないのは当然だと思いますが、いかがでしょうか？もう一度白紙にもどし、よく考えていただきたいと思います。決定前に説明と意見交換会をしてほしいです。 2月16日の説明会に参加させていただきましたが、詳しい説明がなく残念でした。簡単な質問です。なぜ西武中を使う事になったのか？「さまざまな理由」としか答えられない理由とは？野田中を廃校した後が関係しているからでしょうか？資料を見ても話を聞いてもどちらかをといわれたら野田中だと思うし、どちらにしても今のままでは子供がかわいそうです。もう一度、いちから考え直し、皆が納得できる計画を提案していただきたいです。このまま皆に説明もなく、決定するのだけはやめてください。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
69	96,97		ぼくは新光の西武小のじどうなんですけど、ぼくはのだ中がなくなるのははんたいです。なぜかというと新光からだと3kmぐらいとおくて中学だとおそくにかえるからけっこう時間がおそくなってくらくなるしとおいとじこになりやすくなって命をなくしやすくなるし自でん車でいきやかえりができてもくらくてあぶないし、のらなくてもにもつかふえ、たいへんでさらに時間がおそくなってあぶないから、ぼくははん対です。どうかのだ中をなくさないでください。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
70	96	2.施設の再整備・再配置に対する考え方・方向性	西武中学校・野田中学校の統合について 我が家には、現在小5・小2の子供がおります。現在小5の子供が中3の時に、野田中より西武中へという計画のようです。人生、初めての受験という時期になんてひどい仕打ちでしょう。子供たち一人一人の人生の事までしっかり考えられての計画なのでしょうか。通学の面でも現在、我が家より西武小までても子供の足で40～45分かかります。さらに、そこより遠方に通うなんて・・・。橋も整備されたとはいえ、あの橋を何百人もの子供達が行き来するのは「交通事故に合え」と言われているようにしか思えません。自分の住んでいる町だからと市税も納めておりますが、我が子がつらい思いをするために使われるのかと思うと、納得も行きません。西武中への野田中生の登校、断固反対させて頂きます。絶対の安全・子供たちのケアをもっと考えてください。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
71	76		丘陵の上側や北西部の地域ではバス路線の運行がありません。公民館（地区センター）等の共用施設が黒須地区へ統合されるにあたり、今まで通り施設を使用する為には、例えばバスの運行など交通整備を実施下さい。	公共交通については、施設の統廃合に合わせて見直しを検討していくことになりますが、具体的には「公共施設マネジメント事業計画」が決定した後に、それに合わせて長期的な見直し案をまとめる予定です。
	77		高倉小学校と黒須小学校の統合にあたり、1案の移転新設をお願いします。用地確保が困難な場合は2案の黒須小学校への統合、建替となっております。移転新設の実現を必ずお願いしたいと考えておりますが、2案設定されている以上黒須小学校への統合の可能性がありますので、その際はスクールバスなど、通学に必要な整備をお願いします。 高倉地区センターは黒須地区センターへ統合されると、徒歩で施設を使用する事が困難になります。前途しましたがバスの運行整備と、自動車使用の際に必要な駐車場の十分な確保（50台以上）をお願いします。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。なお、第2案については考慮せず、地域内でのバランスをとれるように、第1案のみ具体化を図ることといたしました。 公共交通については、施設の統廃合に合わせて見直しを検討していくことになりますが、具体的には「公共施設マネジメント事業計画」が決定した後に、それに合わせて長期的な見直し案をまとめる予定です。 また、高倉地区センターは黒須地区センターへ統合後は、地域のコミュニティ施設として活用する計画です。
72			2/16の説明会に参加しました。 要望を申し上げます。 第1期の事業計画はあまりに横暴です。第2期以降での計画見直しを要望します。 最低でも3月下旬とされている計画確定の延期を求めます。 実際に学校へ通う子供達、保護者達当事者の思いをあまりに無視した計画はまったくもって受け入れられません。 統廃合の必要性自体を頭から否定する訳ではありません。 しかし、防災面、児童数、建物の寿命等、様々な観点・普通の常識で考えて野田中学校の廃止の理由がまるで理解できません。 本日の説明会でも納得のいく説明が1つもありませんでした。 参加された大勢の方々は皆市の3月確定としている計画に納得していません。不満と怒りと疑義を持っています。 なぜこんな重大な事を急ぎ足でやる必要があるのでしょうか？ 計画確定間じかになって急に野田中学校の廃止と修正されたのはまるで騙まし討ちです。短い時間に乗じて押し切ろうとしている様にしか見えません。 野田中学校の土地売却で得する誰かがいるのであろうと良からぬ噂が立っている程です。 噂が本当か嘘か知りませんがそんな噂が出るほど「おかしな判断」をしていると言う事です。 このまま3月に計画確定を力ずくで強引に押し進めれば、この先 市に対してだけでなく元西武中と元野田中との間でも遺恨を生むことになりかねません。 この先何十年もの多くの子供達の未来を決める事案であるのですからもっと議論を成熟させ、通学に対しての安全対策を真っ先に講じるべきです。 市長は、安全面に関して「同時」に「検討」をしていく必要はあると考えていますとおっしゃっていましたが、同時では無く、検討でもなく、何よりもまず「先」に「確立」をして頂かないと困るのです。 子供達の命を軽く見ないで下さい。 誰の為の計画なのですか？ 実際に通う子供達の為になっているのですか？ 無理やり西武中学校へ統廃合された場合、その学校に通う7割の子供達が不便を強いられる事になります。それは異常です。 だからと言って3割の子供達は少数なので我慢すれば良いと言っている訳ではありません。 少人数の地区の子供達にはきちんと安全を配慮したスクールバス等の運用をすべきです。ただ、費用がかかるのも事実なので手厚い安全対策費用は効果的に少人数に掛け上手な財源の使い方をするべきです。 市長の冒頭の挨拶で「市民の命が何よりも大切」だと言われましたが、本当にそう考えておられるのであれば第1期で、通学路のガードレール設置、スクールバスの導入計画、指導員の確保等これなら安全対策を市も頑張って計画してくれたねと西武中、野田中の子供達・保護者が思える計画をまずして下さい。 それを持って始めて次のステップで統廃合の議論を進めるべきです。 繰り返しになりますが、統廃合自体をやみくもに反対はしません。ただ、何よりも安全を確立させた上での話です。 それには十分な議論に達していません。 計画の延期を求めます。 私は市長選の際、今まで田中市長に投票をしてきました。 市長に投票してきた私達を後悔させないで下さい。英断を期待します。 宜しくお願い致します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
73	2/1広報いるまP4	西武中学校と野田中学校の統合の件	統合するのであれば、「野田中学校に統合」すべきと思います。 入間市のハザードマップによれば予想最大震度は、野田中が震度5強に対し、西武中が震度6強と2段階大きい。授業中に地震が発生した場合、西武中が圧倒的に危険です。こういう場所に中学校を集約すべきではないと思います。 入間市のハザードマップによれば西武中の近傍に土砂災害危険地域が集まっています。一方、野田中のまわりには危険な領域がありません。西武中は加治丘陵の北川浸食崖の下に位置しており、崖崩れや土石流等の危険度が高い。西武中の南側領域は、想定最大震度6強に現れているように、地盤が軟弱です。これは昔の浸食崖の崩壊堆積物の上の領域だからだと推定されます。こういう場所に中学校を集約すべきではないと思います。 西武中の生徒数が161名に対し、野田中は358名と2.2倍以上多い。今後もこの比は拡大するでしょう。西武中の学区は今後、人口及び生徒数が増える見通しがたちません。（新規造成できる土地があまりないため）。一方、野田中の学区は今後も人口増加と生徒数増加の可能性が高いです。特に旧299号線以北で新規住宅が増えており、宅地造成も盛んです。 西武中学校に統合すると、生徒数比や宅地の配置状況から全生徒（西武中＋野田中）の平均通学距離が現状の2倍ほど長くなると推定されます。通学途上に事故に遭う確率も2倍近くになると考えられます。以上からも、集約するのであれば、野田中学校に集約すべきと思います。 旧299号以北は16号直結の299号バイパス、圏央道インターへアクセスの利便性や災害安全性から、住宅地に大変適しており、野田中学校に集約されれば、外部から人が転入してくるポテンシャルも大きくなると思います。 「西武中学校に集約」する合理的理由が見当たりません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
74	96	第1期	統合後に、西武中学校を活用するとのことですが、本校は、仏子駅から大変近く、災害対応施設としても有効であると思います。駅の近くにある学校を活用するとの原案に賛成です。	西武中学校と野田中学校については、通学や防災上の不安に対するご意見が多数寄せられたため、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	97	第2期	第2期下半期に西武中学校の校舎を建替えるとのことですが、統合に合わせて、建替えの時期を第1期に前倒しをすれば、新校舎でスタートすることができ、子供のモチベーションも高まると思います。	西武中学校と野田中学校については、通学や防災上の不安に対するご意見が多数寄せられたため、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、計画としては西武中学校を建替えた上で統合をすることといたしました。
	97	3　市民意見への対応	市民意見への対応のNo.2の対応欄に、西武小学校と西武中学校を活用することで、入間川の両岸に学校を配置するとの記載があります。大変重要なことであると思います。ぜひ、96ページの第1期の欄にある西武中学校を活用することの理由としてあげられている「歴史的背景」「利便性」に加えて「入間川の両岸に配置」といった文言も加えた方が、分かりやすいと思います。	ご意見については、計画書には記載がないため反映できませんが、今後の説明会の資料に加えて理解を深めていただけるよう工夫いたします。
	96	第1期	2022年の西武中学校と野田中学校の統合について、西武中学校の正門前の道路は幅員が狭く、車のすれ違いもできない状況です。今後、多くの生徒が登校することを踏まえて、長期的な視点で考えますと、2021年の改修工事に合わせて、正門前の道路の拡張を行う必要があると考えます。ご検討方、よろしくお願いします。 西武中学校を活用することの理由として、歴史的背景をあげています。当然のことであり、このことを踏まえ原案が作成されていることについては、高く評価できると思います。 西武中学校を活用することの理由として、歴史的背景と公共交通機関を含めた利便性が理由としてあげられています。歴史的背景は理解できますが、公共交通機関の利便性とはどういうことですか。中学生の通学に、鉄道利用を想定しているということですか。それとも、通勤等で電車を利用している市民に対する発災時の避難所を想定しての表現でしょうか。もう少し分かりやすい記述が必要だと思います。	西武中学校と野田中学校については、通学や防災上の不安に対するご意見が多数寄せられたため、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。なお、計画としては西武中学校を建替えた上で統合をすることといたしました。 なお、正門前の道路拡張については、2019年度からの協議の中で検討いたします。公共交通機関を含めた利便性については、バスと電車を利用した通学の可能性を考慮して理由としました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
74	96	上段の表	西武中学校と野田中学校の統合は、西武中学校の建替に合わせて、第2期の実施でも問題ないように思います。2022年の統合は、早急すぎる印象を受けますが、何か理由があるのでしょうか。	西武中学校と野田中学校については、通学や防災上の不安に対するご意見が多数寄せられたため、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	96	第1期	下段の表において、西武公民館・支所及び西武中央保育所は、「改修工事」と記載されているのに対して、西武地区体育館は、「改修工事（補強・長寿命化）」と記載されていますが違いが分かりません。「改修工事」と「改修工事（補強・長寿命化）」は、表記上どのように区別されているのでしょうか。 西武中学校で予定されている2021年の改修工事とはどのようなものか分かるように記載してください。大規模改造工事ですか。それとも、統合にあたっての特別教室等の部分的な改修工事ということでしょうか。 西武中学校、野田中学校、どちらに行っても遠い地域があります。しかし、不審者情報の多い野田中学校よりは、西武中学校の方が人通りが多く安心できると思います。	「改修工事」は、その時点で必要な規模の工事を示し、「改修工事（補強・長寿命化）」は、非構造部材の耐震化と施設の長寿命化を合わせて行う場合を示すものとして記述をしております。 西武中学校の改修は統合に伴い必要となる工事を想定したものです。 西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	36	5	小中一貫校にしても小規模校のデメリットか解消されないとの記載があります。小中一貫校であれば、小学生の高学年から部活を行う制度にすれば、部活動の活性化につながります。教員の数も、義務教育学校等にすれば加配が受けられます。他にも様々な工夫が考えられることから、小規模校のデメリットが軽減できるのではないでしょうか。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。
	96	第1期	西武中学校と野田中学校が統合されると生徒数が大変多くなります。校舎の建替え、正門前の道路の拡張等を第2期ではなく、第1期に行ってください。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	97	第3期	第3期に西武小学校の体育館の建替えを行う旨の記載があります。校舎と体育館の建て替えをずらしたことは、児童の心理的な負担に考慮した良い計画だと思います。	ご意見は参考にさせていただきます。
	96	上段の表	上段の表を見ますと、西武中学校は、校舎と体育館の建替の時期がずれています。このことは、第2期に予定されている校舎の建替は、体育館を残したまま行うということを意味するのでしょうか。すなわち、現在の校舎と違う個所に新校舎が建設されるということですか。 西武中学校の校舎の建替えを第2期に行うとのことですが、西武中学校の周りは、住宅街ですので、近隣住民として、日照問題が大変、気になります。新校舎を敷地内のどの位置に建設するのか決定する際には、ぜひ、近隣住民の意見も尊重していただけると幸いです。	地域の方々のご意見を伺った上で計画を具体化させていただきたいと考えております。
75	96ページ	第1期	土砂災害等緊急時に、土砂災害警戒区域から、避難することを考えると仏子小あるいは西武中を残すことは、市民の安心を担保する上で、重要である。	ご意見ありがとうございます。
	96ページ	第1期	中学校統合後に、西武中学校を活用する計画になっており、仏子地区で土砂災害等が発生した際のことを考えると、避難所を確保することができ安心した。	ご意見ありがとうございます。
	96ページ	第1期	中学校の統合までに、西武中学校周辺の信号機やガードレール、道路の拡張等の整備をお願いしたい。	2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。この中でご意見についても検討してまいります。
	96ページ	第1期	登下校や避難所としての機能等を考えると、中学校の統合に関しては、中学校として、西武小学校か仏子小学校あるいは西武中学校のいずれかを活用することが妥当であると考える。野田中学校は市の外れにあり、統合先として適切ではない。	ご意見ありがとうございます。
76	96	第1期	西武中学校と野田中学校が統合するということですが、野田中学校に比べて、駅前で比較的人通りのある西武中学校を活用するとのことで安心しました。	ご意見ありがとうございます。
	96		2022年度の西武中学校と野田中学校の統合に関しましては、仏子小学校から西武小学校に進学する子供たちは、小規模校に慣れているため不安があります。仏子小学校と西武小学校の交流活動を行うなど、統合に関係する子供たちが中学校生活をスムーズにスタートできるよう教育活動の工夫を求めます。	統合に向けては、児童・生徒に対する負担ができる限り少なくなるよう工夫をしてまいります。
	97	第2期	上半期に、学校の整備に合わせて、西武小学校へ仏子小学校と統合するとありますが、学校の整備とは何を指しているのでしょうか。	西武小学校の校舎の建替えを想定しています。
	96		意見交換会において、仏子地区に学校を残して欲しい旨の声が多くあったと記憶しています。西武中学校と野田中学校が統合するということですが、西武中学校を活用するとのこと、安心しました。	ご意見ありがとうございます。
	96	第1期	西武地区の北側に住んでいる中学生が、西武中学校まで通学するには、南北の交通網の整備が必要になるのではないでしょうか。仏子駅とぶしニュータウンを結ぶ西武バスの増発について、市から西武バスに要請することはできませんか。 通学距離が遠くなる生徒が路線バスを利用することも想定していますか。家計への負担が心配です。仮に、通学に路線バスを想定するのであれば、路線バスが無料になるような制度設計はできないでしょうか。	2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。この中でご意見についても検討してまいります。
	96		仏子小学校・西武小学校に先行して、西武中学校・野田中学校の統合を行う理由は何ですか。 2022年に西武中学校と野田中学校が統合するということですが、野田中学校が閉校となるのは、前年度（2021年度）末ですか。それとも、2022年度末ですか。 2022年度の西武中学校と野田中学校の統合に関しましては、子供たちの動揺も考えられます。教職員の加配等、人的な支援は行われるのでしょうか。 2022年度の西武中学校と野田中学校の統合に関しましては、2020年度と2021年度に、両校では生徒数の変動が予想されます。部活動の運営等に係る影響をどのように考えているのでしょうか。	生徒数の減少に対応し学習環境を維持することが必要と考え、時期を検討しました。 西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 また、統合に際しては生徒への影響について充分に配慮いたします。
	97	第2期	第2期の上半期に、図書館西武分館の改修工事を行うとの記載があります。改修工事の期間は、どのくらいになるのか記載してもられると分かりやすいと思います。1か月の工事なのか、数年かかる工事なのか、市民にとって重要な問題です。	改修工事については、今後30年以上使い続けられるように実施する工事で、建物躯体の修繕の他に設備（電気・機械・空調・給排水等）の更新を予定しています。これらの工事には、1年程度要することを想定しています。
77	97	4	仏子小学校の跡地は、住宅になるのですか。 仏子小学校ではなく、西武中学校を売却して、仏子小学校の跡地に、中学校を建設してください。その方が、地理的に、中央になり自然だと思います。	仏子小学校の跡地は、売却する方針ですが、売却条件等については今後検討してまいります。 仏子小学校の跡地は中学校の敷地としては若干狭いため、統合した中学校用地とすることは難しいと考えています。
	105	1	仮称小中学校整備計画は、教育委員会で策定するのでしょうか。住民の意見はどのように反映されるのでしょうか。	計画策定の担当部署は現段階では教育委員会となります。
	24	(3)	下から5行目は、「10年ごと」の10が半角になっています。一方、下から3行目は、「10年ごと」の10が全角になっています。他のページもそうですが、一定の基準を設けて、細かいところまで気を配った方が良いと思います。統一感がなく読みづらいです。	ご指摘の通り修正いたしました。ありがとうございます。
78	70	下段の表	施設名　建築年度（築年数）の欄が見づらく理解できません。例えば、扇小学校では、築44/39：44とあるが、最初の44、中央の39、最後の44はそれぞれ何を指しているのでしょうか。他のページも同様ですが、/や：の記号の意味が分かりません。見やすい表記となるよう再度検討していただきたいと思います。	ご指摘を踏まえて、理解をしやすいように修正いたしました。
	97 96	3　市民意見への対応 第1期	No.2にもありますが、西武地区において、入間川の南側に学校を残す計画になっていることは大変評価できます。市民意見が反映されており、避難所のこと等も含めて、総合的に判断されたことに感謝いたします。 No.1について、学校用地がないとのこと残念に思います。西武地区は、縦に広いことから、今回の計画では、スクールバスの利用が不可欠です。毎日の通学する子供のことを考えた支援体制の構築をお願いします。 西武小学校と西武中学校を活用するとの計画は妥当だと思います。地区懇談会、意見交換会の意見が反映されていると思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	34	2	中学校は、全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とはどういうことですか。10学級未満だと、免許のない教員が授業を行うということですか。 中学校は、全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級について、上限の18学級の意味が分かりません。18学級を超えると教員が確保されないとも解釈できます。	この適正規模は「入間市立小･中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に示された中学校の適正規模となります。10学級未満だと、教科によっては教員が他の学校と兼務で授業を行ったり、非常勤職員が授業を行ったりするなど、適正な教育環境が整っていない状況となるということです。 なお、全学年合計10～18学級については、教育環境および学校運営上適正な規模と考えております。
79		野田中学校、西武中学校統合について	当初、野田中を残すという計画だったのにも関わらず、具体的な説明がない中、野田中ではなく西武中を残す事になった理由を納得行く様に説明して下さい。こうなった以上、西武中の方々も納得するには、谷田の泉付近に（当初計画のあった土地）新しく建て、西武中としたらどうかと思います。とにかく、子供ファーストでお願いしたいです。小学校での説明では、ここまでのなり行き、市長の考えが何も伝わってきません。歴史的背景と何度もおっしゃっていましたが、歴史よりも今の子どもを大事にすべきではないでしょうか！！利便性があるとおっしゃっていましたが、子どもは電車つかいません。誰の為の利便性なのでしょうか？！ハザードマップでは、西武中の周りに危険箇所が近くにあります！！建て替え間近の学校にまだ新しい学校が吸収する事態おかしいな話だと思います。野田工業地計画、税金、市役所建て替え･･･等々、色々な背景を考えての事の様ですが、細い説明をして頂かないと納得はできません！！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
80			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
81			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
82		野田中学校、西武中学校統合について	野田中学校を廃校にしないで下さい。よろしくお願いします。野田中学校は、たくさんの地域の人に愛されています。警察の方々に協力し、地域の人に協力し、あいさつでほめられたこともあります。また、おもいっきり声を出したり、安心して、校外を走れるほど、環境がととのっており、地域の人も、お金を寄付しようとして下さるほど、応援してくれています。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
83	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
84		野田中学校、西武中学校統合について	野田中をなくさないでください。野田中は部活もたくさんあるし、環境もよく、人数も多いので野田中をなくされてはこまります。それに毎年、元加治幼稚園の人達が運動会で野田中学校を使います。野田中がなくなったら、運動会が出来なくなるし、ロージんホームもたくさんあるからです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
85	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
86		野田中廃校について	ようちえんのこたちも、のだちゅうでうんどうかいをたのしみにしています。のだ中わたいせつです。のだ中をなくさないで	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
87	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
88	43、45,46		施設整備の方向性として（1）狭山小学校と宮寺小学校の統廃合（2）宮寺保育所と二本木保育所の統廃合がある。ここで私の意見は宮寺保育所と二本木保育所が統合されて、二本木保育所が廃止された場合、二本木保育所の跡地をどうするかである。これについて2/2アリットでの質疑の中で、二本木のkさんから、ぜひ公園を造ってほしい、との要望があった。理由は人が集まらない所はさびれる、孫と一緒に公園で遊びたいなど。私も公園はいいな、と思う。入間市二本木には、広場はあるが、公園はない。話は先に行って申し訳ないが、公園を前提に私の構想です。 公園を造るのには、①どんな公園か②施設・設備・遊具はどうするのか③建設費はいくらか④管理・整備運営は誰がするのか、などについて地区民のコンセンサスが必要である。公園のイメージとして、①子供たちの遊び場、②大人たちの憩いの場、③用足しの場、④その他、が浮かぶ。私は、経験から3を要望したい。外回りの仕事をしていた時のこと。腹痛で、トイレを探していたところ、トイレが近くに無い。コンビニを借りたが、憚ったことがあった。新聞・牛乳・介護送迎・タクシー・宅配・職人など外回りの仕事をしている人は意外と多い。これらの人が自由に利用できる、公衆トイレや水飲み場は市内にもっと必要だ、と思う。公園と言っても、いろいろだが、私案として瑞穂町の公園（入間市にはこのような公園は見当たらないので）を参考に準備した。よろしくお願いします。　以上 ※入間市二本木近隣公園（瑞穂町）　公園参考資料及び入間市二本木公園（仮称）（二本木保育所跡地）公園参考図案2枚添付をいただきました。	公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
89	96 97		わたしは、いえからせいぶ中学校までおかあさんとおとうさんといっしょに、あるいていきました。みちすごくほそくて、車にひかれそうでした。川があって雨がふったら、はんらんしそうです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
90	96 97		○野田中学校　廃止に反対です！ 通学面、立地面において危険性の高い西武中学校に、大切な子供を通学させるのは、とても不安ですし、こうして、西武地区、仏子地区で争うように審議しなければならない今も、とても嫌な気分です。 　両地区のためにも、西武地区、仏子地区それぞれに、小中一貫教育の学校をそれぞれに新設すれば両市民そして、子供達にとっても、よりよい、計画案になるのではないでしょうか？ 　両地区の子供達にとって他の市に誇れるような、よりよい学校となれるよう市政に期待致します。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
91	96 97		ぼくはせいぶ中学校まで歩きました。 道が細くて、車にひかれそうでした。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
92		1　廃校、入れ替わりに反対	1度決議決定された、市政方針を覆されたことに対して、反対である。理由2018年、市議会に於て22名の議員に真剣に論議され、方針化されたものが、何時の間にか覆される状態は1番まずいことである。とにかく、この様な失態は許されない事であるが、決定を入れ替えた理由に、3項ある。その1番目の市民の意見により、転換を余儀なくされたとある。即ち、大きな外力があったと考えるべきであろう。そして、市民意見に聞を傾け、議会に於て、案件を覆した大物議員がいると考えるが、順当であろう。最初の市政方針に戻すべき。今回の廃校、入れ替え、騒ぎに感ずることは、自分が1番可愛い。要するに次回3年後に行われる、市議会選挙を見据えたものか。築53年、すぐ立替えが必要な西武中学を何故使う、正に市税の無駄である。野田中を使用すべき。	計画の素案は、市議会に決議決定をいただいたものではありません。検討の際のたたき台として野田中学校活用案を市が示したものであります。今回、あらためて統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について討議を行うこととしました。
		1　統合問題	昨今、各市町村に於て過疎化、少子化による学校統合を目にし、聞きもする。然し一般的には、多人数の居る学校に編入されるものであると思っていた。入間市の逆転市政方針は、前代未聞であ。最初の市政方針に戻して頂きたい。	計画の素案の段階で、たたき台として野田中学校活用案を示しましたが、あらためて統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		1　廃校に反対	道路状況から、野田中学校廃校に反対である。理由、野田地域、仏子ニュータウン地域の子供達が登校するには入間川中橋を渡る、道路一本だけである。廃校について、考える会の代表、長沢さんが発行している印刷物に私の書きたいことが全てモーラされているので改めて書きたす事もないが、中橋道路、歩道部分に於ては、巾狭く、スムーズに擦れ違うことも出来ない。場合によっては一歩、車道に足を踏み出さなければならない時もあり、危険極まりないのが現状である。通勤、通学時間帯には、自動車数も増えるし、歩行者、自転車を利用するには、大変あぶないと考える。多数が、少数の学校に編入するのも、おかしい話である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		1　学校存続の件	西武中学校の立地条件により、存続を反対をする。理由、西武中学校は地形的な特性、即ち、校舎南側グランドをはさんで、すぐに山に囲まれているので、災害時、特に危険であり、不安である。また、北側は、狭い道路を隔て、住宅地が広がり、一時避難所とする場所もない。この様な立地的環境で無事に誘道出来るであろうか。基本的には1人も欠ける事なく、済むことである。以上、理由で反対である。野田中学校の立地的環境は校舎の廻りは広い農地に囲まれ災害時に於ける避難はスムーズに行われる。再度検討を願う。 今回の廃校、入れ替え騒ぎに感ずることは、自分が1番可愛いい。要するに、次回3年後に行われる、市議会選挙を見据えたものか。築53年、すぐに立替えが必要な、西武中学を何故、使う、正に、市税の無駄である。野田中を使用すべき。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
93	87～89項	第4章 2. 施設の再整備・再配置に対する考え方、方向性 3. 市民意見への対応 4. 公共施設跡地の取り扱い	二本木に永く住む者として、二本木保育所が統合されて無くなることは残念でなりません。二本木保育所は二本木に何十年も存在し、二本木の人達には本当に慣れ親しんで来た所であります。公共施設が無くなることは、関係者を含めた大勢の人の往来が無くなってしまい、入間市の末端地域の二本木が益々寂れてしまいそうです。2月2日のアリットでの説明会を拝聴しました結果、宮寺保育所と統合することに対しましては致し方ありません。しかし、どうかこの二本木保育所の跡地を有効活用していただけないかと考えます。跡地を活用できれば人も集り、二本木に活況が生まれます。 提案ですが、二本木保育所の跡地を市営の公園にしていただきたいと考えます。理由として二つあります。1二本木には現在公園がありません。孫を遊びに連れて行こうとしても近くには公園が一つも無いのです。公園にしていただければ、二本木保育所庭にある遊具も活用可能と思います。隣りに神社もあり、環境もすばらしいです。大人も利用できる健康器具も設置すれば、子どもだけでなく、大勢の人が利用できると思います。2原案の89頁に「二本木公民館（地域センター）を地域における子育て支援の拠点となる施設として活用していきます。」と記載されています。このことから二本木保育所跡地が公園になれば、二本木公民館（地域センター）と場所が近いので、子育て支援としても色々と活用が期待できると思います。尚、出来れば旧二本木公民館（埋蔵文化財整理事務所）の跡地も合わせた公園作りを希望します。以上につき、よろしくお願い申し上げます。	公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
94	96 97		○野田中学校廃止に反対です！！ 西武地区　仏子地区両方の人達のためにも両地区、それぞれの小学校または中学校の敷地を利用し、両地区にそれぞれ、小中一貫教育の学校を新しく作り上げていくことが、両地区の市民にとって、そして何よりこれから通学することになる私達にとってよりよい計画となると思います。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
95	96 97		野田中学校はいしはんたいです！！ 通学、立地両面において危険度の高い西武中学校には通学したくないです！！ 両地区（西武、仏子）のほぼ中心となる、以前、野田中の建設予定地だった場所を地盤調査のうえ、地盤固めをして新しく、新設するか、もしくは西武地区　仏子地区それぞれに小中一貫の学校を新設してくれることを希望します。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
96			公共施設マネジメントの意見交換会に参加して 今回のテーマは50年入間市は急激な人口の増加に追い立てられるように公共設備を拡大してきた。そのゆがみを正し、暮らしやすい街作りを進める良い機会ではないかと思っています。人口減少社会は公共施設に余裕が出る中で進める運動ですから今までのように物理的に追いかけられる施策によりも深く考えながら進めるあるいは試行錯誤しながら進めることができる点では有利な状況にあると思います。 なにかの参考になればと思い地域社会の運営の観点を主に意見を申し上げる次第です。 1、前提について （1）地域の主体性の醸成 私は3年間グリーンヒルの自治会長と藤沢地区の自治会連合会の副会長を務めてきました。この3年感じてきたことは地域社会の崩壊とも言えるような現実と、益々必要性が増えてきている取り組み（あるいは課題）とのギャップにあります。 よくコミュニティという言葉が使われますが、難しい定義はさておき、共に暮らすユニット（社会的な単位）だと理解します。暮らしとは何か、区分けして考える時代に従えば、生産活動・消費活動・命を育み次の世代に繋ぐ活動になろうかと思います。生産活動は企業活動に置き換えられ多くの人は（私もそうでしたが）エネルギーと社会的な関心がそちらにすくい取られています。消費は利便性を中心に企業活動が主流を占め、地域の家業としてのなじみに店は少なくなっています。共働きが多い社会の中でお母さん達も企業活動の中に取り込まれ、今自分が住んでいる地域について考えることができない現実があるのではないかと思います。 ニュースなども国政が中心、事象も国・世界に関心が広がり自分の住んでいる地域に接する機会自体が少なく、暮らしは利便性については考えてもそこにとどまっています。 地域社会の中で生産と消費活動が剥ぎ取られ、地域社会に残された“暮らし”とは何か、それさえも考えることが少ないのではないかと思います。 コミュニティは本来息づかいが感じられる広がり、顔と名前が一致するような親しみが感じられるような広がりの中にあるべきものでありますが、現実、都市化した社会の中では否応なく単位が広がり、運営が難しくなっています。 中心であるべき自治会は多くの人は行政の窓口、あるいは行政から降りてくる仕事を反対給付としてこなす組織と考えています。当番で回ってくる役割を必要悪としてこなす意識の中では、総ての活動を定められた行事として“効率よくこなす”以上のことはなかなか考えられません。 また、地域の中には自治会以外にいろいろな組織があり、その組織のゆえんも目的もあまり議論されず、またその組織の連合体のような形で新しい組織が生まれます。自治会長になると、そのような組織からの協力要請あるいはそこへ出向するような形での参加が要請され、なにかわけの分からないまま1年が過ぎてしまうような実態があります。（多分、皆さんも今回の説明会の案内先に悩んだことであろうかと思いますが、民生児童委員、体協、交通安全協会、婦人会、老人会、育成会、防犯組織、防災組織、ボランティア組織、実にいろいろありますが、いまだに良く内容も関係も解りません） このような中もういちど地域社会を作り込んでいくためには、断片的な既存組織の枠組みを超えて、地域社会を自分たちで作り込んでいこうとする人（組織ではなく）が集まり、行事として定型化される以前の生のままの地域とその課題について研究し、基本的な認識のすりあわせをして、その上で活動になるような取り組みが必要なのではないかと思っています。 今回の公共施設マネジメントはその契機になる案件であると思いますので、市の案を地域に飲ませるのではなく、地域の中に自分たちの地域の問題として考える風土を作る契機として位置づけ、進めて頂きたいと思っています。 そう考えたとき、地域にそれに応えるだけの準備はできていないと思うので、苦労はあると思いますが、そこに共通の意識を作り出すことそれ自体が入間市の100年の大計のためには必要なことだと思う次第です。	市が、地域団体の代表としての区・自治会にさまざまなことをお願いし、また、協働してさまざまなことに取り組んでいることは認識しております。行政等が提供すべきサービスは拡大しており、それに対応するため、区・自治会に加えて、NPO等が市と協働しています。 公共施設マネジメントについて、市は行政改革における基本的視点の一つ「公共施設の最適化」としても位置づけております。そして、行政改革の基本的視点には「担い手の最適化」もあり、市、地域（市民）団体、民間企業が、それぞれの担うべき役割を担い、最適なサービスが提供できるように、役割分担を見直していきます。 こういった取り組みを通じて、さまざまな地域が、その地域に必要なサービスが不足することがないように、新たなまちづくり、地域づくりに向けて取り組みます。 ご意見は、今後のまちづくりの中で参考にさせていただいます。
			（2）建物の保全について 今回のマネジメントで、機械的に建物の寿命を60年と置いているが、保全計画は各建物ごとに自分たちの手で内容を吟味して頂きたいと考えている。今時代はGDPに代表されるようなフローの時代ではなく、ストック（すでに充足されている）を大切に活用する時代になっています。また、生産主導の時代から、物流・商流・エネルギー・情報も含めたネットワークの時代になっています。マス（規模・同質化）ではなく、個々の地域で人が知恵を出し差異（ユニークさ加減）を作り込んでいくことが価値となる時代です。マスで定められている法律や規範を自分たちで吟味して考えることが何よりも大切です。（割合簡単に60年過ぎるので立て替えて統合するというような言い方が大変気になっています） グリーンヒルでまとめた建物の長期保全計画を添付します。多分建物ごとにこのような吟味をし、建物についての共通認識を作ることが必要なのだと思います。	この統廃合や複合化の計画と併せて、今後は施設の保全計画が重要になってくるものと考えております。個々の施設の状態などを把握し、それに基づく保全を行うことで、計画的な改修や建替えにつなげていきたいと考えております。また、事業計画では耐用年数60年を目安に計画をまとめましたが、施設の状態によっては建替えを予定していたものを改修に切り換えるなど、効率性を考慮しながら柔軟に対応していきたいと考えております。ご意見を参考にさせていただきます。
			（3）地域の単位について 藤沢と豊岡を分割して9地区にするとしているが、いまだに旧市町村の単位にこだわっているように思われる。少し時間を掛けながら地域を再考すべきではないかと思う。 藤沢についていえば、東藤沢と藤沢の不老川・林川一帯は低地の旧河川地帯で、網の目のように湧き水を水源とした小河川が広がっている地帯であり、水害の多発地帯である。一方では藤沢駅が改善され、藤沢駅を中心に今から発展する力がある地域である点では共通している。藤沢駅は（入間市駅に比べ）川越・入曽から宮寺・瑞穂・福生に至る豊かで平坦な後背地を持っており、やがては入間市駅を超える入間市の顔になる駅となろう。（そう考えたとき、駅および周辺の設計はいそぎ再考し、整備に手をつけていくべきではないかと思うが、それはさておき） 一方藤沢の高台にある地域は旧工業団地の名残をとどめながらも住宅地として変貌している。これは豊岡の久保稲荷地区とむしろ一帯として考えた方が地政学的には共通している。この地域はかっての物作りの工業からむしろ物流拠点として開発されていく流れがあり、居住区との折り合いをどうつけるかという問題があり、開発の方向性を議論し規制を考えていく必要がある地域である。 要は息づかいが聞こえる地域の小単位（これをどう再構築するかの問題はさておき）をまとめる（今でいえば地域の連合区長会の単位）単位についても再考する必要があるだろうと思う。東藤沢だけで一区というのはどう考えてもバランスが悪い。言い方は悪いが、今の公民館を生かすため便宜的に単位としたようにさえ思える。	本市では旧町村を単位とした6地区ごとのまちづくりに取り組んできており、本計画は福祉圏域を参考にした9地区とする地域区分としたものです。 今後、入間市全体が一体となって発展していくことが必要であると同時に、全体に対しての部分としての「地区」という単位は必要であり、それぞれの地域の歴史、特性等もあることから、旧町村を基礎とする6地区または9地区をベースに公共施設マネジメントを進めます。 地域区分については、公共施設を配置する上での目安にしています。一方、今後、学校や公民館の統廃合を行う際には、学校区や公民館の対象エリアを見直す必要があるものと考えています。
			2、個別問題について （1）藤沢公民館のセンター化と藤の台公民館のコミュニティーセンター化 センター化の概念はいまだ良く分からない点もあるが、行政の窓口を地域に下ろし、高齢者の支援子育て支援防災・防犯を地域と共に進めて行くという思想は包括センターや社会福祉協議会の地域担当制の流れを汲む思想であり、良い方向性だと思う。 ただ、30千人に1カ所なのかという疑問がある。5千人から1万人の単位で、交通ネットワークを整備しながら、拠点作りを進めるような構想があると住民の受け止め方も変わっていくのだろうと思う。暮らしの現場の中で市の行政を進める、市の職員が中央にいて、そこに住民を通わせて手続きをさせるのではなく、職員が現場に出向いて現場の中で仕事をするような方向に変えていく思想が大切である。 市庁舎を大きなものにするのではなく、本部もどっかの拠点に置き、実際の現場に身を置きながら全体を指揮するような仕事の仕方に変えていくことである。 センター化の思想とコンパクトな市庁舎がセットとなり、ネットワーク環境（情報と人・もの・エネルギーが動く交流のネットワークインフラ）を整備して、市の職員は現場に身を置いて仕事をする方向性で考えていくとすれば、今回の市庁舎の建て替え費用は実にもったいない。建て替えの費用をセンター化に投資すればまた違った景色を作れるように思う。 センター以外の建物は運営を市から離し、地域の中で運営ができるなら、市は支援する方向性を打ち出したらどうか。これは公民館だけではなく老人憩いの家や自治会の集会場なども含めてである。（健康福祉センターのトレーニングルームなども、なぜ市があんなところまで手を出すのかというのが率直な疑問である） 安くて便利なものを住民に提供するような事業（いわば人気取りの事業がそのまま残っている）は補助金なども全部廃止するぐらいの覚悟をもち、そのひとつが藤の台公民館であると提示をすれば、住民もそれなりの覚悟ができるだろうと思う。 私は藤の台公民館を地域のコミュニティセンターとして、自主運営する方向で検討してみたいと思っている。藤沢では元気が出る藤沢ネットワークのような運動に取り組んでいるが、活動の動機にもなるし、住民がどの程度反応を示すか、それも地域住民の意識のレベルを測る良い機会になるのではないかと思っている。 学校の再編成とセンターはセットとして考えるべきであると思っているが、学校の再編成は相当先の話の話なので、そこまでは今議論できない。まずは藤沢のセンター化と藤の台のコミュにセンターのとしての自主運営化の議論をセットで行い、ひとつのモデルとして具体的な思考の手順とセンターの概念と具体的な機能を示すことが重要ではないかと思う。藤沢ではまずそこから手をつけてみたい。	現段階では、市役所の整備方向、地区センターの対象範囲を見直すことは難しいものと考えております。 なお、今後の人口減少を想定すると、現段階では一つの地区センターが対象とする人口は、1万～1万5千人程度を想定しておりますが、藤沢地区においては、2.5万人で1箇所ということになります。。 地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。 また、検討する中で市役所との役割分担についても具体化をする予定です。その中で市役所と地区センターの規模の設定なども、より効率化を図れるよう調整したいと考えております。 なお、藤沢地区センターの統合、藤の台公民館の跡地活用については、地域の方々とも協議を重ねながら具体化を図りたいと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
96			(2)学校の再配置の問題 地域には地域の人が等しく関心をもつシンボルが必要だと思う。かっては神社・仏閣・森や川であったが、今唯一期待できるのが学校である。 特に小学校低学年の子が歩いて行ける範囲は“息づかいが聞こえる”地域をつくる良い基準になるように思える。 本来その単位がセンターの単位であり、自治会の単位であるべきではないかと考える。 今回のマネジメントでは学校を均一の規模にするという思想が根底にあるように思うが、地域社会を作るという視点、地域で子供を育てるという視点の方が重要であると思う。（規模や運営は地域によって多様で良いと思う） その点から云えば、現在の中学校区・小学校区の整理は最も基本的な、今回の中心命題になるテーマであろう。 生まれ落ちてから小学校低学年までと小学校高学年から中学校までは地域特性が異なるように思える。小学校高学年はむしろ立地的には中学校と同じ場所として（制度は異なっても良い）低学年は歩いてか通える地域に分散立地し、先生が異動するようなことはできないだろうか。 その中学校・小学校以下がおのおの地域の単位として、センターの立地となり、自治会の単位となる方向性まで考えるべきではないかと思う。	今後の人口減少、少子化・高齢化、財政状況、施設の老朽化状況など、様々な背景を踏まえて、これからの公共施設の適正化を検討してきた結果、計画でお示しした通り、市内を9地区に分けて再整備・再配置をする案を提案させていただきました。 地域コミュニティの単位をどのように設定するかということは、非常に難しい問題ですが、この9地区についてもコミュニティの一単位として認識されているものでもあるため、公共施設を再編する地域区分としたものです。
97	27～		施設の統廃合は必要なこと。公民館、体育館、老人憩いの家は理解できる。 西武中と野田中の統合計画は理解できません！築年数・生徒数・立地を考えても野田中になるのがあたりまえ。アホか。 周辺すべての人が反対しています。再度検討を。 入間市の役所職員の能力には以前より低さを感じています。飯能市は、様々な計画・立案を実施・メッツァや他県へのアピールなど感心しています。もっと様々なイベントや収入増になる企画を打ち出し実行してください。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 市職員に対するご意見については、今後の市政運営での参考とさせていただきます。
98			野田中学校の西武中学校への統合に厳しく反対致します！ 理由 1. 生徒数の多い野田中がなぜ廃校なのか？ 2. 校舎の古い西武中を残し野田中を廃校にするのか？ 3. 災害時、危険度の高い西武中を残し安全性の高い野田中を廃校にするのか？（県の調査でも西武中所在地区が安全だと公表されていない。） 4. 地元市民への説明不足！！ 5. 今後、地元市会議員の動行に注視します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
99			野田中学校の西武中学校への統合に厳しく反対致します！ 理由 1.生徒数の多い野田中がなぜ廃校なのか？ 2.校舎の古い西武中を残し野田中を廃校にするのか？ 3.災害時、危険度の高い西武中を残し安全性の高い野田中を廃校にするのか？（県の調査でも西武中所在地区が安全だと公表されていない。） 4.地元市民への説明不足！！ 5.今後、地元市会議員の動行に注視します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
100			野田中学校の西武中学校への統合に厳しく反対致します！ 理由 1. 生徒数の多い野田中がなぜ廃校なのか？ 2. 校舎の古い西武中を残し野田中を廃校にするのか？ 3. 災害時、危険度の高い西武中を残し安全性の高い野田中を廃校にするのか？（県の調査でも西武中所在地区が安全だと公表されていない。） 4. 地元市民への説明不足！！ 5. 今後、地元市会議員の動行に注視します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
101			野田中学校の西武中学校への統合に厳しく反対致します！ 理由 1. 生徒数の多い野田中がなぜ廃校なのか？ 2. 校舎の古い西武中を残し野田中を廃校にするのか？ 3. 災害時、危険度の高い西武中を残し安全性の高い野田中を廃校にするのか？（県の調査でも西武中所在地区が安全だと公表されていない。） 4. 地元市民への説明不足！！ 5. 今後、地元市会議員の動行に注視します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
102			マネジメントとは世界大百科事典で調べると、【経営・経営管理】よりそれが職能別部門組織の確立によって、第1次大戦ころまでに多くの企業が真の企業結合体になったのである。 [集権的機構と管理方式・管理技術] 本社機構を核とする最高経営者層（トップ・マネジメント）は、各部門活動を調整、評価し、市場の動きと部門活動とを調整し、さらに企業全体の政策を決定する。最高経営者層は、長期的予測・判断に基づく企業資源の部門間配分と短期的変動に対応した企業資源の有効利用とについての意思決定を行った。 とあるように民間企業を対象にしています。これを公共施設に当てはめること自体無理があります。公共施設は経済的利益が目的ではありません。 市の資料では「マネジメント」とは「管理」「経営」を意味しますと説明しています。それでしたら「入間市の公共施設に於ける将来の管理経営計画」でもいいのではないでしょうか。わざわざ説明しているということは市当局が市民にわかりずらいからと自ら表明していることです。 この計画を建てる時に「まちづくり」や「都市計画」の多種多彩な学識経験者を交えて協議したのでしょうか。聞くところによるとほとんど素人に近い人が基本計画を立案しているということです。入間市という人口約15万人という市の将来計画を建てるにはあまりにもお粗末ではないでしょうか。更に将来の事なのですから現在の若い人の意見も聞くべきではないでしょうか。統廃合計画は国からの指示のもとに行われているものです。入間市の財政が厳しいと言いながら82億円の市庁舎を建てるというのだから笑止千万、こんな矛盾が分からないのでしょうか。今年10月から消費税10%となるのだから市民生活はますます苦しくなります。市役所の人は給与がいいからいいのでしょうが市民の圧倒的多数は生活に困窮しています。だから統廃合して効率化するのだというでしょうが、それとこれは違います。	「公共施設マネジメント」という言葉がわかりづらいということについては、今後はよりわかりやすい説明をさせていただきたいと考えております。 市としては、この計画は市民の皆さまの理解が必要であり、ご意見を伺ってまとめるべきものであるため、専門家のアドバイスはいただいておりますが、行政として計画を立て、市民のご意見をお伺いして取りまとめることとしたものです。学識経験者等の知見によって計画を策定するような性格のものではないものと考えております。 なお、市役所の整備計画は見直しを図っており、ご指摘の事業費とは変わっております。また、建替える案となってはおりますが、これは耐震改修と比較して、長期的なコストは建替えた方が安価であることが確認されたため、市民の負担が少しでも少ない案を採用したものです。
			建物自体の老朽化で市役所A・B棟屋上防水の劣化が写真入りでありますが、こんな事はどの建物でも同じでマンションでも長期修繕で計画しています。市役所入口の急な勾配がでていますが、これは設計時点でこうなっていたものだと思います。設計通りやったのだから別に問題はありません。急勾配だからという苦情も聞いたことはありません。考え様ですが、水害の時に1階に雨水が流れ込む事を防ぐという事も考えられます。 鉄筋コンクリート造の寿命は約50年から60年とありますが別紙によると 建築学会の基準 耐用年数の代表値として長期のものから150年、100年、60年40年となっています。 埼玉県庁は64年を経ていますが立派に建っています。耐震補強したのだからもっと永く使うのでしょう。 新築するために取って付けたような理由はやめて下さい。市庁舎の耐震補強にこんなにお金がかかるはずがない。私はゼネコンで仕事をしていたのでわかります。市庁舎のホール的空間を理由としていますが今の最新技術を駆使すれば経済的設計は可能です。市庁舎の建て替えありきですすめている事が一目瞭然です。入間市の市庁舎より古い川越市庁舎も耐震補強ですませており、公共建物のモデルとなる埼玉県の旧県庁舎も耐震補強ですませています。今の建築技術なら様々な方法があり色々な耐震あるいは免震方法があります。この検討もしないで金額をだせるはずがありません。	市役所A・B棟の建替えを選択した理由は2つあります。一つは、既存施設を耐震改修して今後使い続けた場合と比較した結果、維持管理費を含め、長期的なコストが安価となることです。 耐震補強のみ実施した事例との比較についてですが、ご指摘のとおり耐震補強のみ実施した場合、事業費自体は小さく見えますが、今後施設を維持するために、設備機器の更新工事等が必要になります。また、入間市の場合は、耐震補強で実施した場合、1階の市民ホールにある窓口にブレースや壁を設置する必要があることから、既存施設を活用する場合、免震構造とすることになりますが、その場合は建替えと事業費の差があまりないことが判明しました。 2つ目の理由は、これからの市役所に求められるサービスや機能に対応するためには、既存施設を活用するよりも建て替えた方が有利である点があげられます。特に、市役所は大地震後も災害復興拠点として使い続けられることが求められており、加えて、ワンストップ窓口の設置、バリアフリー化など、時代の変化に対応できるようにするためには、建替えが有利と判断しました。 ご指摘については、平成30年6月～7月にかけて実施した「意見交換会」の説明資料に対するものと考えます。市役所、市民会館・中央公民館の耐震化については、「入間市役所等整備計画（原案）」にまとめましたので、ご覧ください。
			統廃合についても広報で知らせているというが市民は具体的なことは知らない人が多いのです。これは市民参加になっていないからなのです。多くの市民が参加して協議するのは当然です。 市はマネージメントとかパブリックコメント（パブコメ）とか横文字をよく使いますが、一般市民には説明しないと分かりません。横文字を使って悪いとは言いませんが同時に分かり易い言葉も使って下さい。パブリックコメントは「統廃合についてご意見をお寄せ下さい」の方がよほど分かり易いと思います。意見を集約して参考にするといっていますが、それならどういう意見がどの位あったかを発表して下さい。 いっさい白紙に戻して多くの学識経験者を交え更に多くの市民の参加の基に拙速せずに時間を十分にかけて立案、協議会をつくりやりなおすべきです。	市民の皆さまのご意見としては、これまでの地区懇談会や市民説明会の議事録、パブリックコメント、市民アンケートなどを、市公式ホームページで公開しておりますのでご参照ください。 お示しした「公共施設マネジメント事業計画」は、公共施設の再整備・再配置について、今後30年間の方向性を示したもので、社会環境の変化などを踏まえて10年ごとに見直しを行うこととしています。 なお、この計画をまとめる上では、「公共施設最適化基本方針」の策定、「公共施設等総合管理計画」の策定などを合わせると約5年要していますが、その間、有識者や多くの市民を交えて検討してまいりました。
103	P34.35 P56	小学校および中学校の統合・新設・建替について 市役所の建替・大規模改修について	■宮寺小・狭山小学校は第1期に第一案（統合・新設）第二案（統合・建替）となっていますが、西武中学校・野田中学校は第1期に統合、第2期に建替となっています。新設あるいは建替後に統合するのが適切と考えますが、統合計画を先行する理由を説明して下さい。費用負担は大きいですが敷地内にある渓流上部に砂防ダムを設け安全性を確保し、宮寺、狭山小と同様に老朽化している歴史ある西武中に統合するためには第2期に統合・建替計画を移行することが適切と考えます。第1期に遠方からの自転車通学路の確保、市道整備等を行う、あるいは、西武小、仏子小の統合に合わせて西武支所、市民グランド、テニスコート等の敷地に統合した小学校と中学校を建設する計画の検討期間を確保する事も可能と考えます。 西武地区の中学校の早急な統合は仏子と野田地区の住民に危機的な分断を誘発し、今後の市政運営に甚大な禍根を残すおそれがあると考えます。 ■第1期にA・B棟建替C棟改修工事の計画とのことですが、A・B棟の耐震補強およびA・B・C棟の改修工事で対応可能です。第4期に市庁舎の建替計画とすることで、市庁舎の耐震性能向上が早急に可能です。図面なしですが概略の耐震構造検討を行いました。総合的ご検討下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 市役所の耐震化については、「入間市役所等整備計画（原案）」にまとめましたので、ご覧ください。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
104	P96		2022年の野田中学校が西武中学校に統合することには反対です。 1.登校の安全が確保できていない。 現在、中橋北交差点は通勤通学のために大変混雑してます。 歩道の道幅が狭い、車や自転車も多い状況です。この状態にさらに300人の中学生が自転車で通る事は、大変危険な行為だと考えます。 ぜひ、実際に朝の時間（7:40～8:00）に見に来ていただいた上で、子どもの安全が確保できる事の論理的説明をして下さい。 2.学校、建物などのハード面が整っていない 2021年に改修工事をおこない、2022年に統合となっているが、その10年後には西武中学校は立て直しの予定であると聞いています。 それならば、まだ後、30年使える野田中学校を使い、西武中学校を立て直しからの統合の話は進めるべきではないでしょうか。 建て替えの効率、経費の面でもその方が合理性があると思います。 （2022年で統合をして立て直した場合、もし奥の土砂災害危険地域に近いほうに校舎建て替えになるのでしょうか？さらに危険になると思います。） また、安全面から考えれば100m離れているとはいえ、土砂災害危険区域があり、西武中学校の中には川が流れています。 危険がない安全な野田中学校に本来は統合すべき所を、不安が残る西武中学校に建て替え、子どもを危険にさらす理由はないと考えます。 以上のことから、3年後の2022年の西武中学校への統合には問題があると考えます。 まず、子どもたちの登校の安全、校舎の安全をすべて整えてから統合の話を進めるべきだと考えます。（第1期ではなく、第2期以降にすすめてほしい） 2/8、2/16と説明会も参加しましたが「もろもろの事情で西武中学校に決まった」の説明では納得できません。 まずは子どもたちの安全を第一に考えてほしいと強く希望します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
105			去る2月16日（土）夜、西武公民館で開かれた公共施設マネジメント事業計画（原案）説明会に参加させていただいた。土曜日の夜の会合にもかかわらず大ぜいの方々が出席していることに関心の高さを感じるとともに一部説明を聞こうとしない態度にも異様さを感じた。あるいは先月行われたPTAの説明会で納得しない人たちが多くいたかも知れない。 今回原案に示されたマネジメント計画の西武地区の課題は学校統合問題にしぼられている。 小学校については西武小学校に統合することで大半は納得するのではないか。あとは仏子地区の方々に跡地利用が地域活性化の拠点（住宅開発ではなく）と考えることや通学にあたっての安全対策に万全を期してほしい。 さて問題の中学校統合については、現状をみると生徒数、施設の耐用年数等からみると、野田中学校に西武中学校が統合することが本来と思われるが、学校の立地位置が余りに悪い。 また地区バランスから考えても野田新光地区に小学校1、地区センター1、地区体育館1。仏子地区に中学校1、図書館分館1、アミーゴ1と施設の平均化を考えると西武中学校を存続させる必要もある。そうした意味あいから私は西武中学校への統合を良しとしたい。 ただ私はその前に教育委員会に申し上げたい。西武中学校の平成30年度生徒数は160人、5クラスとのことである。このことを解消するために早期の統合をすすめるのには反対である。今の生徒をどうするのか。教育に何年後はない。今の現状をどう打開していくのか。教員配置や加配の限界、クラブ活動もしかり、そのことにまずは真剣に向きあってほしいと切に要望する。 野田中学校関係の人たちの反発は大きい。もしどちらに統合しても橋を中心とした通学路をはじめとする安全対策は必須のことであり、万全を期してほしい。 どこの市町村においても公共施設マネジメント計画の取りくみは住民にとって痛みをともなうことであり、なかなか進まないのが現状である中で、入間市がこの段階で原案を示されたことに敬意を表します。（H31.2.21）	統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
106		全体計画	2・3年後の社会を予測することも困難な中で、30年後の社会や地域生活を現状に基づき計画することは無謀である。それぞれの公共施設の役割や維持管理の在り方も当然大きく変化する。その上、今後、災害対策や施設の修繕技術なども画期的な形で改善される。その時々の課題は、10・20・30年後の市民と行政に任せるべきです。それぞれの課題について、4・5年後の間に解決が迫られる問題についてのみ、改善策を計画するにとどめるべきです。 行政がやるべきことは、現在抱えている人口減対策として、少子化対策の抜本的・総合的な対策などの課題に取り組むことです。特に20代・30代の人たちが8時間働けば普通に生活ができ、子育てや職場復帰などできるように抜本的改善を図ることを自治体として支援し、国や県に要請することです。 また、財政の見通しが厳しいのであれば、国民が払っている税金の使い方、軍用機購入や大企業優遇税制を変え、国民総生産分までもため込んでいる内部留保の一部を市民生活に使わせるよう自治体としても国に改善を要請することです。	この計画は30年間の計画であり、それを3期に分けて構成し、10年ごとの見直しをすることとなっています。公共施設の統廃合は、市民生活にも大きな影響を与えるものであるため、長期的な計画をお示しすることが市民の生活設計にも必要なことだと考えるため、30年間としました。計画もなく、身近な施設が突然統廃合や複合化するということは、市民生活に悪影響を与えるものだと考えました。 また、施設の建替えなどは時間と膨大な事業費がかかるものであり、計画的に行わないと実現ができないことも理由の一つです。 ただし、社会情勢や市民ニーズの変化を予測することが難しいことは事実であるため、5年ごとの時点修正や10年ごとの計画の見直しを行うことも規定しています。
	1	地区公民館	社会教育施設である地区公民館に、社会教育主事が一人もいないという極めて異常な事態であり、早急な配置で入間市の社会教育の基本施設から改善すべきです。	ご指摘の件は、組織体制の問題として、別途検討してまいります。
	4	小中学校	30・25人学級に発展させることを基本に検討すべきです。第1期の宮寺小と狭山小、西武小と仏子小、西武中と野田中の統合の必要性と効果が全く理解できない。	現行の教育制度の中で教育環境の充実を図ってまいります。 また、教育委員会が進める適正規模で教育環境の充実を図ってまいります。
	7	学童保育	この計画では、6年生までを対象に、増え続ける入室希望にこたえられない。また、迎えに来れない家庭の児童は、さらに遠くなり、その帰宅への安全対応が不安である。	学童保育室の整備は、今後の需要を想定し、待機児童が発生しないように定員を確保したいと考えております。 また、通学上の安全確保については、地域の方々と協議を行います。
107			西武中学校への統合決定理由に疑問 【比較】資料 ① 1頁 2頁 この資料からも西武中が選定されるは疑問 ② 6頁 西武中の第2グランドの危険度は低いと判断を行っているが山を崩して造成したグランドであるため不安です。 【西武中学校選定理由の定量的公表】 選定を行った比較項目を定量的に公表してください。 （選定に影響したファクターも公表をお願いします。） 尚、公表は計画の決定する前の市報にて報告をお願いします。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 計画はホームページに掲載し、広報いるまでのお知らせは原稿作成の都合上6月1日号を予定しています。
			【選定理由比較表基に説明会の開催】 2月16日の説明会でも出ていましたが説明会の再開催をお願いします。 【計画確定時期変更】 お役所仕事と批判されない様に期待しています。	2月の説明会は終了しました。 今後は計画に基づき、検討委員会の設置により課題解決に向けた協議を行ってまいります。
108	84		■金子地区の計画について 1 保育所と金子小学校の統合について ・賛成 →少子化が進行しており、児童数の絶対的な減少を考えれば、施設の統廃合はやむなし。 →金子地区の交通の便の悪さ、働くお母さんの交通事情を考えれば、今の時代は駐車場が必須。駐車場を確保できるのは保育所よりも小学校の方がよい。 →施設を減らすことで、1ランニングコストの解消、2不要地の売却益が得られる、3各行政保険の抑制というメリットが得られる。 →多学年（保育園児と小学生）の交流ができる。	保育所の老朽化対策、地域における利便性の向上などの理由により、金子第一保育所と金子第二保育所の統合を行うにあたり金子小学校へ移転することを考えたものです。 金子小学校への保育所の複合化については、2019年度に詳細な整備計画を検討する中で検証することとしました。
	84		2 金子中学校について ・再考：小学校との統廃合 →1と同様に、少子化が進行している。特に今の小学校1年生からさらに減少しており、1学年1クラスになるのも時間の問題である。 つまり5年後からは中学校の生徒数もさらなら減少となる。 これらを考えると、中学校単体での維持はデメリットが多い。 →すでに不足している専門職（保健師、特別新学級の補助教員、今後設置が検討されている法律関係の専門職等）を、小・中学校をぞれぞれに配置するのは効率が悪い。 →運動会や団体活動において、統廃合により児童・生徒数が増えることで盛り上がる。 →施設の統廃合により、修繕費、光熱水費などのランニングコストの抑制。 →まもなく、団塊の世代が後期高齢に、そして団塊ジュニアが増高齢化になっていく中では、介護予防や居場所づくりとなる高齢者向けの施設などが必要である。この施設を、中学校跡地の再利用により、可能となる。 →厚労省の推計「医師偏在指数」によると、埼玉県は重点地区である下位16県に入っている。つまり埼玉県は医師不足が懸念される。高齢化がすすむ金子地区では大きな課題である。例えば中学校跡地の利用として、サブ健康センターとし、医師会などの協力を得て、定期巡回での診療を行うことも必要と考える。	現段階では義務教育学校（小中一貫校）の導入は想定していませんが、将来に向けて跡地活用の案も含めてご意見を参考とさせていただきます。
	84		3 地区センターについて ・再考：民間企業を取り入れた複合施設化 金子地区は、高齢化の進行が速い。また、購買力の高い生産年齢人口が減少する。このことは、スーパーの売り上げが落ち、撤退の危険性がる。そうした場合、金子地区の高齢者は買い物難民化する。 地区センターは、地域包括ケアシステムの拠点となるような仕組みが必要なので、民間企業（1階にスーパー、またはコンビニなど）との複合施設が必要と考える。	民間活力の導入は「公共施設マネジメント」の基本方針にも謳っていることなので、今後の状況を注視しつつ、必要が生じた際には、ご意見を踏まえて可能性を探っていきたいと考えます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
109			私は第1 回目の扇町屋公民館から西部公民館までほぼ、説明会に参加してきました。その中で感じたことを伝えます。 どの地域も賛同する声はほぼなく、否定的な意見が99 パーセントだったように思えます。その中でも、宮寺、高倉、西武地区は100パーセント否定的な意見でした。 行政は統廃合という一元的な計画で、市全体に一貫性を持たせたいということは理解できます。しかし、住民の意見を聞いた現在は、各地域に見合う計画に練り直さなければならないことを理解したのではないでしょうか。 それでも原案通りに進めるのであれば、それこそ、住民たちの各疑問について、1つずつ丁寧に明確にする必要があるでしょう。 公共施設マネジメントという横文字は、かんたんにいうと、施設のリストラです。 おそらく、原案がまとまった当初は及第点だったことでしょう。ところが現在はどうでしょうか。赤点、または赤点に限りなく近いのではないでしょうか。そのような点数の原案を執行するのであれば、30年先も赤点の自治体、または消滅都市となるでしょう。 都市への一極集中はますます進み、ロンドンやソウルよりもひどくなってもよいのでしょうか？ 今回を機に、入間市から国へ提言し、その結果を住民に伝えて、再度、話し合うべきです。	パブリックコメントでも各地区からは様々なご意見をいただいております。それらを踏まえて計画の見直しを検討させていただきました。
110		小学校・中学校の統廃合について ※野田中学校・西武中学校統廃合の件	①まず、第一に、確認して頂きたい事は、 小学校・中学校は、『義務教育』という事です。 入間市は、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供達の、一人一人の命、心身を、想定されるあらゆる交通事故、あらゆる犯罪、あらゆる災害から、『入間市として、全力で、必死で守らなければならない。』その義務があると思います。 また、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供たちの命、心身を守り、一人も危ない目に遭わず、また一人も欠けることなく、何百人もの子供たち全員を、無事に卒業させる義務があると思います。 そのためには、まずは、しっかりとした現地調査が必要のはずです。 がしかし、残念な事に、2019年2月16日（土）西武公民館での最後の説明会の時点ですら、出席されていた関係者の誰一人として、何百人もの子供達が通学路として歩くと想定される道路を、一度も歩かれていない事が、一番大きな問題だと思います。 そんな状況下で計画された案を、早急に実行しようとする入間市は、『子供たちの安全、安心を一番に考えています』と言えるのですか？　安全面が後回しの計画なんて有り得ないと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 例えば、車道と歩道の狭さ、歩道自体が無い狭い道（白線も縁石もない場所）、自転車道は皆無、歩行者信号の無い交差点、車の混雑状況等どれ一つをとっても、『安全、安心』とは遠くかけ離れている現状です。 更に、横断歩道に歩行者が立っていても、歩行者優先に一時停止をしてくれる車は非常に少ない現実です。 また、西武中学校に統合されるとなれば、更に、危険な崖崩れの不安、踏切と踏切周辺の道の狭さと交通量の多さ、古くて小さいボロボロの陸橋、等々問題点は増えるばかりです。 これらの多くの問題点を、計画をスタートさせてから、子供たちの通学が始まる前までに、本当に解決出来るとお考えですか？ 現時点で、現地調査も行われていないのに？ 万が一、問題点の解決が間に合わなかった場合は、子供たちはどうなるのですか？　ご回答願います。 関係者の方々は、これらの多くの危険で不安な現状を充分に調査した上で、西部地区の住民に、『現在懸念されている問題点は、これからこのような方法で解決して行く計画がありますので、そこを含めて統廃合の計画原案の公表とします。』とされるのが、ごく自然の流れであり、子供たちの安全、安心を考えている人達の取るべき行動だと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ②今回の野田中学校と西武中学校の統廃合の計画、スケジュール、またその進め方においては多くの問題点がありますが、時間が足りないので、考えられる妥協策を4つ上げさせて頂きます。 以下の項目については、最低限クリアして頂くべき問題点だと思いますので、一つ一つについて、どのようにお考えかを、必ず、計画決定の以前に、ご回答願います。 第一に、スクールバスの導入を早急に計画し、3月の決定前に再度、意見交換の場を設けてください。 統合される中学校に通う子供たちの全員が、無条件で乗れるスクールバスです。西武中学校に統合される場合には、仏子駅前のロータリーが終点になると思います。 現在懸念されている通学路の危険性については、かなり回避出来ると思われます。今後何年かかるのか分かりませんが、道路事情が解決されるまでの期間は、スクールバスの導入しかないと思われます。 万が一、道路事情が解決されないままの状況で、通学が始まるとしたら、子供たちは、入間市に、『命を削ってでも通学してください』と言われるような厳しい状況下での通学になると思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 第二は、西武中学校に統合される場合に考慮されるべき事ですが。 校庭裏の崖の部分を無くす事。切り開いて、危険性を回避するべきだと思われます。 『土砂災害指定地区から100メートル以上離れているから安全である』という判断では、あまりに認識が甘すぎて、子供を持つ親としては到底納得できないと思います。 今まで起きたことのない大地震で崖崩れが発生して、命を落とすかもしれないような学校に、3年間も自分の子供や孫を通わせなければならないとしたら、どうしますか？　ご回答願います。 第三として、線路を安全に渡る陸橋を、新しく、広く、作り直し、将来道路事情が解決された時の為に、階段とスロープが必要だと思います。 第四には、最も重要で解決に時間がかかると思われる道路状況の改善、拡張、歩道の確保、自転車道の確保、歩行者と車の分離信号設置等々、安全面の計画を立てるには、相当の時間がかかると思われます。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ③最後に関係者の皆様にお願いです。 3月の計画決定の議論の前に、まずは、野田中学校と西武中学校間の、通学路になると考えられる道路を、朝の通学時間帯と夕方の下校時間帯で、春夏秋冬を通して自らの足で、歩いて頂くことを懇願致します。 豪雨の日、強風の日、猛暑の日、雪の日、台風の日もあります。 川に架かる橋を毎日渡らなくてはならないのです。川の氾濫の危険も考えてください。 とにかく子供たちは、一日朝夕2回往復を何日、何十日、何百日も、 通学しなければならないのです。 「今日は大雨洪水注意報が出ていて、危険だから学校に行くのは止めよう！」とか、「今日は台風で、危険だから学校に行くのは止めよう！」と言う、個人の判断で行くか行かないかの選択が出来る、公民館や図書館ではないのです！！ それにも拘らず、公民館や図書館と同じ『ハコモノ』として計画を立てる事自体に、大きな無理があります。 小学校も中学校も、新年度になれば、小学校は6年間、中学校は3年間、来る日も来る日も毎日毎日、重い荷物や部活動の道具を持って通学しなくてはならない『義務教育の場所』です。 子供の目線と、子を持つ親の目線で、その通学路や、学校周辺の状況にどのくらいの危険性があるのか、どのくらいの不安材料があるのか、その目でしっかり確認し、調査して下さい。 それからではないのですか？？ それから初めて、統廃合の計画、意見交換、検討、決定、計画をスタートさせるべきではありませんか？ 現状把握を全くされていない状況下で、議論するのは不可能です。 ましてや、一番重要な安全面を後回しにした計画決定や、計画のスタートは、論外だと思います。 どのようにお考えですか？　ご回答願います。 最後に。 現在の『入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）』の、決定、計画実施に際して、これから小学校・中学校に通う予定の子供達の誰一人もが、決して危険にさらされる事無く、その全ての子供達が無事に卒業出来る事を、切に願うばかりです。 何か遭ってからでは、遅いのです、手遅れです。人間の命は、平等に一人に一つしかありません。子供の命を守るのは大人の義務です。 子供たちの命を必死で守らなければ、入間市の将来は有り得ないと思います。 どうか、この住民の切なる願いに対しては、入間市として、誠実に対応して頂き、検討を重ね、安全面の計画については、必ず計画決定の以前に、西部地区住民に分かりやすく提示して頂く事を懇願致します。 是非ともご回答願います。　　2019/2/23	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
		小学校・中学校の統廃合について ※野田中学校・西武中学校統廃合の件	①まず、第一に、確認して頂きたい事は、 小学校・中学校は、『義務教育』という事です。 入間市は、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供達の、一人一人の命、心身を、想定されるあらゆる交通事故、あらゆる犯罪、あらゆる災害から、『入間市として、全力で、必死で守らなければならない。』その義務があると思います。 また、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供たちの命、心身を守り、一人も危ない目に遭わず、また一人も欠けることなく、何百人もの子供たち全員を、無事に卒業させる義務があると思います。 そのためには、まずは、しっかりとした現地調査が必要のはずです。 がしかし、残念な事に、2019年2月16日（土）西武公民館での最後の説明会の時点ですら、出席されていた関係者の誰一人として、何百人もの子供達が通学路として歩くと想定される道路を、一度も歩かれていない事が、一番大きな問題だと思います。 そんな状況下で計画された案を、早急に実行しようとする入間市は、『子供たちの安全、安心を一番に考えています』と言えるのですか？　安全面が後回しの計画なんて有り得ないと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 例えば、車道と歩道の狭さ、歩道自体が無い狭い道（白線も縁石もない場所）、自転車道は皆無、歩行者信号の無い交差点、車の混雑状況等どれ一つをとっても、『安全、安心』とは遠くかけ離れている現状です。 更に、横断歩道に歩行者が立っていても、歩行者優先に一時停止をしてくれる車は非常に少ない現実です。 また、西武中学校に統合されるとなれば、更に、危険な崖崩れの不安、踏切と踏切周辺の道の狭さと交通量の多さ、古くて小さいボロボロの陸橋、等々問題点は増えるばかりです。 これらの多くの問題点を、計画をスタートさせてから、子供たちの通学が始まる前までに、本当に解決出来るとお考えですか？ 現時点で、現地調査も行われていないのに？ 万が一、問題点の解決が間に合わなかった場合は、子供たちはどうなるのですか？　ご回答願います。 関係者の方々は、これらの多くの危険で不安な現状を充分に調査した上で、西武地区の住民に、『現在懸念されている問題点は、これからこのような方法で解決して行く計画がありますので、そこを含めて統廃合の計画原案の公表とします。』とされるのが、ごく自然の流れであり、子供たちの安全、安心を考えている人達の取るべき行動だと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ②今回の野田中学校と西武中学校の統廃合の計画、スケジュール、またその進め方においては多くの問題点がありますが、時間が足りないので、考えられる妥協策を4つ上げさせて頂きます。 以下の項目については、最低限クリアして頂くべき問題点だと思いますので、一つ一つについて、どのようにお考えかを、必ず、計画決定の以前に、ご回答願います。 第一に、スクールバスの導入を早急に計画し、3月の決定前に再度、意見交換の場を設けてください。 統合される中学校に通う子供たちの全員が、無条件で乗れるスクールバスです。西武中学校に統合される場合には、仏子駅前のロータリーが終点になると思います。 現在懸念されている通学路の危険性については、かなり回避出来ると思われます。今後何年かかるのか分かりませんが、道路事情が解決されるまでの期間は、スクールバスの導入しかないと思われます。 万が一、道路事情が解決されないままの状況で、通学が始まるとしたら、子供たちは、入間市に、『命を削ってでも通学してください』と言われるような厳しい状況下での通学になると思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 第二は、西武中学校に統合される場合に考慮されるべき事ですが。 校庭裏の崖の部分を無くす事。切り開いて、危険性を回避するべきだと思われます。 『土砂災害指定地区から100メートル以上離れているから安全である』という判断では、あまりに認識が甘すぎて、子供を持つ親としては到底納得できないと思います。 今まで起きたことのない大地震で崖崩れが発生して、命を落とすかもしれないような学校に、3年間も自分の子供や孫を通わせなければならないとしたら、どうしますか？　ご回答願います。 第三として、線路を安全に渡る陸橋を、新しく、広く、作り直し、将来道路事情が解決された時の為に、階段とスロープが必要だと思います。 第四には、最も重要で解決に時間がかかると思われる道路状況の改善、拡張、歩道の確保、自転車道の確保、歩行者と車の分離信号設置等々、安全面の計画を立てるには、相当の時間がかかると思われます。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ③最後に関係者の皆様にお願いです。 3月の計画決定の議論の前に、まずは、野田中学校と西武中学校間の、通学路になると考えられる道路を、朝の通学時間帯と夕方の下校時間帯で、春夏秋冬を通して自らの足で、歩いて頂くことを懇願致します。 豪雨の日、強風の日、猛暑の日、雪の日、台風の日もあります。 川に架かる橋を毎日渡らなくてはならないのです。川の氾濫の危険も考えてください。 とにかく子供たちは、一日朝夕2回往復を何日、何十日、何百日も、 通学しなければならないのです。 「今日は大雨洪水注意報が出ていて、危険だから学校に行くのは止めよう！」とか、「今日は台風で、危険だから学校に行くのは止めよう！」と言う、個人の判断で行くか行かないかの選択が出来る、公民館や図書館ではないのです！！ それにも拘らず、公民館や図書館と同じ『ハコモノ』として計画を立てる事自体に、大きな無理があります。 小学校も中学校も、新年度になれば、小学校は6年間、中学校は3年間、来る日も来る日も毎日毎日、重い荷物や部活動の道具を持って通学しなくてはならない『義務教育の場所』です。 子供の目線と、子を持つ親の目線で、その通学路や、学校周辺の状況にどのくらいの危険性があるのか、どのくらいの不安材料があるのか、その目でしっかり確認し、調査して下さい。 それからではないのですか？？ それから初めて、統廃合の計画、意見交換、検討、決定、計画をスタートさせるべきではありませんか？ 現状把握を全くされていない状況下で、議論するのは不可能です。 ましてや、一番重要な安全面を後回しにした計画決定や、計画のスタートは、論外だと思います。 どのようにお考えですか？　ご回答願います。 最後に。 現在の『入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）』の、決定、計画実施に際して、これから小学校・中学校に通う予定の子供達の誰一人もが、決して危険にさらされる事無く、その全ての子供達が無事に卒業出来る事を、切に願うばかりです。 何か遭ってからでは、遅いのです、手遅れです。人間の命は、平等に一人に一つしかありません。子供の命を守るのは大人の義務です。 子供たちの命を必死で守らなければ、入間市の将来は有り得ないと思います。 どうか、この住民の切なる願いに対しては、入間市として、誠実に対応して頂き、検討を重ね、安全面の計画については、必ず計画決定の以前に、西武地区住民に分かりやすく提示して頂く事を懇願致します。 是非ともご回答願います。　　2019/2/23	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	111			

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
112		小学校・中学校の統廃合について ※野田中学校・西武中学校統廃合の件	①まず、第一に、確認して頂きたい事は、 小学校・中学校は、『義務教育』という事です。 入間市は、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供達の、一人一人の命、心身を、想定されるあらゆる交通事故、あらゆる犯罪、あらゆる災害から、『入間市として、全力で、必死で守らなければならない。』その義務があると思います。 また、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供たちの命、心身を守り、一人も危ない目に遭わず、また一人も欠けることなく、何百人もの子供たち全員を、無事に卒業させる義務があると思います。 そのためには、まずは、しっかりとした現地調査が必要のはずです。 がしかし、残念な事に、2019年2月16日（土）西武公民館での最後の説明会の時点ですら、出席されていた関係者の誰一人として、何百人もの子供達が通学路として歩くと想定される道路を、一度も歩かれていない事が、一番大きな問題だと思います。 そんな状況下で計画された案を、早急に実行しようとする入間市は、『子供たちの安全、安心を一番に考えています』と言えるのですか？　安全面が後回しの計画なんて有り得ないと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 例えば、車道と歩道の狭さ、歩道自体が無い狭い道（白線も縁石もない場所）、自転車道は皆無、歩行者信号の無い交差点、車の混雑状況等どれ一つをとっても、『安全、安心』とは遠くかけ離れている現状です。 更に、横断歩道に歩行者が立っていても、歩行者優先に一時停止をしてくれる車は非常に少ない現実です。 また、西武中学校に統合されるとなれば、更に、危険な崖崩れの不安、踏切と踏切周辺の道の狭さと交通量の多さ、古くて小さいボロボロの陸橋、等々問題点は増えるばかりです。 これらの多くの問題点を、計画をスタートさせてから、子供たちの通学が始まる前までに、本当に解決出来るとお考えですか？ 現時点で、現地調査も行われていないのに？ 万が一、問題点の解決が間に合わなかった場合は、子供たちはどうなるのですか？　ご回答願います。 関係者の方々は、これらの多くの危険で不安な現状を充分に調査した上で、西部地区の住民に、『現在懸念されている問題点は、これからこのような方法で解決して行く計画がありますので、そこを含めて統廃合の計画原案の公表とします。』とされるのが、ごく自然の流れであり、子供たちの安全、安心を考えている人達の取るべき行動だと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ②今回の野田中学校と西武中学校の統廃合の計画、スケジュール、またその進め方においては多くの問題点がありますが、時間が足りないので、考えられる妥協策を4つ上げさせて頂きます。 以下の項目については、最低限クリアして頂くべき問題点だと思いますので、一つ一つについて、どのようにお考えかを、必ず、計画決定の以前に、ご回答願います。 第一に、スクールバスの導入を早急に計画し、3月の決定前に再度、意見交換の場を設けてください。 統合される中学校に通う子供たちの全員が、無条件で乗れるスクールバスです。西武中学校に統合される場合には、仏子駅前のロータリーが終点になると思います。 現在懸念されている通学路の危険性については、かなり回避出来ると思われます。今後何年かかるのか分かりませんが、道路事情が解決されるまでの期間は、スクールバスの導入しかないと思われます。 万が一、道路事情が解決されないままの状況で、通学が始まるとしたら、子供たちは、入間市に、『命を削ってでも通学してください』と言われるような厳しい状況下での通学になると思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 第二は、西武中学校に統合される場合に考慮されるべき事ですが。 校庭裏の崖の部分を無くす事。切り開いて、危険性を回避するべきだと思われます。 『土砂災害指定地区から100メートル以上離れているから安全である』という判断では、あまりに認識が甘すぎて、子供を持つ親としては到底納得できないと思います。 今まで起きたことのない大地震で崖崩れが発生して、命を落とすかもしれないような学校に、3年間も自分の子供や孫を通わせなければならないとしたら、どうしますか？　ご回答願います。 第三として、線路を安全に渡る陸橋を、新しく、広く、作り直し、将来道路事情が解決された時の為に、階段とスロープが必要だと思います。 第四には、最も重要で解決に時間がかかると思われる道路状況の改善、拡張、歩道の確保、自転車道の確保、歩行者と車の分離信号設置等々、安全面の計画を立てるには、相当の時間がかかると思われます。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ③最後に関係者の皆様にお願いです。 3月の計画決定の議論の前に、まずは、野田中学校と西武中学校間の、通学路になると考えられる道路を、朝の通学時間帯と夕方の下校時間帯で、春夏秋冬を通して自らの足で、歩いて頂くことを懇願致します。 豪雨の日、強風の日、猛暑の日、雪の日、台風の日もあります。 川に架かる橋を毎日渡らなくてはならないのです。川の氾濫の危険も考えてください。 とにかく子供たちは、一日朝夕2回往復を何日、何十日、何百日も、 通学しなければならないのです。 「今日は大雨洪水注意報が出ていて、危険だから学校に行くのは止めよう！」とか、「今日は台風で、危険だから学校に行くのは止めよう！」と言う、個人の判断で行くか行かないかの選択が出来る、公民館や図書館ではないのです！！ それにも拘らず、公民館や図書館と同じ『ハコモノ』として計画を立てる事自体に、大きな無理があります。 小学校も中学校も、新年度になれば、小学校は6年間、中学校は3年間、来る日も来る日も毎日毎日、重い荷物や部活動の道具を持って通学しなくてはならない『義務教育の場所』です。 子供の目線と、子を持つ親の目線で、その通学路や、学校周辺の状況にどのくらいの危険性があるのか、どのくらいの不安材料があるのか、その目でしっかり確認し、調査して下さい。 それからではないのですか？？ それから初めて、統廃合の計画、意見交換、検討、決定、計画をスタートさせるべきではありませんか？ 現状把握を全くされていない状況下で、議論するのは不可能です。 ましてや、一番重要な安全面を後回しにした計画決定や、計画のスタートは、論外だと思います。 どのようにお考えですか？　ご回答願います。 最後に。 現在の『入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）』の、決定、計画実施に際して、これから小学校・中学校に通う予定の子供達の誰一人もが、決して危険にさらされる事無く、その全ての子供達が無事に卒業出来る事を、切に願うばかりです。 何か遭ってからでは、遅いのです、手遅れです。人間の命は、平等に一人に一つしかありません。子供の命を守るのは大人の義務です。 子供たちの命を必死で守らなければ、入間市の将来は有り得ないと思います。 どうか、この住民の切なる願いに対しては、入間市として、誠実に対応して頂き、検討を重ね、安全面の計画については、必ず計画決定の以前に、西部地区住民に分かりやすく提示して頂く事を懇願致します。 是非ともご回答願います。　　2019/2/23	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
		小学校・中学校の統廃合について ※野田中学校・西武中学校統廃合の件	①まず、第一に、確認して頂きたい事は、 小学校・中学校は、『義務教育』という事です。 入間市は、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供達の、一人一人の命、心身を、想定されるあらゆる交通事故、あらゆる犯罪、あらゆる災害から、『入間市として、全力で、必死で守らなければならない。』その義務があると思います。 また、『入間市立〇〇小学校・入間市立〇〇中学校』に通う全ての子供たちの命、心身を守り、一人も危ない目に遭わず、また一人も欠けることなく、何百人もの子供たち全員を、無事に卒業させる義務があると思います。 そのためには、まずは、しっかりとした現地調査が必要のはずです。 がしかし、残念な事に、2019年2月16日（土）西武公民館での最後の説明会の時点ですら、出席されていた関係者の誰一人として、何百人もの子供達が通学路として歩くと想定される道路を、一度も歩かれていない事が、一番大きな問題だと思います。 そんな状況下で計画された案を、早急に実行しようとする入間市は、『子供たちの安全、安心を一番に考えています』と言えるのですか？　安全面が後回しの計画なんて有り得ないと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 例えば、車道と歩道の狭さ、歩道自体が無い狭い道（白線も縁石もない場所）、自転車道は皆無、歩行者信号の無い交差点、車の混雑状況等どれ一つをとっても、『安全、安心』とは遠くかけ離れている現状です。 更に、横断歩道に歩行者が立っていても、歩行者優先に一時停止をしてくれる車は非常に少ない現実です。 また、西武中学校に統合されるとなれば、更に、危険な崖崩れの不安、踏切と踏切周辺の道の狭さと交通量の多さ、古くて小さいボロボロの陸橋、等々問題点は増えるばかりです。 これらの多くの問題点を、計画をスタートさせてから、子供たちの通学が始まる前までに、本当に解決出来るとお考えですか？ 現時点で、現地調査も行われていないのに？ 万が一、問題点の解決が間に合わなかった場合は、子供たちはどうなるのですか？　ご回答願います。 関係者の方々は、これらの多くの危険で不安な現状を充分に調査した上で、西武地区の住民に、『現在懸念されている問題点は、これからこのような方法で解決して行く計画がありますので、そこを含めて統廃合の計画原案の公表とします。』とされるのが、ごく自然の流れであり、子供たちの安全、安心を考えている人達の取るべき行動だと思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ②今回の野田中学校と西武中学校の統廃合の計画、スケジュール、またその進め方においては多くの問題点がありますが、時間が足りないので、考えられる妥協策を4つ上げさせて頂きます。 以下の項目については、最低限クリアして頂くべき問題点だと思いますので、一つ一つについて、どのようにお考えかを、必ず、計画決定の以前に、ご回答願います。 第一に、スクールバスの導入を早急に計画し、3月の決定前に再度、意見交換の場を設けてください。 統合される中学校に通う子供たちの全員が、無条件で乗れるスクールバスです。西武中学校に統合される場合には、仏子駅前のロータリーが終点になると思います。 現在懸念されている通学路の危険性については、かなり回避出来ると思われます。今後何年かかるのか分かりませんが、道路事情が解決されるまでの期間は、スクールバスの導入しかないと思われます。 万が一、道路事情が解決されないままの状況で、通学が始まるとしたら、子供たちは、入間市に、『命を削ってでも通学してください』と言われるような厳しい状況下での通学になると思います。 どうお考えですか？　ご回答願います。 第二は、西武中学校に統合される場合に考慮されるべき事ですが。 校庭裏の崖の部分を無くす事。切り開いて、危険性を回避するべきだと思われます。 『土砂災害指定地区から100メートル以上離れているから安全である』という判断では、あまりに認識が甘すぎて、子供を持つ親としては到底納得できないと思います。 今まで起きたことのない大地震で崖崩れが発生して、命を落とすかもしれないような学校に、3年間も自分の子供や孫を通わせなければならないとしたら、どうしますか？　ご回答願います。 第三として、線路を安全に渡る陸橋を、新しく、広く、作り直し、将来道路事情が解決された時の為に、階段とスロープが必要だと思います。 第四には、最も重要で解決に時間がかかると思われる道路状況の改善、拡張、歩道の確保、自転車道の確保、歩行者と車の分離信号設置等々、安全面の計画を立てるには、相当の時間がかかると思われます。 どうお考えですか？　ご回答願います。 ③最後に関係者の皆様にお願いです。 3月の計画決定の議論の前に、まずは、野田中学校と西武中学校間の、通学路になると考えられる道路を、朝の通学時間帯と夕方の下校時間帯で、春夏秋冬を通して自らの足で、歩いて頂くことを懇願致します。 豪雨の日、強風の日、猛暑の日、雪の日、台風の日もあります。 川に架かる橋を毎日渡らなくてはならないのです。川の氾濫の危険も考えてください。 とにかく子供たちは、一日朝夕2回往復を何日、何十日、何百日も、 通学しなければならないのです。 「今日は大雨洪水注意報が出ていて、危険だから学校に行くのは止めよう！」とか、「今日は台風で、危険だから学校に行くのは止めよう！」と言う、個人の判断で行くか行かないかの選択が出来る、公民館や図書館ではないのです！！ それにも拘らず、公民館や図書館と同じ『ハコモノ』として計画を立てる事自体に、大きな無理があります。 小学校も中学校も、新年度になれば、小学校は6年間、中学校は3年間、来る日も来る日も毎日毎日、重い荷物や部活動の道具を持って通学しなくてはならない『義務教育の場所』です。 子供の目線と、子を持つ親の目線で、その通学路や、学校周辺の状況にどのくらいの危険性があるのか、どのくらいの不安材料があるのか、その目でしっかり確認し、調査して下さい。 それからではないのですか？？ それから初めて、統廃合の計画、意見交換、検討、決定、計画をスタートさせるべきではありませんか？ 現状把握を全くされていない状況下で、議論するのは不可能です。 ましてや、一番重要な安全面を後回しにした計画決定や、計画のスタートは、論外だと思います。 どのようにお考えですか？　ご回答願います。 最後に。 現在の『入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）』の、決定、計画実施に際して、これから小学校・中学校に通う予定の子供達の誰一人もが、決して危険にさらされる事無く、その全ての子供達が無事に卒業出来る事を、切に願うばかりです。 何か遭ってからでは、遅いのです、手遅れです。人間の命は、平等に一人に一つしかありません。子供の命を守るのは大人の義務です。 子供たちの命を必死で守らなければ、入間市の将来は有り得ないと思います。 どうか、この住民の切なる願いに対しては、入間市として、誠実に対応して頂き、検討を重ね、安全面の計画については、必ず計画決定の以前に、西部地区住民に分かりやすく提示して頂く事を懇願致します。 是非ともご回答願います。　　2019/2/23	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
113				

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
114	P96、97		西武中への中学校統合について。 中間に中学校を立てることについて、谷田の泉付近をもう一度調査してほしい。安全面については計画が3年後とのことで、決まってから検討では遅い。防災用としては西武分館図書館・AMIGOの存続が決まっているのだから、そちらにすれば良いのではないか。人数が多い分、西武小のみでは反対に防災施設が野田側で足りないのでは？ 統合自体に反対は無いが、交通の安全面を考えると、人数の多い野田・新光地区から狭い踏切を大人数が渡っての通学が危険に思える。線路に歩道橋を立てても、新光地区からの通学を自転車可等にした場合、通れない上に、中橋の近くのパチンコ屋さんに出入りする車の運転も荒く、とても危険。であれば、仏子地区から野田地区に通った方が、踏切より向こうに住む人の人数も少ないし、安全ではないか。 スクールバスを出すにしても、であれば、野田中存続として人数が少ない仏子地区の人を集めて乗せた方が経費的にも安いのではないかと思う。安全対策の案・それにかかる経費の試算をして、金額的にもきっちり納得のいく形で統合決定前に示してほしい。地区関係なしに川や踏切で区切って統合出来ないのかも検討してほしい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
115		野田中学校廃止について	西武小学校に1年生を2名通わせている保護者である。1月18日の統廃合計画により、野田中学校が廃校との方針を知り、大変困惑している。詳細を知るため、1月26日、西武小において、急遽行われた公共施設マネジメント推進課による説明会に出席した。しかし、45分の説明会のうち、冒頭の40分は、人口の減少、少子化、税収の減少、福祉充実にかかる費用の増加の説明に終始し、最大の関心事である野田中の廃校に関する説明は、西武中存続に対し、歴史的背景、地理的に劣っている、様々な要素、とわずか5分程度であった。その後、保護者より、45分程度、様々な質疑応答があったが、上記の説明の繰り返しで、野田中廃校に対する具体的、明確な説明はなかった。さらに、2月16日の西武公民館の説明会が最終で、3月末には計画が確定させるとのことであったが、市民として、また、保護者として、到底納得できる説明も議論も尽くされていないと考える。計画の決定を延期を求める。通学に関し、半径1kmの範囲における生徒数の優位とあったが、それ以外の遠方の生徒は、切り捨てるのか。交通状況に関し、車道、歩道共に狭く、徒歩又は、自転車通学を考えると安全の確保はどうするのか。それに自転車で、雨の日、雪の日は困難。バスによる通学はできるのか（交通費の補助はあるのか）。 野田中が無くなると、新光住民の避難所が無くなる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
116		「事業の目的」	1. 住民説明会の原案には事業の「目的」が剥落しています。素案には「事業計画の目的」が示されています。なぜ、原案から「目的」が除外されたのでしょうか。事業計画の目的は、核心部分です。原案に「目的」を明記し、その説明を盛り込み再度、再原案を市民に再提示すべきです。その中には「時代の変化に対応した行政サービスの継続的な提供」「財政状況も踏まえた持続可能なまちづくり」「公共施設の適正化」「将来世代に負担を先送りしない」など原案を検討する上で重要なキーワードが示されています。それぞれのキーワードについて徹底検討がされるべきで、果たしてこれだけのキーワードだけで良いのかの検討も必要です。ぜひ、原案に「事業目的」を明記し、再提案をして下さい。説明会原案で落とされているとすれば論外です。	説明会の資料では目的を示しておりませんでしたが、削除したわけではなくパブリックコメントを受けた事業計画（原案）にはお示しをしております。これまでも目的については広報紙や計画素案や原案でお示しているのと、今回の説明会は各地区の事業計画の説明とご意見を伺うことを主目的としていたため、説明を省かせていただきました。
	P58		2.計画の確定及び実施については再検討を求めます。原案が公表されてから市民説明会までの周知期間が1ヶ月と極めて短期間であり、この短期間の中で市民に意見を求めることは無理があります。市民にとっては、行政サービスの縮小を求められることであり、充分な周知期間と検討期間が必要です。従って、計画の3月確定、4月事業実施を改め、市民の意見が充分反映できるよう計画の確定及び実施時期の延期を提案します。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。全てのご意見が反映できるわけではありませんが、30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定させていただきます。
	P21		3.旧町村の6地区をベースに検討したとの説明ですが、入間市の町村合併の歴史的経緯を考える時、果たして9地区･地域区分がそれぞれの住民の理解を充分に得られる対策及び検討期間が保障されたのでしょうか。また、それぞれの地域住民の納得が得られた結果なのでしょうか。自治会をはじめ地域の各種団体及び学区など不安が広がっています。地域住民の歴史的経緯を踏まえた再検討、見直しを求めます。	9つの地域区分は公共施設の統廃合の目安として設定したもので福祉圏域などを参考にしています。自治会の区分や学区をこれに合わせて再編しようというものではなく、学区については、学校の統廃合の方向性が決まった時点で、それに合わせて見直しを検討することになるものと考えております。
	P27、48		4.施設整備の方向性で「地区センター」が第一期実施と提案されています。「地区センター」の定義、運営及び体制などが不明のまま、第一期で名所変更を先行することは反対です。公民館施設に6つの機能（公民館･支所･自治振興･防災･福祉）の総合窓口･地域包括支援を備えたワンストップサービスが出来る施設だとして、平成31年度に名称を“先行させる”としており、市民説明会でも充分な説明がされていません。 公民館施設を地区センターにするとしており、社会教育法にもとずく公民館の性格や役割についての検討も議論もされておらず、このままでは公民館の存続そのものが問われます。再検討を求めます。	地区センターについては、「公共施設マネジメント事業計画」で基本的は方向性を決定し、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。 公民館機能については、地区センターの整備内容をまとめる中で、組織やサービス内容を具体化する予定です。 なお、地区センターへの名称および組織の変更は2022年度（平成34年度）を予定しており、今後3年間をかけて市民への周知も図りつつ、具体化を進めてまいります。
	P26. 27		5.社会教育法第20条に基づく地区公民館の目的と役割について、原案ではほとんど触れられていない。施設の統廃合を検討する場合、その施設が目的、役割に応じた運営･管理がなされていたのかの検証が大前提でなければならない筈です。その結果、住民のニーズに合わなくなったのか、或いはその施設の目的にあった管理運営が充分なされていないか明らかになるのであって、P39の施設の利用状況･需要によって公民館を機械的に評価をすること自体誤りだと思います。一体入間市は、公民館の運営に社会教育主事･補（専門的教育職員）配置し、指導しているのでしょうか。説明会でも公民館への職員配置は再雇用職員をあてており、公民館は部屋貸し業になっているのではないかとの指摘があったが、担当職員から納得のいく説明がなされていない。公民館は、「市町村その他の一定の区域内の住民のために」設置され、住民の教養、公民権の向上、社会福祉の増進等に寄与することを目的としており、地域、町づくり、住民のコミュニケーションの拠点としての大事な施設です。公民館の原点に立った検討が必要です。 なお、「公民館運営審議会」の検討はどうなっているのでしょうか。 高倉公民館、黒須公民館の統廃合は、住民の要求を受入れ見直し、維持すべきです。特に、2つの地域が対立する提案をすべきではありません。	地区センターにおける公民館機能の位置づけとしては、社会教育法および教育振興基本計画を踏まえて、平成29年度に策定された「公民館基本計画」を実現することを前提としておりますので、サービスや機能、組織を検討する際には、その前提に沿って具体化を図っていきたいと考えております。
	P41、43、45		6.小･中学校の学級数が「基本方針」に照らして下回っていることをもって廃止又は統合することに疑問を持ちます。現在、社会問題になっている「いじめ」「教員の過労問題」など教育の現状をどのように解決するのかを抜きには検討できません。子どもの教育環境をどのように向上させるのかを抜きにした義務教育施設の統廃合などありえません。子どもの数合わせ的な学校の統廃合は、子どもの人権を侵害するもので反対です。教育基本法に立ちかえって再検討を求めます。 上記理由により東町小学校、東町中学校、黒須小学校、高倉小学校の統廃合に反対です。	公共施設マネジメントは、施設の老朽化に加え、今後の人口減少、少子化・高齢化、それに伴う財政上の課題等から、施設を安全に維持していくために、一定のルールに従って統廃合を行う計画です。この取組では、施設数が減り通学距離が延びる児童・生徒が出ますが、選択と集中により教育環境の充実（ハード面・ソフト面）を図る考えです。
	P46		7.東町学童保育室、豊岡学童保育室を小学校の統合に合せ複合化を提案されているが、現状は超満員状態で指導員が不足し、現場は困窮しています。早急に、学童の健康のためにも問題解決が急務です。	東町学童保育室は待機児童が発生していたため、平成30年度に第二学童保育室を整備し、平成31年度から運用を開始することといたしました。 また、豊岡学童保育室は、2022年度（平成34年度）に豊岡小学校内に複合化することとしており、待機児童が発生しないような規模で整備を図りたいと考えております。
	P47		8.市民会館の市庁舎への合同庁舎化について、見直しが行われ、産業文化センターホールの改修が完了した時点で閉鎖とありますが、その理由を明らかにして下さい。入間市民の文化センターとなる市民会館機能の維持向上になる計画が必要です。また、建替えを検討とありますが、市民会館･中央公民館の耐震改修の実施を求めます。	市民会館については、現時点では既存施設を耐震改修して当面使い続ける考えです。ただし、今後行う調査、設計を行った結果、この耐震改修費が建替え（新設）に近い額になってしまった場合は、移転新設、広域連携を検討することとしています。 一方、既存施設を耐震改修する場合であっても、一定期間閉鎖して工事を行う必要があります。 この間の活動については、産業文化センターのホールや近隣自治体のホールを使用するなど、代替策により対応せざるを得ません。利用上の最善の努力はいたしますが、改修中にあっては全ての利用が満足にいかない場合もあることを予めご了承ください。
	P55、56		8.財政の裏付け、事業費の試算概要が示されていますが、総務省が提示する施設分類ごと㎡単価、及び改修や解体の実績基づく㎡単価資料を公開すべきです。そもそも建替え時の各施設の規模や面積、構造を何を基準に試算したのか不明です。明らかにして下さい。なお、施設耐用年数をどの数字を使うかによっても、財政は変わります。総務省は60年としていますが、私は、建物の維持管理の充実によって耐用年数も長命化することが可能です。財政上の見通しでは今後の市財政の見通し、市民税負担の見通しがどうなるのか示すべきです。	施設の規模などは、学校については今後の児童･生徒数の見込み、地区センターについては6つの機能を備えることを前提としたおおよその面積を設定して試算いたしました。 現在の財政見通しでは、公共施設マネジメントを実行するために税や公共料金の負担増は想定しておりません。
	P32、56		9.市役所等整備計画原案は、AB棟の建替え計画が出されたが、市庁舎を建替えるのか、或いは耐震改修するのかいずれも入間市政の再重要課題であるという認識が、提案者側にあるのか疑わざるを得ません。市庁舎は市民生活の拠点であり、全市民が参画する拠点です。従って、市庁舎の帰趨に参画する権利は市民にあります。この基本姿勢が提案者側にないことは驚きです。少なくとも市民側に判断する基礎的資料を全て公開することが大前提でしょう。 ①入間市政の最重要課題である「市庁舎建替え」については、住民投票条例を制定し、市民の投票によって決するよう提案します。 最重要課題及び巨費を伴うものは住民投票によって決することが、民主主義的手法です。従って、3月確定、4月実施の原案に反対です。 ②原案は、建替え案に特化し、耐震補強案が消えています。その理由が曖昧です。しかも、建替え案と耐震補強案の費用差が1.5億円だとしています。各案の項目別工事費を公開して下さい。比較検討できません。 ③耐震技術は飛躍的に進歩しています。免震工法だけでなく制振工法、耐震工法、炭素繊維工法、外壁鉄骨ブレス工法等等あり、これらの比較検討がされたのか、全て公開してください。 ④イニシャルコスト、ランニングコストの各項目別コストを公開して欲しい。合計コスト比較では個別比較検討が出来ない。 5原案の　財政の裏付け、取組みの効果、財政の見通しの検討」との関係は提案されていない。市庁舎建替え費約63.3億円はこの中でどのように位置づけられるのか明らかにして欲しい。市民に税負担としてどのようにかかってくるのか明らかにして欲しい。	市役所の整備については、市民意見や市議会議員の意見を踏まえて、決定します。市役所の整備方法には様々なものがあり、住民投票で選択していただくような事案ではないと考えており、住民投票を実施する考えはありません。 市役所の耐震化は喫緊の課題であり、速やかに着手したいと考えます。 各整備パターンの項目別事業費については、ご指摘を踏まえて計画に掲載いたしました。 既存施設を活用した耐震化については、様々な工法があると考えますが、耐震工事に加えて大規模改修（長寿命化）工事が必要なことから、既存施設を改修しても現在求められている機能向上が見込めないと判断し、公共施設マネジメントの視点から建替えを選択したものです。従いまして、全ての工法については検討していません。 イニシャルコスト、ランニングコストについては、詳細な資料のため計画には掲載していませんが、必要に応じて公開いたします。 市役所の耐震化については、公共施設マネジメント事業計画（原案）における「第5章　公共施設マネジメントに関する財政見通し」の中でお示ししております。
	P24		10.耐用年数の考え方が示されていますが、総務省自治財政局調査課長通達（総財務第28号平成30年2月27日）で「公共施設等総合計画の策定にあたっての指針の改訂」において、「インフラの長寿命化基本計画」の策定を求めています。耐用年数を機械的に建築後60年と固定的に捉えるのではなく、補強によって耐用年数は伸びると言う当り前の科学的見地に立って、「インフラの長寿命化計画」を基本に公共施設の管理に対応することを希望します。 最後に、市政の主人公は市民です。民意を全力で汲取って下さい。 3月確定、4月実施は見直して下さい。	耐用年数60年については、計画をまとめる上での目安として設定しておりますが、個々の施設でみると延長可能なものもあるかと思います。その点については、各施設の保全計画を策定する中で、柔軟な見直しを行っていきたいと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
116		「原案」について	1.　2月23日付けで出した私の意見書は、1月26日に市が産文で行った説明会で提出された「公共施設のマネジメント事業計画（原案）【豊岡地区】」により提出した意見書であることをお断りします。この「原案」は、ページ数が抜けており、市が恣意的に【豊岡地区】用に編輯したものです。田中市長は、原案は市民のために公共施設の持続的使用を図るものだと言いますが、原案の全容を市民説明会で提示せず、役所目線で編輯した資料のみで説明会を行ったこと自体問題です。	今回の説明会は、地域ごとの事業計画を説明し、ご意見を伺うことを主目的としていたため、資料は地域ごとの内容について検討できるようなデータを揃えたものといたしました。原案の全容については市公式ホームページや各施設での閲覧により、ご確認いただきたいと考えておりました。
		コンセプトについて	2.原案は、基本方針のコンセプトとして、「ハード・ソフトの両面から、今後の公共施設マネージメントの方向性を明らかにする」としていますが、ここには公共施設の目的、役割について検証する視点がない。公共施設は、全て法令、条例によって設置及び目的、役割が定められているのであり、この検証抜きに統廃合や公共施設の方向性を検討することは出来ないのではないでしょうか。総務省の「公共施設等総合管理計画の策定に当たっての指針」（平成30年2月27日改訂）が出ていますが、公共施設の指定管理者制度やPPP/PFIなど公共施設の民営化の風潮のなかで、公共施設の目的、役割が形骸化されているのではないか危惧します。	今後の社会情勢や市民ニーズに見合ったサービス内容や機能の見直しを行った上で、施設の再整備を図る計画として、将来おこりうる問題を検証してまとめております。
		公共施設の民営化	3.基本方針･方策4及び方策13の公共施設の民営化に反対します。公共施設は地域市民の社会福祉･文化･コミュニケーションの核であり、そこに営利を目的とする民営化を持込むことは、公共性を変質させ、市民の財産を形骸化するもので公正な市民の自治権を守ることを阻害します。過去には行政の許認可事務が民営化し、行政の規制が阻害され、その結果市民に重大な損害を与える事件があとを断ちません（例：建築確認申請事務の民営化etc）。公共施設の民営化は、効率化を名乗って、行政の権限を切捨てるものであり、市の行政の縮小化を推進するだけです。	民営化を全て否定することはできないと考えております。検証し判断すべきと考えます。
	P31		4.学校給食センターは、建替えの検討、給食事業の方向性を明確にして検討するとしていますが、直営、小学校の自校方式を堅持して下さい。児童の健康のためにも守って欲しいと思います。	小学校については、自校方式（直営方式）を維持する考えです。 中学校に給食を提供している学校給食センターについては、老朽化による建替えを予定していますが、建替えの際は、これまでの直営方式に加え、施設の建設や運営について民間活力を活用する方法についても検討します。
	P51		5.老人憩いの家は、活用促進（利用の状況を踏まえて転用･廃止）とありますが、高齢化時代に高齢者が健康に憩う公共の施設がいよいよ必要です。「転用･廃止」は時代に逆行しています。現状の“憩いの家”の拡充強化と管理運営の抜本的民主的改善が必要です。誰でもが楽しく利用できる施設とする必要があると思います。	それぞれの老人憩いの家の活用状況を踏まえて、今後の運営や整備の方向性を調整していきたいと考えております。
	P32		市庁舎建替えについて、「耐震補強」よって長寿命化対策をとることを求めます。 最後に、総務省の通達目標にこだわらず、入間市民要求の具体化に視点をあてて欲しい。繰り返しますが、3月確定、4月実施は止め、市民の周知･検討の期間を延長し、充分な説明と検討時間をつくるよう求めます。 以上	市役所については、市民意見を踏まえ、短期的（建設費）かつ長期的（建設費および維持管理費）に負担が少ない方法を検討し、その結果、規模を縮減して建替える方法としました。耐震化は喫緊の課題であり、計画確定を先送りする考えはありません。
117	96ページ	2.施策の再整備・再配置に対する考え方・方向性 第1期	・中学校は、生徒数の減少を踏まえ、西武中学校と野田中学校の統合を行います。統合にあたっては、校舎が比較的新しく、統合時の整備費用が少なく済むこと、また、現在、西武中学校と比較して生徒が多い野田中学校を活用します。 と変更していただきたいです。耐用年数から見れば、野田中学校は、まだまだ活用できます。人数の多い学校を残して少ない学校を廃止すれば良いという考え方です。歴史的背景ということで西武中学校を守ることも大事ですが、野田中学校にも歴史があります。統合した野田中学校で新たな歴史を作る方がもっともっと大事なのではないでしょうか。野田中学校の生徒数は西武中学校よりも圧倒的に多いことは紛れもない事実であり、数の原理で言えば野田中学校に統合するのが当たり前の考え方だと思います。また、野田中学校は入間川沿いではなく安全な場所にあり、地域の防災拠点に相応しい場所であります。安全に野田中学校に通える動線の整備に力を注ぐべきだと強く考えます。以上のようなことから、西武中学校を野田中学校に統合して活用する意見といたします。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
118			私は、野田中学校の方がいいです。なぜかというと、野田中学校の方が近くてきれいだからです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
119	P96～97		中学生の通学に公共交通機関は利用されないと思うが、利便性の検討に公共交通機関を含めた理由は何か?教職員の利便性を考慮しているのか?もしそうなら、生徒の利便性を第一に考えるべきである。 また、朝夕の通学時間と仏子駅に向かう人の通勤時間が重なれば、仏子駅周辺の交通量が増大し、交通事故の危険性は増えないか?野田中学校に統合するなら、大多数の生徒は仏子駅から離れる方向に移動することになり、通学時間帯に仏子駅周辺に人が集中してしまうことはないと思われるため、比較的交通事故等の危険性は少ないのではないか? 以前の住民説明会において、統廃合の選定理由の一つとして学校を中心として半径1.5km圏内の人口数を比較し、結果西武中学校のほうが多かったとの説明を受けたが、中学校に通う年代の割合は調べたのか?現状の両中学校の生徒数を見ると野田地区の生徒数のほうが多いのでは？ 施設の経年数を見ると、野田中学校を廃止して、西武中学校を建て替えるより野田中学校に統合して第3期以降に建て替えたほうが経費も掛からないのではないか？ また、西武中学校周辺は丘陵地帯であり、中学校敷地内には川も流れている。警戒区域には指定されていないものの、近年の大規模災害は、施設整備時の想定をはるかに超えることが往々としてあるため西武中学校を避難所にした場合、安全が確保できるか不安がある。 さらに、統合後の西部中学校を災害時避難場所として指定した場合、道路が狭いため大型車両の乗り入れが困難である。加えて、周辺が住宅地であることから災害規模によっては倒壊家屋などにより、道が塞がれて支援物資の輸送が滞り、孤立してしまう危険がないか? 西武中学校に統合した場合地区の北端の住民はかなりの遠距離を通学することになるためスクールバス等によりフォローが必要となるが、野田中学校の位置は西武地区の南北の中心近くにあるためそのような対策をとらなくても良いのではないか?	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
120	34ページ	小中学校統廃合	先日の各地区で行われました統廃合行政説明会を踏まえて意見を述べさせていただきます。 安全性の確保。西武地区中学校の統合につきまして、現段階で安全性の確保の具体案いくつか挙げられておりますが、第一期に行われる西武地区の計画において、完備できるかに疑問が残ります。決定してから後手に進む通学路の安全確保は、子供の命を守る視点からは、絶対にあってはならないと思います。通学バスは、中学の部活や多様な生徒の動きに対応するには、隙間があり、実動しているが使用しない。しかしこれは、あくまでもバス使用が絶対でなければ、解決されない問題と考えます。 西武中学校の災害に対する安全性にも大きな疑問があります。市の災害のハザードマップや県の見解は、現状として特別警戒区域の指定などは、現状としてないことはわかりますが、昨今起こる未曽有の災害に対して、問題のない立地かというと、第二グラウンドを含め、自身の子供を通わせる環境としては、リスクが高いと考えます。現状のハザードマップの解釈等の見解だけで安全と回答され結果自身の子供が通い始め、一例として第二グラウンドで部活中に災害が起き土砂崩れが発生しましたでは、困ります。過去の全国の事案でも特別警戒区域の指定がなかった、市や県のたらいまわしの見解は、事が起きてからの考えとしてはありないと思います。今ある立地として西武中の場所は、安全なのかで考えていただきたい。慎重な判断をお願いしたいと思います。 上記を踏まえ、第一期の実施は、リスクが高すぎると考えます。ここを解決せずに西武中のクラス数や部活動を選べないことを優先するべきではないとも考えます。今後の市政の計画で考えるなら、野田中を残す当初たたき台も人口や世帯数を考えた立地等においても有効と思いますし、なにより、この状況での第一期の実施は再考を強く願います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
121	34ページ	小中学校統廃合	先日の各地区で行われました統廃合行政説明会を踏まえて意見を述べさせていただきます。 安全性の確保。西武地区中学校の統合につきまして、現段階で安全性の確保の具体案いくつか挙げられておりますが、第一期に行われる西武地区の計画において、完備できるかに疑問が残ります。決定してから後手に進む通学路の安全確保は、子供の命を守る視点からは、絶対にあってはならないと思います。通学バスは、中学の部活や多様な生徒の動きに対応するには、隙間があり、実動しているが使用しない。しかしこれは、あくまでもバス使用が絶対でなければ、解決されない問題と考えます。 西武中学校の災害に対する安全性にも大きな疑問があります。市の災害のハザードマップや県の見解は、現状として特別警戒区域の指定などは、現状としてないことはわかりますが、昨今起こる未曽有の災害に対して、問題のない立地かというと、第二グラウンドを含め、自身の子供を通わせる環境としては、リスクが高いと考えます。現状のハザードマップの解釈等の見解だけで安全と回答され結果自身の子供が通い始め、一例として第二グラウンドで部活中に災害が起き土砂崩れが発生しましたでは、困ります。過去の全国の事案でも特別警戒区域の指定がなかった、市や県のたらいまわしの見解は、事が起きてからの考えとしてはありないと思います。今ある立地として西武中の場所は、安全なのかで考えていただきたい。慎重な判断をお願いしたいと思います。 上記を踏まえ、第一期の実施は、リスクが高すぎると考えます。ここを解決せずに西武中のクラス数や部活動を選べないことを優先するべきではないとも考えます。今後の市政の計画で考えるなら、野田中を残す当初たたき台も人口や世帯数を考えた立地等においても有効と思いますし、なにより、この状況での第一期の実施は再考を強く願います。	

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
122	P34.35	第3章 （地域対応施設） 小学校・中学校	今回の小中学校の統廃合について まずはじめに、今回の公共施設マネジメント計画自体については、概ね理解できます。 その中で、小中学校の統廃合の計画において、市長をはじめ、各担当部署の方々が、統一しておっしゃられている「安心、安全を第一に」を、本当に考え、進めていただく事を切に希望します。 この件に関しまして、いくつか問題視する点を挙げさせていただきます。 まず、第一期に計画されております、西武中学校、野田中学校の統廃合につきまして、通学に伴う安全面は、統廃合計画が決まってから、検討するという、全く理解できない回答に困惑しております。 （2019年1月26日西武小学校体育館における説明会にて） また、通学路が想定される道の狭さ、歩行者用信号のない交差点、1.5キロ圏内の詳細な分析、西武中学校近隣の丘陵で、起こりうる土砂災害の指定区域から100メートル離れているから、影響がないという甘い認識。 挙句の果に、各担当部署の方々は、通学路等、現地視察をされた方がいないという、あまりにも現場を知らず、机上の空論での計画に呆れ果てております。 どちらの中学校に統合するにせよ、現場をしっかりと視察し、それに対する、安心、安全、を実現する明確な施策をたてた上で、提案するのが、至極、当たり前の話かと思います。 従って、上記内容の分析、具体的な計画をたてたうえで、改めて提案いただきたい。 私の具体的な希望としましては、スクールバスの導入です。 そうする事により、どちらの中学校に統合したとしても、安全面は大幅に考慮されるかと思います。 また、仮に現在の計画通り、西武中学校に統合するのであれば、歩道の拡張及び、ガードレールの設置、交差点には、歩行者信号（分離式）の設置。等を統合前に設置する具体的な計画を提示していただきたい。 どちらにせよ、現在、予定している計画実行に伴うスケジューリングには、大きな問題があり、4月からの実行等、とうてい無理があります。 スケジュールありきの計画遂行ではなく、計画がしっかりと策定されたうえで、スケジューリングするべきであると思います。 子を持つ親として、この思いが、関係者の方々に届く事を切に願います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
123	P34.35	第3章 （地域対応施設） 小学校・中学校	今回の小中学校の統廃合について まずはじめに、今回の公共施設マネジメント計画自体については、概ね理解できます。 その中で、小中学校の統廃合の計画において、市長をはじめ、各担当部署の方々が、統一しておっしゃられている「安心、安全を第一に」を、本当に考え、進めていただく事を切に希望します。 この件に関しまして、いくつか問題視する点を挙げさせていただきます。 まず、第一期に計画されております、西武中学校、野田中学校の統廃合につきまして、通学に伴う安全面は、統廃合計画が決まってから、検討するという、全く理解できない回答に困惑しております。 （2019年1月26日西武小学校体育館における説明会にて） また、通学路が想定される道の狭さ、歩行者用信号のない交差点、1.5キロ圏内の詳細な分析、西武中学校近隣の丘陵で、起こりうる土砂災害の指定区域から100メートル離れているから、影響がないという甘い認識。 挙句の果に、各担当部署の方々は、通学路等、現地視察をされた方がいないという、あまりにも現場を知らず、机上の空論での計画に呆れ果てております。 どちらの中学校に統合するにせよ、現場をしっかりと視察し、それに対する、安心、安全、を実現する明確な施策をたてた上で、提案するのが、至極、当たり前の話かと思います。 従って、上記内容の分析、具体的な計画をたてたうえで、改めて提案いただきたい。 私の具体的な希望としましては、スクールバスの導入です。 そうする事により、どちらの中学校に統合したとしても、安全面は大幅に考慮されるかと思います。 また、仮に現在の計画通り、西武中学校に統合するのであれば、歩道の拡張及び、ガードレールの設置、交差点には、歩行者信号（分離式）の設置。等を統合前に設置する具体的な計画を提示していただきたい。 どちらにせよ、現在、予定している計画実行に伴うスケジューリングには、大きな問題があり、4月からの実行等、とうてい無理があります。 スケジュールありきの計画遂行ではなく、計画がしっかりと策定されたうえで、スケジューリングするべきであると思います。 子を持つ親として、この思いが、関係者の方々に届く事を切に願います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
124	P96	第4章 地域別事業計画 西武地区	「中学校は、生徒数の減少の状況を踏まえ、西武中学校と野田中学校の統合を行います。統合にあたっては、歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性を考慮し、西武中学校を活用します。」 と記載されていますが、以下の点から野田中学校を活用すべきと考えます。 ①野田中学校の方が遥かに新しい校舎であるため、改修に当たってのコストが低く抑えられると思われること。（コスト面） ②生徒数は、現在の野田中学校の学区の方が圧倒的に多いこと。（利便性） ③国道299から中橋までの道幅が狭く、大勢の生徒が通学することとなると危険があること。（安全性） また、1西武中学校を活用する理由として「歴史的背景、公共交通機関を含めた利便性を考慮」としていますが、抽象的で内容が不明であること、2歴史的背景を理由とすることは、市民目線からかけ離れていること（コスト、利便性、安全性が最優先ではないかと考えます）3過去の資料をみると、野田中学校に統合する方向で話しが進んでいたように見受けられますが、突然西武中学校に統合することになったように見受けられることから、西武中学校を活用する計画となった理由（根拠となるデータも含む。）を丁寧に説明・周知する必要があると考えます。西武中学校を活用する理由として「歴史的背景、公共交通機関を含めた利便性を考慮」の1文だけではあまりにも不誠実で、納得できる方は少ないと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
125	P95～ 103	野田中学校と西武中学校の合併について	野田中と西武中の合併について。児童数の減少による教育の質の低下。税収とのかねあいからみて、必要なことと感じます。また早めの対策が必要と思います。今までの話し合いから、合併で大切なことは、費用・安全・教育の質の3つだと理解しました。それならば、西武中に統合、統合後にグラウンドに新校舎建設はその全てに反しているのではないでしょうか。 お金の面から見ても、あと30年使える野田中を使わないのは税の無駄です。あと30年は、西武中から野田中に生徒が通う形で統合し、その間に懸念される交通面での通学不安を整備し、安全な状態にし、新校舎を建て、改めて、今の西武中に中学生を迎え入れたらよいのではないかと提案します。税の無駄遣いは厳に慎むべきです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
126	P44	勤労福祉センター	「勤労福祉センターは施設を廃止し　機能を他の公共施設へ移転」とする案が提示されましたが　本件につきましては　今までの説明会、意見交換会でも議題や話題になっておらず　唐突な提案として意外感を持ちました。 H30年6月に開催された資料には　当該施設は’産業系施設’と分類されており　宮寺二本木地区に所在するものの　住民の利便には供していないとの理解から　説明から除外されたものと推測致します。 ’入間市勤労福祉センター’は　入間市が’武蔵工業団地’開発及び企業誘致に際して　企業及び社員のための利便に供するために　宮寺地区　武蔵中学校第2グラウンドの一角に新築されたものと理解しております。当該敷地内には　宮ノ台自治会の会議兼倉庫が建築されておりました。勤労福祉センターを新築するに当たりその会議室兼倉庫の扱いが問題になり　会議室は　当該センターの会議室を通年無償で使用を認めると言う事で　入間市と自治会間で合意し　現在までも継続しております。 また　倉庫については　当該センターの駐車場予定敷地内（特高圧電線の下部分）に自治会の費用での新築が認められ　木造倉庫を新築しました。その後　H27年度私が宮ノ台自治会長の折に会員から木造倉庫の劣化が進み災害の危険性から建て替えたいとの提案があり　市自治文化課自治会担当部門（ご担当　片寄主幹）にご相談し　市の関係部門間の調整をして戴いた結果　建て替え新築が認められ　かつ　使用敷地範囲にも境界杭打ちをして戴き　宮ノ台自治会の使用が確認されました。お陰様で宮ノ台自治会の防災備品、備蓄品等の保管環境が整っております。 会議室につきましては　自治会間と言う認識で今日まで来ており、自治会活動は　全て勤労福祉センターを利用させて戴いております。利用内容について申し上げますと　自治会年次総会、毎月の月次班長会議の他臨時会議の開催、清掃デー、防災訓練等の行事、最近では　宮ノ台シニア交友会（老人会）の総会、月次の役員会、学習会、その他子供会のための行事等　宮ノ台自治会関連の行事は　全て勤労福祉センターを使用させて戴いている状況にあります。この施設が他地区に移転と言う事になりますと直ちに宮ノ台自治会活動に影響が出て参ります。ご再考戴きたいと思います。 宮ノ台地区は　誘致企業の社員社宅団地として開発されておりました。宮ノ台自治会の構成は　大宗が社宅の住民でした。その後　各企業の社宅事情や住宅事情が変化して　現在では　社宅として残っているのは2社　2棟のみとなり　その他は分譲住宅として再開発され　住民の大宗は入れ替わり　誘致企業とは関係のない住民層で若い年代層になっております。当時の事情をつまびらかに知っている人は現存　存在していないのが実態です。現在の宮ノ台自治会は　天変地異も無く　平和な状況にありますので　大きな問題にぶつかることはありませんが　そのためコミュニティ意識が醸成されているは言い難く　今後の大きな課題であると考えております。 このような状況下で　これまで　’自治会館’及び’老人憩いの家’的に使用させて戴いておりました。’勤労福祉センター’が無くなることは　宮ノ台自治会にとりまして大打撃です。ご再考お願いしたいと存じます。 次に’勤労福祉センター’の’廃止’意味についてお伺いいたします。武蔵工業団地内各企業の福祉（福利厚生）的機能を全く止めてしまうのか　組織を廃止と言う事か構想をご披歴戴きたいと存じます。各企業の意見は聴取されたのでしょうか。 廃止が建物撤去・除却までを意味するものであれば　各企業にとっては直ちに代替施設が必要になるのではないかと想定いたしますが　建物自体は　それほど老朽化が進んでいる訳ではなく　撤去するには説得力が乏しいと考えられます。 また　同一構内には’入間市シルバー人材センター’があります。自社の建物も所有している様にお見受けしますが　そちらの方との関係は如何なるのでしょうか。 前述の通り　勤労福祉センターの施設が廃止・除却・撤去されことになりますと　直ちに宮ノ台自治会の活動に影響して参ります。加えて　近隣の武蔵台自治会（総会等に利用）、武蔵藤沢台自治会並びに縄竹自治会等の活動にも影響して参ります。 これらの4自治会は　国道16号線の北側の狭山台台地に所在します。宮寺公民館まで約2kmあり　日常的には利用が低調、不便な地にあります。宮寺・二本木地区は　入間市西部にあり　市の中心部からも遠く不便な地にあり　商業の面、文化の面からも過疎地的な環境にありますので　それらの不便さを打開する意味からも　勤労福祉センター空き施設の有効活用にご理解を戴きたいと存じます。 現状建物規模は　大きなものではありません。自治会が共同利用、共同管理を行えば　有効利用できることは間違いないと思います。かつ　北側地域のコミュニティの活性化、住民意識の醸成、住民相互のコミュニケーションの活発化など　地域住民に利することが大であると思料いたします。 かつて　隣地には武蔵中学校の大きな第2グラウンドがあり　サッカー、テニス等の部活動が活発に行われておりました。その半分が競売により売却され　現在は　全て工業団地進出企業及び社員の駐車場として使われております。 勤労福祉センターが除却された場合は　南北に細長い用地が残ることとなります。中途半端な地形になるものと思われます。現在の土地利用で　建物は適正な利用になっていると考えられ小規模の改修程度で十分有効活用が出来ると　思料致します。その様な状況から　建物を残し　有効再利用することが最良の利用計画になると思料致しますので　ご検討方宜しくお願い申し上げます。以上	勤労福祉センターの方向性については、平成28年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」において「売却などを検討」と示しており、その後策定した「公共施設マネジメント事業計画」においても方針転換は行っていません。 この方向性については、現在の利用状況を踏まえて提示したものであり、現在利用いただいている団体等については、他の公共施設で活動できるような方策を検討したいと考えています。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
127	P39	豊岡地区施設の利用状況・・・公民館	利用状況の率の提示は、利用率のハドメ（存廃の率）が提示されない限り、何の参考にもならない 公民館の公共性の重要さから、なるべく残す方向が妥当と思うが、統合地区センター化によるメリットが不明である。地区センター化による、財政削減との関連をはっきりと、市民に提示すべきである。（移転新設と存続では、いくら削減になるのか？）	地区センターは地域のワンストップサービスの場として、地域コミュニティの拠点として、これまでになかったサービスの向上を図る施設として考えておりますが、そのサービス向上に対する財源を調達するためには、施設の再編成が必要となるため、人口バランス等を踏まえた統合を計画したものです。 なお、施設を長期的に活用するためには、改修や建替えは避けることができないので、2施設と1施設では事業費の差はあると考えております。
	P48	豊岡地区地区公民館	公民館の統合について 高倉と黒須の選択についての理由が不明確で納得しかねる（何故黒須なのか全くわからない）公民館は（地域性、安全性、利便性・・・他）を考慮し、万民に納得のある選択を理解させるべきである。 KT法（ケプナートリゴーという手法）によれば、選択の理由（判断）が合理的に提示される。市が何故高倉でなく、黒須にしたのか、その判断の是非を市民に開示してから決定すべきである。	黒須と高倉の人口バランスが6割と4割であることが一つの理由です。また、いずれの施設も手狭であり、地区センターとするには建替えが必要となりますが、高倉公民館は耐用年数が約20年残っており転用が可能な反面、黒須公民館は建替えが必要な状況であることから、黒須公民館を地区センターとして建替える計画としました。
	P45	豊岡地区　施設整備の方向性 地域対応施設1	豊岡地区小学校について 人口減少により、小学校の統合で教育の充実を図る事には理解できる。しかし、以下の観点で統合内容を見直すべきである。 ①30年先以降の人口動向を考慮すると、豊岡地区の小学校の数は2校にならざるを得ない可能性が高い。 ②統合後の小学校では、老朽化、耐震化工事より、以降80年の使用を考えると今回の3校の選択は、将来の2校を考慮すべきである。 ③豊岡3地区の内、2校は今後も存続し、近い将来（50～60年先）の豊岡の2校となるべきである。 ↓ 豊岡の統合3校は、将来の2校への移行を前提として選択すべきである。 地域性も考慮した時、黒須小は余りに片寄った場所にあり、ふさわしくないので高倉小学校側に統合すべきである。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。なお、長期的には社会情勢や人口動向も変動する可能性があることから、10年ごとの計画見直しと、さらに5年ごとの時点修正を行う中で検討したいと考えます。
128	P43	5.地域別事業計画	西武地区　中学校統合に反対します。 理由 1.野田中学校はまだ建設30年経っておらず30年以上使用できる。 2.どちらに統合されても通学路が危険すぎる。歩道にガードレールが無い狭い所は1mを切る幅の場所もある。 3.通学距離が長くなるので、事故や事件に巻き込まれる。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
129			この事業計画実施（原案）では、市全体や豊岡地区施設統廃合は理解できますが、大人の事情と合理性の判断だけで地域の実情と子供目線や子育て世代に反映されておらず、（原案）通りでは高倉地区の衰退が懸念されます。 ・高小を存続し公民館（地区センター出張所）と学童保育室＆（できれば保育園）の複合化施設の再検討を提案。 新館1Fに（公民館窓口）・（小会議室兼図書室）＆（中会議室30名）2Fに（学童保育室＆多目的室）3Fに（大会議室60名）（5年前の構想図あり） 理由として まず、小学校が合併した場合を考えて、黒須小まで、5丁目から行きは霞川団地前を通り裏道を通りましたが、大人でも45分程かかり帰りはいなげや前や赤坂を通り40分程かかり、往復路の感想としては、高倉1丁目・4丁目の1部・5丁目（6割）は、16号南側と霞川に挟まれ低地になり途中歩道が無く危険性が感じられます。また、鍵山3丁目交差点やJA黒須支店前交差点の歩道が狭く時間帯によると交通量も気になる処です。 また、小学1年生では、約1時間強（約3Km）になると予想がつき、毎朝、午前8時頃までに登校するには、7時前には集合し出発、冬場の帰宅時には途中で真っ暗な状態が想像でき登下校時の児童安全確保が難しいし、早く起床するなど保護者の負担も多いと考えられます。 本市における適正規模（各学年2学級から3学級）を確保するための統合計画とあるが、学級人数を特例とすることで適正規模学級確保ができると考える。また、適正配置の法的根拠に学校規模を重視するあまり無理な統廃合を行って地域住民との間に課題が生じるなど通学上著しい困難を招くことはさけるべきと考える。総合的に判断して小規模学校として存続し充実させるほうが好ましい場合もあることに留意すること。と記載されている。 また適正化に関する基本方針の中に、（2）適正配置を設定するためにあたっての考え方の視点 ①適正配置の第一の眼目は教育環境・教育条件を整えて教育の質を下げない。 ②通学の安全確保手段を検討し、公共的交通機関やスクールバス等運営する方策も検討する。 ③小規模学校を維持する場合は、教育上のデメリット克服の対策を講ずる。 ④通学に際し、防犯について安全を確保できるように考慮する。 と明記されている。 小学校存続ならスクールバスも不要になり防犯上の安全も確保され現状維持で対応可能と考えられる。 また、1については、現在、高小では人数が少数な分、先生方が生徒の学力・体力・生活態度等が把握でき、進学先での優秀な成績を収めている事は事実である。また、市内小中学校の良い点のみ取り入れ実施している。 県内では、複合化施設を有している学校は、志木市立志木小学校や吉川市立美南小学校などがあり、鶴ヶ島市では、現在検討している状況である。また公民館との複合化施設は、焼津市にあり、小規模学校では、山形県西川町立西川小学校（生徒数249名）があることから情報収集し視察検討や意見交換会等を提案する。実施した場合は、市内や近隣市での施設統廃合が検討される中で、小学校複合化施設の手本にもなる事と思われる。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 小学校の複合化については、これまでの意見交換の中で、不特定多数の方が小学校に出入りすることに対するセキュリティ上の課題が多いという意見が多かったため、学童保育室のみを対象とすることとしました。 教員の配置については、基本的には県による配置となるため、市独自の方針を活かすことは難しい状況です。
			・現在の市営浅間山団地に、1Fに（商店街）＆（地区センターや保育園）2Fに（体育館）の複合化施設の提案。 実現すると高倉1・2丁目や黒須地区の住民も利用しやすく黒須高倉地区の避難場所として活用できるのではないでしょうか。 課題＆疑問として、 ①現在、高小校区には豊岡3丁目の1部や扇町屋2丁目（霞側団地）の児童もいますが、学校再編や人数減少を見直す為にも小学校区域の検討は早急にすべき課題ではないでしょうか。 ②スクールバスを検討とするといわれていたが、毎日200名以上が移動するには無理と思われる。 ③双方の中間地点ぐらいに小学校土地購入といわれるが具体案がない状態での計画には無理と思われる。また、横川電機所有地に校舎＆体育館は立つがグランドの広さが狭いと考えられる。河川敷を利用すると河川氾濫時の影響が予想できる。 小学校複合化施設によるメリット 現在と同様に児童と園児と地域の交流もでき、登下校時間が短く保護者は安心して児童や園児を預けられ、一か所で送迎が済むことが考えられる、また地域イベントも今以上に集客を望むことも可能と考えられる。小学校既存施設を活用することにより小規模な改修工事により大幅な経費削減が見込まれ、早めに施設開所も見込める。存続になることで、現状維持が可能な保幼小との連携や小中の連携・地域住民の活動場所の確保や憩いの場所として利用頻度が多く見込まれる。自校式給食室があるので、園児も提供可能と考えられる。（300⇒400） 校庭・体育館・新館会議室等は、学校や保育園が使用していない時間帯には、地域住民が利用可能と考えられる。学校応援団以外の来校者が増えることであいさつ運動が自然とできる。敷地内清掃作業時には生徒との交流も可能。地区センターや学童保育室があると不審者対策にもなる。 デメリット 校舎外壁やトイレや教室の改修費用が掛かると予想される。地区センター（出張所）に週2～3日職員が一日常駐するか午前中のみ対応が必要となると思う。防犯カメラ設置・校内巡回・利用者名札が必要と思われる。地区センター（出張所）や学童保育室が併設になった場合、出入りが自由なため不審者の侵入可能性がある。学校内の施錠箇所が出てくる。なお、仮定として校舎東側に保育園と利用した場合は、校舎の裏にある体育倉庫を解体し（プレハブ）校舎裏に隣接させ運動会備品倉庫と家庭科室等増設する必要がある。また、避難所としての備蓄が無い状態なので防災倉庫＆備品購入が必要と思われる。	地区センターの移転新設の場所については、今後の動向も踏まえて検討していきます。 黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 小学校の複合化については、これまでの意見交換の中で、不特定多数の方が小学校に出入りすることに対するセキュリティ上の課題が多いという意見が多かったため、学童保育室のみを対象とすることとしました。
			小学校建設＆道路拡張工事当時の地元住民は苦渋の決断をし、了承した経緯がある。また、H16の会長時代に地元のお祭りに子供たちが多く参加している様子を見てもらう為に学校側と交渉依頼して、最初は校長先生1人でジュースの差し入れから始まり、現在では10人前後の参加協力を頂き、地区体育祭も多くの先生方が役員＆選手として参加協力がある。地域のお年寄りからも好評である。また、先生方が地域に協力してくれているのでH26年の会長時代に地元の方々にお願いをして、現在も小学校の行事に出向き、登下校の見守りや、環境美化にも自主的に行って頂いている。（応援団未加入） 現在、先生方の確保が難しいといわれるが、年代のギャップが生じて若い先生方が相談できない状況にあると考えられるので、市独自の方針を立ち上げ先生方の質向上と少人数学級学校もあると職場確保対策になり相談環境等対応可能と考えられる。また、再度赴任しても良いようにしていく事と、先生を目指している学校の母校として残す事も地域の役割と感じています。 子供たちや先生方の為に下記記載の協力。 H13～16年　運動会用大玉空気入れ。 H15年　20周年案内看板製作（PTA副会長） H16年　PTA会長として各教室に扇風機・6学年教室に着替えカーテン設置・貴乃花親方来校 H17年　5学年着替えカーテン設置協力 H23年　芋畑製作協力 H25年　PTA副会長・30周年実行委員長・校庭散水用品制作・（個人として百葉箱復元） H26年　PTA会長・資源回収看板製作（子供会・少年野球共同） H27年～30年　高小まつり出店 H18～現在　自主的環境美化（桜の木伐採・体育館裏除草作業・正門わき花壇除草作業・アメシロ消毒） その他（教育活動手伝い・備品寄付等） 公民館事業に協力 自治会行事に協力 公共施設マネージメント推進課の皆様は、仕事とはいえ大変気苦労が絶えない担当部署と痛感致しております。いつかは、行政側も決断しなければならない事案である事は間違いなく、結論ありきでの意見書募集はせず、柔軟な対応策も検討し、住民側の意見・要望案に対して施設存続をさせた場合の諸経費や不要な施設処分経費やいろいろ多方面からの思索再考等していただき良い方向に向かうことを切に願います。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。ご意見は、その際に参考にさせていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
130	48、49、50		第2期に高倉地区の公民館、小学校、保育園が、その実態が全て廃止されてしまう。建て物を残して別機能と言っているが、小学校から児童の姿がなくなり、保育園から保児の姿が日常的になくなることは、地域の増々の衰退になる。高倉小の祭りには、地域のおはやしが披露されたり、他の学校に比べても地域とのつながりが深い。小学校として高倉小を残し、建て物を上手に区切ったり、改修して、小学校、学童、児童館、保育所、公民館等、多機能の建て物として残す方法を考えてもらいたい。1クラスの人数が1、2年35人、3～6年40人だが（現在）入間市独自で全ての学年で35人あるいは30人学級にし、子どもを大切にしている市として給食費も無料にするなど予算が組めないのだろうか。集中豪雨が頻発する最近の様子から高台にある公共施設は廃止ではなく、児童等を安全に守れる学校、保育園としての価値は十二分にあるものと考えます。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 現状では少人数学級や給食の無償化などを実施するためには、さらに財源が必要となるため、実現は難しいものと考えます。
131	18、24、34、35、36	地域区分（P18）、第2章（P24）、第3章小学校（P34）、中学校（P35）、市民意見への対応（P36）	小学校・公民館複合化により高倉小学校を存続させてほしい。 豊岡第三区の場合、黒須小学校・中学校ともに入間市と狭山市の境を流れる入間川沿いにある為、たとえ小学校が黒須中学校付近に移転したとしても、高倉地区の子ども達に負担が偏る事には変わりがない。高倉地区は黒須小・中学校からは離れているだけでなく高低差もある土地だという地域性を考慮し、現在の場所に高倉小学校を残すべき。その方が、地域コミュニティを破壊しかねない校区の見直しや、財政的に負担となるであろうスクールバスの導入を考えるより無難ではないか。 小学校は地域コミュニティの核。小学校が無くなれば地域が寂れる。 統廃合するにも別のやり方はできないか。たとえば、小学校に学童保育だけでなく公民館をも複合化するやり方も可能なのではないか。不特定多数の大人の出入りに対する不安は、現在の正門を公民館利用者及び給食車両等関係車両専用出入り口とし、現在5丁目方面からの児童達の通用口となっている校庭東側の出入り口を拡張整備して生徒専用とすることで対処できるはず。体育館等校舎北側施設には、上階からの通路があるので、北側昇降口を閉めても児童達の移動には問題はない。この統合方法でも総床面積は削減できる。 高倉小学校を抜け殻の地域施設ではなく、子ども達が学ぶ小学校として残してほしい。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 小学校の複合化については、これまでの意見交換の中で、不特定多数の方が小学校に出入りすることに対するセキュリティ上の課題が多いという意見が多かったため、学童保育室のみを対象とすることとしました。
	33、76、77	第3章(地域対応施設)（P33）、第4章豊岡第三地区（黒須、高倉）（P76,77）	「地域施設」とは何なのか、詳しく説明してください。詳しい情報がないままでは、高倉地区から広域避難所がなくなる計画としか言いようがなく、黒須・高倉両地区の住民の安全のために、この計画には賛成できません。計画確定を延期し、さらなる説明会・意見交換会を設けてください。 高倉地区の公民館・小学校は、跡地を地域施設・地域コミュニティ施設として活用すると書かれていますが、具体的に ・何ができる施設として活用するのか ・運用・設置責任者は誰か ・法的根拠は（e.g.公民館の場合は、社会教育法） ・運用体制は？人員配置するなら、その人数は？ ・維持管理費用の試算値は？ といった点が全く事業計画（原案）に示されていません。これでは、高倉地区から広域避難所が無くなる状態としか言いようがありません。 地域施設、または地域コミュニティ施設という物についての詳しい説明をしてください。3月に計画を確定するのではなく、住民への説明を重ね、意見を聞き、より良い事業計画とするため、確定を延期してください。	計画としては、青少年活動センター、福祉作業所等の移転を考えており、合わせて地域コミュニティの活動場所として使えるようにしたいと考えています。 そうした施設として整備することで避難所としての機能を維持する考えです。 なお、施設や規程の整備については、方向性が決まってからの課題として考えており、計画の確定は予定どおり進めてまいります。
		計画全般について	3月に計画を確定するのはやめて、今一度計画を考え直して下さい。 市の資料を拝見しましたが、何も決まっていないことだらけ。説明会でも「見切り発車」と批判されていましたが、同感です。 「地域施設」とは何ですか？地域施設として残された小学校は、避難所として使おうとした場合にきちんとメンテナンスされた状態で使えるんですか？誰がいくらで管理するんですか？用地取得も、決定後に土地を探すそうですが、良い土地が見つかるか、いくらで取得できるかもわからないまま計画を確定するんですか。このままでは、お金のために統廃合をするというのに、予算は削減どころか青天井になりかねない、そう危惧します。 防災上や教育上の観点ではなくあくまで財政上の理由から統廃合、しかも水害履歴のある立地の避難所を残して高台の避難所を無くす計画には、賛成できません。この地域の入間川は県の浸水想定からは外れてるというようなことを市側は繰り返し言っていますが、市内で氾濫しているのは入間川ではなく霞川・不老川では。霞川は台風被害の様子が全国報道もされました。霞川流域の高倉地区の高台の避難所は、残すべきですし、いざという時に避難所として使えるようにするためには日頃から小学校・公民館を小学校・公民館として利用しておくのが一番のメンテナンスではないでしょうか。 高倉地区に、きちんとした広域避難所として、小学校を残すべき 先日配布された「土砂災害ハザードマップ」でも、高倉地区の土砂災害時の避難先として、高倉公民館が明記されている。それなのにその高倉公民館を無くす計画が進行しているのは納得できない。近隣の別の地区の土砂災害時の避難先は黒須地区の武道館となっているが、土砂災害が起きるのは激しい雨が長く続いた後が多い。その場合、武道館付近は既に浸水しているのではないかという不安がある（入間市公式HP「水害履歴マップ」参照。） 昨年の説明会の時にも申し上げているが、入間市全体の防災計画をまず見直すべき。ハザードマップが作れるほど、土砂災害・水害のおそれのある地区があるとわかっているのなら、まず治水工事等、対策を講じるべき。それもせずに、水害も土砂災害の恐れもない高倉公民館・高倉小学校を廃止し、高倉の広域避難所を無くすべきではない。 「地域施設」といった、市が責任を持って運営してくれるかどうかもわからない法的根拠もないものが残されても、安心できない。市は無責任としか言いようがない。 もし本気で避難所としてきちんと使えるものを残すのなら、抜け殻ではなくきちんと小学校を小学校として残し、給食室の設備などもいつでも使えるように整備を続けておくべき。	高倉小学校は、青少年活動センター、福祉作業所等の移転を考えており、合わせて地域コミュニティの活動場所として使えるようにしたいと考えています。 そうした施設として整備することで避難所としての機能を維持する考えです。 また、用地取得については、概算経費を財政推計に見込んでおります。 なお、施設や規程の整備については、方向性が決まってからの課題として考えており、計画の確定は予定どおり進めてまいります。
132	19	第2章22 再整備・再配置の視点	統廃合が財政上の都合から必要なのだとしても、減らせば良いというものではない。防災・教育・地域のコミュニティや住民の利便性について配慮がほしい。 事業計画（原案）には、「公民館を地区センター化し、地域コミュニティの維持発展につながる開かれた地域の拠点とする、各地域の生活実態を踏まえ、日常生活の中で利用しやすい施設、気軽に訪れることができ、人と人とのつながりに配慮した施設、各地域の住民活動の中心になり、災害時には地域の防災拠点となる施設、地域寿民の心のよりどころとなる施設」などと書かれているが、どれも、足の弱い高齢者でも自分で行ける距離になければ、絵に描いた餅で、実現はムリだと思う。 また、今の子どもは学校からの帰りが遅い。1年生でも6時間授業が週に何日もある。長距離通学は今の子どもには負担が大きい上に、特に冬場は日が短くすぐ暗くなってしまうので危険も大きくなる。保護者やシルバーの人による見守りも出ているが、長距離通学となると見守りの人も負担が大きくなるのではないか。 地域コミュニティの核は、公民館よりむしろ小学校。小学校が地域から無くなれば、若い子育て世代は入って来なくなり、過疎化は止められない。たとえばここ数年、高倉地区には新しい住宅が増え続けているが、小学校が無くなればその流れも止まるだろう。 計画の再考を求める。	今後の人口減少、少子化・高齢化、財政状況、施設の老朽化状況など、様々な背景を踏まえて、これからの公共施設の適正化を検討してきた結果、計画でお示しした通り、市内を9地区に分けて再整備・再配置をする案を提案させていただきました。 利用者の利便性を図りつつ、施設の再編成を行うため提案いたしましたが、利用者の利便性を図るための公共交通の見直しなども検討する必要があると考えています。
	19	第2章22 再整備・再配置の視点	少子化が全国的な流れなのなら、少人数学級化、小規模小学校経営を先取りして、少子化の時代ならではの理想の教育を模索すべきではないか。 学校の適正規模を学級数だけで語っているが、学級当たりの児童生徒の数を少なくする方向で考えると、学級数は保てることになる。全国的に少子化の流れが止められないと言うのなら、むしろ少子化の時代ならではの教育の在り方を考えるべき。 また、中学校は特に教科別に教師が必要になるので、学級数が足りなくなると困るのは想像しやすいが、それでも適正規模を下回る黒須中学校は統廃合の対象になっていないのは首をかしげざるを得ない。 これは、統廃合には学級数は必ずしも絶対条件ではないという事の証左なのではないか。 説明会では、部活動の顧問になる教員が不足したり、部活動の顧問をすることが教員の長時間労働の一因になるとして地域の人を部活指導員として活用する案が出されたが、部活で困るという話の流れなのに「勝利至上主義の人が入ってきたら困る」というような話にされてしまった。少子化時代の学校の経営を考える視点が欠けているのではと危惧する。	学校教育は国の制度に沿って行う必要があると考えています。 公共施設マネジメントについては、そうした国の教育制度との整合を図った上で、推進をしていきたいと考えています。
	40	5.保育所	本気で若い子育て世代に入間市に来てほしいと本気考えているのなら、公立の保育所を減らすべきではない。 保育所について、民間保育園の活用等ということばが説明会で出ていたが、利用者からすれば保育料の高い保育園を選ばざるを得ない家庭が増えるだけということなのではないか。 若い子育て世代に入間市に来てほしいと本気で考えるのなら、公立の保育所を安易に減らすべきではないと思う。 そうでないと、高倉公民館の1月の説明会で発言した人のように、子育てのために他の市町村への転出を考える人が続出することになるだろう。 定員割れしている保育所もあるというが、定員割れしている原因を突き止め、対策を講じるべきではないか。 待機児童がいるのに保育所が定員割れしているというのは尋常ではない。市として、保育時間・保育対象年齢・保育士の待遇など、反省すべき点があるのではないか。	公立保育所の定員割れの原因は施設数の問題ではなくサービス内容に対する要望が多いものと考えております。そのため、民間とのバランスも考慮して6地区に1ヶ所ずつに再編し、一方でニーズに合ったサービス向上を図るという計画を立てました。施設の改修やサービス内容を向上させることで、それに魅力を感じて移り住んでくる方もいるものと考えております。 なお、保育料は、世帯の所得や子どもの年齢に応じて市が算定するものであり、国、県および市の負担金と保護者に負担いただく保育料によってまかなわれているため、公立・民間を問わず保育施設ごとの保育料の差はないと認識しています。
	14	(5)「選択と集中」を進めることでサービスや施設環境の充実が図れること	施設を減らしてサービスの質を向上するとうたっているが、近さこそサービスの第一ではないのか。 新しい施設でどれだけ良いサービスが提供されたとしても、その場が遠くて行けない人は切り捨てられた格好になるだけ。高齢化社会で、足腰の弱い人が市内には多い。 統廃合の対象になった地区は、選択されなかった地区、切り捨てられた地区として過疎化が進むのではないか。 この統廃合計画は、少子化の進む将来を見越して、財政的な理由から作られた計画のはずだが、その統廃合計画によって小学校や保育所、公民館といった地域に必要な施設のない地区が多く作られる格好になっている。市内で暮らしやすさの格差を広げる結果に終わるのではないかと危惧する。	この計画は、今後の人口減少を踏まえて、地域を広くとらえ直して、それぞれの地域の拠点となる公共施設を再編成していくものです。施設が遠くなる方も出てくるものと思われますので、この計画と合わせて公共交通の再編成などにより、施設利用の利便性は確保していきたいと考えております。
	31	第3章（地域対応施設）	また、公民館を地区センター化して様々なサービスをワンストップで提供するとしているが、それには現在よりも人手がかなりかかるのではないか。それだけの人件費をかけ、人材を確保できるのか。現実味がない。 それから、各地区の地区センターにそれだけの機能を持たせるのなら、市役所はもっと規模を縮小して、建て替え費用も縮減できるのではないか。 ぜひ再度試算してみてほしい。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。 また、検討する中で市役所との役割分担についても具体化をする予定です。その中で市役所と地区センターの規模の設定なども、調整したいと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
132			既存の地域コミュニティを大事にするためにも、小学校区の重要性をもっと理解してほしい。 地区センターを地域コミュニティの核とするとなっているが、地域コミュニティの核はむしろ小学校ではないか。 9地区に分割して統廃合をしたために小学校が遠方になり通いきれなくなりそうな子が出るとなったら校区変更を等という無責任な言葉が市側から出てくるのだが、それでは9地区に分ける意味はどこにあるのか。 地区割を考える際に、〇〇小学校区、〇〇中学校区、というとらえ方をしている人は多いと思うが、〇〇公民館地区、などというとらえ方をしている人がどれだけ居るというのか。そんな人は、まず居ないのではないのか。 万燈まつりにも、小学校単位、自治会単位での参加があるが、公民館単位での参加は見たことがないと思う。 またスクールバスという提案も説明会や住民主催の意見交換会で耳にしたことがあるが、財政的な理由で小学校を潰さざるを得ない自治体にスクールバスを運行し続ける財政的な体力があるとは思えない。 安易に校区変更やスクールバスなどという思い付きのような提案をするのではなく、6歳になったばかりの子どもでも通学できる距離に小学校を用意しておく方法を、真剣に考えてほしい。	今後の人口減少、少子化･高齢化、財政状況、施設の老朽化状況など、様々な背景を踏まえて、これからの公共施設の適正化を検討してきた結果、計画でお示しした通り、市内を9地区に分けて、小･中学校を含む地域の公共施設を再整備･再配置をする案を提案させていただきました。 小･中学校の統合は財政的な理由ばかりではなく、適正規模の学校を整備することによる教育環境の向上を目的としたものです。その際に生じる通学距離や通学時の安全性の問題は、場合によっては地域の方々と協議を行う中で検討していきます。
	計画全般について		人口を増やすためにどんな努力ができるのか、学校のトイレの洋式化やエアコン設置以外の方策も探ってほしい。 たとえば高倉地区では、ここ数年戸建て住宅やアパートが増え続けているが、将来的に人口が減り、小学校の適正規模が保てないとされて統廃合の対象にされている。 だが、統廃合が実施されるであろう10年先、20年先になる頃には、地区内に、建て替えの時期を迎えるマンションがいくつも出てくると思われる。そうなった場合、新しく建て替えられたマンションに若い世代が入ってくる可能性も考えられる。 また、現在農地や山林となっている場所で、相続などのタイミングで売りに出され、宅地化される所も出てくることも考えられる。そうなれば、人口はむしろ増えていく可能性が高い。 だが小学校がなくなるれば、人口が増える可能性もなくなるだろう。 不動産広告を見てみれば、「小学校まで徒歩3分」などと言った宣伝文句が並んでいる。子育て世代にとって、学校が近いということは住む場所を選ぶ上で重要な事。 少子化を真剣に止めたいのなら、説明会で学校のトイレの洋式化を進めたいといった事ばかり言うのではなく、もっと根本的な事を考えてほしい。少子化の影響で統廃合をすると言うが、むしろそれが更なる過疎化・少子化を招きかねない。 安易な統廃合はしないでほしい。	今後の人口減少、少子化･高齢化、財政状況、施設の老朽化状況など、様々な背景を踏まえて、これからの公共施設の適正化を検討してきた結果、計画でお示しした通り、市内を9地区に分けて、小･中学校を含む地域の公共施設を再整備･再配置をする案を提案させていただきました。 施設数は減少しますが、教育環境の充実を図ることで、新しい学校を中心として移住者の増加も見込まれるものと考えております。
133	96,97		築年数も野田中より西武中の方が経っており、メンテナンスにも多くのお金がかかってしまうと思います。子ども達の交通面でも生徒数の多い野田中生が通うとなるとただでさえ道（車道、歩道）が狭く安全面に多くの不安があり、デメリットの多い西武中を残す事に納得できません。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
134	96,97		事故等も多く道幅が狭い、交通量も多い遠い道のりを、生徒数の多い野田中生徒が通うとなると西武小に通う小さな子どもも多く危険が増すと予想します。野田は住宅も増えており、仏子よりも子どもが多くなると思います。人口の少ない地域の中学校を残し、不要な交通事故の危険を増やす事に納得いきません。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
135	96、97	西武中と野田中を統合して西武中を活用するという案について	1/26（西武小にて）、2/8、2/16、3度説明会に参加しました。西武中と野田中を統合しなければ、西武中の部活動や各教科の教員配置が困難である状況は理解しました。しかし、統合後の活用校舎が西武中であることには賛成できません。生徒の安全面を第一に考えれば、山や川がすぐそばにある西武中ではなく、危険性の低い野田中校舎活用が当然、と考えます。ぜひ、再検討をお願いします。原案通り、西武中を活用するのであれば、校舎を安全な物に建て替え、通学に要する道路を整備し、スクールバスの運用案も提示し、全ての準備を整えてから、多くの野田中生を移動させる、というのが正しい順番であり、このような筋を通して頂かないと、とても納得できるものではありません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
136	96,97		この度の、野田中学校を廃校とし西武中学校を存続させるということについての決定事項を伺い大変困惑しております。 6年前に今の自宅を購入した際に、幼稚園・小学校・中学校の立地について、子供たちが安全に通えるであろうということを考慮した重要な項目であった為に、大変残念・無念な思いで一杯です。今のままでは、（納得のいく説明がなければ、）到底受け入れがたい内容です。 万が一野田中学校が廃校になったとして、自宅から西武中学校までの通学路の道路事情について、このままでは不安が残ります。この決定事項を伺ったのちに、自宅から西武中学校まで徒歩で歩いてみましたが、大人の足でも40分ほどの時間がかかりました。どの道を通学路と想定されているのかは存じませんが、日の短くなった時期の暗い道路を、中学生の女の子の足で40分も歩かせるのは、今の道路事情では心配です。 まだ野田中学校の創立前には、私の自宅付近から西武中学校に通っていた実績があるとも伺っておりますが、昔と今とでは道路事情が違います。例えば、白髭神社前の旧道の各交差点についても、道路横断の際に信号機が無くて心配です。私自身も運転する際に、旧道の各交差点を一時停止して渡る際、歩行者や自転車と接触しそうになったことを何度か経験しております。常日頃から旧道の各交差点に信号機が無いことについては危険を感じておりましたので、我が娘が毎朝毎晩あの道を、徒歩若しくは自転車で通学すると考えると、不安を感じざるを得ません。 今までの説明内容の中には、通学路の安全性についてはほとんど触れていないようですが、親の立場からすると、距離の問題も重要ですが、次に心配になるのは通学路の安全性についてでであるとお考えにはならなかったのでしょうか。住民を納得させるためには、通学路の安全性に関する対策についても触れるべきではないでしょうか。 ・通学路の安全整備の計画はどうなっているのか？ ・距離の遠い生徒の為にスクールバスを導入する？ ・自転車通学を認めてもらえるのか？ ・自転車通学は逆に危険を伴うかもしれませんが、道路の安全整備が出来るのであれば認めても良いのではないでしょうか？ 今までの経緯を見ていると、通学路の安全性に関することなどは、移転が決定したのちに協議をすればよいと軽く考えているように思えてなりません。このような重要なことは、統廃合を決定する前に調整すべき項目であると思います。 本件の決定に際しては、私などでは知りえない様々な理由や、難題・調整事項があったことはお察し致しますが、今の状況からすると、3年後の施行というのは、あまりにも急ぎすぎていると言わざるを得ません。一部の住民の声を採り入れるだけでなく、様々な住民の意見を採り入れた形で、もう少し時間をかけて調整すべき項目があるのではないでしょうか。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
137		全般	大規模改修や耐震改修は問題ありませんが、施設の維持管理費です。指定管理委託料についてです。3施設のコストの77%の2億9090万円を払っていますが、入間市白書には委託料の（人件費23人分含）内訳がありません。備品購入費や修繕費等は別途項目があるので、人件費がメインになると思うのですが、一人当たりでは1260万円になります。もちろん光熱水費が入ると思うのですが、詳しい説明が聞きたいです。博物館アリットと比較すると、良くわかります。アリットの人件費は34人で1億5385万円（53%）です。学芸員の仕事内容と量の濃さを加味すれば比較になりません。やはり、委託管理は見直す必要があると思います。又、各施設で気になるのが光熱水費です。私はマンションの管理組合の理事長を3年しています。理事は通算6年です。その中で、管理費を減らす事をしてきました。共有部分の電気器具をLEDに替えました。年間電気代50万円が25万円になりました。水道も受水槽式だったのですが、経年劣化で交換時期だったので、受水槽は撤去して直結増圧式ポンプ式にしました。費用は安く済みましたし水がおいしくなりました。その他、毎年選定が必要な低木・樹木の伐採や、伐採後に駐車場の拡大と自転車の有料化による管理費の増収と、不要な自転車の整理による見た目の美化。その他、大規模修繕ではマンション管理会社の見積もりより200万円安く、屋上の防水工事をしました。結果、管理費が1万3000円だったのが現在、5000円です。それにより、マンション下に避難用道を作ったりしています。もちろんマンションと公共施設では規模が違いますが、基本的な内容は同じだと思います。是非、トータルコストにおける一括委託管理の見直しと、維持管理費の節約・削減をお願いします。（LED化等） 最後になりますが、3施設とアリットを比較すると、嘱託・契約・パート職員が3施設では多いですね。全23人中、一般正規職員は9人しかいません。割合的にはアリットも36人中、14人ですが、14人が全員全日従事なのを考えると内容が違うと思います。狭山市の様に、体育館や博物館の運営を一括管理委託にするのは反対です。正規職員が減れば、当然正規職員の職種移動が増えます。折角の経験やキャリアが無駄に成るだけでなく、本人が望まない移動も増えるでしょう。しかも非正規職員の方が多くなり、正規職員のモチベーションも下がり、優秀な人材の流出、そして集まらなくなります。地方自治体において、私たちの個人情報の管理や、民生・教育・衛生・土木等の生活を支えて頂ける職員の質の低下は将来において大きな問題になると思います。仮に将来AIが導入されるにしても、その点は重要視して頂きたいです。 つまりまとめますと、地方自治体の公共施設マネジメントにおいて、維持管理費の削減には、人件費の削減は考えないで欲しいという事です。必要な箇所には一般正規職員をきちんと配置して頂いて安定した能力を発揮していくことが、逆に上記にあります節約や削減につながると思うからです。 大変長くなりました。文章に繋がりが無い個所も多々あり読みにくいかもしれませんが、何卒ご容赦下さいませ。私も一市民として公共施設マネジメントに参加できました事、大変楽しく勉強になりました。市議会議員の先生から私の意見が市議会で出て参考になったと聞きました。少しでもお役に立てたならうれしいです。又、機会がありましたら参加させてください。有難うございました。	公共施設マネジメント白書は、公共施設を取巻く実態・課題を把握するために作成したものです。白書から見えてきた課題を踏まえ、公共施設の再整備・再配置や運営形態の見直し（民間活力の活用・人員配置など）について検討を行いたいと考えます。ご意見については今後の参考とさせていただきます。
138	96,97	中学校のお話	わたしは、どっちものこしたほうがいいと思います。なぜかというと、地しんの時や火じの時は、中学校に、にげるのがたいへんです。もう三つあります。じてん車通学で行ったら、早くていいですけど、わたしが道を歩いていると、あぶない場所がいっぱいありました。もう二つあります。5年生や4年生は、とちゅうからほかの学校に行くのはたいへんです。それとこまっちゃいます。もう一つあります。あんぜんあんしんに学校へ行きたいです。それと遠い学校に行くのは、ちょっとこわいです。どうしても一つだけなくしたいなら、バスや電車をつかってよくするか、道をあんぜんにしてください。	西武中学校の生徒数が減少していることから、統合は必要であると考えています。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
139	96,97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対です。 ハザードマップを見れば分かりますが、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっています。西武中は今のところ土砂災害警戒区域には指定されていませんが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているもので、区域外の安全を保障するものではないですよね。西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地で、土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできません。避難所場所に指定されているものですし、この際きちんと調査を行って結果を公表したらいかがでしょうか。どうしても西武中を残さなければならない理由があるのであれば残して頂いて構いませんが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよいのではないですか。野田中の耐用年数はまだ30年も残っていますから、まずは野田中を使い、その後建て直した西武中を利用すればよいのではいいと思います。 その前にまずは、通学の安全確保の対策をして頂くというのは絶対条件です。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
140	96	西武地区　中学校統廃合	野田中の存続を求めます⇒名前は西武中でもいいです。 理由 1防災拠点という視点からは西武地区4校のうち1番安全です。水害の心配がない、大型の緊急車両が入れる（西武中は周辺の道が狭い） 2西武中への自転車通学生徒が多く危険 ・中橋通り、中橋、ヤオコーから仏子駅へバスの通り道を車道を自転車が通ります。道路交通法改定により、自転車は車道を通ります。せっかく改修した中橋も途中の道路もたいへん混雑します←駅周辺も ・仏子駅周辺のふみきりを自転車がわたり危険です。今は駐輪場を上手に配置し、駅の近くやふみきりに自転車が入りませんが、かなりの数入り、駅も混みます。周辺道路も混み危険です。 3西武中は黒須中へも行けます。1.5km内に黒須中があり、西武中の生徒は選択できますが、野田中は近くに中学がなく選択できません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
141	95,96,97	西武地区	野田中、西武中の統合計画見直しを！甥っ子2人が仏子ニュータウンにいます。市長はじめ、担当職員の方々、一度朝の登校時の様子を見に来て下さい。実際に歩いて下さい。ご自分のお子さん、お孫さんを通わせる事ができますか？私は甥っ子を危ない目に合わせたくありません。早急すぎる無理矢理な統廃合計画、反対します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
142			・生徒数が多く、校舎の新しい野田中に統合した方がメリットが多いのではないでしょうか？ ・老朽化した校舎を残し、耐用年数が残っている校舎を使わないことは税金のムダ使いではないですか？ ・多くの生徒に負担をかける統合が正しいのでしょうか？ ・統合をするにしてもとりあえず野田中に統合して西武中の建て替え、道路の整備など・・・準備を整えてからにしてほしい	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
143	96,97	西武中、野田中統合について	統合するにしても、生徒や地区、保護者への説明が十分でないままの計画実行は一部の入間住民にとって大きな反発を生むと思います。素案からの変更、決定が急過ぎます。なぜ、昨年末に急に変更したのか・・・。西武中の建替予定は2029年～の第2期となってます。まずは統合は一時保留をし、説明会を重ね、建替までの10年間の間、通学路、特に踏切の幅員確保、歩道の整備などを準備する事が必要不可欠だと思います。まずは子供達の安全を考えるべきです。西武中に統合するには、まだ先にやらなければいけない事が沢山あると思います。納得いく説明をして下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
144	95,96,97	西武地区	孫の明るい未来の為に反対します。これ以上通学時間がかかるのは危険です。心配です。子どものことをもっと考えて下さい。もっと良い方法があると思います！子ども,お年寄りにやさしい入間市を希望します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
145	95～ 96～97	西武地区 2.施設の再整備、再配置に対する考え方・方向性	西武中・野田中の統廃合について ・野田中の方が20年新しく教室も充分ある。 ・地盤も硬く、災害時も安心。 ・生徒数が現在200名の差があり、減少するとしても逆転することは考えにくい。 ・現在299号から中橋方面に向かう歩道は登校時小学生であふれていて、危険も多い。同時刻に中学生が加わることはさらに危険が増す。 ・仏子地区は黒須中、東金子中が選択できる家庭もあると思う。 ・16日意見があったが、とりあえず20年間野田中を使用、その間に適当な場所に建設するのが最良と思われる。 ・統廃合の目的が経費削減であるなら、すぐに使える野田中を壊すことは理解できない。 ・名称にこだわるなら、野田中をなくし、西武中に変更すればよいと思う。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
146	21	地域区分	西武地区については、入間川を挟んだ仏子地区と野田・新光地区の二地区とするよう計画案を見直すように要望します。理由は、川幅の広い入間川が西武地区を二分し、人や車の通行には上橋と中橋の二箇所の橋しかありません。しかも、仏子地区（約8400人）と野田・新光地区（約12900人）の住民が往来できる唯一の道路です。入間川は通行上の大きな妨げとなっています。入間市内の他の地区にも中小の河川が幾つも流れているが、多くの橋があり同一地区内での住民の移動に大きな影響はありません。西武地区は前途のような地理的な特殊事情を抱えた地区であることを考慮すれば、安易に地域区分を一地区とした計画が無謀であることは明白です。西武地区を一つの地区とする計画案を、二地区に見直すことで後途する仏子エリア、野田・新光エリアの小・中学校の統廃合で揉める住民感情を解消できるものと思います。是非、西武地区を一地区から二地区に見直すことを要望します。	現在はこの両地区は連携が図れており、一体感もある地域であると考えております。はっきりと区分することで、その良い点がなくなってしまうのではないかと考えております。また、地区を二つに分けた場合は、西武中学校の生徒数減少という課題は解消されません。そのため、計画では引き続き、西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	29	地域対応施設2	2月8日、16日の説明会では仏子小学校通学者の100%が西武中学校に通うという説明がありました。この実態を基に、仏子小学校・西武中学校を文部科学省を推進する小中一貫教育を実施する入間市内でのモデル義務教育学校の新設を目指すべきだと思います。 小・中学校の学級数が少ないという理由で単純に入間川をはさんだ二つの小学校を、また二つの中学校を合併させる考え方は、児童生徒の気持ちやPTA関係者の関心が高い安全な登下校環境を考慮していない、あまりに拙速な構想と思います。 入間市内の人口減少、特に年少者人口の減少はどの地区においても避けられない状況にあります。 この将来見通しをも踏まえ、入間市小中一貫教育のモデル学校として仏子地区に義務教育学校の新設を要望します。 当面は建替え時期が迫っている西武中学校地内で5年前後の小中一貫教育の試行を重ねながら、同時に仏子小学校地内に新たにモデル学校にふさわしい校舎・施設や教員配置、教科等教育システムを構想を練るべきだと思います。仏子小学校跡地の小中一貫校竣工後、公共交通の利便性の高い西武中学校は、災害に強い住民の避難場所を兼ねるモデル公共施設に建替えることを希望します。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	43,44,48	地域別事業計画及び財政見通しにおけるリスク要因 追加資料1～6ページ中学校施設面の比較	計画では建替えまでの時期が近く、防災面でのリスクも高いと思われる西武中学校（築49年、生徒数160人）が、野田中学校（築29年、生徒数358人）を吸収合併し、未だ耐用年数が数十年残り、さらに防災面でのリスクが少ない野田中学校跡地を売却することになっています。 将来の人口動態を考慮した計画とのはなしですが、本当に現地を見ているのでしょうか？ 野田、新光地区は住宅地にふさわしい土地区画も整備され、保育園、幼稚園、小・中学校、病院、スーパーが付近にあり、新たな人口増加が見込まれる地区です。 今回の計画は、未だ使用可能期間が長く、災害の危険が少ない野田中学校を解体・売却することは、財政面・防災面からも無駄で無謀な計画と思えてなりません。 野田中学校は合併ではなく、現状通り西武小学校生徒が野田中学校に通学することが登下校のリスクが少なく望ましいと考えます。 入間川をはさんで小学校、中学校それぞれを合併するとなると、二本の橋（上橋、中橋）を往来する児童生徒の通学路の確保が出来ていない今、入間川挟むどちらの側の児童生徒にとっても、登下校の安全に対するリスクの増加は計り知れません。 将来ある児童生徒が登下校する道ですが、未だ通学路の確保の見通しが出来ていない今、なぜ合併を急ぐのですか？ 遠距離の生徒には自転車通学を考えているとされたが、中橋から下郷バス停付近までの登下校時間帯の交通渋滞の様子を考慮した発言とは思えません。事故発生は必須です。 説明会においては、スクールバス運行案もあるとのことですが、将来生徒の数が少数になってもバスの運行は必要となります。財政的なリスクは将来市の重荷になることは必定です。 上記した数々の理由からも、西武地区を一括りにするというこの計画案は見直し、二地区とすることが良いと思います。 さらに、西武中学校が立地する付近は、加地丘陵のすぐ脇にあり、またグラウンドを二分する前堀川があります。温暖化による気候変動や巨大地震による自然災害が今後かなりの確率で発生するリスクもあるものと思います。 仏子地区は登下校のリスク回避と、自然災害のリスク回避も考慮し、仏子小学校地内に小中一貫義務教育モデル学校の新設を要望します。 西武中学校跡地は、公共交通機関の集中する土地柄であるので、万全な自然災害に対応でき、仏子地区の防災拠点にもなりうる公共の建造物を、早急に模索することが望ましいと思います。 以上	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
147		野田中と西武中の統合について	2/8の説明会にて不安がより大きくなりました。原安を見て説明を聞けば聞くほど野田中を残すべきではないでしょうか？老朽化、人口、立地、防災どれをとっても、学校がある場所として問題はないはずです。子供達が安全に学校へ通え、学校生活を送れる事が第1と思います。それを考慮して決定して頂きたいです。 部活動においては近年野田中の功績はすばらしいと思われます。現に他校の地域からわざわざ通ってる子供もいるくらいです。 説明会の意見で、現在西武中に子供を通わせてる方が野田中の生徒を受け入れて、大丈夫なのかと心配されてました。今の時点でも学校の老朽化を不安に感じていると言ってました。今の倍以上の生徒が安全に学校生活を送れるのか心配です。西武中学校へ統合するのであれば、1度学校内の公開をして頂きたいです。統合まで約4年、それから10年後1番危険な時に子供を通わせなくてはならない親としては、安全をこの目で確認しておきたいです。それ以前に、交通面での心配も大きいです。通学路の安全確保をまずは優先してもらいたいです。徒歩にせよ、自転車通学にせよ、中橋北から西武中学校への道のりは危険としか言えません。まずは子供の安全を考えるべきではないですか？ 子供達が同じ時間にあのせまい道路を通学するのは車の方にも迷惑になります。 中学校統合の前に、道の整備をお願いします。 野田中学校を建てた30年前、今の現状を見すえてはいなかったのですか？ 説明会では30年後・・・と何度も言ってましたが、すでに今さらではないですか？ まだ30年使えるであろう建物を、子供が少なくなったから廃止にするのはムダとしか言えません。残り30年、野田中を活用してその間に道を整備し新しい学校を両方に通学しやすい場所へ建てるのが1番良いと思います。もう少し、ムダのない考え方にして下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
148	96、97ページ		①西武中と野田中を統合後に西武中の建替を行うと伺いましたが、理解できません。建替中の生徒の安全はどのように確保するのでしょうか？ 一旦、野田中に統合し、建替終了後に西武中に統合する方が、市長の仰った部活動の充実にも合致するのではないでしょうか？ ②野田中の土地を売却する予定との事ですが、売却ありきの計画にしか聞こえません。（単に西武中の土地は売却しづらいという視点） 学校の統合そのものに反対するつもりはありませんが、計画が乱暴、住民への配慮が足りな過ぎるのではないでしょうか？明確に計画の推移を説明して下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
149			私の住んでいる近くの学校（東町中、東町小、藤沢北小）が全て廃止されるとのことですが、首都直下地震など大きな災害も予想されるこれからいざという時の避難場所はどうなるのですか？ また、子どもたちの遠距離通学に伴う危険などは考えないのでしょうか？ この地域は新しい住宅も建っていて、人口も増加していると思います。 逆に学校を減らせば若い世帯は増えるどころか減っていき、少子化をくい止めるどころか、拍車がかかるのではないでしょうか。 とにかく住民が納得しないままの3月計画確定はやめて下さい。 市は全市民へ向けてのアンケートを実施すべきです。	今後の人口減少、少子化・高齢化、財政状況、施設の老朽化状況など、様々な背景を踏まえて、これからの公共施設の適正化を検討してきた結果、市内を9地区に分けて、小・中学校を含む地域の公共施設を再整備・再配置をする案を提案させていただきました。 なお、東町の小・中学校は跡地を公共施設の移転場所として活用することを想定していますので、引き続き地域の避難所として活用できるものと考えております。
150		宮寺小学校、狭山小学校統合について	・130年も続く小学校を統合するべきではない（近所のおじいちゃん・おばあちゃんたちが通っていた学校はやはり残すべき）。 今通っている子どもたちの安全が保証されないので、狭山小と統合してしまうのは反対（・スクールバスで宮寺小学校の子どもたちを送迎するとしても、長期的にみると不自由・不便さを感じます。・16号を渡って通うのには、歩道橋を作ったとしても子どもたちには危険。） 宮寺小学校の跡地をどうするのか。いづれにしても莫大な費用がかかる。 宮寺小周辺は里山もあり、教材もたくさんあります。未来の子どものために、入間市には宮寺小学校が必要。 市民説明会もありますが、なかなかみんな足ははこべないと思う。 宮寺保育所・二本木保育所 働くお母さんにとって、大きな負担になる。 私は入間市のみりょくや少しでも入間のことを知ってもらうために、子育て中の中時間をさいて市民カメラマンとしてやってきました。今回の事業計画をみてとても悲しい気持ちになりました。私一人の意見でどうなることでもないのですが、学校の統合については、もう少し時間をかけてほしい。仏子小に通っている保護者が、西武小の区域の老人にどなられた話もきいています。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。 また、跡地活用については、地域の意向も確認しながら方向性を探っていきたいと考えております。
151	ページ52	再整備・再配置	今まで宮の台自治会として総会をはじめ、月1回の班長会議やシニア会としても使わせていただいている施設なので、廃止となると宮の台自治会として困ってしまいます。	勤労福祉センターは、利用状況を考慮した上で、廃止とさせていただきました。
152		西武地区中学校	・2018年度の時点で在校生は野田中が西武中の2倍以上となっています。今後も野田中の生徒数の比率は保たれると思われるので、野田中への統合が合理的であると思います。 ・登下校には中橋を通らなければならず、それに続く市道は坂道であり狭い。大勢の生徒が通学時往来するとなると極めて危険だと思います。 ・野田中は平坦な大地に立地しており、一方西武中は丘と川に隣接しており、土砂災害の危険が多いにあると思われます。近年温暖化により水害が多発しています。子供達の安全を第一に考えるべきだと思います。 ・野田中の築年数はおよそ30年（西武中は50年）、まだ耐用年数が残っており充分活用できると思います。 ☆2022年に統合されることには納得がいきません。西部地区の大多数が納得するまで統合を見合わせてください！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
153	P34	地域対応施設小中学校	・小学校は地区に1つと決めず、地域の実情を見て欲しい。西武地域は、交通の安全面からも川の両側に1校ずつのまま残して欲しい。 ・中学校は地域で対立するような案ではなく双方が納得できる方策を。急いで決める必要はないと思う。	仏子小学校の児童数が少なくなっていることから、統合は必要であると考えています。 また、中学校の統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	P37	学童保育室	・小学校の複合化の前に、現在の保育室の狭さ、指導員の不足などの問題を先ず解決して欲しい。	現状の学童保育室の諸課題については、「公共施設マネジメント」の取組と並行して、問題解決に取り組みます。
	P64	学校給食センター	・小学校の自校方式は守られるのでしょうか。	小学校については、自校方式（直営方式）を維持する考えです。
	P99	財政計画について	・公共料金の値上げや、増税など市民負担が増えることはありませんか。	現状では、公共施設マネジメントを実行するために税や公共料金の負担増は想定しておりません。
154	18P	9地区の地域区分について	単純な人口だけで決めないで下さい。 地域には、歴史があり、それぞれの生活基盤も異なります。身近にある施設（公民館、小・中学校、保育所、学童保育所）だから、関心も深まり、行事への参加意欲も維持できます。徒歩15分以上になったら、足が遠のくことは必至です。これまでの地域区分を継続して下さい。	この計画を検討する上で、人口減少の問題とともに、今後の地域コミュニティが現在のまま維持できるのかといったことも課題として把握しておりました。そうした変化が、公民館等の利用状況の変化にもつながっているのではないかと分析しております。 地域区分や公共施設の統廃合の提案は、将来に向けて地域コミュニティの変化を想定したものであることをご理解ください。
	30P	統廃合施設の変更理由	統廃合施設の変更理由が不明です。 特に、小学校の統廃合は、単なる人口問題で理由にすべきではありません。小規模校であれば、教員と児童の関係が密になり、よい指導・教育が実施できます。フィンランドなどの異年令教育も試行できる利点となります。 多角的な見方をとり入れて下さい。	公共施設マネジメントは、施設の老朽化に加え、今後の人口減少、少子化・高齢化、それに伴う財政上の課題等から、施設を安全に維持していくために、一定のルールに従って統廃合を行う計画です。 なお、小規模校、大規模校ともそれぞれにメリット、デメリットがありますが、一定規模を保った学校の方がよりメリットが大きいと考えているため、適正化を図る必要があるものと考えています。
	31P	地区センター化について。	社会教育法の精神に則ったものでしょうか？公民館の使命が失われることのないように期待します。社会教育は住民の教育権の保障になります。何でも一つの窓口で処理できるのは一見望ましいですが、少数の職員で対処するのはむりでしょう。一考を望みます。	地区センターにおける公民館機能の位置づけとしては、社会教育法および教育振興基本計画を踏まえて、平成29年度に策定された「公民館基本計画」を実現することを前提としておりますので、サービスや機能、組織を検討する際には、その前提に沿って具体化を図っていきたいと考えております。
155	96、97ページ	16日の説明会で気になったこと	16日の西武地区説明会参加させて頂きました。 アンケートの集計結果もホームページから見させて頂きました。172ページものおまとめお疲れ様でした。統廃合のページを重点的に見ましたがご説明でも良くでてくる%ですと反対が多かったようですね。子供たちの意見も大人顔負けで胸が熱くなりました。子供だからとなめちゃいけないと改めて思いました。 通学圏内のお話も数字で色々何%とお話しされていましたので、自分なりに%から人数を出してみました。説明会の際、H31年度の新1年生～新5年生を調査とおっしゃっていましたよね。2/8の議事録も後から見させて頂き、そちらにも新1年生～新5年生と記載されていますよね。説明会の時に、仏子小、西武小の新1年生～新5年生の児童数は824人とおっしゃっていたように記憶しています。頂いた資料の30年度児童数の現在の1年生～5年生を足しても824人ですが、来年度も同じ824人ということで算出したということで間違いないでしょうか？表の人数もいつ現在の人数かも分かりませんので、多少の誤差はあるかと思いますが、計算しながら一体いつの数字なのか、どの学年の数字なのか疑問が残りました。人数の話をもう一点、両中学校2023年度の生徒数推計値ですが、今の小学2年生～4年生を足した数とズレがあるのはなぜなのでしょうか？こちらも気になりました。 通学路の安全面ですが、道路の拡張がかなり厳しいのは分かります。ただ道路はもちろん、外灯等を整備してからでないと市長もおっしゃっていた命が守れません。子供たちは雨でも雪でも通わなければなりません。安心安全な通学路、安心安全な学校生活をお願いします。 親としてお願いしたいのは、西武中の前の山の土砂災害がおこらないか調査を依頼するですとか、山から来るイノシシへの対策、通学路はこうします！ですとか、過保護と思われるでしょうが、お迎え用の駐車スペースを設けますですとか、安心安全命を守る！それが第一なのならば、検討検討言わずにちゃんとお示し下さい。検討検討ばかりでもうおなかいっぱいです。 2022年生産緑地の指定解除となれば、農地がたくさん残っているのは言わずもがな。ですよね。よろしくお願いします。 最後に子供たちの意見をとり入れてあげて下さい。再度、対象となる学年にも聞いてあげて下さい。子供たちは覚えていますよ。あの時ああだったなあって。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、今後の協議の中では、あらためてデータをご提供した上で協議を進めたいと考えております。
156			本日、宮小保護者様からいただいた意見出ましたが議事録お願い致します。 前回2・13宮寺公民館の保護者の方の意見出ましたが、子供たちが意見言えないから保護者が場で話してるわけで、本当に子供たちの為に未来将来を考えてあげていただきたい。 入間市の説明会で宮小保護者に話してることは未来も将来もないつまらない話です。 案も通らないと子供の登下校の安全も言えない入間市はおかしいし魅力がないです。 今後がわかりませんが、子供のことを大切に思ってる入間市でいただきたいです。	意見交換会や市民説明会の議事録は市公式ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。 宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
157	96,97		野田中・西武中合併の件 ・以前までは、野田中に合併という話でしたが、急に西武中に変わり、それぞれ事情はあると思いますが、3年後とは早すぎではないでしょうか？野田中に3年後合併するということであれば、わかりますが、西武中に合併するというのは、野田中区域にいる方は納得いかないと思います。西武小・野田中に子供が通学すると予定をして家を建てた方も沢山いると思います。もう少し、10年後とか先に伸ばしていただければ、これから家を購入する人、出産する人も計画して、この地域に住まわれると思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
158	96,97		野田中学校廃止について 公共施設マネジメント事業計画の説明会に参加させて頂き、長いスパンでの計画である事は理解しましたが、なぜ生徒数の圧倒的に多い野田中学校の方を廃止にするのか納得できる説明はなかったように思います。原案に「公共交通機関も含めた利便性を考慮し」とありますが、それならなおさら野田中の方が良いのではないでしょうか？通学の交通面でも、距離の関係で自転車通学という事も考えられますが、中橋周辺や踏切など道幅が狭く交通量も多いため、不安が残ります。以上の事などから、野田中学校の廃止について反対いたします。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
159	34～36	小中学校の統合	人口減少、生徒数の減少、地区の防災など統合はしかたのない事と考えております。しかしながら、説明会で市長がおっしゃっていた「安心、安全」について何も確保されていない状況で統合を決めてしまうのは心配しか残らず納得できません。通学路、建て替え工事に関する安心・安全を先ず明確に提示していただき、充分な協議の時間を設けていただけないと市民として安心できません。中橋から国道299号までの道幅、歩道の拡張、ふみ切りや歩道橋の整備などを第1期に進めた上で第2期以降に統合を検討する。さらに小中一貫校もふくめて再検討していただきたい。また、計画案の中身が変更されてから市民への説明、意見集収、案のまとめまでの期間が短すぎます。あと一年延ばして、しっかり検討、調整を行っていただけないと一市民として安心して暮らせません。10年前に小中学校の近く、駅やスーパーの近さで今の住所に他県から転入しています。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
160			仏子小学校は母校でもあり、仏子小学校に自分の子どもも通わせたいと思い、すぐ近くのマンションに引っ越してきたので廃校になってしまっては困ります。仏子小学校を廃校にしないで下さい。宜しくお願いします。	児童数の減少等を考慮すると統合はやむを得ないものと考えております。 なお、仏子小学校の統合時期は第2期としております。
			今、子ども2人が西武中央保育所に利用していますが、共働きで土曜日も勤務ですが保育所は土曜日14時までなので、祖母に見てもらっている状況です。祖母も体調を崩したりするので土曜日も平日と同じ時期まで18時半までにしてほしいです。宜しくお願いします。	保育所のサービス向上は、「公共施設マネジメント事業計画」を進める上で一つの課題だと捉えておりますので、今後、ご意見を参考に検討を進めます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
161			・人口を増やす。子育てしやすい。今育っている子ども達が入間に残っていってほしい。住みやすい街を望みます。保育園や小学校は近くにあるべきです。小規模になっても仏子小学校をなくさず残して下さい。統合すれば長距離通学にもなります。保育園は土曜日も一日保育とし利用しやすい条件に。中学校、今の状況に合わせてでも活動できるよう教育予算を増やすよう検討してほしい。西武中・野田中も。	今後の人口減少、少子化の状況を考慮すると統合はやむを得ないものと考えております。その際には、児童・生徒の負担ができる限り少なくなるよう検討してまいります。
			・一地域に小学校1、中学校1校づつという考えを取り止めて下さい。	今後の人口減少、少子化・高齢化、財政状況、施設の老朽化状況など、様々な背景を踏まえて、これからの公共施設の適正化を検討してきた結果、計画でお示しした通り、市内を9地区に分けて、小・中学校を含む地域の公共施設を再整備・再配置をする案を提案させていただきました。
			・3月策定は延期し、出された課題の検討、市民の声を取り入れていって下さい。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設の整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。
162	96,97		部活などの試合や交流で野田中学校を使わせて頂く事が多くあります。豊岡方面からも行きやすい場所にあり、運動部で使うグランドも広く、観戦、応援する場所も広くたくさんの緑があり、見学する保護者にもとても評判が良い為、野田中学校の存続を希望致します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
163	96 97		懇談会でも説明会でも、一番多い意見は「小中一貫校にしたらどうか？」だった。なぜ一番多い意見を、「入間市ではやっていない」の一言で片づけて、何の検討もしないのか。 入間川の両側に学校を配置するために住民が考えているのに、子供の教育を守る重要な番人であるはずの教育委員会は、なぜ子供のことを第一に考えられないのか。 まず実現に向けた具体的な検討をしてほしい。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 統廃合により一定規模を保った学校の方が教育環境上のメリットが大きいと考えているため、地区内に小学校または中学校が複数配置されている場合は、統廃合を行う考えです。
164	96 97		小中学校の統合に反対です。 西武地区の間を入間川が流れていて渡れる橋が2ヶ所しかなく現在ある小中学校は地区の中心あたりにある学校がなく子供達が通学をするのに片道4kmぐらいになる子もいるので通学距離が延びて安全面にも不足がありますので統合建替えではなく長寿命化の改修すれば建替えよりもコストが抑えられるので小中学校とも存続して下さい 1. 今後中学校を存続して長寿命化改修をした時 2. 地区の中間距離で統合して学校を建設した場合 3. 野田中学校に統合した場合 4. 西武中学校に統合した場合 1～4を今後30年間のコストのシュミレーションをして今後コストがどのくらいかかるのかをわかりやすく説明して下さい	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。その中で、コストシミュレーションなどもお示ししたいと考えております。
165	96 97		西武地区の中学校統廃合で問題なのは、2つの中学校が地区の両端に位置するということである。 この地区の中央付近に新たな中学校を建設することを提案したい。場所で言うと、谷田の泉南側である。 この辺りは水が抜けにくい土地なので地盤改良は必要になるだろうが、軟弱地盤が45mも続く浦安などと違って、入間市は10mほど下には固い支持層がある。もともと田んぼで水の抜けにくい土地だった西武中を建て替えるのと、費用的には大差ないのではないか。 初めから無理というのではなく、西武地区全体の調和のために、ぜひ新中学設立で動いていただきたい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
166	96 97		野田中の生徒が西武中に通うとき、大多数が通行すると考えられるのが、国道299号線から中橋へと続く道である。ただ、ここと、仏子郵便局から仏子駅への道は非常に狭く交通量も多いので、自転車通学させるのは非常に不安である。 統廃合の前にまず道幅を拡げ、自転車専用レーンを設けてほしい。 距離にして約630m、ここに道の両側もしくは片側にまとめてレーンを設けるとすると、参考に金沢市の基準を例にとると、2.25mの道路拡幅が必要になる。 この辺りの土地の取引価格は11万円/㎡ほどなので、用地買収に 630m×2.25m×11万円/㎡＝155,925,000円で、1.6億円ほどである（建物・残地補償は含まず）。さらに道路拡幅工事は1.7億円ほどになるのではないかと思う。 市庁舎に63億円かけるお金があるのなら、ここの道路も拡げられるのではないか。 統廃合を実施する前にぜひやっていただきたい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 統廃合が具現化され通学路や通学手法等が明確になった時点で、問題個所を洗い出し対応を図っていきます。
167	96 97		説明会などで、今回の話はパブリックコメントで寄せられた意見をもとに最終決定する、野田中廃止から西武中廃止への変更もあり得ると言っているのに、平成30年12月7日の公共施設最適化検討特別委員会では、「この案は庁議決定しているから変更はしない」と言っている。 結局は市民の意見は聞かないと言っているのと同じではないのか。どこにどう意見を言えば反映されるのか。	12月7日開催の市議会公共施設最適化検討特別委員会における発言は、パブリックコメントにかける案として庁議決定しているので、パブリックコメントで市民意見を伺う前に変更はしないということです。パブリックコメントで寄せられた意見をもとに見直しを図り、最終決定することを否定したものではありません。
168	96 97		野田中廃止の原案が出て、わずか1ヶ月ほどで意見を締め切り、説明会を1度しか行わないというのは、まるで住民のことを考えていない。 住民に説明し意見を出してもらうのに1年半は必要と考えたから、平成29年7月から始めていたのではないのか。 計画を変えたなら、そこからまた1年半は説明・話し合いの期間が必要ではないのか。 あまりにも短すぎる。期間を延ばしてほしい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
169	96 97		平成30年12月7日の公共施設最適化検討特別委員会で、野田中を廃止と決めた理由に、売却したら高く売れるからというのを挙げていたが、全く現実的ではなく、甘いとしか言いようがない。 今年2月21日朝日新聞でも取り上げていたが、今、廃校が全国で毎年500校前後発生しており、廃校の維持管理・売却には各自治体苦労している。 1984年深谷市で廃校になった旧中瀬小学校の体育館を、近年土地ごと売却しようとしたが購入希望者は現れず、795万円を逆に支払って譲り渡している。 2013年廃校になった本庄北高校は3.7億円で入札にかけたが売れず、落札者が建物を解体するとの条件で、7,000万円で売却した。 野田中は比較的新しい建物なので高く売れるとお考えのようだが、校舎は他の用途には利用しにくい建物であり、解体・撤去に3～5億円かかる建物付きの土地を欲しがる企業はいない断言できる。もし土地を売却したいのなら、解体・撤去が必須である。ましてや野田中は市街化調整区域で、入れる業種も、教育・老人福祉など、ごく限られている。 ちなみに、野田の市街化調整区域の直近の取引価格は、1㎡あたり、3,000円～3,600円である。野田中の敷地面積だと 3,600円×29,053㎡＝104,590,800（1億459万）円であり、解体に3～5億円かけると2～4億円の赤字である。 一方西武中を売却すると、 31,652㎡×6万円＝1,899,120,000（18億9,912万）円で、解体費用を差し引いても、金額的には十分余裕のあるものとなる。	ご提案は、今後跡地活用を考える上で参考にさせていただきます。なお、西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
170	96 97		今までの懇談会・説明会で、西武中存続を望む声が多かったから計画をひっくり返したとのことだが、今会議録を読み返していても決してそんな声は多数ではなく、むしろ中高一貫を望む声が一番多かった。 一体いつどこで聞いた何人の住民の声を参考にしたのか、教えてほしい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。
171	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
172	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
173	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
174	69 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
175	96 97		入間市の財政は豊かではないのに新しい野田中を廃止して西武中を建替えるのは考えられません。 入間高校は廃止してから4～5年間どこにも使用されないで放置されてました。たまたま埼玉県学校設置条例の一部が改正されたから狭山特別支援学校の高等部が入間高校に移管されたけど、改正がなければ入間高校は今まだに放置されていたと思います。 野田中も廃止されれば売れないで放置されると思います。 どこの企業が学校の校舎を残したまま、買うんですか？ 校舎を壊すにも3～5億円かかります。 西武中の建替えは30億円かかります。野田中を残す方が30億円ぐらい得をするのに野田中を選ばないのは私にはわかりません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
176	96 97		2/8.16日の説明会でも中学校の統合問題について意見を言っています。何も反映されなければ私は入間市に税金が入らないようにふるさと納税を沢さんします。 子には将来絶対に入間市にだけには住むなと言います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
177	96 97		昨年度　北海道の地震で厚真町では土砂災害警戒区域外でも土砂災害が起きていて、西日本の豪雨の時でも土砂災害警戒区域外で土砂災害が起きています。西武中の周には土砂災害警戒区域があり、今後は土砂災害警戒区域が広がる可能性があります。 西武中を建替る前に土砂災害警戒区域になったら、また新しい場所を探さなければならないし無駄なお金がかかるので野田中学校を残す方が絶対にお金がかからないです。 子供に入間市の借金を残すのはやめて下さい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
178	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
179	96 97		パブリックコメントを出せば計画に反映させるというが、300人が同じような意見を出してきたとき、意見は1つに集約して、数は集計しないという。 1人の意見と300人の意見の重さが同じでは、一部の人間の利益を優先させることになるのではないか。 背景にある多数の意見をきちんと反映させるべきではないか。	市民説明会でのご意見やパブリックコメントでのご意見は、充分に検討した上で、計画への反映を考えさせていただきました。
180			市民には公共施設を3割減らすのに市役所を建替えるのは反対です。市民には減らせと言っているのに自分達だけ新しい建物にするのは違うと思う。今回は耐震補強と改修で対応してほしい。	市庁舎については、建替えコストと耐震改修コスト、さらに、維持管理費を含む長期的なコスト比較をした結果、建替えの方が有利であると判断しました。この方法が長期的にみて市民にも負担が少ないものと考えています。また、建て替えることで、現在求められているサービスに対応でき、必要な機能を備えることができます。
181	96.97 97		懇談会でも説明会でも、一番多い意見は「小中一貫校にしたらどうか？」だった。なぜ一番多い意見を、「入間市ではやっていない」の一言で片づけて、何の検討もしないのか。 入間川の両側に学校を配置するために住民が考えているのに、子供の教育を守る重要な番人であるはずの教育委員会は、なぜ子供のことを第一に考えられないのか。 まず実現に向けた具体的な検討をしてほしい。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。市としましては、統廃合により一定規模を保った学校の方が教育環境上のメリットが大きいと考えているため、地区内に小学校または中学校が複数配置されている場合は、統廃合を行う考えです。
182	96.97		西武地区の中学校統廃合で問題なのは、2つの中学校が地区の両端に位置するということである。 この地区の中央付近に新たな中学校を建設することを提案したい。場所で言うと、谷田の泉南側である。 この辺りは水が抜けにくい土地なので地盤改良は必要になるだろうが、軟弱地盤が45mも続く浦安などと違って、入間市は10mほど下には固い支持層がある。もともと田んぼで水の抜けにくい土地だった西武中を建て替えるのと、費用的には大差ないのではないか。 初めから無理というのではなく、西武地区全体の調和のために、ぜひ新中学設立で動いていただきたい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
183	96.97		野田中の生徒が西武中に通うとき、大多数が通行すると考えられるのが、国道299号線から中橋へと続く道である。ただ、ここと、仏子郵便局から仏子駅への道は非常に狭く交通量も多いので、自転車通学させるのは非常に不安である。 統廃合の前にまず道幅を拡げ、自転車専用レーンを設けてほしい。 距離にして約630m、ここに道の両側もしくは片側にまとめてレーンを設けるとすると、参考に金沢市の基準を例にとると、2.25mの道路拡幅が必要になる。 この辺りの土地の取引価格は11万円/㎡ほどなので、用地買収に 630m×2.25m×11万円/㎡＝155,925,000円で、1.6億円ほどである（建物・残地補償は含まず）。さらに道路拡幅工事は1.7億円ほどになるのではないかと思う。 市庁舎に63億円かけるお金があるのなら、ここの道路も拡げられるのではないか。 統廃合を実施する前にぜひやっていただきたい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
184	96.97		説明会などで、今回の話はパブリックコメントで寄せられた意見をもとに最終決定する、野田中廃止から西武中廃止への変更もあり得ると言っているのに、平成30年12月7日の公共施設最適化検討特別委員会では、「この案は庁議決定しているから変更はしない」と言っている。 結局は市民の意見は聞かないと言っているのと同じではないのか。どこにどう意見を言えば反映されるのか。	12月7日開催の市議会公共施設最適化検討特別委員会における発言は、パブリックコメントにかける案として庁議決定しているので、パブリックコメントで市民意見を伺う前に変更はしないということです。パブリックコメントで寄せられた意見をもとに見直しを図り、最終決定することを否定したものではありません。
185	96.97		野田中廃止に変更した時期について、議員へは平成30年12月13.14日の全員協議会で報告したと言っているが、同年12月10日の議会で、〇〇議員が、西武中が残るという発言をしている。 〇〇議員が黒幕なのか。	12月7日開催の市議会公共施設最適化検討特別委員会において、市議会全員協議会における報告内容を事前に説明いたしました。
186	96.97		もし西武中の人数が少なくて部活動ができず、教科担任が確保できないと困っているのなら、野田中学生の保護者として、こう言ってあげたい。 「野田中においでよ。歓迎するよ」と。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
187	96.97		野田中廃止の原案が出て、わずか1ヶ月ほどで意見を締め切り、説明会を1度しか行わないというのは、まるで住民のことを考えていない。 住民に説明し意見を出してもらうのに1年半は必要と考えたから、平成29年7月から始めていたのではないのか。 計画を変えたなら、そこからまた1年半は説明・話し合いの期間が必要ではないのか。 あまりにも短すぎる。期間を延ばしてほしい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
188	96.97		H30.12.7の公共施設最適化検討特別委員会で、野田中を廃止と決めた理由に、売却したら高く売れるからというのを挙げていたが、全く現実を見ておらず、甘いとしか言いようがない。 今年2月21日の朝日新聞でも取り上げていたが、今、廃校が全国で毎年500校前後発生しており、この廃校の維持管理・売却には各自治体苦労している。 1984年深谷市で廃校になった小学校の体育館を、近年土地ごと売却しようとしたが購入希望者は現れず、795万円を逆に支払って譲り渡している。 2013年廃校になった本庄北高校は3.7億円で入札にかけたが売れず、落札者が建物を解体するとの条件で、7,000万円で売却した。 野田中は比較的新しい建物なので高く売れるとお考えのようだが、校舎のような建物は使い勝手も悪く、解体・撤去に3～5億円かかる建物付の土地をほしがる企業はいないと断言する。もし土地を売却したいのなら、建物の解体・撤去が必須である。ましてや野田中は市街化調整区域で、入れる業種も、教育・老人福祉・物流など、ごく限られている。 ちなみに、野田の市街化調整区域の直近の取引価格は、1㎡あたり、3,000円～3,600円である。野田中の敷地面積だと3,600円×29,053㎡＝104,590,800（1億459万）円であり、解体に3～5億かけると2～4億円の赤字である。 一方西武中を売却すると、31,652㎡×6万円＝1,899,120,000（18億9,912万）円で、解体費用を差し引いても、金額的には十分余裕のあるものとなる。	ご意見は、今後跡地活用を考える上で参考にさせていただきます。なお、西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
189	96.97		平成30年12月7日の公共施設最適化検討特別委員会で、野田中を廃止と決めた理由に、売却したら高く売れるからというのを挙げていたが、全く現実を見ておらず、甘いとしか言いようがない。 今年2月21日朝日新聞でも取り上げていたが、今、廃校が全国で毎年500校前後発生しており、廃校の維持管理・売却には各自治体苦労している。 1984年深谷市で廃校になった旧中瀬小学校の体育館を、近年土地ごと売却しようとしたが購入希望者は現れず、795万円を逆に支払って譲り渡している。 2013年廃校になった本庄北高校は3.7億円で入札にかけたが売れず、落札者が建物を解体するとの条件で、7,000万円で売却した。 野田中は比較的新しい建物なので高く売れるとお考えのようだが、校舎は他の用途には利用しにくい建物であり、解体・撤去に3～5億円かかる建物付きの土地を欲しがる企業はいないと断言できる。ましてや野田中は市街化調整区域で、入れる業種も、教育・老人福祉など、ごく限られている。 ちなみに、野田の市街化調整区域の直近の取引価格は、1㎡あたり、3,000円～3,600円である。野田中の敷地面積だと3,600円×29,053㎡＝104,590,800（1億459万）円であり、解体に3～5億かけると2～4億円の赤字である。 一方西武中を売却すると、 31,652㎡×6万円＝1,899,120,000（18億9,912万）円で、解体費用を差し引いても、金額的には十分余裕のあるものとなる。	ご意見は、今後跡地活用を考える上で参考にさせていただきます。なお、西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
190	96.97		今までの懇談会・説明会で、西武中存続を望む声が多かったから計画をひっくり返したとのことだが、今会議録を読み返していても決してそんな声は多数ではなく、むしろ中高一貫を望む声が一番多かった。 一体いつどこで聞いた何人の住民の声を参考にしたのか、教えてほしい。	これまでのご意見や、庁内での再検討を踏まえて原案をまとめましたが、あらためて市民の皆さまから市民説明会やパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえて、西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。
191	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
192	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
193	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
194	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
195	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
196	96.97		平成29年7月からの懇談会・説明会で、たたき台として野田中存続案を出していたと言うが、そのせいでその反対意見しか集めることができなかった。地区での話し合いを活発に行わせるには、まず白紙という案を出すべきだった。 つまりこの1年半、地区で話し合うための期間として全く機能していないので、今度は白紙状態から話し合う時間がほしい。少なくとも年単位の時間がないと、何の結論も出せない。 まず白紙に戻してほしい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
197	96.97		パブリックコメントを出せば計画に反映させるというが、300人が同じような意見を出してきたとき、意見は1つに集約して、数は集計しないという。 1人の意見と300人の意見の重さが同じでは、一部の人間の利益を優先させることになるのではないか。 背景にある多数の意見をきちんと反映させるべきではないか。	市民説明会でのご意見やパブリックコメントでのご意見は、充分に検討した上で、計画への反映を考えさせていただきました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
198	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
199	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
200	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
201	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
202	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
203	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
204	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
205	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
206	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
207	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
208	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
209	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
210	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
211	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
212	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
213	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
214			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
215			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
216			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
217			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
218	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
219	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
220	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
221	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
222	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
223	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
224	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
225	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
226	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
227	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
228	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
229	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
230	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
231	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
232			それでなくても狭い学童、年々交通量が増える傾向を見るに、もっといい環境が考えられないかと感じていたところである。加えて狭い踏切りを渡っている多くの学童を考える時、交通事故、踏切り事故等多難さを予想せざるを得ません。子供主体の明かるい健康な街創りを希望する者としてこの問題はもっともっと熟慮を重ねて頂きたい。日々夕刻、市から拡声器で流れる「良い子の皆さん、交通に気をつけて・・・」の音声が虚しく聞こえる。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
233	96 97		野田中学校は入間市で1番新しい中学校で特に手を加えなくてもあと20年は使えるのに、わざわざ西武中を改修工事してから第二期に建て変えるのでしょうか？建築費用のムダ使いだと思います。 入間川の両岸に学校を配置するメリットは何もないと思います。 野田の交差点から中橋までの道幅がせまく小学生、中学生、駅に向から自転車、通勤車が事故なく通れるとは思えません。 西武中は体育館もせまく、校庭に川も流れ、道もせまく危険です。統合に反対ではありませんが、子供の安全を考えると野田中を残す方が良いと思います。西武中という名前を残したいのでしょうか？	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
234			二本木、宮寺保育所の統合について、両施設の中間付近に新たに土地を求め、計画期限内に設置するという案には到底実現性に乏しく、賛同出来ない。小学校の計画についても前記同様の内容で実現に乏しく、到底賛同出来ない。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。 保育所の統合に向けては、移転新設する計画を実現するために努力したいと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
235			事業計画全体の内容の方向性は致し方ないと理解しています。 野田中と西武中の統合について 1. 野田中の存続を再検討願いたい。 2. 野田中を廃校にして西武中に統合する計画がかなり進んでいるようですが、その経緯平易に説明願いたい。 野田中の方が学校施設が新しく、通学する生徒数は野田中は西武中の倍以上です。 3. 計画の当初、野田中に統合する予定であったが、西武中周辺の民意により西武中に統合するよう変更になったという。野田中周辺の民意を問われたことはなく、不公平です。 4. 西武中周辺の通学路は狭隘であり、安全性を担保できますか？ 通学路の整備等具体的な対策を採って下さい（統合の採否にかかわらず）。 5. 西武中へ新光・野田地区の奥から通学する場合50分は優にかかります。 日が短い時期は、帰宅時刻はすでに暗く防犯上甚だ不安です。バス通学 （当然学割）や自転車通学を認める 以上	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
236		西武地区　中学校	この度のお話しあいについて友人より御意件をとのお話しが有りましてお便りを致します。 色々と御意件はあって当然だと思いますが、教育は人として、大切な事です。未来の子供達が幸せで人を思う心が育ちます場所として、又、災害の〇〇〇皆さんが安心出来る場所として考えて頂ければ幸いです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 ※判読ができなかった部分を〇〇〇と記載しました。
237			小学校・中学校の統合について 敷地面積で可能かはわかりませんが、現在の西武小学校に小学校・中学校の建設を行うと良いかなと思いました。小・中一貫教育もできるし、野田中生は以前通学していた所でもあり、仏子小学生が西武小学校に通学する事になれば中学校も同じと考えました。グランドが狭くなれば川添いにあるグランドを使用する事もできるのではと考えます。保育所も側にあり、子供達の総合的な教育になるのではと考えました。	現段階では2校分の敷地を確保することは難しいのではないかと考えております。 なお、西武中学校と野田中学校の統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
238		まちづくり	市制活動おつかれさまです。 全体的に資料を拝見させていただきました 現在、人口減少と公共施設の老朽化の背景のもと、公共施設マネジメント計画が進められていることがわかりました。 しかし、この計画では、将来的に入間市が住みよい街づくりをするようなビジョンを描いているとは思えません。 少子化対策というよりも高齢化を加速していくような 街づくりに見えます。 現在、住んでいて感じることは、入間市の観光に魅力もなく、 せっかくの魅力である狭山茶を生かしたアピールが少なさすぎます。 金子地区（在住地区なので） 私は生まれも育ちも金子地区ですので、昔から入間市の中で広い敷地の割には人口が少ない、過疎化地区と言われておりました。	まちづくりのビジョンについては、市の最上位計画である「第6次入間市総合計画」でお示ししているため、本計画や説明会では触れずに、公共施設を取巻く現状・課題、それに応じた方策に絞って示しています。 本計画では、今後の人口減少を考慮して施設の数は減らす計画ですが、残す施設に対しては、ソフト・ハード両面で投資し、魅力ある施設として整備することで、住みよいまちづくりにつなげたいと考えております。
		保育所	・金子第一保育所/第二保育所の金子小学校移転について 敷地内に作るということですが、小学生と保育園児の生活リズムが違うのに、どうやって共存していけるのかが理解できません。 とりあえず、老朽化した二つの保育所を売却・返却するとのことですが、どちらかを残すことはできないのでしょうか。	金子小学校への保育所の複合化については、2019年度に詳細な整備計画を検討する中で検証することとしました。
		中学校	・金子中学校について また、子供を中学校に通わせていてわかりますが、向原中学校や藤沢中学校のようなマンモス学校とも違い、教員の人数も少ないため、授業や部活動も簡素化されており、これで他校と競い合えっていうのは、厳しい話です。規模が小さい学校ほど、いろいろな面で優先度を下げられてるように感じます。	教育の質の確保についてのご意見でありますので、教育委員会へご意見をお伝えいたします。
		金子駅	・金子駅について 金子駅を活性化させるために、周辺施設をどうにかすることはできませんか？　利便性が悪すぎます。 （6-22時とかでもいいのでコンビニなどの民間施設力を貸すことはできないのでしょうか？）	金子地区のまちづくりのご意見でありますので、担当部局へご意見をお伝えいたします。
		説明会等	最後に2月に各地区でこの説明会を開催していましたが・・・市役所としては、開催したから、それで市民に理解してもらったというお考えなのでしょうか。 私は2月2日の金子地区説明会は、子供の学校行事の都合で説明会に行くことができませんでした。 一般企業で勤めているため、平日週5日で仕事をしております。 保育園に年中の娘を預けていますので、平日は仕事、土日祝日は子供の活動で、一日が24時間あっても足りません。 そもそも統廃合に該当している施設（小学校、金子第一/第二保育所）での説明会をなぜやらないのでしょうか。 少なくとも金子地区では納得されてない方がたくさんいます。 現場で起きていることをもっと理解してほしいです。 そして、住民投票をやっていただきたいです。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設の整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。 公共施設の整備については、市民意見や市議会議員の意見を踏まえて、決定します。公共施設の整備方法には様々なものがあり、住民投票で選択していただくような事案ではないと考えており、住民投票を実施する考えはありません。
239	6	3(1)中段	「年少人口の減少に歯止めをかけるためには」は不要。年少人口が減ろうが増えようが、児童福祉や教育の充実は求められる。	ご指摘の通り修正いたしました。
	6	3(1)中段	社会保障の経費も抑えてください。	社会保障の経費については、今後、第6次入間市総合計画・前期基本計画、入間市中期財政計画、実施計画に基づき、予算編成、事業執行に取り組み、適正な規模となるよう取り組みます。
	9	3(4)	AIは普及するが、ICTは普及ではなく進歩（進化）です。	ご指摘の通り修正いたしました。
	9	4(1)	「若い世代や子育て世代が、魅力を感じ安心して生活できると思えるような公共施設を整備すること、また、そのような「まち」を作るための政策に集中投資できるように公共施設の効率化を進めること」を実現するための計画になっていない。p.40の5の2の意見にあるような期待に応えることが「選択と集中」の結果になるのではないか。単に今の立地や施設を残すか残さないか、ではなく、もっと踏み込んで考えてほしい。	本計画では、今後の人口減少を考慮して施設の数は減らす計画ですが、残す施設に対しては、ソフト・ハード両面で投資し、魅力ある施設として整備することで、住みよいまちづくりにつなげたいと考えております。
	36	5　No.3	学校と図書館の複合施設を今後検討するべき。安全性は施設の構造と運用で保てる。	学校と図書館の複合化については、先行事例もあり当初検討していましたが、多くの市民から不特定多数の方が出入りすることに対するセキュリティ面での不安の声をお伺いしていますので、現時点では困難と判断しています。
	40	1行目	民間保育所がいつまでも同じ場所にあるとは限らないため、民間保育所との距離を話すなどの考慮をする必要性は小さい。近くに公立保育所があり、そのサービスが良ければ、民間保育所のサービス向上も期待できる。	公立保育所については子どもと家庭のセーフティネットとしての役割があります。施設の配置については、各地区の状況など様々な条件を考慮して検討したいと考えております。また、民間保育園とのバランスも一つの条件として捉えたいと考えます。
	40	1	現在のサービスは維持ではなく、向上するようにしてください。	公共施設マネジメントにより、提供するサービスの充実が図れるよう努めてまいります。
	40	5　No.1	保育時間の延長等、一部サービスの見直しについては、施設整備に合わせる理由がない。施設整備を待たずに検討してください。	公立保育所のサービスの見直しは、既存施設でできる内容もありますが、公立保育所の多くは建築してから50年近く経過しているため、施設自体に現代のニーズに応じられるだけの機能が備えられていない状況です。このため、施設整備に合わせて、機能とサービスの充実を図りたいと考えています。
	41	7	保育施設が整備されている、保育施設に入りやすい等の理由で入間市に転入する可能性もある。ニーズに合わせるのではなく、ニーズを取りに行くことも検討してください。	公立保育所の多くは建築されてから50年近く経過しているため、施設自体に現代のニーズに応じられるだけの機能が備えられていない状況です。また、多くの公立保育所が施設更新を控えているため、施設整備を行う際には、積極的にニーズを把握し計画に反映するよう努めてまいります。
	54		児童センターの機能のうち、「おもちゃのある広いスペース」を各地区センターに追加することはできないか。貸会議室として特定の市民に使われるよりは施設の有効な使い方だと思う。 ↓参考にしてください（東京都荒川区） https://www.city.arakawa.tokyo.jp/shisetsu/hirobakan/riyoannai.html	児童センター機能の分散配置については、今後、各地区に配置する地区センターの機能を検討する際に参考とさせていただきます。おもちゃや児童用の設備などハードウェアを地区センターに備える場合と、地区センター等の会議室を職員が巡回してサービスを提供する場合とが考えられますので、こうした点は、今後検討させていただきます。
	67	2	施設機能の維持では不十分。子供乗せ自転車がしっかりととめられる施設にアップグレードしてください。現在は、たまたまとめるスペースがあるだけで、料金を徴収して役割を果たしているとはいいがたい。保育施設に子供を預けて、そのまま電車で出勤することが想定される。保育施設で預かってもらえない場合、子供のヘルメットや上着は自転車に置いていくことになる。風雨をしのげる環境にするべき。	施設整備の参考とさせていただきます。なお、施設整備に向けては、ニーズを充分に把握したいと考えます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
240	96	西部地区 2. 施設の再整備・再配置に対する考え方・方向性 西武中と野田中の統合について	野田中廃校に反対。 西武中を廃校にし、野田中への統合を要望します。 昨年末の段階で西武中を廃止し、野田中へ統合する予定だったはず。 何年もかけて検討した結果を数か月で全く逆の内容に変更した理由が、「歴史的背景」と「公共交通機関」では、市民が納得できる理由としては乏しすぎる。 急転した内容のわりには統合時期が早急すぎる。 中学統合の実施時期に対して計画変更が急なため、西部地区に対しては市民に対する説明会の実施よりも、もっと時間をかけて市民の意見を集める機会が必要ではないのか。さらには地域住民の民意を問う投票を行うべき事案である。 毎朝、西武小の通学路では、中橋から北の道路で児童数が集中しているが、中橋からHONDAまでの歩道が狭すぎるため、今でも小学生が毎朝大変な思いをしている。雨の日に傘をさしての通学は車道にまで傘がはみ出してしまっていて危険でしょうがない。それに加えて川を渡るための上橋・中橋の2本の橋のうち、野田中の校区から西武中へ通うことになる生徒たちの住宅エリアから考えてもほとんどが中橋を利用することになるため、あのあたりへの児童・学生の毎朝の通学の集中がおき、危険であることは容易に想像ができる。自転車での通学になればなおのことである。 それに比べて、もし西武中の校区の生徒が野田中へ通うなら、仏子地区の住宅エリアからみても川を渡る際には、上橋と中橋に学生の通学が分散されることが予想され、そもそも川を渡る必要のある学生の数が圧倒的に少なくなるため、こちらの案の方が絶対によい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
241	31 34	機能別事業計画 1.地区センター 2. 小学校・中学校	対象施設/黒須公民館・高倉公民館→地区センター（2期統合・移転新設） 黒須小学校・高倉小学校（2期1案、統合移転新設・2案、統合現場所へ建替え） 上記統廃合に関する市主催の説明会を高倉地域で2回行いました。2回併せて200人近くの方が出席しましたが、今回高倉地区の統廃合に関して誰1人賛成者はいませんでした。ほぼ99%が反対で黒須地区在住の市議2名だけが賛成のようでした。 ほぼ全員反対者のなかで市は言い訳ばかり、まだ決まった訳ではない、10年間で何度も見直しを行う、柔軟に、柔軟にと何度も繰返して発言、その苦しい手の内が伺えます。一度この原案は廃案にして、再度市下部組織の約120近くある自治会にて説明、議論をするべきであると考えます。何故ならこれだけ重要な、尚且つ市民の生命（水害・災害）にも関係している事なので、もっと幅広く意見を聞く事です。それできちんとした原案を作り、見直しなど行わないようにするべきです。市長が言っている柔軟な、その都度変更では一対この高倉地域がどうなるのか、将来の見通しがたたずこれからこの地域に住もうと思っている方は、市がこんな状況だと住む気になれず、今すぐ明日からでも人口の流出が起こって行きますが、本当によろしいですか。 先日の説明会では今回の責任を追及しましたが、市長以下市の皆様は誰一人責任を取る事の発言はありませんでした。本当に、本当に悲しくなります。 対象施設/黒須公民館・高倉公民館→地区センター（2期統合・移転新設） 黒須小学校・高倉小学校（2期1案、統合移転新設・2案、統合現場所へ建替え） 黒須地域・入間川沿いへの施設統廃合は大変危険、特に子供・お年寄りの生命に関る事。何故なら、市の防災マップに3日間で500ミリの雨量があれば、入間川、霞川の氾濫が十分想定されると記載あり。また、政府オンライ情報では・埼玉地誌・黒須地誌では黒須名の由来は「黒洲」から来ており、黒洲は洪水や津波などが起きている場所と記載がある。実際に昭和20年には霞川が氾濫、家屋が流され、尊い命が失われている。この様に過去の災害歴史から見ても、黒須に建て替え等、断固反対します。まだ、まだ高台の高倉の方が安心、安全である。 市長は黒須の方は生徒数が多いのでと言うが、生徒数は数のマジックで区割りを少し変えるだけで生徒の数は幾らでも変わります。人数にこだわらず高台の方が安心、安全である。説明会での市の回答はいつもお金、お金、そして将来に先送りしては行けないのみ、前向きの回答は一切なし、本当に実行すれば高倉に住もうと思う住民はいなくなり、市が想定している廃墟の高倉になる事は目に見えています。その責任の全ては入間市市長、田中龍夫以下総務部、公共施設マネージメント関係者にあります。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 計画としては、青少年活動センター、福祉作業所の移転を考えており、合わせて地域コミュニティの活動場所として使えるようにしたいと考えています。 そうした施設として整備することで避難所としての機能を維持する考えです。
242	95	西武地区における中学校統廃合について意見	西武地区の6区7区の学生を殊更無視した計画で新しい住人に苦渋を嘗めさせる判断に憤りを感じる。 区民の利用学生の多い方を潰し少ない方を残したり、古い方を残し比較的新しい方を潰す理由全くが解らない。どこに理にかなう事があるのだろうか。 何より、3番目「市民意見への対応」で皆が感じている「道幅の狭さへの危険」「通学距離の遠さ」など不安要素をそのままで統廃合を決定させていスタンスに入間市役所の計画に不信感しかない。しかも対策について道路環境、見守り体制などを地域と協議して……と、ありますが、端からPTAや地区班に押し付け役所は統廃合できたら御の字なのでしょうね。 逆です。先に払拭するプランを提示してから統廃合を打ち出さないと子供を送り出す親として 入間市に不信感しかなく、子育て世代と学生自信を蔑ろにした計画なんですか?しかも去年までは統廃合の学校が逆だったのに、一体誰の一声だったんですか?長年の納税者の肩を持ったということなんですか?小学校あげるから中学校残して痛み分けだねって事にはならないんですよ、実際に危険に晒される子供が新地区である7区に沢山いるのです。誰のための中学校ですか、せめてスクールバス位は市身銭を切って導入して欲しい所です。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
243			統廃合は将来的にも財政的にも致し方無と思います。 ただ、用地買収にかける時間が少なすぎると思います。地域住民にとって、学校は非常に重要な問題なので、もう少し時間の猶予が欲しいです。もう一点は市として宮寺二本木地区の将来をどう考えているか知りたいです。道路の計画は聞いた事がありますが、それに伴い、調整区域から市街化にし、人工を増やす事も宮寺に住む物の夢や希望になると思います。以上よろしくお願い致します。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。併せて用地取得に向けた検討も時間をかけて進めていきたいと考えております。
244			西武公民館の説明会に参加しました 少子高齢化の問題もありますが、入間市が経済的に大変で公共施設売却(野田中)に舵をとったと言うことでしょうか？ 守らなければならない子供の安全性からいったら、西武中からも野田中からも通学路としては問題が多いと思います。 自転車通学も考えると、バス通りは大変なことになるのは想像できます。 今小学生が歩くだけでも大変なのに自転車が増えるとトラブル続出でしょう。 事故が起きてから通学路整備をしても仕方ないです。 昨年迄は野田中を残す安だったというお話。 子供の事、地域の事、特に通学路を一度担当の方々で歩いてみたほうが良いと思います。 示された地図の距離から見ても野田中を売却するとは誰も考えられない位置にあるとおもいます。 今も住宅がたってこれから子供が増える事も考えられる新光、西武病院の裏の住宅地街は若い家族が多いのでまだまだ人口は増えると考えられます。 西武中と仏子小の中高一貫校の考え方の方が無理がない。 教育委員会では今のところ具体的取り組みはないとありましたが、 今やらなくていつやるんでしょうか？ 野田中は立て替える必要もないのなら経済的。 そこまで野田中を売却したい理由が上で進んでいる状況を疑問視します。 防災面でも仏子、新光地区のなかに野田中の存在は大きいです。 売却後にどういう使い方をされるのかも心配。 入間市に住んで子育てしたいと思えるような町作りを考えて下さい。 飯能には皆が行きたいと思えるような施設もあります。 仏子、新光近辺には何故かパチンコ店が又増えました 方向性が間違ってないでしょうか？ 野田中売却して又パチンコ店とか作られたら住みにくい町になると思います。 市民の声に耳を傾けて頂きたいです。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
245	96 97		野田中学校廃校に断固反対いたします。 私どもは5年前に野田地区に家を建てて越してきました。家を建てる際に足に障害がある娘がいるため、小学校、中学校の通学の距離を、大変気にしました。 その為、野田中学校ではなく西武中学校に通わなければならなくなるとかなり通学の距離があり、娘には大変な負担になると考えてます。どうか娘が野田中学校に通えますように宜しくお願いします。 野田中学校、存続希望いたします!!	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
246			田中市長並びに市役所職員の皆様には日々市民の生活向上に向けご尽力いただいております事を心より感謝申し上げます。私は平成13年4月から15年3月まで高倉東自治会会長を務めさせていただき、初めて「自治」というものに触れ、世の中で自治会というものがこんなにも大きな役割りを担っている事に驚かされた者であります。 さて、本題に入らせていただきますが、2月に高倉公民館で開催された市民説明会に出席し、市政の方向は、人口減少による財政困難を見通し、公共事業を簡素化していくのだと理解しました。現状を考えますと、それもいたし方ないのかとも思いましたが、高倉小の廃校と、公民館、保育所の廃止という案件には大変大きなショックを受けました。私は以前高倉5丁目に住んでおり、息子は高小で学ばせていただき、私もPTA役員として係りましたし、自治会会長、評議委員も務めさせていただいた中で、小学校や公民館が地域の活力を引き出す大きな原動力になっている事を知りました。 高小は開校して34年、開校した当時建物は作ってもらったが、遊具は無く、自治会が手作りでいろいろ作ってきたという話しも聞いておりますし、毎年行なわれる氷川神社の夏祭りは高小の子供達が一生けんめい練習したおはやしが主役で、夏の暑い盛りに山車を引っぱる子供達の姿に元気をもらったものです。秋の市民運動会も子供が参加するから親も参加する。高小を囲む4つの自治会も絆を深めて協力体制ができているわけです。それらの行事を行なうのに公民館もとても大きな役割りを果たしてくれていました。子供の力というものを侮らないでください。子供は私達の未来を背負って立つ宝です。その子育てに地域の力が必要です。大人のあたたかい励まし、言葉がけが必要なのです。小学校が遠くへ行ってしまったら、子供に接する機会も少なくなり、関心も薄れ、地域から活力が失なわれてしまいます。保育所も無いとなれば若い人も離れていってしまうでしょう。縮小は「死」です。年寄りばかりの地域なんて住みたくもありません。 「十年先の計画だから、いくらでも現状に合わせて変えられる、これはとりあえず今の指針なのだ」と言う説明がありましたが、目標が掲げられればそれに合わせて事態は進められていってしまいます。ですから、今回の事業計画は問題の提起としていただいて、私達市民に考える時間をいただく為に決定事項にはしないでいただきたいと思います。 これという産業も無い入間市がここまで発展してきたのは都心から1時間圏内のベッドタウンとして、自然も多く子育てにも良い環境と考えられたからではないでしょうか。それならば、それらの環境を一層整え、若い人の子育てを応援する、魅力あふれる町創りをお願いします。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
247	22	6地区ごとのまちづくり協議会の設置	多くの時間と労力を費やし、ここまでまとめられたことについて、市担当及び関係部署の方々に感謝いたします。 基本的にこの内容で進めてよいと思いますが、検討の経緯等を踏まえいくつかの点で意見を述べさせていただきます。 今後の各地域の具体的整備を地域の実情を踏まえたものとするため必要なものと思います。コミュニティやまちづくり及び福祉担当部署の地域住民の立場に立った取り組みを強く望みます。	地域の実情も踏まえ、地域コミュニティや福祉部門とも充分な調整を図った上で、今後とも具体的な取組を進めていきます。
	31	地区センター	支所、公民館等、6つの機能を備えた「地区センター」は今後の地域の身近で最も頼りになる施設となり、今後の地域のまちづくりの拠点となると思われます。 原案では、2022年度からの第1期で現在の公民館を地区センターに移行する、とあります。 また、P33には、平成31 年度に「地区センター整備計画」を示す、とあります。 マネジメント担当課よりもコミュニティ、まちづくり、福祉部局等の担当部署の取り組みが重要です。公の施設としてどのような機能を持たせるのか、人員配置、配置する職員の対応力など設置には相当な準備が必要となることが予想されます。一眼となった意欲的な取り組みをお願いします。	地区センターが地域コミュニティの拠点として、またワンストップの窓口として有効に機能できるように、全庁的に取り組む所存です。
	35	小学校、中学校	宮寺、狭山小学校について、1案、2案が示されています。中央付近に用地確保し新設することについて、宮寺地区へ配慮したものと思われます。候補地の確保は難しく、不老川に近くなれば、豪雨による河川災害も予想されます。現実的な選択とすれば、第2案狭山小学校の活用になるのではないでしょうか。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。
	48	市民活動センター、男女共同参画推進センター	入間市役所等整備計画でも触れましたが、現状の施設では不十分であり、今後の市民活動の推進には市役所整備において是非とも検討をお願いします。 また、現在管理運営を行なっている社会福祉協議会は事務所維持とありますが、業務増大、利便性を考慮すると他の場所とすべきと思われます。	地区センターに備える機能と密接な関係にあります。今後、地区センターに備える機能を検討する際には、市民活動センターが担っている機能を踏まえて検討する考えです。 ご意見については、市役所の機能を検討する際にも参考にさせていただきます。なお、社会福祉協議会については、市役所の周辺地に配置することの必要性を考慮し現状維持としましたが、ご指摘は今後の課題と捉えています。
	44	青少年活動センター	青少年育成の機能は、必要性を踏まえ学校（校舎）へ移転、とありますが、具体的内容とソフト（運営）はどう考えるのでしょうか。	多くの公共施設は、施設（建物）とサービスが一対で考えられてきましたが、社会情勢や市民ニーズの変化から見直しが必要な時期になっていることも事実です。現状の青少年活動センターの役割を踏まえ、今後どのようなサービスが必要かについて充分検討した上で、施設に備える機能、運営形態を検討します。
	63	健康福祉センター	市民意見にもある、効果、検証を急ぐべきです。 福祉的機能を充実させるなら、社会福祉協議会の移転、運営も検討すべきと考えます。	ご意見を参考とさせていただきます。
	64	学校給食センター	敷地の拡張による建て替え、とありますが候補地の選定はどう考えるのでしょうか。施設の老朽化もありますが、これからの効率的な運営をどう考えるのか、PFIや民間委託も含め、早急な結論を出すべきです。	現時点では、既存敷地を拡張して施設整備する計画です。 民間活力の活用については、早急にメリット・デメリットの検証を行います。
	100 103	財政見通し 及び 財政見通しの検証結果	第1期10 年の財政見通しを、（公共施設マネジメント）事業計画の実施に伴う財政的効果や行政改革の取り組みに加えて、とあります。両面からの取り組みについて、市民へのわかりやすい情報提供をお願いします。	財政見通しについては、この事業計画も踏まえて、今後の中期財政計画や実施計画、行政改革等で明らかにし、情報提供させていただきます。
	34 35 36	入間市役所等整備計画(原案)の市民説明会時の資料	当該事業計画の「計画確定」について伺います。 入間市役所等整備計画と同様にこのパブリックコメントを経たうえで「計画確定」し、4月からは事業の実施を目指すとしています。 説明会では原案に対する異論、反論を唱える方も多くあったと聞きます。そのような中で、「計画確定」という行為の正当性の要件である「合理性」をどのように理解、判断すればよいのでしょうか。 3月議会で提案されている施政方針、平成31年度予算（案）では、平成30年度で確定した「公共施設マネジメント事業計画」という表現を明確に示しています。これ（計画確定したことを前提に）を受け、新年度予算案では、個別計画の策定等に関する予算措置等もされているのではないかと推測します。 今後の事業推進のための当該事業計画「計画確定」の正当性を裏付ける「合理性」について、どう理解すればよいのか伺います。 以上、今後の施設運営などハード面のみならずソフト面の取り組みも多く含まれますが、施設所管部局の意欲的な取り組みが欠かせません。今後の地域や市民、利用団体等との円滑なコミュニケーションの維持、更なる活発化を図り事業推進されることを願って止みません。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設の整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。 計画に対しては、市民の皆さまから様々なご意見が出ておりますが、最終的には将来的な見通しも含めて、行政の責任として方向性を定め、具体化を図る中で市民の皆さまとの協議を行うとともに、施設所管部局の取組も充実させていきたいと考えております。
248	62	扇台福祉作業所	扇台福祉作業所は民営でない市の障害者福祉作業所である。市の障害者福祉作業所として障害者福祉の充実をはかっていただきたい。 扇台福祉作業所の場所は西武バスが武蔵藤沢駅から入間市駅まで通っているバスのルートの中にあり、障害者、また一般の方も利用しやすい場所にある。市役所も近い。 現在ある場所は障害者にとって利用しやすい場所である。働らく場の移転というのは障害者にとって生活・労働の場の移転ということになるので、障害者福祉の視点に立ち考えていただきたい。	扇台福祉作業所については、土地が借地であるため、老朽化に伴い第2期に移転を予定しています。移転場所については、1案として高倉小学校跡を検討しています。今後、利用者や運営者などの意見を踏まえ第1期に移転先の選定を行いたいと考えます。
	34	小学校、中学校、保育所	建替えをするのであれば、自家発電（太陽光パネル等）をそなえ、電力の一部負担をし、災害時等にそなえた方が良いと考えられる。所沢市はその方向で進んでいる。 小・中学校は1地区に1校ずつ配置ということだが、藤沢地区は人口の減少がゆるやかである。藤沢地区の市民説明会に出席したが、藤沢北小学校は2023年度でも618名の在籍数がみこまれる。1学年100名ぐらいの規模は小学校として望ましい。統合される藤沢小学校も400名以上の在籍数がみこまれる。1,000人以上のマンモス校を作るのは問題であると思われる。1地区に1校ということにとらわれず、2校あっても良いのではないかと考えられる。	学校の統廃合については、児童・生徒数を予測して時期を設定していますが、今後の動向に応じて見直しが必要になることも考えられます。 学校は災害時の避難所となることから、施設整備に向けてはご提案いただいた設備についても検討したいと考えます。
249		計画案全体について	1「原案」全体について （1）手続きについて 市民が判断できるだけの具体的資料を提示・説明しないで原案賛成を迫っている。 「原案が決まったら検討することが多すぎる」では市民は、判断できない。市民が疑問に思うケースを提示し、その一つ一つについて財政的裏付け、考えられる問題点、解消策などが示されなければ判断できない。あいまいでおおざっぱな資料を提示し、市民にイメージで賛成させようとしている。このような不十分な手続きで、3月に決定には反対です。 公表、説明会（宮寺2/2,2/13）してから1か月での意見募集（2月28日締め切り）は短すぎる。まして3月に決定とは許せない。「一期」に決定ということは1ケ月で30～50年後まで影響する今後の重要問題を決定しろと言っているようなもの。公表→説明→パブリックコメントの期間が短い。市民の意見を聞いたとは言えない。意見表明を十分にできない早急なパブリックコメントの手法で決めることに反対です。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設の整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。 計画に対しては、市民の皆さまから様々なご意見が出ておりますが、最終的には将来的な見通しも含めて、行政の責任として方向性を定め、具体化を図る中で市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。
		勤労福祉センター廃止	2.スライド番号43勤労福祉センターは売却、廃止、機能をほかの公共施設へ移転について 説明会会場で、どこに、いつ、どのような機能をどのように移転するのか質問しました。検討中ということでした。また、「労働団体が活躍できるようにと設置した。当初の機能を果たしたので廃止する。」との市長の回答でした。ほかの内容での発言者を配慮して「市長の回答は意味不明、まったく理解できない。納得できない。」と発言し私は、着席しました。ほかの発言者からもこの市長の回答は「質問に全く答えていない。」との意見がありました。働き方改革が叫ばれる割には、その実態は労働強化であり、労働条件の改悪となっています。過労死は大きな問題になっており、常に働く労働者は弱い立場に立たされ続けており、労働者（勤労者）のための労働組合、労働相談、駆け込み寺としての救済機関としても労働団体の果たす役割は、ますます重要になっています。役目を果たしたなんてとんでもありません。勤労福祉センターの売却、廃止には反対を表明します。検討する。機能を移転すると会場でも説明、文書で明記しているのですから今ある機能をしっかり移転するまでは売却も廃止もしないと明記すべきです。そうでないなら、廃止・売却に反対です。	この方向性については、現在の利用状況を踏まえて提示したものであり、現在利用いただいている団体等については、他の公共施設で活動できるような方策を検討したいと考えています。
		小学校統廃合	3.（スライド番号39）宮寺小を狭山小に統合1中間地点に統合2狭山小敷地に統合校舎建設について ①宮寺小、狭山小とも現在の場所に建て替えという案を示すべき ②また、10年間の動向を把握し、10年後に考えるという案を示すべき ③1も2も示さず「1期」決定、実施という案には反対です。 小学校を統廃合を軽く見ているのではないか。小学校は、6歳の児童がランドセルをしょって雨の日も風の日も雪の日も大風の日も行き帰り通い、1日の大半を生活する施設であるということ。（天気の良い日に2～3時間活動しようという施設ではない。）安全に安心して登下校できることが重要な条件である。 データが具体的に示されていない。 中間地点にした場合でも、登下校の時間や距離はどうなるのか、影響を受ける児童数も距離、時間もデータとして示されていない。ましてや、狭山小に統合となるとどうなるのかも示されていない。決まったら検討ではなくそれらのデータがあって初めて判断できるわけであるのだからそれもしめさず「パブリックコメントを聞きました3月に決定です」とはあまりにも乱暴な手法。ありえない。 両地域とも市街化調整区域であり、入間市に緑地を残すことが目的になっていた場所である。したがって広い地域であり、児童数が少なくなるのは当然である。それを児童数・学級数を理由にして統廃合を決めることは間違っている。 現在の狭山小の教室数では、余裕がなく、また、不足するとも考えられる。狭山小への統廃合は、現時点では全く了承できない。絶対反対である。そもそも、行き届いた教育にするための1学級の人数40人が問題（宮小6年生40人）。30～35人にすべき。市長はそのためにどのような方策をこうじてきたのか明らかにしていただきたい。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。その際に、具体的なデータをお示しして、共通認識を持って施設整備の方向性をまとめていきたいと考えております。
	64	学校給食センター	そのほかの施設についての質問があります。これらが明確になっていない現時点での決定に反対です。 ・学校給食センター（p64） 「1期で建て替え、の検討、再整備・再配置に向けた課題として給食事業の方向性を明確にしたうえでの検討」とありますが、現状の直営、小学校の自校方式は堅持するべき。	中学校に給食を提供している学校給食センターについては、老朽化による建替えを予定していますが、建替えの際は、これまでの直営方式に加え、施設の建設や運営について民間活力を活用する方法についても検討します。両者を比較してメリットがある場合は、民間活力の導入も考えられます。
	31	地区センター	・地区センターについて（p31） 地区センターの概要や運営体制などの課題や運営そのものが明らかになっていないうちに名称を変更することは、あいまいなまま市の原案通り了承するようにと言っているようなものです。内容が明らかになっていない時点で決定とすることに反対です。社会教育法により設置された公民館の性格や役割はどうなるのか明確に文書で示すのでしょうか？	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。 公民館機能については、地区センターの整備内容をまとめる中で、社会教育法に則った機能を持たせることを前提に、組織やサービス内容を具体化する予定です。 なお、地区センターへの名称および組織の変更は2022年度（平成34年度）を予定しており、今後3年間をかけて市民への周知も図りつつ、具体化を進める予定です。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
250			今回の西武中学校、野田中学校の統合の件ですが、このまま計画通り3年後に統廃合となるのでしたら…大変残念です。 先日の説明会でも仰ってる方が居ましたが、時間も費用もかかるとは思いますが、私も小・中一貫校を目指してほしいです。 それでも小・中一貫校は、場所や費用等の面でやはり難しいと仰るのでしたら「市民の安全を、命を守る」と市長のお言葉が本当なら野田中への統合に話を戻してほしいです。 どうしても西武中学校に統合すると言うのなら 通学路の整備を整え頂く スクールバスの運行 400人程の生徒が安心して学業に取り組める校舎を建設等 最低でもこの3点は、実施して頂きたいです。 宜しくお願い致します	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
251	96 97		不要な施設の維持管理のために市税を遣い圧迫するのは納税者の立場としてはナンセンスであり、統廃合については賛成である。また、少子化による今の子供たちの納税負担軽減からもよいことであると思慮するところ。 私の子供は野田中に通う予定でり、野田中、西武中の統廃合において、どちらかを活かせばどちらかにしわ寄せがあるので、議論するところではないと思う。 しかしながら、子供の命が第一であるのに変わりはなく、今の事業選考は極めて不透明であるため、選考の基準、どのような選考がなされたのか、また有識者等の意見はあったのか等を明確な形で示すべきである。 示すことができないのであれば、情報公開制度を適用させて頂くため、窓口となるところを教えてもらいたい。 安心、安全を掲げながら、学校の統廃合を優先する理由、また、道路環境等の整備ができなかった場合の腹案はあるのか。 説明を受けたが、市としていわゆる箱モノさえできれば、あとは運用する学校又は地域で対処すべきという感が否めない。 安心、安全に基づくものがなんなのか抽象的なものではなく、具体的なものをご教示願う。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 その際に、あらためて検討内容や選考理由などをお示しいたいと考えております。
252			西武地区の統廃合について、意見を述べさせていただきます。 1. 統廃合する理由について この間の西武公民館での説明会で、統合する理由を「西武中学校の生徒人数が少なくなり、部活動をきちんと出来ないということが挙げられる」と聞いた。確かに、西武中学校の部活動が少ないのだということは分かる。だが、現在、少子化が進み、部活動の数を確保できないという中学校は、他にもあるはずではないか。 そう思い、東京都中学校吹奏楽連盟の理事をしている父に聞いたところ、部活動の数を確保できない中学校は、もちろんあると言う。 では、その中学校は統廃合などをするのかと聞いたら、しないと言われた。その代わり、他の中学校と合同で部活動を行うのだそうだ。 そのような解決方法があるのだ。部活動を理由にしないでほしい。 1. 通学時の危険について 西武中学校、野田中学校のどちらに統合となっても、通学・下校距離が長くなってしまうという意見があった。それについて、推進課の人たちは「自転車通学をする」と答えていた。 では、自転車に乗れない子供はどうするのか。 『統合する』という理由で、10000～30000円もする自転車を親がわざわざ買い、勉強しに学校に通うのに、その学校に通うために勉強する時間を削らせて、自転車に乗る練習をするのか。 今まで乗ってこなかった子供やその親にとってみたら、迷惑極まりない。 それに、どちらの中学校に通うにしても、どちらかの生徒が必ずと言っていいほど中橋や上橋、踏切を通る。朝の通学時間は、子供たちだけでなく、車や自転車、歩行者が通る。ある程度の危険や交通ルールを知っていたとしても、考えと実際の場面では訳が違う。もしも事故が起こった場合には、一体誰が、どうやって責任を取るのか。それを明確にしないと、統合に賛成はできない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
			1. 3年後という時期について。 これについては、ハッキリと書かせてほしい。 早すぎる。 西武中学校はどうなのか私は知らないが、野田中学校は、これまで「小中一貫教育」として西武小学校と、新たに中学校に上がってくる生徒の不安をできるだけ無くそうとつながりを持ってきた。 小中一貫教育ができなくなると、中学校への不安をそのままに中学校へ上がる生徒がたくさん出てくる。そのためのカウンセラーさんを増員させたりと、余計に出費が大きくなるのではないか。 統合したとして、では、成績の評価の仕方はどうするのか、制服はどうなるのかなど、明確であるべき点が説明会の時点では明確になっていない。 明確であるべき点が決まっていない状態で、いきなり「三年後に統合」は、ハッキリ言うと、「子供のことを全く考えていない」ということになる。 自分の子どもが同じ境遇だったとしたら、いかに説明不足か、すぐにわかると思う。 「三年後に統合」をやめて欲しい。 1. 去年西武小学校6年生で実施した（？）アンケートについて私は、現在中学一年生で、去年は西武小学校の6年生だった。 自分で言うのもどうかと思うが、私は記憶力がいい方だと思う。だから、もしもそのようなアンケートが実施されたのなら、そのような大事なアンケート、忘れるはずがないのだ。 だが、そのようなアンケートをやった覚えは、チリーつない。現に、去年同じクラスだった友達・4～8人に聞いたが、やった覚えがあると答えた人はいなかった。 しかし、そのアンケートは回収されているという。 つまり、アンケートを実施したクラスと実施していないクラスがあったということだ。 そんなふうに不確かなアンケートで、「統合の意思を子供たちに図った」と言ってほしくない。 しかも、返答率だけしか説明会では明言されておらず、子供たちがどのような回答をしたかは明言されていなかった。推進課の人たちにとって、不都合な回答だったのだろうと認識している。	小中一貫教育は統合した場合でも継続して実施していく予定です。 アンケートについては、平成30年度の小学6年生と中学3年生を対象に、平成30年7月に実施いたしました。なお、アンケート結果については、市公式ホームページで公開しておりますのでご参照ください。 なお、西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
			しかも、肝心の「統合の影響を受ける学年」にアンケートが実施されてないこともおかしいだろう。 1. 西武中学校に統合後、校舎の建て替えを進める案について 2月9日の説明会の際に、「西武中学校に統合後に校舎の建て替え工事を実施し、新校舎は更に崖に近づく」という説明があった。 入間市配布の災害対策マップを見ると、西武中学校のある地域は地震の最大予測震度は6強（野田中学校の場所は震度5強）という、激しい揺れに見舞われる場所であろ。 また、土砂崩れ危険地域まで100mしか離れていない、という、現在の校舎の立地でさえ、不安があるにも関わらず、新校舎は現在よりも更に危険な崖に近づく位置に建てるという。 万が一の災害避難拠点の観点からふさわしいとは言えない。 また、統合のために生徒数が増えた状況での“逃げ遅れ”の危険が現在より増す事が容易に考えられる。 一先ず、野田中学校に統合し、生徒の安全を考慮した上で、現在の位置に新校舎を建てる事が当たり前の対応だと私は思う。	アンケートについては、子どもたちの意見を伺いたいと考え、学校の在籍期間が長く、様々な経験をしている小学6年生と中学3年生に絞って実施をいたしました。 なお、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
253		西武中と野田中の統合	平成26年4月1日に入間市教育委員会が示した「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」2. 小・中学校の適正配置（1）法的根拠の②で「学校規模を重視するあまり無理な学校統廃合を行って地域住民との間に課題が生じるなど、通学上著しい困難を招くことは避けるべきと考える。 ③では「通学距離及び通学時間の児童・生徒の心身に与える影響、児童・生徒の安全、学校教育活動への影響を十分に考慮して無理のないようにすること。 ④では、学校統廃合を計画する場合は、学校の持つ地域的意義等を考慮し、地域住民の理解と協力をえられるようにすること。 現在入間市が進めようとしている野田中と西武中の統廃合は、入間市教育委員会の基本方針を大きく逸脱するものであり、直ちに野田中、西武中の統廃合案は廃案とすべきである。 2月16日に西武公民館で開催された説明会に於いて、西武中を入間市文化創造アトリエ「アミーゴ」の敷地に移転することを提案したが、出席していた入間市役所所員からは「教育委員会の方針では中学校の敷地は3万平方メートルが必要と規定されているので西武中のアミーゴへの移転は、検討に値しないと却下された。 後日入間市教育委員会に「中学校設立に必要な土地面積の規定について問い合わせたところ、入間市教育委員会にはそのような規定はない。文部科学省の「中学校設置基準」に従って対応することになっている」との回答であった。 2月16日に3万平方メートルが必要と回答された職員は、何を根拠にあのような発言をされたのか？ 西武中のアミーゴ敷地への移転について、市側は検討に値しないとの回答であったが、文部科学省中学校設置基準第8条「校舎及び運動場の面積等」では、生徒数が41人―480人以下の中学校校舎の必要最低限の面積は1320平方M、生徒数1－240人以下の中学校運動場の面積は3600平方Mとされている。 アミーゴ敷地は文部科学省基準を十分に満たす面積を有しており、西武中をアミーゴ敷地に移転することに何ら問題ないと考えられる。 西武中のアミーゴ敷地への移転を再検討して頂きたい。 2月16日、西武公民館で開催された説明会では野田中と西武中の統廃合を公共施設マネジメント計画の第1期（2019-2028年度）に実施する理由として田中市長は、「西武中の生徒たちは人数が少なく部活が十分にできないのですよ」と発言されたが、西武中の生徒に十分な部活をさせるために、野田中の大半の生徒の通学時における安全、安心を考慮しないということなのか？ 部活よりも生徒の登下校の安全安心が最優先されるべきではないだろうか？ 現在、西武小学校に在籍している705名の児童の約70%490名以上の児童が通学路としている国道299号野田交差点から中橋バス停留所までの約400mの歩道の幅は広い箇所で1m30cm、最も狭い箇所では60cmしかない。 野田中学校が廃校された場合には、このような狭い通学路に490名の西武小学校児童と、野田中学校の生徒の70%約250名、合計740名もの児童、生徒がこの狭い通学路を登下校時に利用すると予想される、これは、いつ交通事故が発生しても不思議ではない状況である。 更に、JA入間野から西武線踏切まではガードレールが設置されている歩道がない。 従って、児童、生徒が安心して、安全に使用できる通学路、通学方法を確保することが、先決であり、野田中と西武中の統廃合は、安全安心は通学路、通学方法が出来てから改めて検討すべき事項である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 文化創造アトリエ（アミーゴ）の面積については、敷地が約11,000㎡となっています。この計画のとりまとめにあたっては、現在の市内の中学校の敷地面積が平均して25,000㎡から30,000㎡であり、市内中学校の平等性を考慮すると同程度の敷地面積が必要であるという条件設定の下で検討を進めてまいりましたので、30,000㎡程度が必要と申し上げました。
			公共施設マネジメント事業よりも、まず市が優先的に取り組む課題は、入間市の施政方針にも明記されている「安全で安心して暮らせるづくり」を市の基幹マネジメント事業として推進すべきである公共施設マネジメントを推進する理由として、「人口減少、少子化」などが挙げられているが、市は先ず「人口増加」、「少子化の解消」を、公共施設マネジメント事業をよりも優先して推進すべきである。 「人口減少、少子化」を解消する手段の一つとして入間市への他都市からの転入増加があるが、そのためには小中学校、病院、商店街等が居住区の近くに存在するという環境を整備する必要がる。 従って、今回の小中学校の統廃合は人口減少、少子化の解消に逆行するものであり、小中学校の統廃合案は直ちに廃案にすべきである。	「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「元気な子どもが育つまち」というテーマに基づき、各種施策を展開し、2060年に120,000人の人口を維持すること、2060年以降もバランスの取れた人口構成となることを目指して、人口減少対策に取り組んでいます。 この総合戦略を踏まえて公共施設マネジメントを進めており、その一環である小中学校の統廃合案について廃案にする考えはありません。 なお、人口減少対策と公共施設マネジメントの関係については、「公共施設マネジメント事業計画」第1章「3. 公共施設を取り巻く背景」「(1)人口減少および少子化・高齢化」の欄に記載していますので、ご参照ください。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
254			西武中学校と野田中学校の統廃合について ・西部中学校に統合するにしても、野田中学校に統合するにしても、 現状の通学路では、西武小学校に通っている児童も含めて、児童、生徒が交通事故に遭遇する危惧は非常に大である。 具体的には、中橋を渡って登下校するルートの歩道が極端に狭いこと、更に、西武鉄道第2踏切までの道路に歩道、ガードレールが設置されていないこと、及び上橋を渡って登下校するルートには歩道が無い箇所、ガードレールが無い箇所が多数存在している。 まず、児童、生徒を交通事故遭遇から守るための案を立案し、実現した後で両中学校の統廃合について、再検討すべきである。 従って、西武中学校と野田中学校の統廃合は、事業計画の第1期から始めるのではなく事業計画の第1期に始めるべきは、児童、生徒の通学時の安全、安心政策の立案・実現である。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
255	36	市民意見の対応	小中一貫校について 「小規模校のデメリットが解消できない」とありますが、小中一貫校は小規模校対策だけでなく小中一貫校のメリットの検討はできているのか、知りたい. 中学校での毎年アンケート協力しているが、小中一貫校の取組を入間市としての明確にできているか疑問.	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。市としましては、統廃合により一定規模を保った学校の方が教育環境上のメリットが大きいと考えているため、地区内に小学校または中学校が複数配置されている場合は、統廃合を行う考えです。
	96	第一期	西武中学校を活用します （2021改修工事）←ムダな出費にはならないのか （第2期（2029～38）建替）←ムダな出費にはならないのか 野田中学校を使用し、出費をおさえる計画の方がよいのではないか	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	78	4　公共施設跡地の取扱い	高倉小学校→青少年活動センター 青少年が自らアクセスできる場所に、活動センターがほしい 西武中が駅から近く、電車で通う高校生や公共交通機関を使ってアクセスできる立地、なので青少年活動センターとして、検討はできないだろうか。	計画では西武中学校は、現段階で西武地区の中学校として活用することとしています。公共施設の再配置に向けては、公共交通の再編と合わせて検討します。
	34	2　再整備・再配置の取組方向（中学校の全教科必要教員が確保される全学年10学級～18学級	中学校の全教科必要教員が確保される全学年10学級～18学級 西武中は危機的状況だということはわかるが金子中も将来、学級数が少なくなる見通しはないのか 統合以外の小中一貫学校などの対策は考えていないのか。	小中一貫校については、児童・生徒数の減少による小規模校化という課題を克服できないため、現段階では採用しないこととしております。
	10 34		「教育の質に重点を置くことが人口減少社会において必要になる」 入間市の考える「教育の質」について知りたい 小中学校の取組では、適正規模というものさしで、「教育の質」を語っているようだが、人口減少社会の問題解決にはならないのではないだろうか 30年後には西武中と東金子もなんてことを考えているというのは、人が少なくなれば統合していくだけという「教育の質」なんだろうかと疑問が残った	「教育の質」とは、学校における教育内容や教育活動を充実させる（ソフト面）ことと、施設としての学校の環境を充実させること（ハード面）の2つの面から考えています。 施設整備を行う際は、両者の充実が図れるよう検討してまいります。
256	96 97	野田中卒業生2人 現西武小5年生の母です 学区の端の方で、すぐ、飯能市、狭山市である	・まず、人数が多くての廃校なんて聞いた事がない。 ・通学路について、野田の信号から歩道と車道が狭く、とても危険である。橋だけ広くなっても意味がない。自転車でも徒歩でも危険である。 ・普段はバスで11分で駅まで着くが雨の日は倍もしくは30分かかる場合もある。遅刻やあわてての事故などとても心配である。雨の日、駅まで、子供を送って行くが、仏子の踏切が渋滞して、駅のロータリーにもたどりつけない ・すでに下の子の制服も準備しており、現5年生から西武中に通うことになると制服購入という無駄な、お金がかかってしまう。（8万ほど）その際の補助金など、いただけるのか。各家庭違うと思うが、そういった家庭も多いと思う。 ・入間市は小中一貫に力を入れているならば、仏子小と西武中を同じ敷地内にする方法もある、埼玉県内でのニュースも見た。 ・西武中に通っている子供で東金子中や黒須中の方が近い子もいると思う。いま一度の学区の変更を考えてはどうか。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
257	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
258			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
259	43	西武中学校野田中学校統合の件	野田中と西武中の統合経過が分からない、黒い霧に包まれているので統合に反対する。 提案 ①金を掛けない小さい学校を小中一貫校を仏子地区に例えば仏子小学校に持って行く。組を20人学級する。国の特区の活用すること。 ②新しい中学校を野田県営近くの土地を確保して野田中・西武中を統合する3年から4年を目途に考える。（野田中みたく損得がないように） 審議の回数が少なくせめて一年間を掛けて審議してやるべきです。今回の原案は白紙にもどすこと。 提案 野田中・西武中・西武小・仏子小の父兄自治会・民生児童委員・青少年健全委員、地区の市民　人員20名で構成で一年間かけて市に提案する。他人市の担当者2名参加。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
260		小中学校統合	野田中学校と西武中学校は西武中学校に統合、西武小学校と仏子小学校は西武小学校に統合という計画ですが、小学校低学年の子供にとっては、通学距離が大幅に長くなり、また西武線の踏切を渡ることになり、その身体的負担と危険性が大いに危惧されます。 少子高齢化による学童数の減少と財政的な負担が理由だと考えられますが、だからといって児童に負担と危険性を負わせるべきではないと考えます。通学距離が長くなる児童・生徒が多くなるため対策を検討する必要があるとのコメントがありますが、どんな対策でも距離が短縮できるものではありません。 むしろ、施設規模を縮小したうえで、小中一貫教育の観点から野田中学校と西武小学校を統合し、また西武中学校と仏子小学校を統合したらどうかと考えます。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
261	96 97		子供が通学するのにとても不安を感じています。これから道路環境等を考える・・・というのは、遅いと思います。後、3年後に西武中へ統合予定で間に合うのですか？ もう少し、住民、子供達の事を考えてほしいです。統合予定を遅らせて、環境をととのえて、市民が納得してから進めるべきではないのですか？ 市民の納得する回答ができないまま、何故急いで統合をするのかわかりません。 西武中学校ではなく野田中を残すべきだと思っています。学校の年数、安全面、野田中のほうが、勝っていると思います。 子供が安全に、親が安心して学校へ送り出せるようにして頂きたいです。よろしくお願い致します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
262	96 97		西武地区野田中学校廃止の案に反対です。 普通、子供の数が多い野田中を残すべきではないか！ もし、仏子方面の子供達が遠くなると言うのであれば、黒須中や東金子中へ通学することも検討してもらいたいです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
263	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
264	96 97		西武地区野田中学校廃止の案に反対です。 私は30年前　西武中を卒業しました。 多くなかったけど、今は事故ととなりあわせ！！ 伝統ある西武中を残すことより子供達の安全が第一なので、もう一度考えた方がいいと思います。 西武地区野田中学校廃止の案に反対です。 中橋から中橋北交差点まで通学の安全確保がされていないのに、統合は早いのではないでしょうか！ 西武地区野田中学校廃止の案に反対です。 西武中の生徒が少ないのであれば、野田中はそのままにして、西武中を廃止して仏子地区の子供達は黒須中や東金子や野田中に登校できるようにすればよい。何十年後には子供の数が減少するのだから・・・。もっと話し合いが必要たと思うので、この件は白紙に戻した方がいいと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
265	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
266	96 97		私は西武小の4年生です。 もし、西武中に行くことになったら、遠いので自転車にのることになると思います。 坂もあり、車が近く通り、こわいです。 西武地区野田中学校廃止の案に反対です。 野田新光地区はこれから開発が進んでいるのに野田中が廃止になるのはおかしいです。 いますぐ決定するのではなく、まだ話合いが必要ではないでしょうか？ 子供達のために・・・！！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
267	96.97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
268	96		第1期に計画されている野田中と西武中の統合について 野田中の耐用年数が20年以上残っているのに、売却するのに明確な理由がないように思う。 その後に西武中を建替えるのならば、第1期の間は野田中を活用し、その間に通学路の整備、西武中の土地の安全確認。その後の建替えをし、10年後の第2期に西武中を活用してはどうかと思う。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
269			西武小・野田中学校移転にの計画について 通学等の問題が聞こえてきますが、都内では人員の少ない地域の小中を合わせた学校があるようです。 西武小と野田中を統合（西武野田小中学校）に 仏子小と西武中を統合（西武仏子小中学校）に なら通学・通路等の問題は軽減され地域密着の学校になり子供達の見守り、中学生が下の子供を面倒を見る等出来ます。 何においても全てを解決をできるわけではない。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
270			野田中学校・西武中学校の統合について 2/16　西武公民館での公聴会に参加しましたが、意見を述べさせて頂きます。 先ずは、こどもの安全を最優先するべき話です。危険な道路を安全にしないかぎり、この話を進めないでください。 今の細く危険な歩道に小学生のほか、中学生が160～300人、更に増え通学することを想像してください。 大人もあの道路を自転車に乗って通るのは危険です。中橋と同じ広さの歩道を建設し、その上で、どうしたら良いのか、住民の意見・要望を真摯に聞いた上で、提案して欲しいです。 この話は、統合前にやるべき課題をクリアにしてからです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
271			全体的なこと。 結論を出すのは早過ぎます。川を隔てた地区で通学路は橋のみ。子供達の安全をもっと考えて、対応できる案を出してからでないと前へは進めません。もう一度見直してもらい、時間をかけて住民の声に耳を傾けてもらいたい。どこかで折り合いのつく案が出るかも知れません。 自転車通学（中学生）も小学生徒歩もほぼ同時刻に橋を通ることになり、事故の危険と車は渋帯することが目に見えています。インフラを確立した後、考えるべきです。統合理由は現在のところ、納得いきません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
272			バスを利用又は自転車通学になると思います。 〇バス料金を無料にする 〇自転車の事故がおきないよう（道路が狭い）対策をしてほしいです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
273			現在、小学校まで1時間かけて通っています。近くに住んでいる子との差は大変大きく全てにおいて大変です。更に西武中まで通うことになると1時間20分くらいかかります。仮に自転車だとしても、西武小付近は狭くて車通りもかなりあるので、大変危険です。また部活帰りなど遅い時間に心配です。 今現在小学校に通う通学班で時間によっては大変道が混んでおり、そこに高校生が自転車を通っていますが、またそこへ中学生まで同じ道を使うとなると大変危険です。 西武中への道は同じ道を駅に向かう形で全員が使うこととなり、野田中へ通うように分散されません。 西武中の小人数の生徒が野田中へ通う方が、野田中の人数が同じ道を使用し西武中へ向かうより、よほど効率的で安全確保できます。 また制服やジャージ類など兄弟のものを使う予定でいたのに、新たに買い直す費用も私達が払わないとならなくなります。費用の補助でもあるのでしょうか？ 子供が安全に通い、親が安心して通わせることができないのに、納得がいきません。危険を伴う通学、義務教育など反対です。市民や通う人間の気持ちを最優先してください。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
274	97	3.市民意見へに対応等	せっかくエアコン等も完備し、広い野田中を売却…するのには反対したいところですが、それがかなわないなら、先に通学路の安全確保を先に取りかかってもらいたいです。それでなくても今現在中橋を通る道は小学生でいっぱいで、その他に自転車、歩行者、自動車と本当に危険がいっぱいです。見守り…というよりあの道路をどうにかしてほしいです。雨の日は特に小学生も危険になります。スクールバスを運行するにしても道路、歩道の拡張を先手、先手で行ってもらい、安全が確保できた上で、統合してもらいたいです。その他諸々の費用と現状の費用を比べた時にどちらのほうが安くなるのか…。 ☆近隣の所沢・狭山・飯能・日高に一歩も二歩も福祉では遅れをとっている入間市。もっとみんなが住みたいと思える街づくりに力を注いでもらいたいです！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
275		野田中を西武中に統合反対	1.在学生徒野田中約350名、西武中約150名の現状。在学生徒の多い中学生徒を少ない中学校へ、何故異動させるのか。本来であれば校舎の大きさは別として逆の話でしょう。 2.仏子ニュータウンから西武中迄は可成り遠距離となり、自転車通学も検討されているそうですが、特に中華そば「大咲」から中橋の通学路は狭く、段差があり交通事故が心配ですね。通学路の拡幅は難しいでしょう。本当に事故が心配です。 3.西武中周辺は道路が狭く、救急車や消防車の乗り入れも厳しく、近隣には土砂災害警戒区域もあり、何故この様な場所に子供達を集めようとするのか理解出来ません。 4.また、本件は野田中売却有りきで話が進んでいる様な気まします。再考をお願いします。以上	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
276		西武小学校統合 野田中学校移転計画について	子供（西武小学校在学と野田中学校在学）新光からは、西武小学校も通いいのに、（約40分）それ以上遠い西武中学校となると、交通の事、通学が親としてとても心配になります。（道路もせまいので）西武小学校は人数も多い為、意見として西武小→西武中に通う。西武小→野田中に通う。半分にしても良いのではないかと思います。野田中をなくさない方が良いと思います。一人一人の意見を大切にしてもう一度移転計画を見直していただきたいと思います。移転計画がこのまま進むとなるとスクールバスを安全の為出していただきたい。事故等があってからではおそいので！！ご検討よろしくお願い致します！！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
277			国道299号線野田付近から仏子駅周辺一帯の道路、歩道の整備が進んでいない現況であり、そちらを優先事項とするべきでは？ 統合後に新校舎建設ではなく、新校舎建設後に統合の方が子ども達の負担が軽いのでは？	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
278			野田中に統合した場合の利点 ・校舎が広い（建て替え費用が不要） ・校庭が広い→部活動が行いやすい ☆通学路の安全性→西武中になった場合、駅方面に向かう人が増加し、道端が狭いため、どう考えても危険である。 ・元々人数が多い方へ統合した方が、通学時間を延長する人が少なくて済む。 西武中に統合した場合の利点 ・体育館が新しい ⇒以上のことにより、野田中に統合または統合反対を提案します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
279	96 97		古い西武中を建て替えることはコストがかかり、無駄な出費である。新しい野田中を存続する方がコスト面での無駄がないと考えます。 西武中の生徒は少なく、野田中の生徒が多い。なぜ、少ない生徒に合わさなくてはいけないのかが疑問である。西武中を残すということは、遠距離を通学する生徒が増えるということ。しかも、中橋周辺などは、道が狭く、多くの生徒が登下校することは、大変危険である。「歴史的背景から」と言うが、昔の事になぜこだわるのかがわからない。現在と未来の為に正しく安全で地域の皆さんが納得する決断をしていただきたいと思います。野田中存続を強く希望します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
280			少子化の為、統合はいたし方ないと思いますが、通学路の安全の確保については、事故が起こってからではなく、万全の体策を取っていただきたいと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
281			西武小学校の統合については、賛成します。 西武中学校の統合については、反対します。 理由は、保護者の方の意見の通り通学距離が遠距離になり、通学路が狭隘であることです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
282		・西武地区の中学校の統合計画、在校生数など	・2018年度以降も、西武中学校の生徒数160名前後、野田中学校が300名前後の在校生です。生徒数のみを比べても、校舎の古さを比べても、野田中学校への統合が合理的であると思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		・通学路の交通安全は確保できるのでしょうか。交通事故が心配です。	・中橋からの市道は歩道幅も狭く、小学校の児童と中学校の生徒が通学に利用しますので通勤に利用する方々と合わせて交通安全の確保ができないと思います。自転車通学となる生徒が多いと思いますが、我家では中橋付近で主人が自転車事故で危うく全身不随になるところでした。また、息子も西武地区の道路で貨物自動車と衝突する自転車事故で大けがをして3か月間入院しました。家族4人のうち二人が交通事故にあっています。家族は社会復帰できましたが、通学路での児童と生徒さんたちの交通事故がとても心配です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		・中学校の統合は先に延ばしてほしい。統合計画を再度検討してほしい。	・中学校の統合はもっともっと先に延ばしてほしいです。 ・西武地区のお住まいの皆様が納得するまで、大勢の方々の反対の声がある中で強行するのはやめてください。住民の大多数が同意できるような統合計画になるまで、中学校の統合を凍結してください。 市長様市議会議員の皆様市役所の皆様どうぞよろしくお願いします。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
283			本来は野田中に決まっていたのではないのですか？ 何故西武中に変更されたのは何んの理由で変更になったのか、市担当者の変更理由に問い合せが（説明）が求められます。 地域の住民がその説明に納得すればいずれにしても良いと思いますが、全員に判る様に説明をお願いします。 将来的にいずれの選択に良いのか？再度説明をお願いします。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
284	96、97 ページ		なぜ野田中を残さず、西武中を残すのでしょうか。改修建替をするなら、築年数の浅い野田中を残すべきです。税金のムダ使いをしていることになりませんか。 また、通学路となる道路の整備が先ではないですか？ 事故が起こってからでは遅いです。 もう一度言います。 なぜ、西武中を残すのでしょうか。 歴史的背景、公共交通機関を含めた利便性を考慮とは何ですか？ 子どもたちの教育に、なぜ学校の歴史的背景を重視するのでしょう。納得ができません。安全性や市民の理解はあと回しですか？ 公共交通機関を含めた利便性を謳っているというなら、バス通学ですか？その交通費は市が負担するのですか？ なぜ税金をムダに使うような事業計画が決定されるのですか？	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
285			補道が狭く、通学路が危険なため安全確保してからの統合にして頂きたい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
286			2/1広報いるまP4：西武中学校と野田中学校の統合の件 統合するのであれば、「野田中学校に統合」すべきと思います。 入間市のハザードマップによれば予想最大震度は、野田中が震度5強に対し、西武中が震度6強と2段階大きい。授業中に地震が発生した場合、西武中が圧倒的に危険です。こういう場所に中学校を集約すべきではないと思います。 入間市のハザードマップによれば西武中の近傍に土砂災害危険地域が集まっています。一方、野田中の周りには危険な領域がありません。西武中は加治丘陵の北側浸食崖の下に位置しており、崖崩れや土石流等の危険度が高い。西武中の南側領域は、想定最大震度6強に現れているように、地盤が軟弱です。これは昔の浸食崖の崩壊堆積物の上の領域だからだと推定されます。こういう場所に中学校を集約すべきではないと思います。 西武中の生徒数が161名に対し、野田中は358名と2.2倍以上多い。今後もこの比は拡大するでしょう。西武中の学区は今後人口及び生徒数が増える見通しがたちません。（新規造成できる土地があまりないため。）一方、野田中の学区は今後も人口増加と生徒数増加の可能性が高いです。特に旧299号線以北で新規住宅が増えており、宅地造成も盛んです。 西武中学校に統合すると、生徒数比や宅地の配置状況から、全生徒（西武中+野田中）の平均通学距離が現状の2倍ほど長くなると推定されます。通学途上に事故に遭う確率も2倍近くになると考えられます。以上からも、集約するのであれば、野田中学校に集約すべきと思います。 旧299号以北は16号直結の299号バイパス、圏央道インターへのアクセスの利便性や災害安全性から、住宅地に大変適しており、野田中学校に集約されれば、外部から人が転入してくるポテンシャルも大きくなると思います。 「西武中学校に集約」する合理的理由が見当たりません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
287		中学校統合案	・西武中学校に統合は反対 建物の建築後、年数が野田中の方が、経過年数が少なく新しい。統合後の新築する必要がない。 ・生徒数が多く、少ない方へ統合されるのは、通学リスクが増える。 ・新光、野田地区の住宅が増えているなか、生徒・児童もまだまだ数的には維持され、利便性も考慮して、住宅が増えている以上、街の発展状況からしても納得がいかないものと思料する。 ・ニュータウンに来た時は、西武中は野田中に統合されるので、野田中は最新の設備を備える最後の中学校だと聞いていましたが、いつから逆になったのでしょうか？新たな費用がかかるのは、納税者としては納得できません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
288			学区の再編成の可能性はなぜ挙がらず、統合が前提なのか。 学校行事や課外活動を両小学校・中学校で実施し、様子見する期間は設けられないのか。 てぃーろーどの路線を見直してスクールバスを兼ねることはできないのか。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 その際に、ご指摘をいただいた事項など検討・協議したいと考えます。
289			・当所、西武中を野田中に統合する案であったものが急に反対の野田中を西武中に統合するようになったのか？ ・また、統合するならば、新校舎をきちんと建設してからでも遅くはないと思う。なぜ今2022年までに統合を急ぐのか？ 公共施設マネジメントありきで、住民や子供の意見にも耳を傾けて欲しい。 議員さん達のパワーバランスでこのような案になったのでは？	西武中学校と野田中学校は、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
290	P2	市の考え	公共施設の整備に対して、安全安心の確保が一番に書かれてあり、まさにそのとおりであると思う。有難い。	今後とも、安全安心の確保を第一に具体化を進めてまいります。
	P4、5	内容、時期	特に、子どもたちが通う学校関係は、安全が心配されるところは十分な時間をかけ整備されてからの移転及び統廃合をお願いしたい。 西武中学校・野田中学校は、通学路の車の往来、道の狭さなど問題をかかえ、安全・安心が心配されていますので、第1期でなく、第2期・3期で、きちんと整備されてから行っていただきたい。（3期の豊岡、東町地区の安定した地区を先に行っていただきたい。）	西武中学校と野田中学校は、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
291		西武中・野田中統合について	・三回程、説明会に参加させて頂きました。 予算的にどちらか一校が無くなるのはしかたが無いとして、では、実際に学校に行う子供達が安心・安全に行える状態を最優先でととのえて頂きたい。 通学路の安全確保、予算的、時間的に無理なら、スクールバスの運行。 スクールバスの運行も無理なら（野田中が無くなった場合）西武バスの利用の許可。通学時間帯の増便等。 難しい事はよくわかりませんが、子供達の安全、また、その道を使用する全ての方達の安全を最優先に大切な税金を使って頂きたいです。 よろしくお願いします。	西武中学校と野田中学校は、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
292	96ページ		2022年に予定されている西武中学校と野田中学校を統合して野田中学校を廃止する案に反対します。 ＜理由＞ 野田中の学区である新光地区や野田地区は新しい住宅がたくさんできており、子供も増えている。多くの子供たちが西武中まで自転車通学をすることになると、現在の道では非常に危険である。また、西武小へ通う子供と通学路が同じルートになり、現在も通学時間帯は道が小学生でいっぱいなので、小学生・中学生ともに危険が増すと考えられる。仏子駅方面への車、自転車の中学生、徒歩の小学生で道はあふれ、事故につながることは目に見えている。事故が起こってからではおそい。 ＜提案＞ ・黒須中や東金子中も含めた学区の再編 ・小中一貫で仏子小と西武中を統合 ・スクールバスの整備	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。
293	96ページ		・野田中学校、西武中学校の西武中学校統合に反対します。現状を維持する。 ・野田中学校の生徒数が多い。 ・通学路が狭い。（西武中学校への） ・通学時間が長くなる。（西武中学への） ・交通事故が予想される。 ・生徒の教育環境を第一に考えるべき。 ・野田中学校の校舎の方が新しい。 ・野田中学校の回りの環境がすばらしい。 何事も「子ども第一」に考えるべきです。 「子ども中心に」 「子どもにとってどうなのか」を第一に考えるべきです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
294			野田中と西武中の統合（西武中に統合・建替）については、市の説明を聞いても納得のいく理由が得られず、本案には反対です。 人口減少など将来の環境変化を見据えた公共施設のあり方を見直すことは必要なことです。 その際のポイントは、安全性、利便性、コストではないでしょうか？ 西武中への統合は、いずれにも反するものであり、説明会の際の質問に対しても「総合的な判断」と繰り返されるだけで、明確な理由があるとは思えません。 以上より、野田中と西武中の統合案については、見直し、再検討を求めます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
295	96、97ページ		生徒数は野田中のほうが圧倒的に多いのに、西武中を残して通学させるのは納得しがたいです。 多くの生徒が通学距離が長くなり、せまい道を通って通学しなくてはいけません。事故にあう可能性が高くなります。 野田中は元加治幼稚園の運動会で校庭をかしてくれたりと需要もあります。野田中廃止は考え直して下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
296	96、97ページ		西武中学校と野田中学校を統合するにあたり、まず、子供達の安全面を考えてほしいです。多くの子供達が、歩道も狭く、交通量も多い仏子方面に向うのはとても危険だと思います。まして、自転車通学の子が居たとしたら、危険すぎて安心して送り出しができません。通学路の安全面を考えてから、統合の話を進めて頂きたいと思います。どうか宜しくお願いします。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
297	96～97		・野田中廃止に反対です。 私どもは2010年12月に他県から学生時代に縁のあったこの西武地区に転居して参りました。当時は小さかった子供2人が小学校に上がった際の距離の長さに躊躇し、他の市での土地購入も考えましたが、小学校さえ通いきれば、中学校は平坦で距離も短くなるし、比較的新しい校舎なのでより魅力があると感じ、この新光で家を建てる決心をしました。当時から小・中学校において統合の話があることは知っていましたし、直近まで西武小・野田中が残る予定で話し合いがなされていることも市のホームページ等でチェックしていました。しかし突然のこの計画の変更に、更に2月の説明会での変更理由の不明瞭さに落胆と失望と不信感しかありません。 ・そもそも西武中になることを前提に計画していてくれていればこの土地に住むことはなかったです。 ・計画も3年後とかありえません。道路の整備・校舎の安全性が確保するまで計画延期か、白紙を希望します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
298			元々野田中存続で進んでいた話し合いから、急に西武中存続に変わって、それを知った3ケ月後計画確定とかありえません。反対が出ることもわかっていたことなのに強硬的に3月に計画を確定させることは意見をきくとはいってもガス抜きにしか思えません。元々西武中存続で進んでいた計画なら納得いきますが、そうではなかったのだからもっと野田中側にも配慮のある計画に見直してほしいです。3月に確定は絶体に反対ですし、計画の延期、変更、中止を求めます。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
299	96～97		野田中廃止及び西武中存続に反対です。西武中の生徒さんが部活動等で、人数が少なく困っているのを解消すべく3年後に西武中を残し統合というのは野田中の生徒を余りにも軽視しすぎです。野田中は困っていません。不便を強いるなら少数の方が筋ではないでしょうか。野田中はまだ20年以上も使用出来るのに、3年後に売却するのも理解に苦しみます。15年もの間、 校舎が新築されないのならその間は野田中を使用すればいいのではないでしょうか。まずは通学路の安全性を確保。考慮してからが絶体条件ですが、今のままでは計画自体反対せざるをえません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
300	96～97		野田中廃止・西武中存続に反対です。突然の計画変更もさることながらその経緯、決め手も曖昧で説明もお粗末で納得しろというのが無理があります。野田中に進むと思っていた今の5年生以下の子どもたちは、この理不尽な決定の一番の被害者で、新しい校舎に通えるわけでもなく、なぜ人数的にも余裕のある側が不便を強いられなければならないのでしょうか？3年後というのも急ぎすぎですし、先から西武中案だったのならいざ知らず、あまりにも子ども達がかわいそうです。そんな子ども達が将来入間市に留まってくれるとはとうてい思えません。計画の延期、変更、白紙化を希望します。 追加資料の資料1に西武地区児童・生徒数の推計というのがありますが 西武小　平成29年度716人→平成44年度617人（推計） 仏子小　平成29年度289人→平成44年度285人（推計） となっています。 まだ産まれていない子がいるのに、西武小は100人も減って仏子小は4人しか減らないとか、、意味不明です。仏子小側の減少率が少ないことを示したかったのか結論ありきな計画なのが残念です。このようなお粗末な計画には納得いきません。計画の見直し、確定の延期、変更を希望します。 野田中廃止及び西武中存続に疑問を呈します。突然の西武中存続案・・・しかもギリギリでの計画変更は悪意しか感じません。仏子地区在住の友人が仏子側のえらい人がまだ言えないけどほぼ西武中存続はまちがいないから安心していいよ！と言われたときいて、所詮この意見書もパフォーマンス、ガス抜きなのだと痛感しました。突然の計画変更の決め手も曖昧ですし、計画の見直し、延期、もしくは変更を希望します。3月確定はありえません。 野田中廃止及び西武中存続に疑問を呈します。パブリックコメント締切から3月の決定まで時間が短すぎます。ここで意見してそれが反応されるとはとても思えません。意見書一つ一つに目を通し、市民がその内容を確認できるように公開されるのかも疑問が残りますし、確認できたところで、すぐに3月下旬には計画確定とはスケジュールが無謀です。仏子地区にお住まいの方が3年前の豪雨で身の危険を感じ、西武支所に避難の確認をしたところ、「本来は西武中だが、西武中は土砂崩れの危険性があるので、野田中学校に避難してください。」と言われたそうです。お役所の方も認める危険なところが存続し、安全性の高いと認められた野田中を廃止する意味がわかりかねます。そんな危険性の高いところへ大事な子どもを通わすわけにはまいりません。まずは安全性確保し、パブリックコメント等の意見を十分精査し、理解を得てからの計画確定をお願いします。3月はありえません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
301	95、97		私は野田中学校が西武中学校に統合され、売却されるという政策（計画）に反対です。 理由1学校の主役は生徒です。生徒が安全な環境の中で自己実現を図れるようにすることが政治の仕事です。市の防災マップで示されているように西武中の立地場所は、安全とは言い難い。さらに西武中の校庭は山を崩して造ったので状態がよくない。さらに狭い。野田中学校は畑の中にあり、平地で安全性も高い。校庭も広く、運動に適しており、生徒は充分に自己実現を図ることができる。 校舎も市内では新しく、生活しやすい。職員も生徒を管理しやすい。職員が生徒を管理しやすいということは、安全な学校生活につながることを意味します。生徒が安全な学校で学び続けられるように政策（計画）を変更していただきたい。市民（児童・生徒）の安全・命を守ることが市政の最優先課題であることは周知の事実であると思います。 私は、野田中学校が2022年に西武中学校に統合され、売却されるという政策（計画）に反対します。 理由1 今回の入間市公共施設マネジメント事業を実施せざるを得ない理由の一つは、入間市の財政が困窮していると説明がありました。しかし、野田中学校の統合先の西武中学校は2021年に改修工事が必要とのこと。改修工事には莫大な費用がかかるはずです。一方、野田中学校は市内で一番新しい中学校なので10年、20年先まで改修が必要ないと聞いています。入間市の財政が逼迫しているのなら、野田中学校に統合するのが自然であると思います。 理由2 今年度、市内16校の小学校で挙行される卒業式で卒業生が一番多いのは西武小学校です。その入学先は野田中学校です。その野田中学校が売却される理由が納得できません。西武小学校の全児童数は市内で2番目に多いです。その西武小学校の児童は野田中学校への入学を切望しています。子どもたちの希望・夢・目標を奪わないで下さい。 私は、野田中学校が2022年に西武中学校に統合され、売却されるという政策（事業計画）に反対します。 理由1 野田中学校が3年後（2022年）に売却されるとは、あまりにも急なことで納得ができません。学校を子どもたちから取り上げる行為は許されることではありません。野田中学校の生徒たちは、夢や希望をもって、毎日、勉強や運動、部活動に励んでいます。その努力の結果は、埼玉県内外にも届いています。例えば、本年度、吹奏楽部は県大会・関東大会を勝ち抜き、東日本大会へ出場し、銀賞に輝きました。また、女子は市駅伝大会で優勝し、県大会へ出場し、12位となった。6年前には、男子は県駅伝大会で優勝し、全国大会に出場しました。野田中学校には陸上部はありません。全生徒で長距離走に取り組んでいる成果です。これは野田中学校の伝統です。そして、野田中学校の文化なのです。生徒の努力・汗の結晶なのです。生徒が培った文化を市が取り上げる権利はありません。西武小学校には野田中学校に入学し、勉強や部活動に頑張ろうと思っている児童がたくさんいます。その子どもたちの夢や希望を取り上げないでください。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
302			西武地区　野田中学校廃止の案に反対です。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。安全対策が万全にならない限り、子供を通わせることはできない。 通学の安全確保を第一に考えて対策をしていただくというのが絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
303			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
304			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
305			西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
306	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
307	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
308	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
309	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
310	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
311	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
312	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
313	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
314	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。 まずは、道路整備をしてから決めてはどうでしょうか？	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
315	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
316	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
317	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
318	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
319	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
320	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
321	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
322	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
323	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
324		パブリックコメント	公共施設マネジメント事業計画では地区センターは9地区に1施設ずつに再編成となっております。 豊岡第三地区においては1地区センターなので設置場所は浅間山団地跡地を要望いたします。 この場所は黒須地区、高倉地区の中間であり、交通の利便性が非常に良く又土地は市が約4割、氷川神社が約6割所有しており、新たな土地購入等の懸念は少なく費用の面からも有利と考えられます。 是非とも、この浅間山団地跡地を市の公共施設としての利用を検討願います。	豊岡第三地区の地区センターは第2期に整備する予定です。それまでの間、具体的な整備計画を検討していきますので、ご提案は参考にさせていただきます。
325			2月に2回、説明会に参加させて頂きました。 今回の西武中学校、野田中学校の統合の件ですが、このまま計画通り3年後の統廃合となるのでしたら、大変残念です。 先日の説明会でも仰ってる方が居ましたが、時間も費用もかかると思いますが、私も小・中一貫校を目指してほしいです。 それでも小・中一貫校は、場所や費用等の面でやはり難しいと仰るのでしたら、「市民の安全を、命を守る」と市長のお言葉が本当なら野田中への統合に話を戻してほしいです。 どうしても西武中に統合すると言うのなら、通学路の整備を整えて頂く、スクールバスの運行、400人程の生徒が安心して、学業に取り組める校舎の建設等。最低でもこの3点は実施して頂きたいです。どうか宜しくお願い致します。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
326		西武中学校と野田中学校の統合について。 （追加資料） 西武中学校、野田中学校施設面積の比較1～6	＜西部中学校と野田中学校の統合について＞ 統合は反対ではないが、西武中学校の活用は絶対反対です。 ＜理由1＞子供の安全を一番に考えられていないため ＜理由2＞防災面においても西武中より野田中の方が安全。 子供の安全を一番に考えて欲しい。野田中活用と西武中活用の比較の説明がありましたが、西武中学校が有利なのは、敷地面積のみであり、他は野田中学校の方が施設面、立地面、防災面どれをとっても有利である。 それでも西武中への統合をされるのは理解できない。 防災面においても、災害時、沢山の車や人、物資の運搬などで大型トラックなども出入りする。西武中側の道路狭まく、危険である。事故のリスクが高い。 以上のことからも西武中学校の活用は反対します。 それでも、子供の安全、市民の安全を考えず、市民の声を無視し、西武中学校への統合を強硬突破するのであれば、せめて、以下のことを市民に約束して頂きたい。 1.統合する前に、子供、市民の安全を確保する。確保してから統合。道路通学路の整備、踏切りを渡る陸橋設置。 1が不可能ならば、せめてスクールバスを出して欲しい。統合をしてから整備するのではなく、整備してから統合して欲しい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
327		西武中学校と野田中学校の統合について 5、地域別事業計画 西武地区施設の利用状況、需要中学校 （41） （43） （44）	＜西部中学校と野田中学校の統合について＞ 西部中学校と野田中学校の統合は反対ではないが、西武中学校の活用は絶対反対です。財政難を優先するのか、子供の命安全を優先するのか全く理解できない。 ＜理由＞☆子供の安全を一番に考えられていないため。 ①西部中が生徒数の適性規模を下回っている理由での統合であるのに対し、なぜ人数が多い野田中が西武中に通わなければならないのか。野田中側の300人以上もの児童が、同時刻に踏切り、入間川、狭い道路、仏子駅に向かう車、人々の大渋滞の中、登下校することの交通事故のリスクが非常に高くなる。 災害時の川の氾濫、土砂災害など、どれをとっても安全性は確立されていない。野田中側の300人以上の児童が川の氾濫時、帰宅困難になるリスクが高い。 子供の安全性を無視し、上の方々や西武中学校側の方々の強い圧力が働いているとしか考えられない。 ②野田中と比べ、築年数20年もの古い校舎への統合活用することの矛盾。新しい野田中を有効活用するのであれば理解できるが。 ＜改善策＞①野田中への統合活用。 ②①が、不可能であれば、300人以上もの児童が安全に登下校をできるために道路の大幅拡大（道路が狭すぎるため）、自転車専用道路、踏切りを渡る陸橋（自転車も渡れる陸橋）を設置し通学路の整備し、児童の安全を確保する。 安全確保ができない限り、子供を安心して通学させることはできない。 ③②が不可能であるのならば、地区の中心地に、新たに中学校を建設。野田中側、西武中側の生徒、保護者が互いに納得できるような場所。安全に通学できる場所に新校舎を建てる。新校舎ができるまでは野田中・西武中2つの学校を現状維持のまま活用し、建設後統合であれば理解できる。以上、西武中学校への統合、活用は断固反対です。 ☆安全を確保され、受け入れ体制が整わなければ、断固として子供を通わせることができない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
328	4	公共施設の整備の内容・時期 西武中学・野田中学→統合・西武中学校を改修し、活用	統合の基本は多数が小数を吸収するのが、一般の考えである。野田中350名、西武中150名の現状では小数の西武中へ多数の野田中を統合するという市の考え方には合理性がないと思う。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
329			少子化で合併という事は今の時代受け入れなければならないと思いますが、まだ新しい野田中でなく今後建て直しする予定のある西武中に3年後とは理解できません。 西武中の建て直し終了後、西武中ならわかりますが、なぜ西武中なのか？建て直しまでの期間を野田中でそれまで中橋北あたり、駅周辺の道路の整備をし西武中という事を希望します。よろしくお願い致します。子供達の事を一番に考えて下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
330	46	宮寺・二本木　保育所の件について	二本木地区に住む住人として一言意見を述べたいと思います。御理解して頂きたいと一筆書かせてもらいます。宮寺並び二本木保育所の統合の件については、子供の人口の減少など色々な観点から見ても小学校・中学校とともに原案通りに進めて行く事が大事な事と思って居ますが、二本木保育所跡地については、今後どうしても公園を作ってもらいたいと思って居ます。理由としては二本木地区に公園がない為に、なんとしても跡地に公園を作って頂きたく陳情を願うものです。	公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
331	44	公共施設マネジメント事業計画（原案）市民説明会（西武地区） 5.地域別事業計画 西武地区　地区センター、小学校、学童保育室、中学校	中学校の統合について ・H30年5月末に入間市へ転入して、1年も経たないうちに3年後、野田中は西武中に統合しますと言われても納得できません。6年生、3年生、年中さんの娘がいます。3年後という事は3年生の子から西武中に通う事になります。転入するにあたり、学校の場所、通学路、いろいろ考えて決定しました。入間市の計画から比べたら個人の人生計画など小さいものかも知れませんが、子供の事を考えて一生懸命決めた事が西武中の部活がなりたたないという理由で3年後に統合は納得できないです。西武中の校舎も不安です。通学路も不安です。何も解消されないまま統合は強引だと思います。統合する前に全て解消して下さい。校舎は建て替えが済むまで野田中に通わせて下さい。 ・西武中に変わってから、野田中を売却するとききましたが、避難場所をなくしてしまっていいのですか？野田地区はどんどん家が建っていますが、避難所を減らすという考え方はいかがなものかと感じています。西武小も西武公民館も水害時の避難所にはなっていないです。元加治駅周辺の方が西武地区体育館まで避難するのは大変ではないのでしょうか？ ・追加資料の4番のメリット・デメリットが対照になっていないのでわかりづらいです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
332			・平成31年1月26日、2月16日の説明会に参加させて頂きましたが、素案で示されていた野田中学校より西武中学校に覆ったのかが理解出来ませんでした。「詳細にいろいろな条件を検討した結果・・・」とありますが、2月16日の追加資料の中学校の施設面・立地面の比較がありましたが、素人の私達が見ても、この地区をまったく知らない人が見ても大多数の人が野田中学校を選ぶと考えます。地理で仏子駅に隣接しているとありますが、駅に近くて便利と感じる生徒がいるのでしょうか？ ・西武地区施設の利用状況・需要・中学校の2028年度の推計でも、減少の割合はたしかに野田中学校の方が多いですが、それでも野田中学校の生徒数が約2倍の生徒数がいる事がわかります。 ・西武中学校の土砂災害の危険性についても現在は指定されてないが基準が変わればそれに沿って変更するとなっていますが、もし基準が変わって区域に指定されても学校は動かすことは出来ません。これだけ多数の人が調べて、確認しているので万が一災害が発生した場合、「想定外でした」とは言えないと思います。地震に関しても西武中学校周辺だけ6強が予想されていて西武中学校は耐震補強を実施済みであるので6強でも耐えられるとしているが周辺の家屋が倒壊・火災が発生した場合、安全に避難出来るとは思えません。その為、よりリスクの少ない野田中学校を選ぶのが自然ではないでしょうか？	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
			新光・野田地区には今現在も新築住宅の建築・販売がされていますが、家を買う時学校までの距離は重要なポイントです。小学校も近くないですが、更に中学校が遠くなるという事はかなりのマイナスポイントになります。その為、子育て世代の転入促進はかなり難しいと考えられます。自分を含め子供を西武小学校から野田中学校へと考えて転入してきた人達にとって今回の変更にかなり困惑し騙された気持ちさえあります。素案だったとはいえ周知していた内容を理由が定かでないなかで急に変更された事に憤りさえ感じます。 急に変更になった事に関してもよからぬ噂が立っているのも事実です。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
			西武中学校か野田中学校のどちらになるにしても通学路の整備、安全の確保が最重要課題だと考えられます。自転車通学に関して狭い道で交通量も多い、小学生の登下校もあるなかで大変危険に感じます。 スクールバスとの話もあると思いますが道路状況や予算の面から考えても現実的ではないと考えられます。 この課題をクリアしてからでないと、どちらの親も納得しないと思います。 長々と記入させて頂きましたが納得出来ない事、不明点が多過ぎると思います。 親として、一人の大人として子供達の命、安全・気持ちを大切に考えて頂きたいです。 実際に影響がある世代の子供達の気持ち、声をぜひ聞いてあげてください。 宜しくお願い致します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
333			西武中学校と野田中学校の統合について、以前から（何年も前から）統廃合の話は耳にしていたが野田中が残ると聞いていたし、市のホームページにも出ていた。なのにここ数ヶ月で西武中が残るという事になったのか。説明を受けても資料を見ても納得がいかないです。西武中の方が立地条件、将来的な拡張、防災面で良いとあるが西武中は山の斜面がすぐあり、川もあり、今、災害の可能性が低いといってもこれから先、不安が大きい。先日、西武小で行われた説明会で利便性も言っていたが、中学生は電車通学ではないのだから、駅が近いとはいらない。将来的な拡張も仏子は新しく家が建つスペースが無いのだから子供も増えない。野田新光は現に家が増えている。防災面。どう考えて防災面で西武中が良いのか分らない。道路も狭く、もしも災害（土砂崩れなど）、火災の際に緊急車両が入れるのだろうか。不安です。 建替えは仮設校舎ではなく新校舎を建てるとあるが、統合して人数が増えてから建替えるというのもおかしい。西武中の人数が少なく、部活などの活動が出来ないから統合するっていうのに、統合で建替えている間グランドは使えず、人数が増えたら出来るはずの部活動も出来ない。しかも多人数が出来なくなる。大人の1年よりも小・中学校の1年間は大きくて、大人になっても1年1年が大切な思い出となるのに統合した事により、思うように部活も出来ないという思い出になってしまう。せめて、建替えてから統合するっていうならまだ分るが。 通学が遠いい子はスクールバスも考えているともいうが、西武中にバスを停めるスペースがある様には思えない。新光、仏子ニュータウンの人数をスクールバスにするより、仏子の子をバスにした方がバスの台数、本数も少なく経済的で効率が良いと思う。 自転車通学にしても道路は狭く、坂が多い。1.5kmを超えると自転車通学が許可されている所もあるとはいうが、そういう地区は道路が広く、車通りも少ないといった所であって、西武地区は当てはまらないと思う。 飯能の美杉台中は茜台が出来、矢颪、征矢町までが美杉台中に通っている。通学が遠いいが自転車通学は許可されていない。山だからだ。道路は広いが坂道を自転通学では危険だからです。そのかわり、歩道が広いので遠くても安心して通えます。西武地区は歩道も狭いので小学生、通勤の人で今でさえいっぱいで、雨が降ると傘ですれ違う事も出来ないぐらいです。車道と歩道が線で区切られているだけの所も多いです。安全面、健康面を考え、検討し、解決してから統合すべきではないのでしょうか。素案が変更になった事を知らなった市民が多いいのだから計画確定の時期を遅らせるべきです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
334		施設整備の方向性 地域対応施設	東金子地区説明会でも質問させて頂きました。地区センターに6つの桟能を設ける内容となっているが、6つの桟能では不足である。 なぜならば、福祉の「総合相談窓口」と包括の「支援センター」というのは介護が必要になってきた時点の相談、施設招介、介護の支援団体招介が主体であり、健康維持、促進の桟能がない。すなわち後処理である。 必要か必要でないかというと必要な桟能であり、この6桟能は賛同する。 しかし介護を必要としないための桟能を地区センターに置くべきである。家からほど近い地区センターに通い監視・指導者の基健康維持ができる姿、桟能を置いて下さい。現在の体育指導員の地域活用をもあわせて検討して下さい。	現在は健康づくりネットワークが複数の地区で組織されておりますが、地区センターの自治振興支援の機能の一環としてそうした活動の支援が出来るものと考えます。また、公民館機能として、市民の健康づくりは「公民館基本計画」にも社会教育活動の一つとして位置付けられているため、現在の計画でも位置付けられているものと考えております。
		地域別事業計画	金子地区は唯一体育館（体育施設）を持たない地区です。別紙でも申し上げた通り介護が必要とならないための予防が必要です。健康増進できる施設の確保を金子地区で行って下さい。 2021年に農村環境改善センターの改修が予定されていますが、中の体育エリアに健康増進・体力向上の桟能を付加した改修が必要と考えます。	今後の施設改修に向けては、施設機能の見直しとハードウェアの整備の両面で検討します。
335	96 97		・まず、入間市で一番多い生徒数の西武小学校のある西武地区の小中校の統廃合を第1期にするのはあまりに早すぎで、通学路の安全確保やスクールバスの件に関しても、整ってないのにやるのは理解できない。 ・もし統廃合するにしても、第2期以降にして、その間の10年～20年の間に問題を解決出来る状態になってから進めるべき ・入間市でも川をはさんでいる地区は西武地区で、万が一橋が崩落する事、避難場所の確保、市が進めている小中一貫校、通学時の安全、どちらかが長くなってしまう登行時間の解しょうなどからぜひ小中一貫校を進めて頂きたい ・中学を統廃合するにしても、野田中の方が耐用年数がまだあり、災害の心配もほぼなく、部活もあり、西武中を改修、立て替えという無駄な税金をかけずにすむ スクールバスを使用するにしても人数の少ない西武中の方を理用してもらう方が安くあがると思う ・なによりも入間市の将来を築く子供達の事を考えて進めて頂きたい	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。
336	96 97		・まず、野田中学校と西武中学校が合併し、西武中学校を残す上、3年後には野田中学校が事実上なくなるという事を今年（平成31年）1月24日付の学校からのお便りで初めて知りました。子供達も4年と6年の子が居ますが、学校の先生からではなく、プリントのみで、動揺しており、先生に聞いても「わからない」と答えられたそうです。 「合併について・・・」のアンケートも受けておりません。 ・H31.1.26（土）西武小での説明会でも、西武中が築53年で市としては60年で建て替える方針と聞きました。野田中は築30年であと30年はこのまま使えますし、校舎も広く、問題はないと思うのですが、西武中は校舎も校庭もせまく、何かとお金がかかるので野田中の方が合理的だと思います。 ・もし西武中に通う事になると、通学路が危険すぎ、特に通学時間帯は小学生ともぶつかり、大渋滞になると思います。3年後というのはあまりにも早すぎると思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
337		西武中、野田中合併の件	・西武中の校舎はかなり古いと聞きました。校舎の建て替えをしてからの合併ではだめなのでしょうか。 ・野田中側からだと、仏子駅の立橋を通りますが、それもかなり古いので、自転車が通行できる立橋に建て替えてほしい。 ・何より、子どもたちが安全で安心して通える様に考えていただきたい。 事故がおきてからでは遅いので。 ・生徒が増えることで近隣の住宅もかなりうるさくなります。 夏は特に窓を開けると吹奏楽の練習はかなりうるさいです。 （以前住んでいた家の近くに中学があったので、かなり気になりました。） ご近所の方には苦情にならない様に配りょをお願いします。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
338	48 49	高倉公民館 高倉小学校	・統合・移転計画は地域の地形の特性が考慮されておらず高令者 小学生の負担増大となり存続を望む ・高倉地域から公共施設が全て無くす計画は地域差別だ。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。また、地区センターの利用等については、施設の統廃合に合わせて、公共交通を見直していく中で利便性向上を検討したいと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
339		マネジメント事業計画（原案）「藤沢地区」版	人口が減っているといっても、入間市の場合、漸減であり、もっと市民の声を聞き、要望を受け入れる姿勢を示し、じっくり取組むべきだと思います。 市のマネジメント事業計画をみると“公共施設の寿命は日に日に近づいている”“鉄筋コンクリート造の寿命は約50～60年”“壊れたら直すを続けると財政破綻”“人口減少と税収・・・30年後住民税25.4億円減”等々危機感をあおって市民をこの事業計画に従わせようとしているように受け止められます。 私の住む藤沢地区はこの10年人口は増えています。にもかかわらず「公共施設の削減先にありき」の構想に無理矢理あてはめているため問題が出ると思います。藤沢南小を廃校し藤沢東小への統合、藤沢南小跡に上藤沢中学校をさらに藤沢地区体育館を移す。これらのことによる子供たちへの負担。また財政的にも「壊れたら直すを続けると財政破綻」というだけでは納得いきません。この関係だけでどの位の予算をみているのでしょうか。	現在の施設をこれまでと同じように建替え、改修、維持を行う想定で試算を行ったところ、今後の40年間で1年あたり約47億円が必要となるとの結果となりました。近年の歳出の状況や将来の財政の見込みを踏まえると、施設の更新や維持管理にかけられる費用は18～20億円と考えています。 この額では、全ての施設を維持できませんので、施設面積を3割を削減し、さらに施設に係る維持管理や運営コストを縮減することで、残った公共施設を安全に維持していく考えです。 施設もいつかは寿命を迎えますが、計画を立てる目安として、耐用年数を60年としています。
340		野田中と西武中の統合について	・説明会に参加して、色々な方との質疑応答を聞きましたが、野田中案から西武中へ変更となった明確な理由の説明がないのは何故ですか？ きちんとした説明がなければ誰も納得は出来ないと思います。 通学方法についても決定してから決めるという事では安心して通わせられる事もできないです。 統合してから建て直すのであれば、立て直してから統合でも良いのではないでしょうか？ 2月末までに意見を集め、3月に決定という事も全ての意見に目を通し検討する時間があるのかも疑問です。 野田中にした場合と西武中にした場合のメリット・デメリットを明確にしていただき、市民の皆がきちんとわかる様にしてから、進めていただきたいです。 明確にできない理由があるのでしたら、それを公評して下さい。今小2の子供を安心して中学へ通わせてあげたいと思っています。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
341			・狭山小と統合してクラスの人数が増える事は良い事だと思いますが、登下校がとても心配でなかなか100%の気持ちで賛成できません。16号を子どもたちで渡り登下校・・・安心して送り出す気持ちになりません。統合するのであれば確実に安全に登下校できなければ反対です。まずどのように登下校するのか示して頂かないと考えられません。危険が想定されるのであれば宮寺小まで歩いて登下校する方が安心して通わせられると思います。 ・宮寺大森地区の手押し信号までの細い道が車通りが多く朝と下校時大変危険です。スクールゾーンなどにしていただけませんか！？	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
342			①反対　②条件付きで賛成 通い慣れた小学校なので、できるだけ残してあげたいです。どうしてもそれが不可能なのであれば、子ども達に負担がかからないような登下校の仕方を提案して保ゴ者に同意を得た上で話しを進めてもらいたいです。 ・狭山小との統同にあたり、中間地点の土地を購入・確保と言っているが具体的にどのあたりになるのか。 ・新設するにしても、そこまで通う道路（歩道）をきちんと整備してくれるのでしょうか。（車道と歩道がきちんと分けられていない道を歩いている子ども達・・・宮寺の道じたいを整えてもらいたい） ・狭山小に通うことになった場合は、スクールバスをせめて出してもらわないと登校拒否にもなりかねないと思います。 ・未来のある子ども達に不担がかからないように考えてもらいたいです。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。
343			条件付きで賛成 狭山小に統合した場合、狭山小も新たに建て替えだと、何度も建て物（学校）が変わってしまう年代の子供達が出てくるのでしょうか？登校する子供達にとっては、慣れた頃に変わってしまうのは、不安が多くなりそう。新しい場所が購入不可の場合となっていますが、その場所の候補は1ヶ所のみなのですか？急ぐ必要性は？	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。
344			条件付きで賛成 新しい学校（用地購入）であれば賛成 ・狭山小へ通うのは、バスが出れば済む話しではないと思います。 ・地域や住まい（場所）でバスに乗る子、歩きの子を決めるのですか？ ・宮寺小と狭山小の中間地に学校を建てるのが平等だと思います。 ・何より安全な学校（登下校含む）づくりを願います。 ・学校名は変えますか？	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
345			条件付きで賛成 ・用地が用意できず狭山小に通うことになった場合、国道16号を渡る事になるので、スクールバスが出たり、通学路の安全が確認できているのであれば賛成です。 ・用地が用意できたにしても、狭山小側の方々にも上と同じ様な意見がたくさんでるとは思いますが、いずれやらなければいけない事だとは思うので、市民の意見を尊重しつつ話を進めていただけたらなと思います。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
346			条件付きで賛成 ・子供の少なさ、2校新設の費用は×であり、中間地点に新設、スクールバスを出すのであれば賛成です。将来、現在の子どもが成人し、宮寺から出ていくと人口的に宮寺地区・狭山小地区の数に大差ないのであれば、複合施設も中間地点に作る。 ・狭山小・宮小の統廃合ですが、狭山小側と宮小側の説明会への出席等狭山小側が少なすぎる。これまでの話し合いで素案を決定し、進めても狭山小側に反対される可能性も高く、これまでの時間がムダになってしまうのではないか・・・と不安になりました。説明会等行っていることも知らない方もたくさんおり、周知をお願いしたいです。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
347			・宮小に通っている子供自身が反対していること。伝統ある学校を残すことの方が大事であると思うから。宮小の校舎で卒業させてあげたいから。 ・計画を立てたから実行しますではなく、反対意見があったら検討する、延期するように、納得できる話し合いの場を設けて下さい。統廃合にあたり、16号をどうするかの安全面、伝統、思い出のある学校を残す方法はないのかなども考えてほしいです。大人ばかりでなく、子供にも意見を聞いて下さい。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
348			・状況からみて、統合は避けられないことかと思います。登下校の心配が一番です。統合とは新設なのか、吸収合併なのか、そこでも変わると思いますが、はっきりしているのでしょうか。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。
349			賛成 ・少しでも世帯数が増えてほしいからです。（役員の負担が大きすぎるので・・・） ・耐年数の事を考えると従うしかないかと思います。 ・16号を渡るのが心配です。（狭山小に統合した場合）お金は出すので、バスか旗振り（交通指導員）の方を雇ってほしいです。（保護者はやめて欲しい。） ・新しく学校ができれば新規の住民（若い世代）が増えると思います。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
350			・歴史ある宮寺小に四世代に渡りお世話になっている為、宮寺小を失くして欲しくないという気もちが強いです。ただ、反対意見を保護者が多く出し、統廃合が遅れた結果、もし築60年の校舎が耐えられないような大地震など起きて児童に何かあったら・・・と思うと、第2期まで延ばして検討し直して欲しいとも言いにくいです。新用地を購入の実現を願っています。 ・中間に新用地を購入し、新校舎を建てて統合することを第1案として考えていますとおっしゃった市長さんや市の職員の方々のお言葉を説明会でお聞きしました。 ・職員の方の中にも宮寺に縁のある方々もいらっしゃったように思いますし、きっと宮寺小を残したいと思っていらっしゃる中で何とか統廃合を進めなければいけない立場なのだろうと説明会の様子を見て感じました。是非第一案を実現して欲しいです。 ・通学路の整備や水害についても考慮しますと言ってくださり嬉しかったです。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
351			条件付きで賛成 これだけ人数が少なくなっているので、しかたがないと思う。ただ、宮寺小だけが負担を強いられる内容では納得できない。宮寺小・狭山小の間に用地を取得し、子どもたちの通学事情が悪化しないようにすべきだ。 ・狭山小の方に統合すると、若い世代が宮寺地区に少なくなると思う。学校が遠いところに、わざわざ家を買おうとする人はいない。 ・子どもたちの安全面をどのように考えているのか…そのへんが決まらないうちに、統廃合だけを進めるのはおかしい。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
352			条件付きで賛成 子供たちの通学が心配。仮に狭山台小へ通うことになったら、行きも帰りも子供たちだけで16号を渡るようになると思うと心配。遠い子もいるだろうから、スクールバスetcがあれば少しは安心かなとも思います…。 ・新しい場所に新しい学校を建てるのは、現実的に難しいと思っています。そうなると宮小の子供たちが狭山台小へ通うことになると思うのですが、そうなった場合、教室の数や学童などは大丈夫なのでしょうか。登下校時の宮小地区の子供たちへの対応（スクールバスなど）は、きちんとやっていただけるのでしょうか。 ・今年度新しくした「なかよし山」があり、子供たちもとても気に入っています。早いと4年べ遊べなくなってしまうと思うと、少し寂しい気もします。確かに宮小は子供の数は少ないですが、1クラス10名以下というわけではありません。もう少し様子を見て、現状のままではダメなのでしょうか…。子供の数がもっと少なくなってから考えてもよい気がします・・・。 ・もし、統合するのであれば、武蔵中に特別支援学級を設立してください！（現在ないので・・・。）	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。 ※「狭山台小」を「狭山小」と解釈しました。
353			反対 登下校が心配です。あぶない。時間もかかりそう。（きょり） ・（登下校が）バスでとか聞きましたが現実的にそれは可能なんですか？時間すぎてしまった子や下校も皆バラバラだと思うんですけど・・・。あと、ガソリン代とか費用はどうなりますか？市で全額負担してくれますか？（狭山小へ行く場合）歩いての登下校はこわくて行かせられません（ぜったい事故あいそう）。土地はきちんと探してもらえますか？距離がとおいと本当心配なんです。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
354			反対 子どもの安全がかくほできないと思う。 ・歩道橋ができたとしても低学年が16号を渡るのはむずかしい。 ・バスでも長期的に考えると安全は保証されない（市で運行するか？学校がかんりするのか？） ・宮寺地区は広いので、学校は2つあるべき。 ・今の宮小の土地に新しく校舎をつくるのは難しいことなのか？130周年も続く学校が簡単に無くなるのは不本意。近所のご老人方も通ってらっしゃった学校を簡単になくすのはどうか。もっと時間をかけてすすめる問題だと思う。今回の統合は、保護者のふたんが大変多くなることが考えられて、多くの反対意見があるまま話がすすむのはどうか。	小規模校として残すことについては教育環境の平等性の面からもデメリットの方が大きいものと考えております。 なお、宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
355			賛成 ・安全であれば賛成です。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
356			条件付きで賛成 子供の登校で安全が守れるなら賛成。（狭山小に行くなら）バス登校など出来れば良い。 ・狭山小に統合するならバスにしてほしい。子供の足では遠すぎるし、高学年になっても援業の終わる時間が遅くなったりすると暗い道が多くあぶない。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
357			条件付きで賛成 校舎の老きゅう化に伴い、新校舎にすることは良いと思う。児童が増えた方が、行事等の活っせい化につながると思う。 ・狭山小に統廃合することに対しては反対。R16を渡ることになるし、遠すぎる。子供の足ではきつい。宮小がなくなると、この土地の良さがなくなる。人口も減っていく可能性がある。わが家も、狭山小になったら、引っ越しを考えている。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
358			通学の際、歩道橋を使用するとのことですが、その橋も古くてこれから毎日、大人数の子たちが通るとなるとこわれてしまわないか不安です。統廃合するのであれば、なかよし山の修繕は意味あったのか…とも思います。子どもたちの安全が確保されるのであれば賛成してもよいですが、あいまいのままですと不安なため反対です。その安全がいったい何なのか一つ一つはっきり掲示されない限り、反対も賛成も言いにくいです…。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
359			条件付きで賛成 新用地になっても、狭山小へ行くことになっても16号を渡る事になる人は必ずいます。登下校の安全面について必ず対策をとっていただきたいです。 ・新用地に学校を建設する、が一番のぞましいと思います。何故、用地取得を二年と定めるのでしょうか？？学校舎の老朽化問題もありますが、ギリギリまで用地取得に尽力していただきたいです。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
360			条件付きで賛成、反対 子供の安全性がまったく感じられない。 ・今現在も16号そばの家から宮小へ登校している子供達がいます。30分弱歩いてると思います。それよりも更に遠い狭山小へ16号を渡って登校するのはどうなんでしょうか？ランドセルの重さ知っていますか？1年生の小さな子供が1時間近く重いランドセルを背おい登校、16号を渡る…、子供の安全の事、考えていますか？狭山小の保護者の方も16号を渡って宮小方面へ登校させるのは嫌だと思います。うちの子は、1時間近く歩き登校する事になります。冬だと暗くなるのも早いですよね。もう少し子供の安全考えてもらえませんか？本当によろしくお願いします。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
361			条件付きで賛成 子供の安全が絶対！！ ・狭山小へ通うのだとしたら、16号を渡らせるのが心配。歩道橋を渡るのが大変だからと、横断歩道を渡る子供がいたら危険。歩道橋の劣化も激しい、タイルなどが剥がれているので、転んだらケガをしてしまうので危ない。学校まで子供が歩いていける距離に住んでいない子供はどの様にして通うのか。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
362			条件付きで賛成 人数が少ないから統合は良いと思うけど、狭山小に通うのは無理があると思います。スクールバス絶対だと思います。 ・狭山小に通うとなったら、絶対スクールバスだと思いますが、1人1人に合わせて送り迎えができますか？ 〇狭山小に統合になった場合 ・授業参観の時など保護者が学校に用事がある時は車を使用していいですか？その場合駐車場の確保はできますか？ 〇用地が確保できた場合 ・学校までの道にガードレールなど設置してほしいです。 ・安全のため朝、親が旗を持って立ってますが、統廃合になるとどのようなかんじになるのか。（狭山小は立ってないように感じましたので）	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
363			条件付きで賛成 市にお金が無いし、子供が少ないなら仕方ないとは思います。条件は、子供達が安全に学校に通える様にしてほしい。 ・今は子供が少ない宮寺地区だけど、学校が通学不便だと引っ越ししたい若い世代が居なくなり宮寺は老人ばかりの未来が待っている気がする。自然豊かで優しい人が多い宮寺に沢山の若い世代が魅力を感じれる様に通学の不便だけは解消して頂き、明るい未来を描いてほしいです。 ・16号は事故多いし本当にあぶない。 ・お店が少ないし、街灯も少ないし、コストコなどができて裏道になった宮寺は車も多い。変な人も意外に多く最近は居る気がする。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
364			反対 宮小で大半を過ごし、慣れた環境で卒業させたい。案があまりにもあいまいで、子供の安全を確保できないと考える為。 ・統廃合したいのであれば、もっと具体的な案を提示すべき。対象になっている家庭はふり回され良い思いはせず、より賛成から遠のいていくと思う。近くの子はスクールバスに乗せてもらえない等があるようであれば、不公平が子供達の中でも生じて、学校生活の不安材料をよけいに作ってしまっている。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
365			条件付きで賛成 全員が、安全に通学・下校ができるのか？スクールバスがあるのであれば、それをきちんと出してほしい。冬時間になると暗くなるのも早くなるし、子供達の歩く速さだとかなり時間もかかると思う。 ・親の気持ちとしては、遠くまで危険なリスクを歩かせて通わせたくはないです。でも、人数が少なく、一緒になる事は仕方ないと思います。もしも、歩いて通うとなれば、全通学路も子供達が危険にまきこまれないように、きちんと整備しないといけないと思います。（ガードレール・信号・横断歩道等…）そういったお話はないのでしょうか？小さいけれど、川や歩道のない道もたくさんあります。街灯も少ない所もたくさんあります。人気の少ない所もたくさんあります。本当に子供達が安全に通えますか？今、宮小のきょりでも不安に思う所はたくさんあります。ちゃんとそういったリスクも私たちは考えています。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
366			条件付きで賛成 あまりにも早くてびっくりしている。狭山小に統合の場合、16号を子供たちで渡らせるのが心配。歩道橋を使用するのも、遠くなると思うので困る。スクールバスを登下校共に運行してほしい（大森も）。用地が買えるなら賛成します。 ・2年以内に用地は買える見込みが、どのくらいあるのか。狭山小地区の方は、賛成しているのかぎもん。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
367		公共施設統廃合	◎高倉小を黒須小に統合する件について ・地域コミュニティーの核となる小学校の廃止は地域衰退を招く恐れ十分、よって高倉小の廃止には反対。 ・近年この地域は宅地開発が進み、戸建て住宅が増加し、若い世代の入居が多く見られる。「小学校が近い」という事が住居購入の大きな要員。地域活性化、人口増をめざすには小学校を残し、公園増設、公民館の充実などを進め「魅力あるまちづくり」を行うべき。今回の案は全く逆行する。 ◎公民館を廃止する件について 上記理由の地域活性化に逆行するという理由に加え、高令者の活動の場を奪い『老後をいきいき元気にすごす』という高令者施策にも反する。歩いていける場所に集いの場があり、かつ、楽しい企画、サークルがあり、参加できる事が、多くの高令者の生きがい、健康につながっている。廃止には反対。 ◎市は高倉地域の将来像をどう考えているのか示してほしい。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。 公民館廃止の問題については、高倉小学校の跡地活用として、地域のコミュニティ施設を設置することを検討しており、その中で高齢者の活動場所も確保できればと考えております。
368			公共の建物を失くすことは、地域で住民の教養を高めたり、コミュニュケーションを高める場所が縮少することは、ますます人と人が稀薄になっている今、地方自治体の役目を放棄したことになります。 学校統合は今の入間市の人口の減少の中でもやるべき時にあらずです。ゆとりの空間を何に使うか知恵をしぼり、託老所を一緒にして老若との交流の物にしても如何ですか。失くすことが芸じゃないです。	ご指摘いただいた内容は、市としても課題であると認識しております。このため、本計画では、市内を9地区に区分し、それぞれの地区に地域の拠点となる施設（地区センター）を配置し、地域コミュニティの活性化を図る考えです。施設の詳細については、2019年度に検討しお示しする考えです。
369	5		1. 総務省から公共施設等総合管理計画策定要請を受け、ようやく社会情勢の変化に適合する公共施設の在り方について検討を始め、公共施設マネジメントに取り組むようになりましたが、これまで人口減少及び、少子化・高齢化、生産年齢人口の減少による減収、公共施設の老朽化等、社会情勢の変化をそれぞれの分野で認識しつつ今まで対応せず、経営的感覚の欠如により、これらの問題を放置したことは、市民も含め行政の不作為であります。これら反省すべきところは反省し、序章に記載すべきでは。	ご指摘を踏まえて、追記をいたしました。
	9		2. 公共施設マネジメント事業計画は、ほぼ市単独で完結することを想定し計画されていますが、時代が変化する中、市がフルセットで公的機能を備えるという発想にそもそも限界があります。持続可能なまちづくりを実現するため、公共施設最適化事業を契機に近隣市町との合併を検討されたのでしょうか。 公共施設マネジメントは、総合計画や各種計画と整合を図りながら進めていくことになりますとありますが、投資的経費の財政見込みから、都市計画マスタープランとの整合性が図られていません。都市計画マスタープランは構想とはいえ20年間の計画で数多くの事業が計画されていますが、30年計画である公共施設マネジメントの財政計画では、インフラ事業に投資する費用は維持補修程度だと想定されます。 総合計画においても、厳しい財政状況の中では新たな公共施設の整備や、都市的土地利用を拡大することが困難な状況となっていますとあります。 このような財政的に厳しい中、突然都市計画事業が実行されるのでしょうか、財源はどうするのでしょうか。 多極ネットワーク型の都市計画マスタープランは、構想として計画はしているが、公共施設マネジメント事業実施期間中は実施しないということなら判りやすいと思いますが。	公共施設マネジメントの取り組みにおいて、近隣市町村との公共施設の共同設置を選択肢の1つと考えています。特に広域対応施設は共同設置の対象となりうるものであり、方向性について検討していきます。 財政見込みについては、今後計画している事業を踏まえ、現時点で算定できる金額をお示ししており、この見込みのもとで公共施設マネジメント事業計画と都市計画マスタープラン等各種計画との整合を図ります。 なお、都市計画マスタープランで示している多極ネットワークについては、市内9地区に拠点となる地区センターを整備することが基盤の一つになるものと考えております。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
369	18		公共施設マネジメントには、インフラに関連する施設は対象とせず、道路、橋りょう、上下水道などは、個別の長寿命化計画に基づいて整備を進めることとしますとあります。 市民との協働により事業を実施するとしていますので、市民にも判り易く財政計画を周知することが重要です。 市の財政状況を総合的に捉えるため、公共施設マネジメント事業及び、個別のインフラ長寿命化計画の年次事業計画の内容や、信憑性のある個別の年次財政計画を一体的に公表すべきです。	公共施設マネジメントの取組は建物を対象にしています。道路、橋りょう、上下水道などのインフラ施設についても個別に計画を策定していますので、両者を関連づけて公表できるよう努めてまいります。
	31		地区センターへ移行に伴い地域の方が気軽に利用でき、コミュニケーションが取りやすい環境を整えます。また、ワンストップサービスの提供できる体制を整えますとあります。 現状では支所で対応できないことが多々あり、本庁に出向かないと処理できないことがあり、交通の便も悪いことから大変不便をきたしています。 今後、多極ネットワーク型のまちづくりを目指していますので、支所で全てのことが完結できるよう、ICTの活用による事務の効率化、市機能の分散化、フリーダイヤル及び、フリーWi-Fiの設置を検討してください。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。その中で、ご提案の内容についても検討をしたいと考えております。
	44		広域対応施設は、地域にサービス提供施設が無いことや、交通網の未整備から利用したくても利用できません。 広域対応施設は一部周辺地域の特定の人が利用する施設となっており不平等です。 誰でもが施設を利用できるよう施設を小規模分散化し、地区センターの複合施設化に合わせて整備するか、交通網が分断されている地域の市民が利用できるよう、箱物整備の前に交通網（送迎）の整備をすべきではないでしょうか。 入間市に住みにくい一番の理由が、通勤通学に不便だからです。交通網の不便の解消方策を優先的に検討すべきです。	広域対応施設は市民の方が利用する場合に利便性が平均化はしておりません。そのため、この計画と合わせて公共交通の再編成などにより、施設利用の利便性は確保していきたいと考えております。
	101		公共施設マネジメント原案の財政計画では、年々インフラ整備費が縮小されています。 経年劣化の進んだ道路等は、計画的に補修を進める必要があります。サービスの低下を懸念して次の質問をします。 1.2018年度以前のインフラ事業費の記載がないため、過去からの比較はできませんが、2019年度の経費に比べ2022年度で半減とし、その後一定額とする計画となっており、これが現在算定できる支出見込み額なのでしょうか。公共施設マネジメントを実現可能な事業とするための、つじつま合わせの数字ではないでしょうか。 また、公共施設マネジメント事業に伴い、周辺のインフラ整備も発生することが考えられ、財政計画が正確性に欠けるのではないでしょうか。 2. 金子地区の都市計画マスタープランでは、県道の危険性を認識し、県道青梅・入間線の拡幅整備、交差点改良、歩行者空間の充実を図るよう県にはたらきかるとしています。 毎年県に対し要望活動をしていると思われますので、県の動向を伺いたい。 3. 市道幹29号線（茶どころ通り）等を代替道路としての整備するとしているので、整備状況を伺いたい。 また、実施計画はいつ、どういったタイミングで作成するのか伺いたい。 4. 市道幹36号線（桂通り）の拡幅整備事業の実施計画状況は。 5. 金子地区の狭隘生活道路の解消状況は。 6. 上記の様に、中心市街地と比べ金子地区の道路整備状況は低い状況にあります。 今後も一定のインフラ整備は必要だという認識の下、新規の整備と施設の維持更新を行う必要があります。 更に、入間市は都市計画において居住地域として指定し、且つ都市計画税を徴収している以上、人口減少地域だから、高齢化が進行している地域だから、中心市街地から外れている地域だから、要望が少ない地域だから等の区別なく、市内の居住環境の整備を平等に行う義務があります。	1： 　支出見込額については、今後計画している事業を踏まえて、現時点で算定できる金額をお示ししました。 2～6： 　市全体の、道路を含む都市基盤が整備されるよう計画的に取り組みます。なお、個別の案件については、別途担当課にお問い合わせください。
	104		公共施設マネジメント原案は、一部の職員によって作成されたものであり、全職員に共有されていません。 現在の社会情勢を見据え、公共施設の在り方を考えている職員もたくさんいらっしゃると思います。 各分野の担当職員による公共施設検討PTを立ち上げ、広範囲な職員の意見を募り計画に反映してください。	この計画案は、担当部局を中心にまとめたものではありますが、庁内全体の会議体を通じて施設所管課との調整や各部局の意見を集約し、最終的には幹部会議で検討し決定したものであるため、市として統一した案としてまとめたものであると考えております。
370		その他	2月16日の説明会を聴きました。 その日の議論の内で、“原案には、安全面の考慮がなされていないため、結論は先に延期するべきではないか”との意見が多かったように思えました。 それに対しては、市長でさえも“検討する”との回答で終わっていました。 なぜ、あのとき、決断できなかったのでしょうか。 なぜ、決断できるメンバーの出席がなかったのでしょうか？ 延期に対する検討結果はどうなったのでしょうか？	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
371	7～10	2.取り組みの背景 人口減少、少子化・高齢化の～人口減少と税収	人口と税収の関係は、相対概念であり、絶対概念ではありません。 個人や社会の変化により、生産性は一定ではありません。「そもそも論」で認識の謬りがあると結論は必然的に誤謬に陥ります。	説明会では、傾向として歳入･歳出の特徴の一部を切り取ってお示ししましたが、人口と税収の関係は相対概念であることは認識しております。計画では、あらためて人口の推計と、歳入･歳出の実績に見られる傾向のみ示すこととし、出来る限り誤解を与えないよう配慮いたします。
372		地域別事業計画[西武地区]西武中学校、野田中学校の統廃合について	野田中学校を廃止することに反対します。 1/26（土）、2/8（金）の説明会に参加しましたが、何度聞いても野田中学校を活用したほうが、メリットが多くあると思います。 中学校に通うのは子供たちです。 野田・新光地区の多くの生徒が遠距離通学となり、狭い道路、ふみきりなどでの事故が心配されます。学校の配置が決まってから道路の安全を確認するのは遅すぎませんか？統廃合が数年後にせまっている中で、道路、ふみきりの安全は保障していただけるのでしょうか？保護者として不安はぬぐいきれません。 説明会の中で、遠い将来、東金子地区とも統合するというようなお話もありましたが、その予定があるなら、野田・新光地区は野田中学校へ、仏子地区は東金子地区に統合した方がよいのではないでしょうか。野田・新光地区にはたくさんの子どもたちがいます。新しい家もどんどん建っています。未来のある子供たちのためによく考えてください。よろしくおねがいします。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
373	96 97		統合する前に子どもたちの通学路の安全面が具体的に説明がありません。雨の日も風の日も雪の日真夏の暑い日も大勢の人数が同じ時間に同じ所を通らなければならない踏切もある。危険すぎるのではないか。 少ない人数が多い人数の学校に統合する。これがあたりまえなのではないかと思います。移動距離を全員で考えたらとてつもない距離だと思います。 もし西武中に統合され西武中に通ってる間に大きな地震が起きたら、たくさんの保護者が少ない何本かの橋を渡ってむかえに行くことができない。2次災害が起きてしまう。土砂崩も心配。見に行ったが危険！踏切もあるので、あかずになるのは間違いなく歩道橋でしか向こう側へ行けないあまりにも危険。何かあってからでは遅い！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
374	96 97		野田中学校、西武中学校の統合について、どちらに統合しても遠くなる子供はでてくる。どちらに統合するにしても、スクールバスを運行されるのか。通学路を整備され安全を確保されなければ、保護者は誰も賛成できません。どちらに統合するか決定してから通学方法、通学路の整備をするのではなく、どちらの場合にも必要な事なのだから、何よりも先に決めてください。通学方法、通学路の整備が先です。 野田中学校に統合する場合、スクールバスが何台必要になるか、自転車通学、徒歩の人数に合わせどのくらいの歩道の道幅が必要になるか。 逆に西武中学校に統合する場合にも、スクールバスが何台必要になり、道幅をどのくらい広げる必要があるか、費用がかかる事なのだから、先に検討してください。 野田中学校に通えるから新光に家を購入しました。現在、野田中学校学区内に土地が販売され新築が建てられたりしています。野田中学校が無くなるなら、子育て世代は他の土地を検討すると思います。今、小学生、中学生の子供達も大人になったら中学校も遠いからと他の地域で子育てを考えると思います。西武地区の人口が減ってしまう計画ですすめないで下さい。 3年後、西武中に統合ではなく、3年後、まずは野田中に統合し、将来的に東金子中との統合を考える際や、10年、20年後に西武中の建替え、通学路の整備、土砂災害対策などすべて準備が整ってから西武中学校に移転すればいい。 その方が、3年後西武中に統合では、通学路、安全面の確保、土砂災害対策など万全ではないし、統合されてから校舎の建替では、校庭も狭くなるし、危ないのでそれら全てが回避できる。 せっかく野田中学校の校舎がまだ使えるのだから、使った方がいい。今より飯能のメッツァで人気が出てから転売した方が需要があると思う。野田中より、駅近の西武中を転売する方が高く転売できそうではないでしょうか。 西武中学校の生徒数が少なく、統合を急ぐのは理解しますが、野田中を無くして、西武中に統合すれば将来西武地区の人口は減ってしまいます。仏子にも、野田新光にも学校を！というなら、仏子小学校と西武中学校で小中一貫校にし、まだ人数の多い西武小、野田中は今のままで良いのではないでしょうか。 西武中の生徒が部活が無く、他の学校へ出てしまう為に統合するのであれば、やはり人数の多い、部活動がやれている野田中に統合するべきです。西武中に統合し、一から始めていくのはかわいそう。野田中に統合し、今ある、活動している部活動に参加する方が良いと思う。 何がなんでも西武中に統合しなくてはいけない理由があるならば、3年後の統合はできない。まず、1度野田中に統合し、西武中の建替え、通学路の整備、安全面の確保をしていただき、それから西武中にうつる方がムダなお金がかからないと思う。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
375		中学校の合併について	現在東町中学校の生徒数はとても少なく、特に1,2年生は学年で60人台です。 来年度は全学年2クラスになり、先生の数も減るのではないかと保護者間で話しています。 部活動も少なく、部活の為に越境してしまう子もいます。 東町小学校以外の小学校から本来東町中学校に来るはずの校区内の子どももほとんど越境してしまうと聞いています。 人数が少ないと中学時代で得られる社会性、多人数で学ぶべきことも学べず、色んな人との出会いもありません。 2039年に合併予定とのことですが、もう少し早い時期に豊岡中学校と合併できればよいのではないかと思います。（豊中改築の間東中を利用するなど）	学校の統廃合については、児童･生徒数の減少と施設の老朽化の2つの課題を踏まえて実施時期を計画いたしました。しかし、想定している児童・生徒数の減少が早まったり、他の地区へ通学する生徒が多くなってしまうなど、問題が多くなる場合は、計画を時点修正し、時期を見直しすることも想定しております。
		小学校の合併について	2039年以降に考えられている豊岡小・東町小の合併ですが、その予定ならば、それまでの間に老朽化、劣化している部分を直して頂ければと思います。東町小学校のトイレはどの子どもたちに聞いても、においてひどいです。（親も入らないほどです。）合併による改築予定の為に、現在必要な事が先延ばしにならない配慮をお願いします。	校舎を建て替えるまでの間は、必要な修繕等は行っていきたいと考えております。 トイレの改修については、現段階で全ての学校を一斉に行うことはできませんが、少しでも早く改善できるよう工夫しながら対応したいと考えておりますのでご理解ください。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
376			年明けに統合計画が野田中に統合する事から西武中に統合する事に変更したと知らされました。晴天の霹靂です。2回の説明会があっただけで3月には決定。決定間際に変更してそのまま通そうとするなんてひどすぎます。我が家は8区の奥の方の家で、西武中へは一番遠い人達の中に入ります。こんな進め方納得できません。もっともっと時間を掛けて安全面の確保など、明確な安心が必要です。 西武中に統合決定する前に、通う子達の為に安全確保の案を決定してからにして下さい。3月決定はあまりにも多くの人の気持ちを無視したものだと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
377	96 97		学校がとおくて、さらにせいぶ中学校になると中学校までとおくなっちゃう。こまる。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
378			現段階では、どちらとも言えません。 新たな学校用地とありますが、候補地はどこですか。 狭山小に統合になった場合、遠方に住む児童への登下校のケアは（特に夏季）考えていただいているのか説明していただきたいです。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
379			反対 小学校がなくなると、将来的に若い世帯が宮寺に戻って来なくなるから。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。
380			条件付きで賛成 ①新たな学校用地取得案ですと、狭山小及び宮寺小共に公平性があり、且つ今後の双方の校舎等の経年劣化（老朽化）も考慮すると、安全性も良いと思われる。 ②他の案、用地取得不可の場合によるリスク（狭山小に統合） 1）通学の距離が長く、子供達の身体への負担が大きい（ランドセルに教科書を詰めた状態で、低学年の子供達が歩く距離ではない！） （私たちが子供の頃と比べランドセルの重量が重い） 2）通学の距離が長く安全性に欠ける。（昨今、子供を狙った犯罪が増加傾向にある中で、宮寺地区のような少人数の通学班では長距離通学は危険を伴う。） ③②の1）、2）に述べたリスク回避の対策 スクールバスでの通学。 上記を考慮していただき議決していただきたいと願います。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
381			条件付きで賛成 子供も少なくなってきているので統合は仕方ないと思いますが、日曜日、狭山小まで歩いてみて遠い子で1時間はかかるので狭山小まで通うのは反対です。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
382		入間市の現在の諸問題を一挙に解決する妙薬はない。急がなければならないが、行政のご苦労に心から御礼を申し上げます。	2月に行なわれた西武地区の意見交換会の感想。西武地域の方々は、行政の資料を良く読み込まれており、地域の現状・環境や、何によりも子供たちの「命と安全と教育の未来」について不安視ている。「タッちゃん（市長）、銅像を建てるから学校無くさないで」など本当に切実な意見には感動した。 また小学生（2名）も発言があり、他域区とは違う熱気が感じられた。発言の中には文句だけでなく、アイデア提案あり。2/22日ケーブルTVを見た行政の仕事は誠に大変だと思います。私は入間市在住10年。切実な状況を考えず、未来を創造する。中橋通りを歩行者専用道とす。車道は新バイパス又は、放水橋を利用する。中橋通りを拡副するにはコストが大きい。野田と仏子は入間川（約4km）を境界に南北問題のように話す人達がいる（行政のせい？）同じ入間市民、融和を育むべきだ。こうした問題提起がなされている今はチャンスだ。市役所・市民会館・地域統合は個別の問題ではなく、まさに入間市の将来の街づくりと認識すべきと考えます。西武電鉄もトヨタも100年の計と言っている。入間市もそうしたビジョンを持って、まず入間市のインフラも考えてほしい。3月末に総ての計画を決定するこは、早計と考えます。	ご意見は、今後公共施設マネジメントを進める上で参考にさせていただきます。 ※「放水橋」を「新豊水橋」と解釈しました。
383			二本木保育所跡地利用について 二本木地区には、公園がありません。そこで、跡地を公園として利用したらどうでしょうか。親子で遊ぶことができますし、孫と一緒に遊ぶこともできます。何もかも、統合、廃止はいかがなものでしょうか。何年か様子を見てからでも、良いのではないでしょうか。宜しくお願いします。	公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
384	64	学校給食センター	老朽化は認める。各小学校の給食室も老朽化し、衛生面の悪い学校もある為、そちらを先に改修すべき。又、中学生になり、センター食になると、味が落ちることも有り、残飯が多くなる。又、災害時、道が通れなくなる可能性もあり、車による各地域への配給は困難になる事も考えられる。またそれだけの人員を災害時、センターに集められるか分からない。今まで多くの食数をこなしてきた小学校が、人口減少により少なく作っている事から、各小学校の自校式を採り、又、入間市が自慢してきた、安心、安全、手づくり」を続けるのに、民間導入はふさわしくない。小中一貫が成されなくても、中学校へは、近くの小学校から配ぶ等がよいと考える。非常時に市民を守る意味でも食育の面からも、もっと給食事業の方向性を問うべきである。	小学校については、自校方式（直営方式）を維持する考えです。 中学校に給食を提供している学校給食センターについては、老朽化による建替えを予定していますが、建替えの際は、これまでの直営方式に加え、施設の建設や運営について民間活力を活用する方法についても検討します。両者を比較してメリットがある場合は、民間活力の導入も考えられます。 小学校で中学校の給食を調理する（親子方式）については、施設整備が伴うため、現段階では難しいものと考えています。
	66	防災センター1.	機能及び防災倉庫としての機能は、地区センターの防災拠点機能強化の視点で見直し移転とあるが、地区センターの統合の有り方自体反対なのです。先ず、そんなに公民館の数を減らされたら、災害時、必要な情報も配給食も各自治会の代表であっても取りに又は伝えに行かれません。地区センターの有り方を、もっとしっかりしてから防災センターは移転、転用すべきで、第1期で計画しているのは早すぎである。又、P74には防災倉庫は他の施設への移転を検討となっており、地区センターにとは載っていない、P66と方針が異なっている。	地区センターの防災拠点機能と防災センターの機能移転は別の問題と考えております。地区センターについては現在の13施設から9施設となり、数が減る計画です。しかしながら、これまでの防災拠点としての機能はさらに充実させていきたいと考えております。 一方防災センターについては、現在は豊岡第二地区に一箇所しかなく、防災倉庫もそこに配置されています。そのため、今後はその防災倉庫を空いた公共施設数カ所に分散させることで、地域の防災体制を強化したい考えです。 したがって、本計画は防災機能の弱体化につながるものではなく、強化につながるものと考えております。
	78	第4期	武道館、弓道場の建替を検討となっているのにP59では改修工事とだけ載っており、建替の文字がどこにもない。第4期だったら載せなくてもよいと思っているのか？	P59の2. 再整備・再配置の取組方向において、「第4期に公共施設跡地への移転新設を検討」と記載するとともに、P76の表およびP78に検討の方向性をお示ししております。
	49	青少年活動センター	加治丘陵で故一、子どもが安心して思いっきり遊べる場所であるので、改修しながら使える方向で考えてほしい。子ども食堂や子ども、障害者等、様々な人が周囲を気にせず、自然とふれ合える場所は桜山天望台ではない良さがある。体育館も同様である。県からせっかく譲り受けた土地なので、市民が使えないのなら、DV被害者と子どものシェルターにする等にして、県・国からその為の運営費や土地の貸地代をもらうようにするといい。何でも民間にしても、景気が悪いのに、無理がある。	青少年活動センターについては、建物が建設から60年経過する時点で、取り壊しを検討していますが、土地（場所）については、立地特性を活かした活動ができるよう活用策を検討します。 一方、野外活動のための設備については、自然が豊かな場所に立地している利点を活かし、民間活力の導入を検討します。なお、これまで施設が担ってきた青少年育成のための事業は、他の公共施設で」提供することを検討します。
	56	12　市役所（本庁舎）	市役所は、市民の為というのは立て前で、様は市職員の職場である。市民説明会でも建替えの方が結局安い！という説明のみで、耐震補強工事と改修工事をすると建替えよりどの位高いという説明は無し、建替ありきの推め方でした。市役所を立派な所にして喜ぶ職員、議員。別に市民には大して関係のない事。賛成は、市民アンケート158名中1位であるもののたった26%です。全市民に選挙でもう一度問うた方がよいと思います。	市役所については、市民意見を踏まえ、短期的（建設費）かつ長期的（建設費および維持管理費）に負担が少ない方法を検討し、その結果、規模を縮減して建替える方法としました。
	60	老人福祉センター	これは通える一部の高齢者が憩い、風呂を入る目的が多い。やまゆり荘専用のバスが市内を巡り、ティーロードも出ているが、利用している人も、これまた一部の高齢者、各公民館を減らさなければ、そこで憩える。風呂はついていない家庭はほぼない。この運営費から市内2か所の民間の大衆浴場の利用券を補助した方が民間も潤い、予算も安くすむ。改修は不要である。	老人福祉センターは、無料または低額な料金で地域の高齢者に対して、各種の相談に応じます。また、健康増進、教養の向上、レクリエーションを提供する施設です。当該施設は、法令に基づき風呂（浴場）を備える唯一の施設であり、当面維持する予定です。ただし、今後、社会情勢の変化により市民ニーズが変化した場合は、施設の役割（サービス提供のあり方、機能など）について見直す考えです。
	表紙	「閲覧用」	閲覧用として、各所に設置していたものを2/16（土）の西武公民館の説明会で市民に配っていた。これだけの内容の物を閲覧位の短さで把握できない。又、その様に一部の市民に広報もせず配布するのは不平等である。希望者全員に配るべきである。	この計画案は市公式ホームページからどなたでも取り出していただけるように公開をしていました。ただし、説明会では一部の方からご自宅で読みたいという申し出があったことから、持参した閲覧分についてはお渡しをいたしました。
	31	4　再整備・再配置計画	地区センターの統合や移転新設は反対である。入間市ほど公民館の稼働率が良いのは他にも珍しく、自慢すべき点である。総合して規模を例え大きくしても、高齢者が通いずらくなり、せっかく地域に根付いていたカルチャー教室等を壊すことになる。又、高齢者、子どもが避難所等の防災施設として絶対必要であることから、改修しながら維持すべき。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。利用が充実している施設もありますが、一方では今後のニーズに合っていない施設や機能も出てきているものと考えております。そのために、全体の再編成を計画いたしました。
	34 35 37	（1）小学校 （2）中学校 3学童保育室	統合反対、今の子どもが遠くなることで、不登行や疲れを招く。また、第一に言いたいのはP34-3安全を最優先が全く納得できない。統合するなら、いじめ、不登行、中1ギャップ等を減らす為にも小中一貫校をもっと上辺だけのものでなく、しっかり取り組むべき。小規模校が悪い訳ではない。部活のみ学校交流などの工夫がまだ残っている。15万人都市で避難所等になりえる施設は今でも充分ではないので、学校施設は他の施設に転用しつつ残す方向でありたい。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 学校施設の跡地活用については、今後適切な適切な活用が図れるよう検討してまいります。
	40	5.保育所	親の負担を考えるべき。家又は職場に近い所が理想である。統合により、時間ロスが出きるのは家庭生活上、良くない。又、人口減少を防ぐ為にも保育所は待機児童を出さない。兄弟姉妹を別々の保育所に入所させない事は当然である。	民間とのバランスも考慮して6地区に1ヶ所ずつに再編し、一方でニーズに合ったサービスを提供できるよう機能向上を図るという計画を立てました。なお、整備を進める上では待機児童を出さないことは前提として考えております。
	81と49	青少年活動センター	P49に廃止として、P81では民間活力の導入として記してある。民間にしたら、隣の飯能のメッツァビレッジの様な営業も可能になってしまい、本来の山の中で青少年が活動できる場でなくなってしまうかも知れない。廃止も民間導入も反対です。	青少年活動センターについては、建物が建設から60年経過する時点で、取り壊しを検討していますが、土地（場所）については、立地特性を活かした活動ができるよう活用策を検討します。 一方、野外活動のための設備については、自然が豊かな場所に立地している利点を活かし、民間活力の導入を検討します。なお、これまで施設が担ってきた青少年育成のための事業は、他の公共施設で提供することを検討します。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
384	全編	市民意見への対応	いいかげんな答が多すぎる。今後検討でなく、今検討しなくてはならない事が多くあり、市民が納得いく答えではない。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設の整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。
385	96,97		野田中と西武中を統合し、西武中を活用するという案については賛成できません。 ・2/8の説明会において、「両校の立地面の比較」についての書類が出されました。 土砂警戒区域が近く、敷地内に川が流れている西武中、これといった危険性が考えられない野田中、子供の安全を最優先に考えれば、危険性の低い野田中を活用するのが当然と思います。 ・通学路について 仮に西武中に統合になった場合、多くの野田中生が中橋を渡って通学します。朝の通学時間帯、西武小の保護者は毎朝交代で交通指導をしています。小学生であふれる交差点、駅に向かう高校生の自転車、通勤を急ぐ大人達の車、大変危険な状況です。そこに、中学生の自転車通学（中学生の荷物の多さ、ご存じですが？あの重い荷物を前カゴに入れての走行は非常に危険です）が加わるとなると更に危険です。まず、朝の通学路を視察なさって下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
386	96,97		2/8の説明会で配られた資料です。（表が添付） 西武中、野田中の立地面を比較しても、土砂災害、水害の危険性が西武中が高いことは明らかであり、立地の安全性、校舎の経過年数、生徒の人数、どの側面から見ても、野田中を活用することが子供達の安全を最優先に考えることにつながると思います。 野田・新光地区にはまだ土地が多くあり、子育て世帯の転入は仏子地区より多く見込めます。「西武中に統合ありき」ではなく、子供達の安全重視の、公平な検討をお願い致します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
387			仏子ニュータウンに住んでいます。西武中に通学するとなると、45分かけてになります。（それ以上だと思いますが少なく見つもって）自転車ではなく、バス通学を可にして下さい。この45分は子供の塾通いなどにとても影響します。自転車通学は、申し訳ありませんが、あんな危険でせまい道を運転させたくありません。事故をおこして（被害者として、また加害者として）しまってからでは遅いからです。→約400人があのせまい道を同じ時間帯に歩かせるのは危険だと思います。（バス通り） また、野田中を売却するより西武中の方が駅が近くて高く売れるでしょう。土しゃ災害のおきそうな西武中になぜ通わせるのでしょうか・・・。川をまたいでではなく、川から遠いところの方が安全だと思います。また、2/28しめ切りで3月中旬には方向性決めるって・・・少し納得できません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
388	50		説明の期間が短すぎると思う。どうしたらいいのか考える時間がない。誰が考えても、野田中が廃止になる理由が理解できないし、具体的な説明になっていないのでは話にならない。 現5年生の子どもがいるが、中学3年から学校を変わることになり、ゆるせない。 現5、4年生は、始めから西武中に入学してもよいことにしてもらうことも考えてほしい。 現西武小5年は、40名級でずっと大変だったのに、また、その子たちが大変な思いをするのは、おかしい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
389		計画の内容 通達について	・うわさ程度で、統合の話は聞いていましたが、本格的に計画が進めば、早い段階で関係保護者に通達があると思っていたが、それがなく、市に対して不満があります。 ・聞いた話では、中学校は野田中を残す計画だったにも関わらず、突然西武中に変更。そんな簡単に変更となれば不満や不信感が出るのはあたり前。そんな計画は無理して進めるべきではないと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		計画内容への不満	・小学校での説明会で更に不信感を抱きました。1つ目は、子ども達の安全面。どのような通学方法になるのか。安全面はどうなのか。それは、これから考えるとの事。話しになりません。 2つ目は、計画内容の矛盾点。小学校に関しては、通学距離を考えると、西武小が妥当だと思いますが、中学に関しては矛盾しかないと思います。何故、西武中に突然変更になったのか納得できません。 3つ目は、通学距離をどうとらえているのか。現在、家から西武小まで、片道2.5kmあります。その距離がどれだけの道のりか、市も学校も理解していないと思います。これで、西武中に変更となれば、さらに遠くなり、片道3.5km以上になる。西武中→野田中になるとしても、遠くなる子どもはいると思います。 この計画自体の期間をのばし、意見を聞き進めるべきだと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
390			野田地区は野田中、仏子は西武中でいいんじゃないですか。市長は「部活問題（西武中の）を早急に解決」と言っていましたが、それって部活の種類が少ないってことですか？ 西武中の中の少ない選択肢の中から生徒は選んで入部し活き活きと活動しています。又、選べない場合、野田中や黒須中へ行くことも認めていただけているので、そのことでは困っていないと思います。 むしろ、野田中や黒須中へ通うための通学手段、について解決策が必要。今、困っている人のために、たとえばティワゴンを通勤時間に走らせるとか。それは、早急におこなってほしい。仏子から野田中は遠いです。その逆も同じ。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		西武中と野田中の統合について反対します。	西武中の近くを見たことありますか？合併した際、駐輪場の整備をすると言っていましたが、そんなのん気な事言ってる場合じゃないです。踏み切りや坂道（歩道のない）など道路の整備が必要ですよー。それは合併前に。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		西武小と仏子小の合併について	小学校が、川の北側になくなれば、おそらく子育て世代は野田方面に居住地を決めるのでは。仏子に新しい人、若い世代が住まなくなるのではないでしょうか。増々高齢化すると思います。 西武小にはお囃子クラブがあり、 野田清和会の方が教えていると聞いています。仏子のお囃子とは歴史的流れが違います。仏子に住む子が西武小へ通うと、仏子のお囃子の伝統を継承することが難かしくなりますよ。 西武小と仏子小の統合について、もう少し考えていただきたい。	小学校が地域の文化活動の拠点としての役割を担っていることは理解していますが、今後の教育環境の充実を考えると、児童数が減少した場合は統合が必要になるものと考えております。
391		野田中学校・西武中学校の合併について	・野田中学校・西武小学校に子供を通わせています。 私の勉強不足だったのかもしれませんが、情報が耳に届くのがとても遅かったです。当事者である子供達、その保護者にはもっと早く、詳しく情報発信してほしいです。つい1月頃から、急に情報が入るようになり“統合する、3年後だ”ではあまりにも強引ではないでしょうか。説明会に2度参加させて頂きましたが、聞けば聞くほど、どうして慌てて3年後にする必要があるのか疑問が残るばかりです。子供が少なくなっているのは分かりますので、統合自体には反対ではありません。ただ、子供達の安全そっちの気で、話が進んでいる様に感じるのです。 どうして野田中学校ではダメなのでしょうか？どうして西武中学校を建て替えてからの統合ではダメなのでしょうか？わざわざ子供の人数を増やしてから建て替えなのでしょうか？ 人数を増やしてから建て替えなのでしょうか？ 通学路の整備は必要ではありませんか？スクールバスを出す話があるとも聞きますが、ずっと続きますか？財政難だと言って急にやめませんか？ 西武中学校にお子さんを通わせている保護者の方がおっしゃってました。「今の西武中学校に野田中の子達が来るのは怖いです。階段は狭いし、急だし・・・危ないと思います。」この言葉を聞いても3年後には我が子を西武中学校に通わせないといけませんか？ もう少し時間をかければ、改善できる事があると思います！！ ぜひ色々と考え直してほしいと願います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
392	46	産業文化センターおよび事業計画全体的なこと	昨年より個人で、産業文化センターにて古文書教室を月2 回開講しています。使い勝手もよく、受講生は市内、近隣市はもとより、行田市や千葉県からもご通学いただいています。場所がなければ何も始まらず、これも当センターあってのことで感謝しています。 さて、公民館サークルではなく、受講生20 人前後のカルチャースクールを市内で定期的にお部屋を借りて開講する場合、当センター3F小研修室しか今のところ選択肢がありません。 予約番号NO.1 であっても市に先を押さえられてしまったこともあり、空室に余裕がない状況です。もう少し市内に商業利用可能な貸スペースがあれば助かります。 私のような活動をしていると、都内でやればとよく言われます。然しながら私は、入間市で文化活動ないし教室を続け、生活の基盤としたいと思っています。 上記ご検討のほど何卒宜しくお願いいたします。	各施設の使用者制限については、今後のニーズを把握した上で、見直しを検討しています。ただし、商業利用については、一定の制限を設けさせていただかざるを得ないと考えています。
393	96 97		多くの人が不満に思っているのは、納得のいく説明が無いからである。 頭ごなしに西武中になることに、否定的なわけではない。 狭く危険な道、踏切を、あの朝の忙しい時間帯に通わせるのは、納得がいかない。 遠い生徒たちは自転車通学になるか、、などの質問も、実際に決まってから協議するなどと言っているが、そんなことも決まってないのに、この原案に賛成できるはずもない。 校舎も古く、立地も良くない所に、わざわざ人数の多い野田中の生徒が行く必要性を、説明会での説明では一切感じない。 噂程度だが、野田中はすでに、どこか売却先が決まっている？ 結局のところ、そういう裏の事情が絡んでいるのではないか。 権力、発言力、財力のある、仏子の地域に住む昔からの市民の声にのみ、市は耳を傾けているのではないか。 力のある議員の裏の力が働いてるのではないか。 説明できない裏の力によって、市が動いているように見えて仕方ない。 大事な我が子、大事な地域の子どもたちをあんな危険な場所に通わせるのは、納得がいかない。 通わせるなら、歴史的背景などという事を言ってないで、交通面や、校舎の耐久性など、もっと 現実的な事を整えてからにしてほしい。 ただただ急いでいるようにしか見えない。 今の5年生、4年生が、最初どっちの学校に通うかもわからない状況で、誰が納得するというのか。 先日の説明会では、現に西武中に通わせてる保護者でさえ、なんで西武中になるのか、疑問の声があがっていた。 もう一度言うが、頭ごなしに嫌だと言っているわけではない。 西武中になるなら、きちんと環境を整え、市民の納得を得てからにしていただきたい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
394			西武中学校への統合に反対 （理由）通学時の『中橋北交差点』付近の安全が確保できない為 野田中学校に通う生徒が西武中学校へ通学する場合、『中橋北交差点』を通過しなければならない。中橋北交差点は西武小学校へ通う児童も集中し、児童及び生徒の安全を確保できない。 入間市総務部が平成31年2月に作成した「公共施設マネージメント事業計画（原案）」41ページ「学級数・生徒数推移」によると、1993年から2018年までの生徒減少率は25年間で27%、年平均1．08%の減少とある。2018年の野田中の生徒数を358名、西武小生徒数726人（入間市ホームページより）として5年後の生徒数を推測すると西武小・野田中合計で約1025名となる。 西武中学校へ統合した場合、『中橋北交差点』に短時間で1000人近い生徒が集中する事になる。今日現在でも西武小学校通学路の中で最も危険な場所が、通行者の増加により危険が更に増す。 これに対し西武中学校に通う生徒が野田中学校に通学する場合、中橋を渡った直後の交差点を西武小学校方面へ曲がり、『中橋北交差点』を通過しない。このため『中橋北交差点』のリスクは増加しない。 以上のように通学路に明らかな問題があるため西武中学校への統合に反対する。 もし、西武中学校への統合を計画するならば通学路の安全を確保した上で議論するべきである。安全の確保を後回しにして計画を推し進め、実際に通学する児童及び生徒の命を危険に晒すような事があってはならない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
395	96	第4章 西武地区 2. 施設の再整備・再配置に対する考え方・方向性 第1期(2019～2028 年)	「中学校は、生徒数の減少の状況を踏まえ、西武中学校と野田中学校の統合を行います。統合にあたっては、歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性を考慮し、西武中学校を活用します。」 上記の考え方が示されているが、野田中学校を西武中学校へ統合した場合、特に登校時間での交通集中が発生すると容易に想定できる。現地調査、シミュレーションは実施しているのでしょうか。 現在でも、西武小学校へ登校する生徒と、仏子駅へ向かう社会人や高校生・大学生の歩行者・自転車利用者、および新光工業地域に向かう歩行者・自転車利用者で多くの交通がある。 特定の部活動を希望する生徒は、西武中学校の学区から野田中学校へ登校しているが、西武小学校に登校するルートとは競合しない。 野田中学校の学区から西武中学校へ登校する場合、上記記載の交通と競合するため、地域の交通に影響を与え、道路幅も狭い状況下で安全に登校できる環境が構築できるとは到底考えられない。 以上より、計画どおり統合するのであれば、野田中学校の場所を統合先とすることが妥当であると考える。 「中学校は、生徒数の減少の状況を踏まえ、西武中学校と野田中学校の統合を行います。統合にあたっては、歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性を考慮し、西武中学校を活用します。」 上記の考え方が示されているが、西武中学校の施設の老朽化が考慮されていないと考える。市民である生徒の安全を考えると、第1期では野田中学校の施設を活用し、第2期以降に西武中学校を建て替え、建て替え後に野田中学校の機能を西武中学校へ移設することも可能であると考える。 工事作業中の生徒の安全や、老朽化の著しい状況下での生徒が学習・生活する危険性も排除することができる。 歴史的な背景が具体的な根拠や残していきたい内容が不明確でもあるが、名前や歴史を優先したいのであれば、野田中学校の校舎で西武中学校として運営すればよい。 生徒の安全な学習環境を確保することが第一であり、老朽化した西武中学校の施設で第2期の建て替え完了まで利用する計画は、直ちに計画見直しを要望する。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
396	96 97	西武地区	西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 生徒数の多い野田中学校が廃止で西武中を残す明確な理由が原案や説明会に出席してもわからない。 中橋は広くなったが、野田方面、仏子方面共に橋以外の歩道が狭く朝の通勤時間と重なる交通集中の中、300人以上の生徒が通学することは危険だということが容易に想像がつく。説明会の時に市の方は新光から西武中まで徒歩や車で通ったことがあるのかと質問があったが、市の方々は誰も手を挙げなかった。現場も確認せずに計画を立てるのは子供の命を軽視しすぎである。事故があってからでは遅いのだ。 野田中学校はあと30年使用できるのだから野田中を使用し、通学路の安全確保を確実に行い30年後に西武中跡地なりに建て直せばいい。スクールバスを使用するにしても生徒数の少ない西武中の子供を野田中に送迎したほうがバスの台数やガソリン代を考えても安く済む。3年後の合併は通学路の安全なくしては考えられない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
397			市役所では平成26年度より市役所等の耐震化に向けて整備方法等を長期間にわたり検討を続けられ、住民説明会、ワークショップ等もかなり丁寧に真摯に進められてきたことに先ず敬意を表したいと思います。 私も当初より本計画について関心をもってきましたので、今回の事業計画（原案）について率直な意見を下記の通り申し述べます。 1. 事業計画の基本的な考え方について 当初は市役所等の耐震化の必要性から検討を始められましたが、その後公共施設の老朽化、更に人口減少、少子化・高齢化等社会環境の変化、市民ニーズの変化等を踏まえ、30年後を見据えた公共施設全体の見直しとして公共施設マネジメントの考え方が導入されてきました。 計画期間を30年間とし、10年ごとに社会情勢等の変化を踏まえて見直す前提ではありますが、特に下記の点については環境変化に柔軟に対応できるよう、タイムリーな見直しが必要と思います。 （1） 情報化の急速な進展 ご承知の通りAI（人工知能）、ロボット、ITなど情報通信技術の開発、発展は目覚ましいものがあり、10年後を予測することは困難な状況にあります。 最新の情報化投資に関するレポート（経済産業研究所・日本生産性本部　上席研究員岩本晃一氏）によると、日本ではようやく職場にAIを導入し、定型的な仕事であるルーティン業務を機械化しようとする動きが始まり、典型的な例が人間が行ってきた事務作業の一部をロボット技術で自動化するRPA（ロボテックプロセスオートメーション）だとしています。 アメリカでは既に1980年代からルーティン業務の雇用が減少しており、日本でもようやく金融機関を中心にRPA導入が急拡大しています。 RPA業界では、これからの最大市場は金融業界と地方自治体とされています。 地方自治体の中では、既につくば市がRPAの実証実験の結果を公表しており、それによると市民税課や市民窓口課の電子申告書の印刷や異動届受理通知などの業務をロボットで代用することで基幹系業務の8割が代替でき、人員も65%不要になったとしています。 予測によると2025年には少なくともルーティン業務は7%程度減り、業務を担う非正規雇用の約140万人（控えめ予測）が失職することが見込まれています。 入間市でも情報化投資も含め、職員の採用等も大きく変化する可能性があり、市役所職員等の適正規模についても随時検討見直しする必要があると思います。	現在、市役所はA・B・C棟で構成されており、今回再整備の対象としているのはA・B棟です。新庁舎については、現行の職員数を踏まえて、現在の規模（床面積）より縮小して建替える予定です。また、C棟については、30年後に耐用年数を迎えるため、このC棟の再整備の際に規模を調整したいと考えています。 なお、職員数については、ご指摘の通り将来削減できる可能性はありますが、行政の役割の変化についても充分検討する必要があります。検討に際しては、平常時のみならず、非常（災害）時も想定して検討する必要があると考えています。
			（2） ハコモノとしてのハード面よりソフト面の重視 事業計画では公共施設マネジメント課の性格からハコモノとしての施設をハード面中心に検討を進めてきていますが、市民の立場からはハード面よりも施設の持つ機能（ソフト面）が大切だと思います。 今後計画を具体化する段階で、その施設にどのような機能が必要か、市民サービスの向上、利便性にどのように役立つのか、の視点を忘れずに公共施設を見直し、検討していただきたいと思います。 特にまちづくり、地域づくりの視点からどのような機能が必要か、またその機能をどのように発揮できるソフトとしての仕組みをつくるか、十分に検討いただきたいと思います。	市としても公共施設マネジメントを推進するためには、これからの社会情勢や市民ニーズの変化を見据えた各施設のサービスと機能の見直しを検討することが重要であり、それを踏まえて施設の整備を進めるべきだと考えております。ただし、全体の方向性としては施設の縮減を前提に進めていかざるを得ないと考えております。
			（3） 財政見通しと財政検証の継続 公共施設マネジメントに関する現時点での財政見通しについては事業計画に記載されており、大きな問題はないように思われます。しかし30年計画の事業費試算では現在の一般会計予算（約400億）、税収（約210億）と比してパターン3（市役所建替え、市民会館耐震改修案）だけを見ても建設費で約75億円、30年間の維持管理費を加えた総コストで、約177億円と膨大な設備投資計画となっております。先ずコストの削減を第一に慎重に検討する必要があります。 また第1期事業計画（2019～2028年度）10年間の財政見通しは既に検証を行い、適正な財政運営のもとに推進できる見込みを示しています。 市民としては信頼する以外に方法はありませんが、財政見通しは市民生活に直結する問題であり、少なくとも毎年検証を継続する必要がありますし、市民の安心を得るためにも分かりやすい説明と公表をお願いいたします。	市全体の財政見通しについては、この事業計画も踏まえて、今後の中期財政計画や実施計画等で明らかにさせていただきます。
			（4）「圏域」でのまちづくりの促進 昨年7月に新聞報道がありましたが、政府は公共施設、病院、商業施設などを複数の自治体で構成する「圏域」単位のまちづくりを促進するための法整備をすすめています。 入間市でも既に近隣自治体と連携した協議体はスタートしていますが、将来の人口減少や税収の減少を考えると、公共施設などは基本的に単独で建設・維持管理するよりも共同化した方が効率化できると思います。 総務省の有識者研究会「自治体戦略2040構想研究会」第2次報告にもある通り行政効率化のためには【スマート自治体への転換】が必要であり、実現には時間を要することから、一定の方向性を持って早期に近隣自治体との協議を具体的に開始する必要があります。	公共施設の一部を近隣自治体と広域連携（共同設置、共同管理、共同運営等）することは今後の選択肢の1つと考えています。 既に、斎場やし尿処理施設などは一部事務組合により運営されていますが、同様に、広域対応施設（市内全域を対象にする施設）は、今後共同設置の対象となりうるものであることから、建替えなどの時期を機に近隣自治体と協議したいと考えています。
			（5）入間市議会との連携 今回の公共施設マネジメントに関する諸問題については、市議会では「公共施設最適化検討特別委員会」を設置し調査研究を行い、中間報告を実施、会派では要望書をとりまとめ市長に提出いただいております。 公共施設マネジメントは30年にわたる長期の事業計画であり、今後も環境変化等の要因により見直しが必要となります。 できる限り市民意見は尊重していただく必要はありますが、このような市政に大きな影響を及ぼす事業は、計画の変更等スピーディな判断を必要とする場合もあり、今後とも市議会との連携協議が進められるよう常設の委員会等の設置も検討いただきたいと思います。	各施設整備の際には、市議会へ報告しご意見を伺った上で進めていきたいと考えています。常設の委員会の設置については、今後の参考にさせていただきます。
			2. 入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）について （1）地区センター 現在の13公民館施設を活用して再編成し、9地区に「地区センター」を設置する事業計画となっています。 地区センターには従来の公民館機能のほか福祉相談窓口、地域包括支援センターなど6つの機能を備えた複合施設、地域コミュニティの拠点施設として活用でき、地区住民にとってもサービスの向上につながるものと大きな期待を持っています。 計画にもある通り、問題は複合的な機能を持つ施設として効果的、効率的な運営がなされ、相互に連携して十分に機能が発揮されなければ単なる寄り合い世帯と変わりありません。 行政が関与して地区の特性を活かした機能が十分に発揮されるよう運営協議会を設置するなど運営の主体と責任を明確にした運営の創意工夫が必要となります。 地域支え合い組織については「ささえあい東藤沢」の経験からも、事務局体制、機能（利用者と担い手とのコーディネート機能）等の組織運営を強化する必要があり、地区センター内に事務局を設置することが望ましいと思います。 また統合により廃止される公民館については、地域住民の意見を十分に尊重して地域コミュニティが損なわれないように、またサービスや利便性が減少しないように配慮する必要があります。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。 具体化をする中では、行政が関与して地区特性を活かした機能が充分に発揮されるよう運営協議会を設置するなど主体と責任を明確にした運営の創意工夫も必要になるものと考えております。ご意見は、参考にさせていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
397			(2)健康福祉センター 事業計画では、第3期で改修工事を実施し、現状維持となっています。 当センターは平成15年4月、建設事業費約34億円を投じた施設であり、当時の市の予算規模から考えると、かなり思い切った設備投資だったと思います。 市民の健康づくりを担う保健、医療、福祉の一体型の施設として一定の役割は果たしてきたと思います。 しかし入間市も高齢化、少子化は急速に進んでおり、この大型施設を今後どのように活用するか、また人生100年時代を迎えた市民の健康づくりを真剣に考え、取り組む時期が到来していると思われます。 健康づくりは本人の自覚が基本ではありますが、行政としては今後の医療費、介護費用の増大が及ぼす財政への影響を考慮すると、行政と市民が一体となって本格的に健康づくりに取り組む必要があり、その拠点施設となるのが当センターだと思っています。 そのような位置づけから当センターの機能を再検討する必要があります。 平成31年度から「第3次健康いるま21計画」がスタートしますが、最大の課題は「健康寿命の延伸」と「生活習慣病の予防」です。 先般東京都福祉保健局主催の東京ホームタウンプロジェクト「東京ホームタウン大学」研修を受講しましたが、基調講演で東京大学高齢社会研究機構の飯島勝矢教授が「人と人とのつながりが元気なまちをつくる～最新フレイル予防の観点から見る地域活動の意義」をテーマに話をされました。 日本老年学会がフレイル予防を提唱するもので、フレイルとは高齢になって筋力や活力が衰えた段階を「虚弱」とし、健康と介護の中間の時期で自分次第で様々な機能を取り戻すことができ、身体的、心理的、社会的な多面的な側面があると言われています。具体的には「フレイル予防を通した健康長寿のまちづくり」を目指しフレイルチェック事業の全国展開を進めています。 健康長寿（フレイル対策）のための「3つの柱」として、「栄養」「身体活動」 「社会参加」を掲げ、フレイル予防には「人と人とのつながり」が重要との指摘がありました。 介護予防から一歩進めてフレイル予防に取り組む必要性を強く感じました。 入間市では健康福祉センター（地域保健課）が中心となって10年以上も前から健康づくりネットワークの構築を目指して取組を進めてきており、現在では市内の6地区全てに健康づくりボランティア団体が組織され活動をしております。 当センターをこのような観点から入間市における健康づくりの拠点施設のとして活性化することにより社会保障費（医療費、介護費等）の縮減につなげることができると思います。	ご意見は今後施設整備を行う際の参考とさせていただくとともに、これからの健康福祉センターの役割、地区センターの機能を検討する際にも参考にさせていただきたいと考えています。 施設の長寿命化を図り、高齢化、少子化等の社会情勢を見据えた保健・医療・福祉サービスを安定的に提供していきます。
			(3)老人憩いの家 事業計画では、当面現状維持とし、活用されなくなった場合は老人クラブの意向を踏まえて地元自治会への譲渡を検討し、自治会に活用意向がない場合は廃止する、としています。 この施設は、市内全地区に49カ所あり、現状では実質的に地区の老人クラブが運営管理しており、他団体等の利用が難しい状況にあります。確かに地域の高齢化も進み高齢者の居場所として一定の機能は果たしていますが、市内に多数ある施設を現状で固定するのは、もったいなく活用方法を積極的に検討する時期に来ていると思います。 今後を考えると老人クラブの既得権をいったん切り離し、地域の資源として、地域の居場所として高齢者、障害者、子どもなど共生社会を実現するためにも開放し活用すべきではないかと思います。 一部の憩いの家では、既に民間団体等と協力し、健康体操、茶話会等を開催し介護予防にも積極的に取り組んでいます。 入間市としても介護費用、医療費用等の社会保障費を削減するためにも、人生100年時代に向けた市民の健康づくりに注力する必要があり、地域の拠点としても活用できます。 施設はNPO、社会福祉法人、地域民間団体等に管理運営を委託し、地区センターとも連携し、活用方法等については地域住民も参加し、検討する場をつくるなど再検討いただくことを要望いたします.	それぞれの老人憩いの家については、活用状況を踏まえて、今後の運営や整備の方向性を調整していきたいと考えております。 また、今後のニーズや地域の要望などを踏まえて、老人憩いの家の利用方法等を検討していきたいと考えます。
398			第1章の目的は、機能や・役割、効率性ばかりが書かれており、20年先、30年先を見込んだ、急激に変わろうとする社会に対応するような、壮大なビジョンが欠如している。例えば、公共施設建て替えに当たっては、すべての市民がお互いの人権や尊厳を大切にし、支えあい、誰もが生き生きとした市民生活を享受することができるような共生社会を実現する場を目指しているというようなこと。 市役所の再整備・再配置（56頁）だけがバリアフリー化、ユニバーサルデザインを用いて誰でも使いやすい施設を目指しますと書かれているが、市民が利用する一番身近な他の施設、市民会館等には、そのことが一言も触れていないことが気になる。 市役所、市民会館等個々の施設の設計段階に入ったら、市が選定する専門家だけでなく（この計画がスタートした時の市内検討委員会、欠席の多かったと聞いているわずか5人の有識者会議、地区懇談会委員の選定の仕方など疑問に思っている）、誰もが納得するユニバーサルデザインの専門家、それぞれの当事者を入れて進めていってほしい。今は個々の建物のデザインについて具体的に提案できる段階でないので意見なり要望は差し控える。	第1章の「4. 公共施設に関わる市政の諸課題」と「5. 今後のまちづくりの方向性と公共施設マネジメントとの関係性」の記述で、今後のまちづくりとの関係性をお示ししています。 また、第1章の「4. 公共施設に関わる市政の諸課題」の「福祉政策、子ども政策」の部分で公共施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの配慮は重要な取組としており、これは「入間市公共施設等総合管理計画」でお示ししている通り、全ての施設に適用すべき考え方であることを記載しています。 市役所、市民会館の基本計画の策定や設計段階では、さらに市民の方も交えた検討を進めていきたいと考えております。
399			説明会だけではなくて、それぞれの案を採用とした場合に生じる不具合それぞれの対応策等を端的に示してほしい。どの案にしたとしても全員が納得することはあり得ません。ただその不満を少なくすることやその分の見返りを示すことは出来ると思いますが、その提示もないのはいかがなものかと思います。 入間市だけではなくて、企業や近隣市町村との連携を行ってもいいと思います。市内には財政的な問題もあって、取り壊すこともできない施設も残っており、未開発エリアも多く残っています。実際のところ、単独での開発は限界ではないでしょうか。飯能市や狭山市の施設の充実さに比べ、やや遅れがちであるとも思います。市町村別に同じようなハコモノが存在していてもそれぞれが無駄。それなら遠隔になる分バス網の整備や道路の拡張、利用の補助を行うような考えもあっていいと思います。	具体的な整備計画を検討する段階では、個々の問題に対しての対応策をお示しし、市民のご意見もうかがっていきたいと考えております。 また、広域連携については近隣市と情報交換も行っており、各市の方向性がまとまった段階で、さらに具体的な協議を行っていきたいと考えております。
400	18		・9地区に分けて各地区に1つの公共施設と決めるのでは、地域によっては公共施設が無くなってしまう所があり、生活しづらくなります。公共施設は災害の時の避難所となる事が多く、身近にある事、きめ細かい対応が望まれます。公共施設が少なくなるのには反対です。 ・どこも公民館活動が活発のようです。高齢者が地域で元気に活動することが望ましいと思います。私も車が運転できなくなったら、歩いて行ける近くの公民館でのサークル活動を考えています。久保稲荷公民館の廃止は反対です。 ・機械的に地域を分け、学校の統廃合を進めるのは反対です。学校の統廃合でマンモス化する学校も出来ると聞きました。人数がうんと少なくなる学校の統合は必要になる時期が来るかもしれませんが、少人数学級で一人一人に目の届く教育こそが望まれます。	9つの地域区分は公共施設の統廃合の目安として設定したもので福祉圏域などを参考にしていますが、この計画を検討する上で、人口減少の問題とともに、今後の地域コミュニティが現在のまま維持できるのかといったことも課題として把握しておりました。地域区分や公共施設の統廃合の提案は、そうした将来に向けて地域コミュニティの変化を想定したものであることをご理解ください。 公共施設の統廃合と合わせて、公共交通の再編を図ることで、利用者の利便性は確保していきたいと考えております。 学校の統廃合については、児童・生徒数を予測して時期を設定していますが、今後の動向に応じて見直しが必要になることも考えられます。
	31		・6つの機能を持った地区センター構想は一見良さそうに見えますが、これによって身近な公民館が無くなるのはおかしい。地区機能を持たない公民館がある今の状態は必要です。 ・地域包括センターが頑張っていますね。「あなたと歩む介護保険」の冊子が大変良い内容だと他市のケアマネからほめられました。	地区センターについては、平成31年度にサービス内容と整備内容を具体化する計画です。具体化に際しては、これまでの市民意見なども踏まえて地区センターの整備計画をまとめる予定です。 公民館機能については、地区センターの整備内容をまとめる中で、社会教育法に則った機能を持たせることを前提に、組織やサービス内容を具体化する予定です。
	37 40		・保育所や学童保育所は今でも希望者に対して少ない。整備や拡張が必要と思います。魅力ある入間市として若い家族を呼び込むには絶対不可欠です。昔　ポストの数ほど保育所を！と言いました。今も近くに保育所が必要なのは変わりません。 ・保育所に通っていた子は、小学校に上がると学童保育への入所が必要になりますが、十分な人数を収容できていないとの声があります。	民間とのバランスも考慮して6地区に1ヶ所ずつに再編し、一方でニーズに合ったサービス向上を図るという計画を立てました。サービス内容を向上させることで、それに魅力を感じて移り住んでくる方もいるものと考えております。なお、整備を進める上では待機児童を出さないことは前提として考えております。 また、学童保育室については、小学校への複合化を図る際には、待機児童が発生しないよう、充分にニーズを捉えた上で整備を行います。
	64		・学校給食センターの建替え、再整備などに付いて。入間市の直営、小学校自校方式の給食は残すのでしょうね。子ども・親にも大変評判が良く、入間市の自慢でもあるので、これは絶対に残すようにしてください。	小学校については、自校方式（直営方式）を維持する考えです。 中学校に給食を提供している学校給食センターについては、老朽化による建替えを予定していますが、建替えの際は、これまでの直営方式に加え、施設の建設や運営について民間活力を活用する方法についても検討します。両者を比較してメリットがある場合は、民間活力の導入も考えられます。
	44		・市民会館、中央公民館は耐震で残す事になったのですね。よかったです。市役所と統合すると、収容人数も減り、駐車場も狭くなり利用しにくくなるところだったので。	市民会館については、現時点では既存施設を耐震改修して当面使い続ける案を優先して検討しています。これまでの発表の場は市民会館に維持できるものと考えています。ただし、今後行う調査、設計を行った結果、この耐震改修費が建替え（新設）と変わらない額になってしまった場合は、移転新設、広域連携を検討することとしています。
	3		市役所については、耐震補強で行うべきです。川越などの例もあるので、検討をして下さい。	市役所については、市民意見を踏まえ、短期的（建設費）かつ長期的（建設費および維持管理費）に負担が少ない方法を検討し、その結果、規模を縮減して建替える方法としました。 川越市については、既存施設を耐震補強することで、当面、施設の安全性は確保できたとのことですが、施設は建設から47年経過し老朽化しているため、今後多額の費用をかけて設備機器の更新を行う必要があるとのことです。こうした工事は、市役所の開庁日にできないものもあり、課題が大きいと聞き及んでいます。入間市では、こうした事例も参考にして、建替え工事の方が費用対効果と施工の両面でメリットが大きいと判断しました。
		公共施設ではないけど要望です	子育てしやすい入間。若者が住みたくなる入間。老後を安心して活きいき豊かに住める入間とはどういう入間なのでしょうか。住民の意見をじっくりと聞いて、慎重にビジョンを持って計画を立てて下さい。経済効率優先と言って、住みにくく評判の悪い入間市になったのでは人は集まって来ません。 地方自治には、国に左右されない・住民のための施策を実行する役割があります。様々な人の意見を聞き、入間市独自のものを作って下さい。 　生活環境の整備としては、最近夜中（1時半頃）や早朝（4時頃）の飛行機の音が多くなりました。関係機関に厳重に申し入れをして下さい。 これでは住みやすい入間に逆行します。	人口減少対策については、「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「元気な子どもが育つまち」というテーマに基づき、各種施策を展開しています。 また、魅力のありまちづくりについては、「第6次入間市総合計画・前期基本計画」に基づいて、各種政策に取り組んでおります。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
401		本計画の扱いについて	1. 本計画は市民による検討期間を十分に保障すべきであり、拙速に決めるべきではないと考えます。 具体的には、市民による十分な検討をベースに、2年後の市議会議員選挙で市民の意思を問い、そこで市民の審判を受けた議員で構成される市議会で議論し、採否を決めるべきだと考えます。 理由 (1)本計画が対象とする施設は、小・中学校、公民館、保育所、市役所、市民会館、図書館、博物館、総合クリーンセンターなど、市民生活に深く関わる公共施設の「再整備・再配置」という、市民生活全般にわたる大問題が扱われているからです。(p18～19) (2)この計画は、2019年度から30年計画で進めようとするものであり、入間市の30年後はもちろん、50年後、100年後の後生の世代まで影響を及ぼす重大計画です。 (3)本計画を進める根拠(主に第1章で述べている)は、「再整備・再配置」ありきの偏った(と思われる)意見に基づく結論が随所に見られます(以下に別項でその一部を詳述)。そのような見解には、市民の間から当然異論あります。そうした見解が真実か、妥当か、市民の間で十分に検証すること抜きに、本計画は市民からの支持は得られないと思います。 (4)本計画が確定される前の，今、本計画の疑問点、問題点をきっちりと洗い出し、検討を詰めておかないと、この計画が確認されてからでは(小・中学校、公民館、保育所等の統廃合)が既成事実として進められてしまうからです。 確かに本計画では「個別設備計画は、個々の設備の整備計画及び運用計画として、必要に応じて策定する」(p105)とし、「個々の施設を整備する上では、市民の意向も確認しつつ、段階を踏んで徐々に具体化を図り、整備することとします。」(p105)となっています。しかし、p17においては「今後は、この計画に基づいて個々の設備の再整備や維持管理を進めていくことになります」と明記されています。つまり、少・中学校や保育所の統廃合自体は「この計画」で確認された既成事実として扱われ、「市民の意向」を確認するのはその進め方の範囲でしかない、ということになりかねません。 (5)以上のように、現段階で問題点、疑問点が多くある中で、 3月中(今年度中)にこの計画を確認し、2019年度から実施するというのは、きわめて乱暴であり、市民生活全般にわたる大問題を計画発表からわずか3ヶ月弱で、50年後、100年後の後生の世代まで影響を及ぼす重大計画を、現議会で押し切ろうというは、独断に過ぎると思います。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」(平成27年度策定)を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設の整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。
		本計画が根拠とする見解に対する意見 1.「社会情勢や市民ニーズの変化」をダイレクトに「公共施設」運営の問題とするのは短絡的に過ぎる。	1. 第1章p2では「社会情勢や市民ニーズの変化」が指摘され、「こうした動きを捉えて」、「公共施設を通じた政策・施策を進める」ことが述べられています。一般論としては理解できますが、しかし、その 「社会情勢や市民ニーズの変化」をダイレクトに「公共施設」運営の問題に結びつけているのは、自治体運営としては短絡的だと思います。 公共施設運営が主要な問題かどうか十分な議論が必要な問題です。 　たとえば、本計画p9では人口減少対策に関して「さまざまな要因があり、短期的な改善は非常に困難です」と述べています。「子育て世代が、魅力を感じ安心して生活できると思える」には、住宅、教育、児童手当、小児医療体制をはじめ住環境、さらには老後の福祉がどうかと云ったところまでを視野に入れて、「安心して生活し続けられるか」、そうした総合的福祉施策が充実しているかが判断の大きな要素だと思われます。 　結論としては、「市民ニーズ」への対応という場合に、それは主として公共設備の「再整備・再配置」で対応すべき課題なのか、それとも市政による総合的な施策で対応すべき問題なのかを見分けるべきであり、一律に公共設備の「再整備・再配置」に解決を押しつけても、事態は改善しないと思います。	公共施設マネジメントは、施設の老朽化に加え、今後の人口減少、少子化・高齢化、それに伴う財政上の課題等から、施設を安全に維持していくために、一定のルールに従って施設の再整備・再配置を行う計画です。 この取組だけで、本市の諸課題が解決できるものではありませんが、この取組を通じて地域で多くの市民と意見交換をする中で、様々な課題が見えてきたことも事実です。 こうした課題を踏まえ、今後は市の最上位計画である総合計画への反映についても必要ではないかと考えています。
		2. 教育環境について、施設数と質とを背反的に捉えることには反対です。 「教育の質」を得る上で「施設の数」は必須条件。	2. 本計画p10で、「教育環境の充実には施設の数も必要な要素ではありますが、むしろ教育の質に重点を置くことが、人口減少社会においては必要になります」とありますが、この見解は承服できません。「教育の質」を得る上で「施設の数」は必須条件です。いまは少人数学級の実現の好機であり、それこそ地域のみなさんが望んでいることではないでしょうか。	「教育の質」とは、学校における教育内容や教育活動を充実させることと、施設としての学校の環境を充実させることの2つの面から考えています。 なお、少人数学級を実現するためには、市独自に教員を採用し、施設も今以上に整備しなければならず、財政負担が大きくなるため、実現は難しいものと考えています。
		3.「民間活力の有効利用の考え方」に疑問あり	3.「民間活力の有効利用の考え方」(p22)に疑問がります。 「民間のノウハウを公共サービスに活かすために、PPP/PFI等民間活力の有効活用を検討します」とありますが、いくら内閣府がこれを推進しているからといって、無批判にこれを導入することは、将来禍根を残すことになりかねません。 PFIの自治体導入の先行例がwebで検索できますが、その中には事業失敗の例も見受けられます。請け負う業者は基本的に設けることが前提です。融資した資金の利子負担が結局市民の税負担になるのではないか、期待した事業収益が得られず、一方的に事業を放り出してしまうことはないのか、その際の負債が生じた場合それが税金負担とならないか、など不透明な部分が多くあります。また事業発足にあたって、自治体と業者の癒着が問題となった例もあり、癒着が生じやすいという指摘もあります。 他の項目もこの種の問題点が多くありますが、その指摘は機会を改めます。	民営化の可能性を探ることは提起しておりますが、市としても市民サービスの向上につながらない民営化は避けるべきだと考えております。そのことを充分に検証した上で、民営化するかどうかの判断をしたいと考えます。
402	96	第4章96ページ2.施設再整備、再配置に対する考え方・方向性	・2022年に野田中学校を廃止にして西武中学校に統合するとあるが西武中学校に統合することに反対致します。 ・生徒は徒歩又は自転車通学するため公共交通機関の利便性の必要はない。 ・西武中には歴史があると説明されていましたが野田中にも歴史があり、最も重要なのはこれから通学する生徒であり歴史はこれから作られていくので重要視する必要はあるのか？ ・西武中はあと10年で建て替えが必要とあり、それに比べて野田中はあと30年は使用できるのになぜ野田中を使用しないのか？ ・学校配置が決まってから交通環境、見守り体制強化など様々な問題点を講じるとあるが決まってからでは遅く、またスクールバスが出るのか自転車通学が出来るのかなどの具体案がないので住民が納得できる案をご提示いただきたい。道路環境が数年で改善されるとは思えない。 ・統廃合計画案が出てから3月の決定まで期間が短く、住民が納得できる設枚が不十分であり不安は取り除けない。 ・・野田中に統合し、西武中を廃止、その後西武中を避難所に周辺住民が活用できるような公共施設として残せないのか？ ・統廃合によって学区拡大になるので計画を立てる際に大人の意見だけでなく通学する子供たちの意見を取り入れるべき。 ・近年、子供が被害にあう事件、事故も多くなっており、通学距離が長くなればとても危険でありこれから考えていくというのは遅い。 納得できる対策案を提示していただき住民の理解を得ていただきたい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
403			西武地区の中学校統廃合について 1　市の説明内容の変更について 　当初の市の説明と市から提示された諸データでは、合理的に野田中学校への統合が示されていたが、市は11月の時点で方向を変えた。その後の説明会において、方向を変えた理由を明確にせず、歴史的経緯や総合的な判断とだけにとどまった。これから先の時代に教育サービスを受ける子供たちにとって、具体的な説明のなかった「歴史的経緯」」は大きな意味があるだろうか。歴史的経緯が意味するのは、主人公が集団や制度などで、時間的経過をたどる場合である。学校で過ごし、教育を受けるのはその時代ごとの子供たちであり、その子供たちが何十年も学校にいるわけではない。そして、その時代ごとの地域の状況や時代の影響とバランスを取りながら存続してる。そのような事象に対して、歴史的経緯を優先事項とするのは甚だ不適切である。また、総合的判断の材料として、防犯、防災拠点、交通安全、移動手段、人口カバー率などを挙げていたが、現状で大きな問題点が双方にあるという説明ではなく、総合的判断も難しい結果である。どちらからどちらへ通学しても、双方の現状の中を移動するのだから安全も防犯も移動手段も議論に差は出ない。人口カバー率も入間川周辺を重ねているのだから大きな差はない。防災拠点も廃校後も防災拠点として整備すればいいのであって、営業している学校でなくてはいけない法的規制があるのか。以上の点だけでも、野田中学校を廃校にして西武中に統合する計画の説明には無理がある。 2　西武中学校の救済について 　生徒数減のため西武中学校を維持できる基準にない話があったが、公共施設マネジメント事業計画とは別次元の話である。この計画は、将来に向けて施設の新設や維持管理費用を抑えてようとするものであって、今直面している設置基準割れやクラスや部活動維持の問題を解決するものではない。今西武中学校が直面している問題は教育委員会が解決すべきことであるが、対応策を打ち出さず作為にあるようなものだ。それをこの計画に押し付けて解決したような形を取ろうとしている。統廃合の理由に今西武中学校が直面している問題を挙げるのはは筋違いであり、まして、統廃合の時期を3年後とするのはこじつけのようである。 これらのことから、事業計画案の策定等を延期し、見直しすべきである。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
404			この計画の大本は安倍政府による「公共施設3枠削減」政策があることは言うまでもない。 　市はこれを受け、わずか数人の専門家が含まれない有識者を選び、わずか数時間だけのわずか数回だけの有識者会議をもとに原案が作成された。これは公共施設3枠削減あり気が前提となったものであり、ここには入間市の未来、豊かな市民生活との兼ね合いは全く見られない。また、多くの疑問や不安が出されている。 　この計画は20年30年先にも及ぶものである。急いでやらなければならない理由はない。加速する高齢化や少子にどう対応するのかなど考えなければならない課題も多い。専門家も交え市民が参加してじっくりと練り上げるものではないか。 　拙速な結論を出すのではなくじっくりと論議すべき課題だと思う。	この問題は、市が所有している公共施設の多くが老朽化してきていることから発生しているもので、国からの要請はありましたが、市としての課題として捉えているものです。 現在、多くの公共施設が老朽化して安全性や快適性が確保できなくなっており、一方ではその施設を整備するためには膨大な事業費がかかってしまうため、国からの要請がなくても、この問題の解決は取り組まなければならない問題だと認識しております。
405	95	西武地区	西武中学校と野田中学校を統合することに関してです。 子どもの減少により統合することは残念ながらやむを得ないのかと 思います。 しかし、今回の統合はあまりに急で納得のいく説明がなく 決まったように思います。 公民会の説明会にも参加しましたが、きちんとした説明はありませんでした。 普通に考えるとまだ何年か使用できる野田中に統合するのが 普通の考えかと思います。生徒も多い訳ですから。 それを古い立替が必要な西武中に統合するのは おかしいと思います。 もし、西武中に統合するのであれば、 建てかえをしてから、統合するのであれば こんなに反対はされないのでないでしょうか？ また通学路の安全の確保を全く考えていないことが 何より反対する理由です。 地域の現状をもっと考えて頂き検討して頂ければと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
406	43	・地域別事業計画	西武中学校と野田中学校を統合、西武中学校を活用とあるが、どうして西武中学校を活用するのか具体的な理由が見当たらないように思う。説明会も何度か出席したが、納得いく説明ができていないように思う。とても不満。 西武中学校を活用するならきちんとした理由を説明してほしい。この状況で西部中学校に決定となるのはありえない。 誠実に対応して下さい！ きちんと対応する自治体を今後、望みます。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
407			金子第一、第二保育所統合、金子小学校につくるとなっていますが、金子小学校を作るときに保育所も一緒に作るのはまずいのでしょうか？ 一度に作れば、危険性なども避けれますので。 あとは保育所は、場所がかわるのであれば、保育時間の延長見直し、土曜の1日保育にかえるなどは、今から行っていただきたいなと、保育士の給与の見直しもですが、そういったことも、今考えていただいたほうが入間市にすんでいただけるのではないのかと思うのですが、そう言ったことは、どこまで話がすすんでいるのか、話に出なかったったのですが、長いスパンで考えるな ら、住みやすい、働いてもらうにあたっての重要ポイントなのではないかと。 建物の修繕を長いスパンで考えるなら、人が長くすんで貰えること、若い人にえらんでもらえることをしてもらえたらなと。	現在の金子第一、第二保育所は老朽化が進んでおり、早急な対応が必要と考えているため、小学校に複合化する計画をまとめました。金子小学校への保育所の複合化については、2019年度に詳細な整備計画を検討する中で検証することとしました。 今後のニーズを踏まえたサービス内容の見直しは必要であると考えております。ご意見を参考にいたします。
408	96 97		中学校の統合において、築年数など考えても、古い方を残して、早急に建て替えをしたり、税金を無駄に使うのはどうなのでしょうか。 西武地区の人口分布を考えても、人口の少ない地域の学校を残し、遠距離通学をする生徒がより多くなり、交通状況を考えた時、仏子駅、中橋周辺、踏切など、道幅が狭く、交通量も多いので安全面でも不安です。 第1期でることも性急だと思います。今一度、コスト面、安全面等々を考えて頂きたく意見書を提出させて頂きます。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
409		野田中と西武中の統合の件	野田中と西武中の統合について野田中が残ると聞いていたので正直とても驚きました。築年数や野田中の方が生徒が倍以上いるのに、どうして人数がたくさんいる方が移動しなければならないのでしょうか。説明会3回のうち2回出席しましたが、納得のいく説明がなく、裏でお金が動いているのではと考えました。 私達親は子供の安全面が一番気になっているのに、そこがあやふやだし、こういった説明会を開いて納得いくまで色々な案を出し合い、子供たちにとって何が1番大切かをもう一度初めから良く考えてもらいたいです。 今現在、野田・新光はこれから家が建つところがたくさんあり、西武小、野田中に通う子が益々増えるのがわかっているのに、多人数が川を超え、踏切を超えて通学するのは反対です。道幅を広げて安全性を確保してからなら話は別です。少人数の西武中の子ども達をスクールバスで通うのが1番良いのではないかと思います。 環境面では、野田中は高台ですし、災害など川が氾濫しても安心だし、西武中は川を超えてなくてはならない。 市の方々は、もしこの事業案のことがご自分のお子さんだったら、どうお考えでしょうか。きっと我々と同じ考えになるのではないでしょうか。 あと万が一、西武中を残すとなった場合に、自転車通学になるという話でしたが、野田中の生徒達が停められるだけの自転車置き場、自転車やヘルメットの支給なども考慮してもらえるのでしょうか。 野田中を売った方がお金になるようなことを説明会で言っていましたが、結局裏でお金が動いているのではないですか。野田中の方が新しくて、お金になりますよね！！とにかく現時点では統合は反対ではないですが、野田中を残して名前を西武中に変更してもらうのがベストではないかと私は思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
410	96 97		西武中に合併、反対です。 西武中の生徒が少なくて困っているなら、少ない人数の西武中生徒が移動するべきだ。なぜ、修理してお金をかけてまで西武中存続なのか？全然意味がわかりません。 お金がない、人数が少ない・・・など。それならお金をかけないで、そのまま使える野田中を残すべき。野田中は人数多いし、全員が西武中に移動するなら不都合が多すぎる。反対です。野田中存続でお願いします。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
411	96 97		西武中には行きたくありません。 危ない所が多すぎて怖いです。 お金をかけないで残せる野田中の方がいいと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
412		野田中、西武中統廃合の件	・野田中、西武中の統廃合には反対です。 ・西武中の生徒が野田中に通った方がいいと思う。少ない人数の方から来た方が良い。 ・西武中は古くて建物が複雑。 ・西武中は土砂災害が心配。 ・道がせまくて、野田から多くの生徒が歩くと危ない。話し合いの時間が短すぎ。もっと時間をかけてやるべき。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
413		野田中、西武中統廃合の件	まず反対です。西武中は古くて、土砂災害が心配。道路もせまく、野田中の方が広く安全。野田中を残すべき。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
414		ページ、項目名以前の問題	2/16の西武公民館で指摘された事のみ修正した様ですが！ 2/16の説明会で「他にも間違いに気付いたら意見として上げて下さい。」との発言が有りましたが、作成された側で精査して、ずさんな計画（案）と認め、仕切り直す事はしないのですか？	計画書の誤りについては、精査して修正させていただきました。
	96	2項	2/16の西武公民館での説明会で野田中が売却される事、売却ありきでの事業計画（案）が作り上げられた事を初めて知りました。事業計画（原案）31年1月のどこにその事が記載されていますか？周知の事実をでっち上げる為に仕込みの人を雇ったのですか？	公共施設および跡地の売却については、計画策定により方向性を定めた後に具体的な取り組みを進めていくこととしているため、現段階では未定です。
	96	2項	何故？仏子小廃止は第2期に折り込みずみにも関らず、野田中廃止が2019.1月に初めて明るみに出たのですか？ 仏子小側への説明会（HPでの開示ではなく）の実施実績を教えて下さい。その際、出た意見も聞かせて下さい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。その際に、これまでの検討経過についてもご説明したいと考えております。
	96	2項	野田中廃止後の購入主は公開されますか？いつ公開されますか？事業計画が承認される前に市民へ公開されることを希望します。	公共施設および跡地の売却については、計画策定により方向性を定めた後に具体的な取り組みを進めていくこととしているため、現段階では未定です。
	96	2項	2021年の西武中改修工事の委託先の決定は公開入札ですか？それとも密室で決める非公開ですか？公開入札でしたら、入札方法はどこに開示されていますか？まだ入札出来ますか？	改修工事の内容や具体的な手続きは、計画策定後に決定するものであるため、現段階では未定です。
	97	3項	2/16の説明会で市民の意見として、小中一貫を求める意見が複数出ていました。事業計画（案）の対応欄には“小中一貫校を設ける考えはありません。”の記述のみで、その考えに至った経緯、理由、説明の一切が有りません。 まずは市民の意見に耳を傾むけて頂けませんでしょうか？或いは、きちんと追加の説明会を開いて、その地域に住む市民に理解を求めて下さい。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 なお、西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。その際に、これまでの検討経過についてもご説明したいと考えております。
	97	3項	市民意見への対応でスクールバスは、事業計画（案）が成立してから考える旨の発言が有りましたが、そこを事前に整備する事を何故、検討（市民の声も聞いて！！）しないのですか？	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
		追加資料3項	人口推移の比較で、仏子地区は“新たな開発が無く”、と記載されています。 一方、西武地区は“新たな開発等が行われる予定は無いので、年少人口は急激に減少する可能性がある”と記載されています。新築、改築、中古建築物の購入数、購入者の年令層の比較データを開示願います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。その際に、検討のためのデータ等をお示ししたいと考えております。
		追加資料3項	開発動向について、土地区画整理事業は確かに終了しましたが、何の為の事業だったのでしょうか？私の自宅も仮換地から宅地となりました。この事業は宅地＝人口を増加させる為の施策だったのですよね？ 実際、現在も農地から宅地に移り変わるのを目のあたりにしています。仮換地となる以前は農地でしたよね？ 高齢者による農地利用の減少が判っていたから、仮換地にしたのですよね？区画整理事業のゴールは仮換地ですか？	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 土地区画整理事業は、道路や公園が未整備な区域において、公共施設の整備・改善および宅地利用の増進を図るため、土地区画形質の変更および公共施設の新設等を行い、乱開発を未然に防止し安全で快適な秩序ある市街地づくりをすることを目的としています。宅地利用の増進により一時的に人口増を見込むことはできますが、主たる目的（ゴール）は秩序ある市街地づくりです。
	96	2項	野田中売却先の公開をお願いします。特養ですか？選挙の為？（1票欲しさ？）未来を任う子供達の命を守る親としては全く賛同出来ません！西武中、仏子小の親も仮に野田中へ統合となったら同じだと思います。まずは、子供達の命を守る安全な通学路を確保願います！！	公共施設および跡地の売却については、計画策定により方向性を定めた後に具体的な取り組みを進めていくこととしているため、現段階では未定です。
	96	2項	何故、市民の理解を得られていない中で、第一期に西武中と野田中を統合するのでしょうか？まずは、第二期への延期を希望するとともに、それが出来ないのならば、その理由を市民が理解出来る様、説明をお願いします。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
415	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（生徒数・築年数） 1.野田中学校生徒数360名、西武中学校生徒数160名と圧倒的に生徒数が多い野田中学校に統合する考え方が一般的だと思います。（1月24日高倉公民館で行われた説明では、黒須小と高倉小統廃合の件に関して黒須小の生徒数が多いからとの説明があった。地域によって説明が違うのではおかしいです。） 2.野田中学校は築年数30年であと20年～30年は利用できる施設。西武中学校は築年数50年で即改修、利用できても10年しか利用できない施設。このことからも普通に考えたら野田中学校に統合する考えが一般的だと思います。（長く利用出来る施設を使った方が税金の無駄使いにもならなくてすむ。） 3.今後、少子化の影響で他の自治体でも公立小中学校の統廃合が行われると思います。おかしな前例をつくってしまうと他の自治体にも迷惑です。野田中学校に統合を求めます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
415	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（立地による危険度） 1.野田中と西武中の立地条件を比べてみると、立川断層が活動した場合に起こる市内の地震分布によると西武中付近は震度6強が予想される地域で西武地区では西武中付近だけです。野田中付近は5強で市内でも被害が小さいと予想される地域です。 2.入間市防災マップを見ると西武中は崖下で土砂災害警戒区域に囲まれており、グランドの真ん中に前堀川が流れている。台風やゲリラ豪雨が起こった時に土砂災害の危険がある。（1月24日の高倉公民館で行われた説明で、田中市長は高倉小付近に崖があり危険だと説明していた。）野田中は高台で崖も無く安全だと思います。 3.親として、大切な子ども達が一日のほとんどの時間を過ごす学校は、少しでも安全が保障される方を選んでほしい。西武中には猪も出没するとの意見もでました。子ども達の安全第一を考えて野田中学校に統合を求めます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（通学の安全） 1.通学には歩道が狭い場所があります、ガードレールが必要になる場所もあります。統合は安全に通学できるように通学路の整備を行ってからにしてください。 2.中橋、上橋に関しても安全とはいえない。自転車などによるちょっとした接触で子供が車道に倒れる恐れがある。飯能市の加治橋、阿岩橋のように歩道と車道が独立している橋を整備しなければ子供の安全は確保できません。 3.統合するにあたり、通学で橋を渡る子、線路を渡る子が必ず出てきます。安全を考えるならば野田中生360人の大移動よりも西武中生160人が移動した方が安全で、交通の妨げにもなりにくいと考えられます。 4.以上の点から安全な通学路が整備されてからの2期もしくは3期に野田中学校への統合を求めます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（子育てする親として） 1.結婚して親となり子育てをしていくと大抵の親は新居を建てるでしょう。その時に考えるのは、子供をどこの幼稚園・保育園に入れて、どこの小学校に、どこの中学校に通わせるかを考えて家を購入します。何千万もする家を何十年も高額ローンをくんで買います。まさに、野田・新光地区にも新しい家が沢山建って、家を購入する人がいます。その人たちのほとんどが子供を西武小、野田中に通わせる事を楽しみにしていることでしょう。それが今まで野田中で統合だった話が突然ひっくり返り、3年後に西武中に統合、野田中廃校では人生設計がおかしくなり、多くの人が困ってしまいます。学校統合に関しての住民や地域への説明は最低でも10年から15年前にはしておくべきだと思います。以前、市長から、入間市は幼稚園・保育園から小学校、中学校、高等学校、社会人になるまで入間市でしっかりとした教育、子育てができるようにしていくと聞いたので安心して過ごしていました。しかし、今回の原案では無理です。2期か3期の野田中への統合を求めます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（野田中生にとって） 1.野田中は部活動が盛んで吹奏楽部は全国大会の常連校になり、野球部、サッカー部、卓球部など西武中にはない部もある。逆に部活がやりたいから西武中区から越境している子や野田中区に引っ越してくる子もいます。周りは畑に囲まれているので楽器の音や元気なファイトコールなど気にせず活動できている。日当たりもよく校舎からは富士山がきれいに見えて、学校生活のストレスも軽減されイジメがない学校だと子ども達が自慢している。市長が他の市町村にも自慢して歩ける学校だと思います。 2.野田中生が西武中に統合した場合に野田中生には何のメリットも見当たらない。部活は少ない、グランドには川が流れ日当たりが悪い。周りにも住宅に囲まれ今までとおりの活動ができなくなるでしょう。学校適正化に関する基本方針でも適正である野田中が適正でない西武中の為に廃校になるのはおかしい。統合するのであれば野田中学校に統合を求めます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（地区懇談会） 1.平成29年に7月から地区懇談会が行われ、13人の委員が選出されているが健全育成会、民生委員、小中PTAなど平等に野田中区と西武中区からひとりずつ選出されているが、区長2名（5区、9区）は西武中区から選出され、野田中区から選出していないのはおかしい。懇談会では西武中区の区長が西武中存続のためだけに、歴史的背景とか利便性とか、今の子たちには関係ない持論で巻きたてたと聞いています。本来はもっと子ども達の意見を聞くべきだと思います。また、委員は西武保育所、杏保育園、元加治幼稚園の関係者も選出されるべきです。これから小学校、中学校に通う現役の親の意見を全く聞かずに進めてはいけない。昨年末、野田中に統合の素案から西武中に統合の原案にひっくり返ったことも野田中区の委員は知らされていなかったこともおかしなことです。西武地区としてのまともな話し合いは始まったばかりで3年後に統合は急すぎる。公民館など子供に直接関わりのない施設から先に統廃合して下さい。	地区懇談会の委員については、それぞれの団体にご推薦をいただいたものですので、ご理解ください。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。その際には幅広い世代の方に加わっていただき、協議を行いたいと考えております。
	96 97		野田中・西武中の統廃合に関して（最後） 1.これからの西武地区のことを考えると学校などの公共施設は地区の中央にあってほしい。野田中にしても西武中にしても地区の端に位置している。人口減少を防ぐためにも地区の中央に建て替えてほしい。また、統合問題から仏子地区と野田・新光地区で対立傾向にあり、本来学校PTAや健全育成会、地区体育祭など3地区で協力してやってきたことまでやりずらくなっています。地区の中央に立派な校舎を建てて統合することが子供にとっても、親にとっても、これからの西武地区にとっても一番よいと思います。再度、谷田の泉の南側の土地で建て替えを検討することをお願いします。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
416	96 97		数回、説明会に参加しましたが、野田中が廃止され西武中と統合する納得の出来る説明がされていません。子供を持つ親にとって、何よりも重要視しているのは、子供たちの安全です。新光方面から西武中へ通う場合にバスになるのか、自転車になるのかも分からず、野田の交差点から中橋まで歩道の幅1mにも満たないところをどうやって安全に通学出来るのでしょうか？決定してから対策を考えるなんて遅すぎます。安全対策を万全にしてから話をすべきではと思います。お金のために野田中学校は売却される。大半の人たちが思っていることです。お金ありきの統合で、子供達を危険にさらさないで下さい。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
417	96 97		西武地区　野田中廃止の案について 300人近くの子供が西武中までの通学路を通うことを考えると、道路や道はばを考えると安全面でとても心配です。今の野田中への通学なら校内設備の受け入れが整っている野田中へ統合する方が得さくだと思います。西武中へ統合であれば、通学路、校舎、体育館などの改築などを行ってからにする方が税金のむだ使いにもならないと思います。3年後というのはあまりにも急な話だと思います。3年後にやらなければならない理由が良く分かりません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
418	5	1.公共マネジメントの目的	1/26の西武小での説明会、2/8の西武公民館での説明会に参加させて頂きましたが、「なぜ野田中を廃校にすることに突然変更されたのか、決定打となった事柄を教えてほしい」という、住民の要望に答えが得られず、とても残念です。大変もどかしく、市政に不信感でいっぱいです。言いたいことはたくさんありますが、いくつかに絞ります。 5について、「老朽化が進む公共施設の維持管理を総体的、計画的に推進する」とありますが、築29年の野田中を廃校にし、築49年の西武中に統合・・・しかも建てかえは15年後とのこと。納得がいくわけがありません。2/8の説明会で西武中の生徒さんの保護者の方ですら、「西武中は階段が狭く急で危ないです。イノシシが出ました。校舎を利用しながら建て替え工事を行うのも危険です。」とおっしゃっていました。ゆくゆくは西武中の土地を活用したいということであれば、野田中を使っている間に建て替えを行えばよいと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
	12	(2)元気な子どもが育つまち	ここに「子どもの視点を取り入れた」などと耳触りの良い言葉を並べていますが、10kgもあるリュックを背負って3kmの道のりを歩いてみて欲しい。自転車だって危険です。雨の日のこと考えてますか？「スクールバスも検討中」というお話（私は信じてませんが）ですが、そういう問題を全てクリアした上で、統廃合を決定すべきだと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
419			小学校もとおいし、みちがせまい。どうろとかあぶない。のだ中がっこうがいいです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
420			中橋北から先に行くと道がせまくなっていて、色々な所から来て、大ぜいあそこを通ったら、じこにあってしまうからです。だから、西武中学校じゃなくて野田中学校がいいです。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
421			中学校の一番の目的は、中学生たちが安心して勉学に部活に励み、人生を豊かにする場なのではないでしょうか？合併が悪い訳ではないですが、その場が安心する所として西武中の建物、中の作り、いのししが出るなどの危険、ましてや今の考えだと、その場で建てかえと子ども達の学びなども一緒にする状況ですよね。安心できる野田中ですごすことがそういう場であると思います。百歩ゆずって西武中であるなら環境を整えてから、子ども達をその中学校に子どもをあずけることが大事なのでは？何度聞いても、今の西武中に子どもをあずけるのは、市の考えが理解できません。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
422			中橋は、道が広く整備されたがその前の歩道が狭く歩行者、通勤通学の人でいっぱいなのに、中学生も加わってもっと多くの人が通れる歩道ではないので、非常に危ないです。道幅を広くするなど、安全確保ができてから、中学校統合という話し合いをしてもらいたいです。 子どもたちの安全が確保できないのに、子どもを通わせることはできません。ニュータウンから遠すぎます。 10年後に西武中を建て替えをするならば、それまでは今ある野田中に通い、10年後の建て替えの時に西武中に通えばいいと思います。今、現在の西武中では校舎が狭かったり、防災の面でも安全とは言えません。建て替えの時に、安全な場所、安全な校舎になってからでもいいと思います。今、特に問題のない野田中を活用するべきです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
423			野田中廃校案に反対 公共施設マネジメント事業計画P97の西武中学校を活用理由 「歴史的背景、公共交通機関も含めた利便性を考慮し」は『大人の事情』でしかない。 実際通学する子どもたちにとって無意味な事で、子どもを第一に考慮していないことは明白である。 この一文で公共施設マネジメント事業計画が、市民の利益に沿って決定されるものなのか不安に思った。 西武中は埼玉県指定の土砂災害警戒区域から100m以上離れた場所なので影響がないということだが、100m離れているから安心という判断はとても安易ではないかと思われる。 近年の広島や北海道胆振地方等の土砂災害の悲惨な映像画像を見ると、逆に危険な地域から100mほどしか離れていないと非常に不安である。 3年間のほとんどの時間を学校で過ごす為、耐震や災害の危険性、通学の安全が確保されていることが大前提である。 仏子地区にも防災拠点としての学校を存続させたいという意見もあると思うが、土砂災害の不安が拭えない場所にあって何の「防災拠点」か。西武中は仏子駅から近く商業的にも利用価値が高い土地かと思われる。 西武中の敷地を売却し、災害の確率が低い場所に防災拠点を新たに建設すれば良いのではないか。 マネジメント推進課がやたらと強調するのが数年後の児童生徒の減少率。 野田中生徒の減少率が高いということだが、それでも西武中生徒の約2倍は予想され、野田中生徒の減少が著しいというイメージ操作でしかない。こういう市民をバカにしたようなことはやめていただきたい。 中橋通りの歩道が非常に狭く、自転車通学は実質不可能であることは周知の事であるが、生徒数はスクールバス運用の際の費用に影響する大きな問題である。 生徒数、校舎の残りの耐用年数、土砂災害の不安からしても野田中存続が妥当な考えであると思われる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
424			西武地区の野田中学校廃止の案に反対です。 西武中に通うには、まず安全な通学方法、通学路の確保が絶対条件だと思います。現状では歩いて通うには危険で通わせられません。2022年では時期尚早過ぎだと思います。 もう少し議論を重ね、よりよい案を示して欲しいと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
425			西武地区野田中学校廃止の案に反対です。野田地区・新光地区と仏子地区間の道路は交通量が多く狭いのでとても危険だと思います、また、野田中の耐用年数はまだ30年も残っているので、まずは野田中を使うべきです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
426	96-97	野田中廃止について	道がせまいのに、いきたくありません。荷物が多い中、毎日遠い道をいくのは私たちには無理だと思います。安全が保しょうされてないのに計画を進めるのは、私たちの事を大事に思ってくれてないと感じてしまいます。小学校がもともと遠くなのにさらに遠くなるのはいやです。もし西武中学校になるとしたら通学路が安全で校しゃが新しくなる15年後のとう合がいいと思います。少ない人数の西武中が野田中にくるのがふつうだと思います。計画のえん期か中止を希望します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
427			西武中学校と野田中学校の合併について、今まで野田中学校になっていたのが西武中学校になる事が納得いかない。通学時間が大はばに増える児童がたくさんいるのにそれはおかしいと思う。もう一度考え直して欲しい。西武中学校が古いので子供を通わせるのにすごく不安を感じています。今私の子は5歳です。一番危ない時に通うので考えて下さい。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
428	96～97		意見書をとりまとめを行い、市の決定事項として事業を進めるにはスケジュールに無理があると感じます。意見書の内容をまとめ、計画に反映できるとはとうてい思えません。決定ありきのスケジュールだと思います。大きな事業には、大きな責任が発生すると思います。決定は、慎重に行う必要があると思います。スケジュールの見なおしと市民への説明をお願いします。	「公共施設マネジメント事業計画」は、この計画の前提となる「公共施設等総合管理計画」（平成27年度策定）を具体化する計画として、平成28年度から3年間かけて策定に取り組んできました。その中で市民の皆さまにも説明し、ご意見を伺い、反映しながらまとめてきたものです。30年間の大きな枠組みとしてこの計画を決定し、各施設野整備計画を検討する段階で、さらに市民の皆さまとの協議を行っていきたいと考えております。
429	96,97		仏子地区に入間市初の小中一貫校建設を希望します。今この地区の小中学校を統合すると住民と学生の通勤通学で2本しかない橋は大渋滞及び大惨事になることは明白です。西武小学校と西武中学校に統合するというなら、中橋北から西武中学校まで朝の7時半から8時半までスクールゾーンにし、許可された車両以外は通行禁止にして下さい。	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、ご提案も踏まえて2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
430	96,97		公共施設統合への必要性⇒入間市民からの限り有る財源を優先順位から最有効に取り組む。これは皆、理解しています。有った施設を利用していた市民にとって「必要」な物が無くなる事は生活が変化してしまうため、大きな問題です。大きな問題が水面下で数年、数十年前から提言されていた事もウワサとして聞いてはいました。ただ、2019年2月1日の公報いるまで正式に公表されてよりわずか2ヶ月で第1期の開始という部分では、心の準備が野田中側にも（第2期の仏子小側にももしかしたら）足りなかったのではと今回の事業計画の公表方法に感じました。「小中一慣教育」という教育を推進されている入間市は「施設統合型小中一慣教育」という方向性だと、いかがでしょうか？有名な私立進学校や地方過疎化での小中一慣教育を目に致しますが、良い所を上手に参考にして「仏子小、西武中の小中一慣教育」という新しい地域も納得する方向性はいかがでしょうか？「政治家」からの圧力が入ったのでは？とウワサも出ています。大人の都合より、利用側の子ども達の立場で財源活用お願い致します。 小中一慣での中学部活に関して ⇓ 西武中学での部活選択肢が無いという部分では、色々なチームが行なっている様に「移動して」部活を行うでも可能だと思います。小学では自転車移動に無理がありますが、西武中⇔野田中位の距離は日常的な部分です。ましてその距離を登下校で西武中と野田中を統合しようとしているのですから、部活時間の移動は可能な移動範疇と考えます。野田中も敷地がせまいので、たとえばテニスは西武公民館のテニスコートを時間帯で借りる等、地域しせつの活用も併せて考えると活性化につながると思います。飯能市と協力して、あずグラウンドやあず野球場も野球部活で利用出来ると地域施設活性の全国的に良い手本になるのではないでしょうか？	児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
431	35	(2)中学校統廃合	西武中、野田中統合計画に関して第1期統合、第2期建替えとの計画ですが、第1期で西武中建替え、第2期で統合とされた方が良いと考えますが、 ・理由は統合して人数が増えない時点で、建替え、整備等行なった方が混乱しないと考えます。 ・さらに、この建替えを行なっている期間に通学路の整備（歩道幅、ガードレール等）遠方通学の生徒も増えると思いますので、交通手段の検討を行う。 ※それからの統合の方がスムーズに行くと考えます。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
432		中学校の統廃合について	野田中を廃止し、西武中に統合する事に反対します。第一に子供達の安全面に多くの不安が残ります。仏子駅、中橋周辺、踏切などの道幅がとても狭く、交通量が多い為、多くの西武地区の生徒が通学するには、混乱と事故を伴う危険が予想できます。 市の関係者の方達は説明会で「安全性の確保は第一に考える」と言っておきながら、実際にあの危険な通学路を歩いてみた人はいないという始末でした。 又、建築年数、地形、防災面、どれを比較しても西武中より野田中が勝っている事は誰の目から見ても明らかです。実際に2/16（土）の説明会で「どちらの中学校が安全なのですか？」という質問に対して、市の関係者の方がはっきりと「野田中です。」と答えていました。安全性の確認もできないまま、3月に計画を決定し、中学校を統合することは絶対にあり得ないです。 どうして大切な子供達を安全とは言えない、土砂災害警戒区域に指定される可能性もあるという、敷地内に川があり猪も出るという、古い校舎の学校に大変危険な通学路を使って安心して通わせる事ができるのでしょうか？ここを災害の避難所として使おうとしている事に疑問と不信感しかありません。第一期での計画を見直し、野田中学校の存続を希望します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
433			どう考えても西武中よりも野田中のほうが子供にとって安全な環境だと思います。建物の年数　学校周辺の環境　通学路　など。市のホームページの入間市公共施設マネジメントの内容を見ても今回の内容は納得できません。西武中を存続させて野田中をなくすのであれば、納得できる説明がない限り受け入れられません。最近ニュースでも伝えられているように、M7クラスの地震が今後起こる可能性が高いとか、入間市でも川の氾濫　今まで怒らなかったことがこの数年で起こっている中で、なぜ建築年数が明らかに古く川の近くである西武中を残して西武中に比べ建築年数が新しい川もそばになく、もともとの野田中に行くはずの子供たちの比率が多い野田中を残さないのか？また最初段階で野田中を残すという話が急に反対に西武中を残すという風になった点も理由が明確でなく何か裏で操作されているようで、おかしいと思います。なんか賄賂でも動いているんじゃないかな？って思ってしまいます。入間市の公共施設マネジメント事業計画自体に不信感です。こんなんじゃ入間市自体の信用を無くすと思います。西武中を残し野田を無くす案には反対です！！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
434	96,97	公共施設マネジメント事業計画	生徒数の多い方が優先されず、少ない方を残すのが納得いきません。子ども達の安全性をとるなら少ない方を移動させるのが良いのでは無いですか？野田中が無くなり西武中に統合するのに反対です。野田中存続してほしいです。2019年1月付けでの事業計画案からなぜ入れ替わってしまったのか説明が不十分です。なぜ入れ替わってしまったか、誰がその決定をしたのかをしっかり説明して下さい。子供の通学、安全に関する問題が後回しになってしまっている事が、まず問題ではないでしょうか？安全面、通学面、時期をしっかり決めてから、どっちの中学校がベストなのか決めた方が良いのでは。小学校、中学校に通っている家庭の話をもっと聞いて、話し合いきめて下さい。住民の話しを聞かなすぎる！！	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
435	96,97	公共施設マネジメント事業計画	なぜ、昨年までは西武中が廃止、野田中を存続で話が進められていたのに、今年の1月付の事業案では入れ替わってしまったのか？説明がまだ不十分だと思います。納得できません。生徒数も多く、築年数も新しい野田中が廃止は安全面などから見てもおかしいと思います。自転車通学の生徒が増えることも考えられるので、もっと生徒の安全面への対策も保護者が納得できるようにしっかり説明責任を果たしてもらいたいと思います。このような点から見ても、西武中を存続はメリットがあまり感じられません。野田中存続を強く希望します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
436		中学校統合に伴う伴	野田中学校の廃校について ・設備が比較的新しく広く整備されている野田中を廃校にする理由がわからない。近くにたまり場となってしまうような商業施設もなく、幼稚園や高齢者施設があり、今後の多様な人との共生を考えると教育面の環境としてもとても良いと思う。 ・西武中のある場所は有事の際の防災拠点としてより良く機能するよう中学校ではなくして、きちんと整備（入口周辺を広くするグランドや体育館を利用しやすくする）したほうが良いのではないか。 ・西武中は住宅街にある。急に生徒が増える事で近隣住宅の生活に支障がでないか心配に思う。 ・西武中側に統合された際の通学路は歩道も車道も狭く、一定の時間に大勢が通る事は危険ではないか。他の通勤する人・ドライバーへの配慮が必要になる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
437			野田中学校を無くさないでください。私は野田中の近くに住んでいます。最近では新しい家がたってきています。その人たちは西武小を卒業し、野田中にいきます。野田地区は災害の被害が仏子に比べ少ないと思います。安全をもとめて、この地にきたのです。どうか安全な避難場所として残してください。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
438	96,97		のだちゅうがっこうをなくさないでください。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
439			地域小中学校の統合について 「統合の必要性をどの立場から考え、取り組んでいくのか」が説明会に出席し、説明をうけても、理解できなかった。入間川をはさんでの地域性、あえて統合する本当の意味が伝わらなかった。野田中学校を3年後に西武中学校に統合する意味が理解できない、デメリットのみを感じます。まだ築30年の野田中を使わず、すぐに立てかえが必要な西武中に統合するといういことはムダとしか思えない。多くの生徒が、学年途中で学校が変わることも含めて、生徒数の少ない学校が、多い学校に統合されるほうが自然なりゆき。意見にもあったように、どうしても統合が必要な場合は野田中にまず統合し、その間10年位をかけて、西武中を建てかえるか外の場所に中学校地をさがす方法がなぜとれないのか？学校として生徒数の減少ですぐに統合を必要としているのは西武中なのではないか。野田中への統合がもろもろの理由で難しい場合は、少ない生徒数でやっていく方法を考えるのはどうなのか？1クラスのみでも学校としてはなり立つはず。少人数の学校の良さ、メリットも考えるべき。 統合に向けて、通学路の問題について 小学生になれば、2km位のキョリを歩いてかよえると思う。特に中学生になればキョリは問題ではない。問題はキョリではなく、道路の問題、橋の歩道の工事はしたが、それ以外の道路幅、歩道幅が確保されずでこれが問題。危険が多すぎる。子ども達が安全に歩ける歩道を長期間かけてでも生み出すことが先決だと思う。歩道だけの橋をかけるとか・・・。安全な歩道が確保されれば、子ども達には徒歩をすすめる。健康にも良いし、学校がどこの場所（入間の端であろうと）、一番確保したいのは安全な歩道だと思う。通学バスはいらないと思う。 また、小中一貫教育の案も考慮するべきだと思う。西武地域の統廃合は第2期に移動の検討は必要だと思う。 西武小、西武中など親しんだ名前がなくなるのはしのびないとの意見もあるが、名前をどうするかは別の問題であると思う。私達市民の入間市の財政も考え、これからの入間市をになう今の子ども達のことも考え、何を大事にするか、もう一度じっくり考えてみる必要があるのではと思います。	生徒数の減少に対応し学習環境を維持するために、学校は一定の規模が必要と考えます。 西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 児童・生徒数の減少に対する解決策にならないと考えるため、義務教育学校（小中一貫校）の導入は考えておりません。
440	43		西武中学校・野田中学校統合の件について反対です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
441	43	西武中学校　統合案について	1この原案について準備不十分である。 2子供の安全確保が出来ていない。 この原案にたいして反対します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
442	43	西武中学校　統合案について	子供の安全確保ができないためこの原案は反対します。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
443	43		西武中学校・野田中学校統合の件について反対です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
444			中・高校の統廃合は児童が大変な負担である。健やかに伸び伸び学なんでもらうのが本筋だ。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
445			市民に大きな負担になる。住民の生活を考えよ！	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
446			国からの公共施設3割減の指示により住民の意見が納得出来ない進め方には反対です。 西武中、野田中の統廃合などじっくり皆の意見が通る様にお願いしたいと思います。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
447	43		野田中と西武中の統合には反対です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
448	43		野田中と西武中の統合は反対です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
449	43		野田中と西武中の統合には反対です。 子供達の安全面がとても心配です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
450			野田中と西武中の統合には反対です。 子供達の安全面がとても心配です。 大反対です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
451			2/16（土）西武地区の説明会に初めて参加しました。以前から小中学校、公民館の統合の話を聞いていてなぜ？という疑問がありました。当日資料を見たり、説明を聞いたりしてもやはり納得できない部分がたくさんありました。たとえば、鉄筋コンクリート造の寿命が50～60年と書いてありますが、古い方の西武中を残し新しい方の野田中は売却されるという計画です。私の住居は西武中の学区にあるので、避難所ともなる小・中学校が近くにあるというのは、心強いです。 人口減少や高齢化、建物の老朽化等たしかに課題がいっぱいなのはわかります。西武中学区の私でさえ納得できないような統合、ましてや野田中学区の方々が反対意見を述べるのも無理ないと思います。計画ではパブリックコメントをまとめて、反映して4月から事業実施と書いてありましたが、無理なのではないでしょうか。全員が納得というのは無理かと思いますが、説明会一日を見ても、かなりの方が納得できていない状態です。もう少しじっくりと私たち市民の声を聞いて、じっくりと進めていただきたいです。市民にとって大切な小中学校、公民館を地域のために残して生かして活用できる工夫を考えていただけないでしょうか。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
452		西武中野田中合併	12月で原案を変更したのはなぜでしょうか？ 西武中の生徒と野田中の生徒数を考えて見て下さい。 どちらを残せばいいか分かると思います。 バスを出すにしても学校の古さを考えた上でどちらを残すべきかよく考えるべきだと思います。 道路を整備することも考えてほしいと思います。 先月の会合で話に出ていたと思いますが、朝7:30～8:00まで月～金299号から中橋の間にどれだけの人が通るか車が通るかを見て下さい。 原案（西武中に合併）は反対です。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
453	43		野田中と西武中の統合には反対です。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
454	96～ 97.98		野田中学校を西武中学校に統合する案について、反対します。 2月16日に行われた説明会における市長以下担当職員の説明は統合の見直しを求める地区民に対して、十分に納得できるものでなく、一方的に市が作成した計画を押し付けることに終りました。 市民の命を守ることが一番。児童生徒の命を守る義務が大人にあります。 「命を大切にする」という立場に立てば仏子地域には土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域が広く集中して分布しています。 国内では想定外の災害が各地で発生して被害を受け尊い人命もたくさん失いました。我々はこういう現実を見聞きして日頃から防災意識を高め、そして自治会などでも防災計画を作成して「すぐにもあるかも知れない災害に備えたり、備えよう」としている時に市の計画案を読むと、100m離れていて被害に遭う危険性が少ないと思われる。などと人ごとのような理由で、西武中学校の避難所としての活用を説き、西武中学校存続の計画を立てています。 「いったい小中学生の命をどう考えているのか」 学校が危険地域にあって毎日命がさらされている。いつか想定外の災害が起きた時、将来ある若者達が瞬時に土砂に呑み込まれてしまう。 そういう惨事を想像するとき、どうして仏子地域が安全と思われます。ということが言えるのでしょうか。 地域の人の中には市議会議員の政治決着の何ものでもない。と言う人がたくさんいて耳に入ってきます。 大人が守るべき、将来ある若者達の命を大人の都合で絶つことは絶対に避けていただきたいという一念で意見書を書きました。 引き続き西武地区での説明会開催を強く要望します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
455	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対します。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭いので大変危険です。登校時は小学生や通期の方もいるので、事故が起きる可能性が高いです。 どうしても西武中学校を残すのであれば、統合の前に土砂災害の対策を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合することが良いと思います。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているので、まずは野田中を使って、30年後西武中跡地に建て直せば良いと考えます。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくことが、絶対条件です。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
456			西武中と野田中の統廃合について ・人口の減少により子供の数が減っている中の統合であるが、様々な条件を当てはめていくと、野田中へ統合することが望ましいと思います。西武中は防災面においては、土砂災害警戒区域であり、今の日本の災害状況を考えたとき安全と言えるのか？子ども達の命を最善に考えて欲しい。 また、野田・新光地区の子供たちが西武中へ通うルートを考えると、非常に狭い歩道の上、交通量は多く、安全とは言えないと思う。 私自身、通勤で、同じルートを通るが狭い。環境の上、交通量も激しく、子供たちに安全だと言えない状況と感じます。仏子、野田、新光に在住する子供達が安全で安心できることを第一に考えて欲しいと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
457			西武地区　野田中学校　廃止の案に反対します。 ・ハザードマップによると西武中学校の位置が土砂災害区域に指定されています。なぜその様な場所を残すのでしょうか？絶対反対です。 ・通学道路ですが、道中が狭まく、交通量が多い為、歩いていても、危険を感じます。小人の生命を考えれば、とても賛成できません。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
458			「緑」の持つ機能が個人のリラックス効果から良好な生態系による入間の原風景の形成、地球温暖化による経済的損失の軽減まで様々な恩恵を市民にもたらすことは「入間市緑の基本計画」に詳しく載っています。この計画は「第6次入間市総合計画」から発展させた計画ですが、「入間市公共施設マネジメント事業計画」と目指すものは似ていると考えられます。しかし「当事業計画」の中に「緑化」やそれを連想させる文章が見当たりません。地球温暖化対策や生態系保全対策は世界的な流れであり、今や待ったなしの状況です。経済成長著しい時代の負の遺産ともいえる地球温暖化と生態系の劣化を止めることは時代の必然だと考えます。 「入間市公共施設マネジメント事業計画」は大掛かりなものですが、この機会をとらえて、ぜひ行ないたい事が「緑の創出」です。これは「緑の基本計画」第3章の基本方針にも記載され、公共施設の建て替え等の事業実施の際に新たな緑地の整備を必要としています。 “社会情勢や市民ニーズの変化”（P5、他）、“公共施設のサービスと機能の見直し”（P9）、“ソフトとしての教育環境に必要なハードの整備”（P10）、“ユニバーサルデザインの配慮など”（P10）、“公共施設の「質」を充実させる”（P12）等々、ゆるやかな表現が用いられ、「緑の創出」計画は後付けも可能の様にとれますが、ここは明確な表現でお願いしたいのです。 そこで下記のアンダーライン部分の文章を加えることを提案します。現在の日本では・・・・・（以下「ICT」という）などの普及、地球温暖化への対策、持続可能な環境づくりへのシフト、働きかた改革による・・・・ Ⅴ）持続可能な環境づくりに貢献できる施設機能の整備	ご指摘の通り追記いたしました。 ただし　v)については、記載内容が異なるため追記はいたしませんでした。
	68	第4章 地区別事業計画	施設の配置にあたり、コンパクトシティも視野に入れている様ですが、コンパクトであっても「緑」は欠かすことが出来ません。特に未来を担う子ども達にとって多様な生命を育む緑地は「感性を研き」「命の大切さ」や「共生する心の土台を作る」のに役立ち、身近であることが重要なのです。今、子ども達にとって身近なのはゲーム機の中のリアルな仮想世界ともいえるのではないでしょうか。五感を使って多くを学び取る年代には時間を費やす場として向いているとは思えません。教育的、又、安全性から見て、学校敷地内にミニ自然があることが望まれますが、教育施設の統廃合の際、空きスペースが出来た場合、そこを教育目的の自然園として、整備することも考えられるのではないでしょうか。その場合、「緑の基本計画」第2章にある「入間市のみどりの将来像」を同時に実現可能になる様に配置します。当「事業計画」で区分された地区の内、東金子、西武、藤沢1・2、豊岡2の各地区の施設整備を機に計画に組み込むのが合理的かと思います。中でも、昨年渡り鳥の飛来する貴重な緑（入間基地内）が消失した豊岡第2地区。広い緑地が少ない藤沢第1地区の施設整備時に自然園を造ると良いでしょう。又、入間らしさを実感するツールの1つとして、“市の鳥ヒバリが見られる、さえずりが聞ける場所”づくりも魅力的だと思います。（草地の配置）その場合東金子・西武の2地区が適していますが、この整備計画をスムーズに進めるための文章・文言を検討・記載して欲しく思います。	個々の施設の整備計画の具体化を図る際に、「緑の基本計画」との整合も検討していきたいと考えます。
459	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
460	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
461	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
462	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
463	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
464	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 ハザードマップを見ればわかるように、仏子地区はほぼ全域に土砂災害警戒区域が広がっている。西武中は今の所土砂災害警戒区域には指定されていないが、土砂災害警戒区域とは危険を指摘するために設定されているものであり、区域外の安全を保障するものではない。 西武中は目の前に傾斜地、敷地内に川があり、今後の調査では警戒区域に指定される可能性のある土地である。 土砂災害への安全対策を何ら講じていない西武中に子供を通わせることはできない。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
465	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
466	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
467	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
468	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
469	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
470	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
471	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中学校は50年前の建物で、いくら耐震工事をやっても、50年前に地盤改良がどの程度なされていたのかは不明だ。 さらに統廃合後建て替えまで、今のまま15年間使うというが、学校という最も安全が必要な施設で、なぜ限界ぎりぎりまで使って安全と言えるのか、根拠がない。 統合して、使い続けながら建て替え工事をするというのは、子供たちの学校生活に不便を強いることである。また、仮設校舎なしで敷地内に新校舎を建てる計画とのことだが、今のグラウンド部分に新校舎を建てると、川や傾斜地により近くなり、安全が確保できない。 一方野田中は、まだ30年は使える建物である。今、中学校の新築価格は、25～30億円ほどだ。まだ減価償却していない15億円ほどを無駄にして、何がコスト削減だというのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
472	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
473	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 野田・新光地区と仏子地区を結ぶ道路は交通量が多く、道幅も狭く、大変危険である。ここを、野田中からの300人を超える生徒が通うことになると、どれだけ危険と混乱が生じるかということは、実際通学時間帯に歩いてみれば容易に想像できる。 どちらの学校が残るにしても、通学路の拡幅工事又はスクールバスなどの安全対策を講じることなしに3年後の統廃合を計画するのは、順序が逆であり時期尚早である。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
474	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
475	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
476	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
477	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
478	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
479	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 西武中なら7割以上の生徒が1.5kmの範囲に収まると言っているが、西武地区で今最も若い世帯の人口が多く、現在も開発が進んでいる野田新光地区が全く考慮に入れられていない。なぜ、まだまだ人口、子供が増える可能性のあるこの地区から遠い西武中を、あえて残し、子供に不便を強いるのか。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
480	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
481	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
482	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
483	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
484	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
485	96 97		西武地区　野田中学校廃止の案に反対である。 安全面、人口の分布、校舎の築年数とどれを取ってみても、野田中学校が優位であることは疑いがない。 30年後以降、さらなる人口減少で東金子との統合の必要性が生じるかもしれないからというのが西武中を残す理由なのだとしたら、それは全く意味のない理由である。 30年後のことでさえ誰もわからないのに、50年後のために西武中の敷地を取っておきたいから今の子供たちに不便を強いるというのは、一体誰のための計画なのか。 入間市がそんな市であるのなら、そもそも50年後には消滅していてしかるべきである。 どうしても西武中を残さねばならない合理的な理由があるのであれば残してもらって構わないが、統合の前に土砂災害への対策工事を万全にし、地盤を再調査・再評価して、最新の技術で校舎を建て替えた後、統合すればよい。 野田中の耐用年数はまだ30年も残っているのだから、まずは野田中を使い、30年後西武中跡地に建て直せばよい。 そしてその前にまず、通学の安全確保の対策をしていただくというのは絶対条件である。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
486		公民館・保育所	公共サービスが得られるような土地として残してほしい。	公共施設の跡地活用については、地域の方々のご意向も踏まえながら方向性を決めていきたいと考えておりますが、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
487		二本木保育所の件	保育所の跡地は公共関連の施設として残してほしい。 ・旧公民館もやはり公的な施設利用を考えて残してほしい。	公共施設の跡地活用については、地域の方々のご意向も踏まえながら方向性を決めていきたいと考えておりますが、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
488		二本木保育所・旧公民館跡地利用について	地域の人の為の公園、又、災害時の避難場所（仮設住宅も建てられる）等に利用することが市としても住民としても望ましいのではないかと考えます。	公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
489			現在の二本木保育所の所在地は、二本木狭山台地区の中心的な場所であり跡地については、 1. 将来大規模な災害発生時の地域住民の避難場所として適当な場所である。 2. 付近は交通量も少なく、緑に囲まれた場所であり、地域住民の憩いの場所として子供達の安心して遊べる公園等にして存続することが望ましい。	公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
490			施設の建て替え、統廃合の内容や時期は地域の特性や市民の意向、施設の耐用年数に基づき設定したと言いますが、3月で決定するのは不十分です。延期して下さい。（以下別紙に記入しました） 入間市職員のみなさま。日頃の市政へのご尽力に感謝申し上げます。 1. 宮寺小学校と狭山小学校を統合して中間時点に新設する場所はどこか。 　さて、今回の公共施設統廃合の問題ですが、私は、賛成でも反対でもありません。現在の人口減少が続くと、いずれは必要な時期が来ると考えています。しかし、今なのか？という疑問があります。田中市長と市は、宮寺小学校と狭山小学校を統廃合し、中間地点に新規で小学校を作ると説明しています。また、宮寺保育所と二本木保育所の統廃合も移転新設しようとしています。中間地点とはどこでしょうか。5年間かけて用地を取得すると言いますが、それでは遅いのではないでしょうか。5年間かけて用地を取得すると言いますが、それでは遅いのではないでしょうか。統合した時には今の生徒たちは卒業して、空教室が増えるのではと考えます。（一時はマンモス校になる学校も考えられます） 宮寺には、パチンコ屋やモーテルがあり、土地を探すとしても限られるのではないでしょうか。学校が建てられるような場所があるのでしょうか。 2、災害時の避難場所の問題 　市は2年間の説明期間を設けましたが、地域住民には、まだ知らない方や、子ども達の通学問題など心配と不安が増しています。学校や公民館などは、災害時の避難場所にもなっています。災害時に避難場所が無くなるのではという意見にも、市の答弁では、先送りされています。多くの市民はインフラ整備や防災にお金をかけてほしいと思っているのではないでしょうか。 3、市民の意見を聞くことが、良い町づくりに繋がる 　公共施設の問題は、市民の意見が大事であり、長期間の議論をしてこそ、良い町づくりができるのではないでしょうか。当局が一方的に押し付けた町づくりは成功した試しがありません。小学校や公民館、保育所の統合は通学区が変わったり、離れた学校に行かざるを得なかったり、今までの地区の繋がりを壊すことになります。良い町づくりになるとは思えません。市民の意思で決めることが未来志向ではないでしょうか。 4、エアコンを付けたばかり 　せっかくエアコンをつけたのにもったいないという意見がいっぱいです。 5、市民の意見は後ろ向きではありません 　2019年2月2日、アリットの説明会で、市の参加者から、「後ろ向きの意見ではなく、前向きに未来志向で考えてほしい」と発言がありました。会場に参加した方の意見は後ろ向きの意見は一つもなかったと思います。みなさん前向きに考えて、子どもたちの未来を考えて参加しています。	宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。その中で災害時の避難場所の確認なども行いたいと考えております。なお、地区全体のバランスを考え、出来る限り中央付近に用地を確保して小学校を移転新設したいと考えております。そのため、第2案は削除し、第1案で進めることを明確に示しました。
491			二本木公民館は狭山台地区を含めて地域の中心的な位置にあり（人口増加）が見こまれる。現施設の維持存続を御願いしたい。（分村問題等）地区の友和の象徴でもある為、二本木保育所に付いては存続を御願いしたい。計画通り宮寺地区で新設の移転の場合は16号以北で御願いしたい。尚現土地は市と借地契約地であり解除せず災害時の避難場所として保留して確保して下さい。（立川段層、東海地震）等にそなえて、旧二本木公民館（市有地）と合わせて有効利用を望みます。 ◎地震水害時に強い地盤であると思う。	二本木公民館については、地区センターの統合後も施設の耐用年数までは地域で活用が出来るような施設として存続したいと考えております。 二本木保育所および旧二本木公民館の跡地活用については、地域の方々のご意向も踏まえながら方向性を決めていきたいと考えておりますが、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
492		二本木保育所	二本木保育所と旧公民館を公的に利用として出来る場所として残していただきたいと思います。	二本木保育所および旧二本木公民館の跡地活用については、地域の方々のご意向も踏まえながら方向性を決めていきたいと考えておりますが、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
493	76～78	第4章 豊岡第三地区（黒須・高倉）	黒須公民館・出張所　地区センターとして高倉との統合には異存はないが、移転新設予定地が黒須第二子ども広場との事だが、この場所は北六区、南六区、宮前町がグランドゴルフの練習場として週二日間づつ楽しんで使用している。北六区自治会では納涼大会（夏祭り）、防災訓練場所として使用している。 他に北六区地内に場所は無く計画通りに進むことになると納涼大会（夏祭り）、防災訓練は中止せざるを得ない。 となると市広報を配るだけの地域住民とのコミュニケーションがとれない自治会組織では意味がないと考える。解散も選択肢として考えざるを得ない。 　高倉の住民からも遠くなり不満もあることだと思う。 鍵山一丁目2-1にある県営住宅「入間浅間山団地」がもうすぐ解体となると聞いている。民有地（高倉氷川神社）ではあるが一部入間市所有の土地もある。賃貸料が発生するが、この場所が高倉にも近く最適だと思っているがいかがなものか。	豊岡第三地区の地区センターは第2期に整備する予定です。それまでの間、用地も含めて具体的な整備計画を検討していきますので、ご提案を参考にさせていただきます。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
494	30 31		・何回も原案を読むため出かけました。全部読みました。あと1ヶ月しかないのに、本当に私の意見も含めてもらえるのかなと思いながら書きます。3月の確定を延期してください。 ・仏子地区と川をはさんだ野田・新光は学校を考える時2つの地区と考えています。現在のような学校配置でよい。 地区センターは住民に便利になるとの説明ですが、公民館は本来の役目がなくなるのではないかと思います。もっと具体的な市民への説明が必要。 保育園は親への支援ができることが大切。通園はなるべく住居から近いような所がよいのでへらさないように。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。 なお、地区センターについては公民館機能をしっかりと位置付けた施設として整備する予定です。また、西武地区については保育所は存続する計画です。
495	45	公立保育所の統合	先日の市民説明会で小学校の東側校舎を壊して保育所を建設する計画とのお話を伺いました。当然、保育園児の送迎は車を利用する方も多いと思われます。JA西側の押しボタン信号を学校に向って入って来られることと思いますが、その道路沿いは住宅が多いですし、道巾も狭く、小学校の通学路にもなっています。車両が増えることによる住民の不安、子どもたちの安全安心を守るためにも充分な考慮が必要だと思います。例えば、三ツ木台公園の南側など、耕作放棄の畑も多々見受けられます。是非、ご一考を・・・	金子小学校への保育所の複合化については、2019年度に詳細な整備計画を検討する中で検証することとしました。
496	45	5. 地域別事業計画	黒須小学校と高倉小学校の統合については、地区での説明会で説明されたように、黒須と高倉地区の中間にあたる場所への移転新設を強く希望します。黒須小学校の場所での建替えは、児童の負担（通学距離、時間、安全等）を考えると、絶対反対です。	第2案は採用せず第1案の実現に向けて努力することといたしました。そのため、計画から第2案は削除いたしました。 なお、黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。
	13	2. 取り組みの背景	公共施設マネジメント事業計画は税収減少への対策が先立ち、人口減少対策がなされていない。子育て世代が安心して子育てのできる環境を維持し、さらに充実させることを最優先の施策とし、財政もその一点に集中して投入する英断が望まれる。	人口減少対策については、「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「元気な子どもが育つまち」というテーマに基づき、各種施策を展開しています。また、第6次入間市総合計画・前期基本計画を実現するために策定している実施計画の策定や予算編成においては、優先順位をつけて事業を選択し、重点的に予算を配分しています。
497		豊岡第三地	高倉小学校と黒須小学校の統廃合に反対。 最たる理由は、黒須小学校に統合され、やがて建て替えの時期が来た時、水害対策の費用が巨額になること。一般的な小学校建設には16 億円程で済むとのことだが、耐用年数が長くなる施設を作るのならば1000 年に1度の雨量を想定して建てる必要があり、その費用が天文学的になってしまう懸念がある。 黒須地区民にとって、せっかく建て直すのであれば水害対策を万全にしてほしいという要望が必ず出るし高倉民は高倉小学校より安全でなければ同意できなくなると思われる。 年々観測史上最多雨量を全国のどこかで更新している昨今だからこそ早めに、原案を修正した方がアホ扱いされずに済むのでは？ 安価で中途半端な建て替えで済まし死者が出たらどうするのでしょうか？それは市長が度々口にした二重、三重の投資になってしまうのです。 統廃合計画の一番の目的が財政再建にもかかわらず全く逆の行為をすることになります。 水害対策が不要で一般的な建て替え費用16 億円で済む高倉小学校を残すのか巨額な建て替え費用を投資し黒須小学校を残すのかは火を見るより明らか。 これでも黒須小学校を残すというのであれば何らかの忖度が働いているとしか思えない。 わたしたちは黒須民と戦うつもりはない。 よって、現段階では両校残す案に替えることを強く勧める。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。
498		計画全て	市庁舎建て替えへの提案です。 老朽化した入間市駅を建て替えし市庁舎一体型にはできないのでしょうか。あの陰気臭い駅舎からの卒業。風水的にも良くないって！！！ いつまで経ってもジョンソン基地留保地、北口の活用が進まないのでいっそのこと引越しを提案します。 今、売りに出されている　浅間山団地　を購入し駅舎にしちゃいましょう。 高層化し【安心・安全だけど厳しい坂】高倉へのアクセスを楽にしましょう。緊急避難設備も整えれば日本一安全な市庁舎が完成します。 この計画にはロマンがある。愛もある。地方債だって理解してもらえる。 さぁ今すぐ西武グループと交渉だ！！！！！！ パチンコ屋になる前に急げ！！！！！！！	入間市駅前の土地や浅間山団地の土地については、市有地ではないため、現時点で市役所の移転先としては候補にありません。駅舎の整備については、市の施設ではないため、対応方向をお示しすることはできません。
499		豊岡第三地区	この地区の公共施設統廃合計画に反対です。 その大きな理由に市が高倉地区を軽視しているのではないか？という不信があります。是非ともこの機会に、その不信を払しょくする務めをしていただきたく思います。 具体的な案として、3月16日に開業するムーミンバレーパークの流れに乗じて【安心・安全ではあるが厳しい坂】を克服できる。 入間市駅　→　ムーミンバレーパークの路線を西武バスに誘致していただきたい。 〇　経路　〇 入間市駅→国道16号→高倉4丁目交差点を右折→高倉寺横を抜け踏切渡り左折→県道195号→ 右折で国道299号バイパス合流→（省略） ムーミンバレーパーク着 復路は渋滞回避のため若干ルート変更を余儀なくされると思いますがこれにより【安心・安全ではあるが厳しい坂】を使わず駅への往来が可能になり高倉小学校も公民館もバスで行けます。高齢者もグッと楽になるね　♪ これくらいで賛成に回ることはできませんが、少しは市に対する信頼が回復するかもしれません。	ご意見は、他市の政策との調整が必要であり、民間の協力も必要となることですので、参考とさせていただきます。
500		豊岡第三地	高倉小学校の統廃合に反対です。 通学の距離だけでなく統合される黒須小学校とは【安全・安心】という大前提に差がありすぎます。客観的に見てもどちらが残るべきなのかは明らかです。誰もがそういいます。 よって、どうすれば黒須地区の児童が【安全・安心】高倉小学校に通えるのか？という目線で考えてみました。 平成28 年にビューテラス入間住宅（高倉2-9-26）という県営住宅が建ちました。 ここの傍に通称くらやみ坂と呼ばれる坂があります。かつては鍵山地区へと踏切で繋がっていたそうですが今は跡形もなく倒木で歩けない状態です。ここを整備しトンネルを掘れば高倉寺横のダルイ坂を経由しないで高倉小学校に通えます。 通学時間も大幅に短縮できると思いますし勾配が最も緩やか。 このトンネルが開通すると高倉地区から鍵山地区へのアクセスが徒歩圏になりシャッター街も少しは活性化するのではないか？という期待も持てます。 昔、入間市馬車鉄道というものがあったそうですが、それを復活させましょう！ 黒須の児童はこのトンネルを馬車に乗って坂を上るのです。【安心・安全】だけでなく不安も拭えます。いやぁメルヘンだねぇ。 これによりたっちゃんの銅像は金ぴかにグレードアップするのは間違いナシ！おめでとー！！！	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。
501			高倉小学校"も"残してください！ 統廃合をやめてほしい理由は説明会で様々聞かれたことと思います。広すぎる学区割り、防災面、高倉小学校跡地の使われ方に対する疑問などなど…2 つを無理やり1つにするから問題なのだと思います。 高倉小学校"も"残してください。統廃合したって残す予定だったんですから、今のままの使われ方をこれからも続けたっていいじゃないですか。 中間地点に新設したってお金はかかります。それで本当に削減されるでしょうか？ 2つ残して何が悪いんですか? 黒須には黒須のよさがあると思います。 高倉にも高倉のよさがあるんです。高台で安心です。新しい家も増えていっています。 これから高倉小学校に通おうとしている人がいるんです。もとはといえば人口減少を留める前提の 3割削減計画。人口減少しないのなら高倉小学校も残すべきです。	黒須小学校と高倉小学校については、第2期下半期での統合に向け、第1期下半期から、地域の方々と通学や学区等の課題についての協議を行うこととしました。
502	96、97 ページ		野田中学校廃止について、あまりに短期間での計画に納得がいく説明も具体的に無く、説明を聞いたところで、何一つ不確かで説明になっていないです。 西武中にした所で、どう安全にして行くのか・・・・・これから考えるのではなく、まず、具体案を出して、市民に示してから方向性をつけていくものではないだろうか。 子どもの事を本気で考えたら、ハザードマップ危険場所から100mしか、100mしか離れていない西武中に子どもの教育の場所を置いておく事態、おかしいと思う。そこに子どもの利便性はない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
503	39 40 41	5地域別事業計画	西武中学校・野田中学校統合について ・最初の計画通り、生徒数の多い野田中に統合されるのが望ましいと思います。 ・通学に仏子駅から樋の上まで利用すれば（希望者）良いのではないか ・野田中であれば、まだ建て替える必要もないと思います。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
504	35 95		西武地区について。野田中と西武中の統合に関して意見します。まず、現状のまま統合するのは反対です。老朽化している学校に子供達を通わせる事は大変危険。何かあってからでは遅いです。つい先日、西武地区のハザードマップが各家庭に配布されましたが、西武中学校の周囲は土砂災害警戒区域等に指定されている区域に非常に近く、ただでさえ、崖の上に建っているのに、余計に危険。また、野田や新光地区から通う子供達への通学路の整備が不十分なまま、計画が進んでいるように見え、納得がいきません。何をとっても子供達にとって良いことが1つもありませんが、メリットは何でしょうか。このまま進めるのはやめて下さい。この統合計画には反対します。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
505	96 97		西武地区、野田中学校廃止の案に反対である。 期限が短すぎます。白紙撤回を求める。	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
506			2/8（金）と2/16（土）公共施設マネジメント事業計画の市民説明会に参加しました。 2022年度に野田中と西武中の統合は反対です。この時期に子供がちょうど関わる学年で、途中で学校が変わるのも困ります。自宅から西武中まで3.5kmも距離があり、通学路も整っているわけでもないし（道も狭く危ない）、自転車通学、バス通学？その辺りもはっきり決まっていないようなので。通学路の安全面は、統合が決まってからとあるが。どう安全対策をしてくれるのか話がきちんと決まっていないので、親としては不安しかありません。女の子もいるので、部活で帰りが遅くなった時、安全面はどうなのか。（もちろん男の子もです）野田中がまだ使えるなら、使えるまで野田中は残してほしい。野田中はまだ生徒数も多いので、このまま残す方が子供にとってもよいと思う。今も小学校までも遠いのに中学がさらに遠くなったら子供の負担が増えるだけ。 先日の説明会で西武中を中心で円を描いた資料ですが、その円の中に入らない子供達についての説明は全然ありませんでした。その円に入らない子供達の対応はどうしてくれるのか。やはり統合の計画は見直しをしてほしいです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
507	96 97		西武地区、野田中学校廃止の案に反対である。期限が短すぎると思います。白紙撤回を求めます！！	西武中学校と野田中学校については、統合の時期を第2期に延期し、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
508			二本木保育所閉鎖にともなう跡地利用に付いて、子育て支援の小供広場、老人クラブのゲートボール場、グランドゴルフ場等に活用してもらえないか。	公共施設の跡地活用については、地域の方々のご意向も踏まえながら方向性を決めていきたいと考えておりますが、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
509			12月2日アリットにて、宮寺・二本木地区の説明を聞きました。その中で財政の裏付け・取り組みの効果についてページ49は入間市全体の効果で6地区の比較も宮寺・二本木地区の効果も明示されてない。マネジメント事業計画であれば、最大の効果を出せる部分から着手すべきではないですか？6地区の比較を明示し、宮寺・二本木地区がなぜ最初なのか説明をお願い致します。 2二本木公民館は地区センターとして残るようなので、その近くに子供達の公園等を作っていただきたい。（二本木地区は子供達の公園はないため）	宮寺・二本木地区の小学校と保育所の統合を第1期としたのは、宮寺小学校の児童数が減少していること、校舎が老朽化していること、宮寺および二本木保育所の施設が老朽化していることなどが理由であり、早急な対策が求められているためです。 公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
510			1　財源不足の予想に関して 部署ごとのバランスシート・損益計算・キャッシュフロー等を明確にし、財源を有効に活用すべきだろう。公共施設の縮小はサービス低下に繋がる。 2　宮寺小　狭山小統廃合について 米国では100人以下の小学校を薦めつつあるという（NHK）。一学年100から150人となった場合いじめや登校拒否がさらに増えることが予想され、成人してからの精神障害者の増加が予想される。 3　二本木保育所について[提案] 二本木地域では子ども数が少なく廃止もやむを得ないが、公共施設の少ないこの地域に、公民館（地区センター）との複合施設として子育て支援広場と公園としての機能を残していただきたい。近い将来に起こるといわれる関東直下型地震（立川断層も可能性がある）等の災害に備えた用地としても活用できると考える。	この計画は現在の財政見通しを考慮してまとめたもので、そのことは計画の「第5章　公共施設マネジメントに関する財政見通し」に示しました。 宮寺小学校と狭山小学校については、2019年度から地域の方々と用地や通学等の課題についての協議を行うこととしました。 公共施設の跡地活用については、借地の解消ということも大きな課題ですので、そのことも踏まえて検討させていただきたいと考えております。
511		施設整備の方向性	宮寺小・狭山小の統合案について。統合するのであれば、現状よりも生徒1人に対する教員の割合を増やしてほしい。	教員の配置についてはクラス数などにより県が決定するものです。
512			野田中学校廃止予定についてのパブリックコメント ・一度決まった事(野田中存続)が覆るのはおかしい。 ・西武側(西武中、仏子小)の方が生徒が少ないのに、なぜわざわざ生徒数の多い野田側が合わせないとなのか。 ・西武中は災害危険区域ではないが野田中に比べたら危険だ。 ・建物の老朽化、築年数で考えるなら断然野田中を残すべき。 ・そもそも誰が西武中を残すと決めたのか。 ・狭い仏子駅周辺を利用する人口が増えるのは理にかなってない。危険すぎる。 ・西武中の校舎建て替えなどを検討する意味とは。野田中の方が単純に考えて費用がかからないのでは？	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
513			野田中売却について 野田中は、まだ30年しか経っていません。これからも活用できる野田中を売却して、メリットがあるのは誰ですか？野田中を建設した時に多額の費用を要したと思いますが、30年余りで廃止しては税金の無駄遣いではないでしょうか。	公共施設および跡地の売却については、計画策定により方向性を定めた後に具体的な取り組みを進めていくこととしているため、現段階では未定です。
514			入間市野田在住です。 西武中、野田中の統合について。 中橋周辺の通学路はとても狭く、また朝夕は車の交通量も多い。通勤通学の自転車も仏子駅に向かって集中している。西武小の児童だけで溢れかえっている現状なのに、在校生が多い野田中の生徒があの道を通学するのは無理があるのではないか。 2/16の西武公民館での説明会では、安全面は平行して検討していくという答えだったが納得できない。 両側に住宅があるのでどうにもできないのではないか？ 事故があってからでは遅い。西武中ではなく野田中にしろということではなく、どちらにしても通学路はあの道しかないのだから子供達の安全を第一に考え早急に対応してほしい。校舎を建て替えたからとりあえず通ってくださいでは遅い。通学路についてどう検討しているのか、計画確定の前に明確な答えを望みます。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
515			西武中学校 野田中学校の統合について 野田中学校がまだ30年しか経過していないのに校舎を使わないのはもったいない。西武中学校が新築するまで野田中学校に通う方がいいのではないか。 小学校と通学時間が同じため中橋北交差点付近は自転車の勢いも激しいため危険である。 道路整備等実施してからの方が危なくない。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
516			金子地区について 金子第一保育所、第二保育所の子供たちが安全に遊ぶ環境か疑問です どう考えても小学生と幼児は全く別の環境下でないと難しいのではないでしょうか。 耐震対策としてならどちらかの保育所を立て直し、一つだけでも保育所として残すべきだと思います。	小学校を活用する場合、様々な問題がありますので、2019年度に充分な検証を行ってから具体化をしたいと考えております。 なお、現在の保育所は、金子第一保育所が借地に建てられていること、金子第二保育所が地域のはずれの方に位置しており、地域としては中央に移転してほしいという希望が強かったことなどから、現在の計画となっております。
517			パブリックコメントの入力フォームは？ 意見を形だけ募るのならば誰もが直ぐにリンク出来る様にして頂けませんか？ 明後日で一方的に市民の声は打ち切るんですよね？ 2月16日の公民館の市民の声がまさに生の声、悲鳴なんですけど？ 貴方方は何も感じ無いのですか？ 西武地区の市民は蝿や蚊くらいなんですか？ 結果的に追加の意見交換会は実施しないのですか？（きっと、調整中です。と答えられるのですよね？）	パブリックコメントの入力フォームの設定はございません。 ご指摘については、今後の参考とさせていただきます。
518			中橋周辺は道幅がかなり狭く、朝の通勤通学時間は交通量も多い。駅に向かうのに下り坂のため 自転車もかなりスピードを出していて全てにおいて危険要素しかない。まずは道路の拡張 整備など安全確保が第一のはず。とにかく子供の安全を保障して下さい。 災害の危険は低いとされていて比較的校舎も新しく 校庭も広い野田中より、近くに警戒区域があり築年数も古い校舎で 校庭も川を挟んで2段に分かれている学校に行く意味が分からない。説明会に行けば行くほど納得が出来なくなる。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。
519			いつもお世話になっております。 入間市公共施設マネジメント事業計画についてですが… 金子小学校に保育所を移転とききました。 どの程度のメリットデメリットを想定されてるかわかりませんが… 特に金子地区は障害者が多い地域で、発達障害児も多く感じます。 その障害もひとりひとり違いますが、日中小さい子どもの甲高い泣き声や笑い声が聞こえるなかで、集中して学習ができるのでしょうか？ 小さい子どもがいることで逆にいい影響がでるのか？ 話し合いはされてますか？ 送迎の駐車場の確保や、建物の安全性などは？ 幼児用のシャワー室などは？ 空き部屋を活用するのはとても良いと思いますが、未だに講堂がいつ使えるかわからない状況で話を進めるのは…どうかな？と思います。 もっと市民に話し合いに参加してもらうよう周知も必要。 わかりにくい紙を渡しただけでは内容がまったく伝わりません。	小学校を活用する場合、様々な問題がありますので、2019年度に充分な検証を行ってから具体化をしたいと考えております。 なお、現在の保育所は、金子第一保育所が借地に建てられていること、金子第二保育所が地域のはずれの方に位置しており、地域としては中央に移転してほしいという希望が強かったことなどから、現在の計画となっております。
520			野田中学校と西武中学校の統廃合の件 野田中学校でなければダメとか、西武中がダメと言うことではなく、子を持つ親として、子供の安全を何も考えずに決定しようとしているので、この統合に反対です！！ 何度か説明会を聞きに行きましたが、通学の件は統合が決定してから決めると言ってました。 親としては、通学路が1番の心配事です。 通学路の事をどお考えているのか説明会で聞きたかったです。 もし、市で何の対策もなされなかった場合、車での送り迎え、路線バスの利用も考えてしまいます。 その際、車での送り迎えの時に学校の敷地内に出入りできるのか？ ダメなら、学校付近に路駐して、子供を降ろして近隣からの苦情は出ないのか？ 中橋で大渋滞は起こらないのか？ 子供にお金を持たせて良いのか？ など沢山の問題点が出てきます。 西武中に統合され、その後建て替える時に仮設校舎を建てるのなら、耐用年数が30年残っている野田中に統合して、その30年の間に金子地区もふまえた新しい中学校を建てれば、仮設校舎にかかる無駄なお金もなくなります！ 工事をしてる横で学ぶ子供達の危険もなくなります！ もし、野田中学校が廃校になったら、仏子ニュータウンは、若者のいないゴーストタウンになるでしょう。 子供がいる世帯は、学校から遠いい所に家は買いません！！ まずは、人口が減っていく、財源が減少するとマイナスの事ばかり考えていないで、人口が増えるような魅力的な市になるように考えて欲しいです。	教育の観点から、周囲に通学エリアが設けられる西武中学校に統合する案を採用することといたしました。 ただし、統合の時期は第2期に延期し、西武中学校を現在の校舎の位置で建替えた上で統合することとし、2019年度から地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について協議を行うこととしました。

No.	ページ	項目名	ご意見（原文のまま）	対応方向
521			保育所移転について 金子第1保育所と金子第2保育所を統合して、金子小内に移転するというのは反対です。小学校のグラウンドが狭くなり、子供たちが思い切り走ったり、体育をしたり、クラブ活動ができなくなるのではと考えます。金子地区は自然に囲まれて広い土地で子供たちが延び延び成長していけることが1番ありがたいところかなと考えています。その良い点が失われてしまうと思います。今一度検討していただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。	小学校を活用する場合、様々な問題がありますので、2019年度に充分な検証を行ってから具体化をしたいと考えております。 なお、現在の保育所は、金子第一保育所が借地に建てられていること、金子第二保育所が地域のはずれの方に位置しており、地域としては中央に移転してほしいという希望が強かったことなどから、現在の計画となっております。